

2001(平成13)年度

講義内容

国文科 英文科 放射線科
専攻科(放射線技術科学専攻)
仏教科

講 義 內 容

目 次

国文科・英文科・放射線科

1. 専門教育科目		
(1) 国 文 科		11
(2) 英 文 科		71
(3) 放 射 線 科		141
2. 他学部履修科目		189
3. 「日本語」・「日本事情」科目		253
4. 教職課程・資格講座科目		271

専 攻 科 (放射線技術科学専攻) … 293

仏 教 科 (－夜間開講－)

1. 専門教育科目		
2. 他学部履修科目		309
3. 仏教学部開設科目		329
3. 仏教学部開設科目		353

国 文 科	専 門 教 育 科 目	国 文 科
	英 文 科	英 文 科
	放 射 線 科	放 射 線 科
科 目	他 学 部 履 修 科 目	他 学 部 履 修 科 目
	日 本 語 科 目	日 本 語 科 目
	教 職 課 程 資 格 講 座	教 職 課 程 資 格 講 座
放 射 線 科	放 射 線 技 術 科 学 専 攻	放 射 線 技 術 科 学 専 攻
	専 門 教 育 科 目	専 門 教 育 科 目
仏 教 科	他 学 部 履 修 科 目	他 学 部 履 修 科 目
	夜 間 開 講	夜 間 開 講
	仏 教 学 部 開 設 科 目	仏 教 学 部 開 設 科 目

国文科・英文科・放射線科

1. 專門教育科目

(1) 国 文 科

1. 専門教育科目

(1) 国 文 科

上代文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈佐原作美〉	11
中古文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈鈴木裕子〉	11
中世文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈岡本恭子〉	12
中世文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈坂口博規〉	13
中世文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈藺部幹生〉	13
近世文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈清田啓子〉	14
近代文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈小林治〉	14
現代文学演習Ⅰ〔平成12年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕〈松田直行〉	15
国語演習Ⅰ〈片山晴賢〉	15
国語演習Ⅰ〈萩原義雄〉	16
国文演習Ⅱ〈佐原作美〉	17
国文演習Ⅱ〈鈴木裕子〉	17
国文演習Ⅱ〈岡本恭子〉	18
国文演習Ⅱ〈坂口博規〉	18
国文演習Ⅱ〈藺部幹生〉	19
国文演習Ⅱ〈清田啓子〉	19
国文演習Ⅱ〈小林治〉	20
国文演習Ⅱ〈松田直行〉	20
国語演習Ⅱ〈片山晴賢〉	21
国語演習Ⅱ〈萩原義雄〉	22
上代文学史〈佐原作美〉	23
中古文学史〈鈴木裕子〉	23
中世文学史〈岡本恭子〉	24
近世文学史〈清田啓子〉	24
近代文学史〈井上優〉	25
現代文学史〈小林治〉	26
上代文学を読むⅠ〈休講〉	
上代文学を読むⅡ〈佐原作美〉	26
中古文学を読むⅠ〈休講〉	
中古文学を読むⅡ〈鈴木裕子〉	27
中世文学を読むⅠ〈休講〉	
中世文学を読むⅡ〈坂口博規〉	27
近世文学を読むⅠ〈休講〉	
近世文学を読むⅡ〈越後敬子〉	28
近代文学を読むⅠ〈休講〉	
近代文学を読むⅡ〈笹瀬王子〉	28
現代文学を読むⅠ〈休講〉	
現代文学を読むⅡ〈永野宏志〉	29
文献資料を読む〈萩原義雄〉	30
原典講読〈清田啓子〉	31
国語学〈片山晴賢〉	31
国語史〈萩原義雄〉	32
日本語文法〔平成12年度以前入学生：古典文法〕〈片山晴賢〉	32
情報言語学〈前期：萩原義雄、後期：片山晴賢〉	33

日 本 語 教 育	〈奥 原 淳 子〉	34
異文化コミュニケーション	〈奥 原 淳 子〉	35
中 国 文 学 講 読	〈清 水 浩 子〉	36
中 国 文 学 史	〈清 水 浩 子〉	36
和 歌 文 学 学 I	〈坂 口 博 規〉	37
和 歌 文 学 学 II	〈休 講〉	
物 語 文 学 学 I	〈休 講〉	
物 語 文 学 学 II	〈休 講〉	
物 語 文 学 学 III	〈鈴 木 裕 子〉	37
物 語 文 学 学 IV	〈藺 部 幹 生〉	38
説 話 文 学 学 I	〈休 講〉	
説 話 文 学 学 II	〈藺 部 幹 生〉	38
日 記 文 学 学 I	〈岡 本 恭 子〉	39
日 記 文 学 学 II	〈休 講〉	
歴 史 文 学 学 I	〈休 講〉	
歴 史 文 学 学 II	〈藺 部 幹 生〉	39
連 歌 ・ 俳 諧 I	〈休 講〉	
連 歌 ・ 俳 諧 II	〈越 後 敬 子〉	40
近 代 現 代 詩 I	〈井 上 優〉	41
近 代 現 代 詩 II	〈休 講〉	
児 童 文 学 学 I	〈休 講〉	
児 童 文 学 学 II	〈吉 田 司 雄〉	42
随 筆 ・ 評 論 I	〈鈴 木 裕 子〉	42
随 筆 ・ 評 論 II	〈休 講〉	
軍 記 文 学 学 I	〈坂 口 博 規〉	43
軍 記 文 学 学 II	〈休 講〉	
歌 謡 I	〈川 上 順 子〉	44
歌 謡 II	〈休 講〉	
短 歌 ・ 俳 句 I	〈笹 瀬 王 子〉	45
短 歌 ・ 俳 句 II	〈休 講〉	
現 代 小 説 I	〈山 崎 眞 紀 子〉	46
現 代 小 説 II	〈休 講〉	
古 典 戲 曲 演 劇	〈清 田 啓 子〉	46
近 代 戲 曲 演 劇	〈松 田 直 行〉	47
比 較 文 学	〈吉 田 司 雄〉	47
女 性 史	〈高 嶋 めぐみ〉	48
女 性 学	〈藤 田 和 美〉	48
文 芸 創 作	〈松 田 直 行〉	49
国 文 学 概 論	〈坂 口 博 規〉	49
有 職 故 実	〈大 塚 英 子〉	50
文 化 概 論	〈藺 部 幹 生 ・ 井 上 優 ・ 川 上 順 子 ・ 佐 藤 憲 昭 茂 野 隆 晴 ・ 末 藤 美 津 子 ・ 藤 田 和 美〉	51
周 縁 芸 術 I	〈小 林 治〉	51
周 縁 芸 術 II	〈藺 部 幹 生〉	52
国 文 学 特 殊 研 究	〈鈴 木 裕 子 ・ 岡 本 恭 子 ・ 小 林 治 ・ 清 田 啓 子〉	52
国 書 道 実 習 I	〈那 須 隆 吉〉	53
国 書 道 実 習 II	〈那 須 隆 吉〉	53
情 報 処 理	〈中 原 誠〉	54

応用情報処理	〈中原誠〉	55
実用表現法	〈萩原義雄〉	56
編集実務	〈長谷川孝〉	56
ジャーナリズム研究	〈篠野寿雄〉	57
シナリオ研究	〈松田直行〉	57
芸能研究	〈松田直行〉	58
秘書概論	〈森本正恵〉	59
秘書実務	〈森本正恵〉	60
手話	〈白須和子〉	61
点字	〈渡辺勇喜三〉	62
卒業研究Ⅰ	〈佐原作美〉	63
卒業研究Ⅱ	〈小林治〉	63
卒業研究Ⅲ	〈片山晴賢〉	64

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学演習Ⅰ	さ ばら さく み 佐 原 作 美	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅰ		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

わが国の古い伝承のひとつに、羽衣説話がある。これは天女が地上に舞い降りて地上の人間と様々な関わりをもつ話であるが、そうしたものが『風土記』や『万葉集』をはじめ『竹取物語』や『今昔物語』などにも見られる。そこで授業では、かかる作品を読みながらその流れをたどってみたいと思う。

 講義の内容・
授業スケジュール

科目の性格上、受講生による調査の発表と読解を中心に進めることになる。出来るだけ多くの作品に接して行きたい。

履修上の留意点

演習授業という観点から、受講生の発表を中心に進めることになるので、意欲をもって積極的に望んでほしい。

成績評価の方法

授業時の発表や質疑応答、さらに出席状況(重視)などや授業に取り組む姿勢などを見て総合的に評価する。

教科書

新潮日本古典集成『竹取物語』(新潮社)

参考書等

必要に応じ授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学演習Ⅰ	すず き ひろ こ 鈴 木 裕 子	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅰ		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

この演習の目的は、主として三つあります。まず、古典文学に親しむこと。次に、古典を正確に読む力を養うこと。そして、各自が自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

 講義の内容・
授業スケジュール

『源氏物語』を読みます。第一部から第三部までの物語について、その全体像が把握できるように、精選した場面を読んでいきたいと思ひます。

履修上の留意点

授業は受講生の分担報告を中心として進めます。担当者はもちろん、発表を聞く者も、積極的にテキストを読み、調査し、考えて授業に臨みましょう。

成績評価の方法

学年末に提出するレポート、授業中の発表内容・発言、出席状況(欠席・遅刻しないことは前提)などから総合的に行います。

教科書

追って指示します。

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学演習Ⅰ	おか 岡 もと 本 ゆき 恭 こ 子	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅰ		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

京都下鴨神社の神職の家に生を受けた「鴨長明」が、その出自に対応する生き方をせずに、晩年は出家者となり、さらに世を背き、いわゆる隠遁者としての生き方を選んだ。その長明にはいろいろな逸話があるが、長明が生きた“あかし”として残した作品の一つに『方丈記』がある。その他の作品に『鴨長明集』、『無名抄』、『発心集』があるが、特に後者の二作品は成立年代が明らかではない。

ここでは『方丈記』を教材として用いるが、次の二点に要約する問題点を勉強する上で、『方丈記』のみで処することはできないはずである。そのテーマとする問題とは、

- ① 長明と文筆活動について
- ② 長明の求道とは何か

の二点をあげる。

講義の内容・授業スケジュール

上記に示した問題点をふまえて、分担者が発表するという授業形態をとる。

「演習」という授業科目は、大学生として真に実力のつく科目であるので、大いに力を発揮してもらいたいと考える。

履修上の留意点

『方丈記』に関する研究図書は多いので発表者は扱いやすいかも知れない。しかし、それらをいかに取捨選択できるかによって、発表の中身が異なるのは言うまでもない。何よりも大事なことは、自分の中で完全消化をすることである。

成績評価の方法

発表の内容・出席率・授業態度の総合点。

教科書

『古本・流布本対照方丈記』(大修館書店) 824円

参考書等

授業の中で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学演習Ⅰ	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅰ		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

阿仏尼の若き日の失恋の記『うたたね』を読む。安嘉門院に女房として仕えていた頃、身分のある男性との恋に破れた体験をもとにした物語的回想記で、自らを王朝物語のヒロインになぞらえる上で、先行文学を下敷きにした表現が多く見られ、後々歌人としても優れた才能を発揮する作者の、若き頃の表現能力などを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

開講当初に女流文学の流れを概観し、阿仏の伝記を考える。テキストが写本影印を収めており、草仮名の読みを学んだ後、6月頃より受講者に作品を分担して、本文読解を中心に発表してもらう。

成績評価の方法

演習であり出席重視。レポートの発表内容をもって評価する。

教科書

永井義憲校注『うたたね』（新典社刊）824円

参考書等

授業の折に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学演習Ⅰ	その べ みき お 園 部 幹 生	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅰ		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

今年度は、中世文学の代表的な文学ジャンルの一つである説話のなかから、『古今著聞集』を採りあげ、演習形式で授業を行なう。各自が短い説話を一話担当し、1年間かけて、解釈・伝承経路・その説話に含まれた視点など、さまざまな面から掘り下げて研究・発表する。これを通して、基礎的な研究の方法を身につけるとともに、作品を味わい、説話の魅力を満喫してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

全受講者が、前・後期に、それぞれ1回ずつの発表と、その追加・訂正の発表を行なう。

履修上の留意点

担当した説話についての研究・発表だけではなく、他の受講生の発表に対する問題意識も、たいせつな学修要件となる。また、担当する話が異なるため、具体的な調査・研究の方法、および鑑賞についての助言は、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して行なう。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を40点満点で評価する。必要に応じて、レポートを提出してもよいが、定期試験その他筆記試験は一切行なわない。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて、そのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学演習Ⅰ	せい だ けい こ 清 田 啓 子	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅰ		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

演習は、研究方法を実習する科目であるので、参加する学生の研究・調査とその発表がこの時間の中心になる。

講義の内容・授業スケジュール

今年度の演習材料として、上田秋成の『雨月物語』をとりあげる。九章ある物語を、各自希望により選んでもらい、個人あるいはグループで研究を深めてもらう。その成果を発表し、参加者全員の検討を経て、作品論を仕上げたいと思う。

履修上の留意点

演習という科目の性質上、出席すること、論議に加わることが最重要となる。積極的に発言することと、他の意見を充分聞きとる姿勢が望ましい。

成績評価の方法

出席状況（三分の一以上の欠席は〈不可〉となる）及び、発表の研究内容、折々の宿題や夏期レポート等によって評価する。定期試験は行わない。

教科書

水野稔校注『雨月物語』（明治書院）2,000円

参考書等

教場で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学演習Ⅰ	こ ばやし おさむ 小 林 治	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅰ		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

宮澤賢治の散文作品、および、安部公房の初期短編小説を読み、作家について調査することを通じて、個々の作家における思想と実践（行動）と作品の関係の様相、ならびにそれぞれが抱えている問題点について考える。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作家の作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導、助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講者は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告書にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどりつきたいとは考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

その他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問していただきたい。年間を通じて文学研究に必要な基本的手続きとその意義を知ることが当演習の目的である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代文学演習 I	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習 I		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

「小説と演劇の現在」をテーマに、小説では村上春樹、演劇では第三舞台の鴻上尚史を取り上げる。現在も活躍中の二人であるが、ともに1980年代、それぞれの分野に新時代をもたらしたと言えるほど注目を集め、それぞれのジャンルで異例の発行部数と観客動員数を記録した。それは60-70年代にかけての、あるひとつの時代の終焉と、新しい世代による新しいスタイルの出現を宣言したという意味で、今日につながる影響力を持っている。両者に共通する「時代」「世代」といったものに対する認識と展望に注目したい。

 講義の内容・
授業スケジュール

主に前期は村上春樹、後期は鴻上尚史を扱うが、ある程度両者を同時に視野に入れた中で進める予定である。演習なので、おもに学生の発表によって進められる。基本的には前期・後期各1回ずつの発表を課す。村上作品は各自で購入して読むことになるが、鴻上作品は戯曲を読むだけでなく、ビデオを使って実際の舞台での表現を見ながら進める。

成績評価の方法

出席と発表の成果によって評価する。

参考書等

村上春樹に関する発表に便利な参考図書として、加藤典洋編『村上春樹 イエローページ』(荒地出版社)をあげておく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語演習 I	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	13以降入学生/短国1選必	4
		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

国語学研究の基礎的な知識を養うことに主眼をおき、中世の資料を中心に検討していく。

 講義の内容・
授業スケジュール

それぞれ、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自からの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

参考書等

授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語演習 I	はぎ 萩 はら 原 よし 義 お 雄	13以降入学生/短国1 選必	4
		12以前入学生/短国1 選必	2

講義のねらい

明治時代の国語辞書である大槻文彦編『大言海』を読んでいく。読むというより、どのようなことばが収録されていて、どのように意味解説され、用例をどのように掲載しているのかを考察していくのである。この近代国語辞書を繙くとき、常に考えておきたいことは、近代から現代へと変遷する時代の流れのなかで古語と新語そして常語という多くのことばがどう生かされてきたのか文学資料・新聞、雑誌記事そして現代の国語辞書などへの影響をも見ていくことにある。ことばを常に意識していくことで、現実をもっともっと具現化できるに違いない。時には頭上高く舞い上がる鳥の日で見、ときには、地を這うような蟻の日で物事を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 編纂者大槻文彦と周囲の人々について
 - ② 辞書編纂における意図するところとは
 - ③ 辞書の凡例内容を分析する
 - ④ 見出し語項目別によることばの数量的統計化について
 - ⑤ 意義分類項目別によるおのおのことばの意味記述の特徴について
 - ⑥ 逆引きによることばの理解とその検索方法
 - ⑦ 品詞別項目によることばの意味理解とコード化分類
 - ⑧ シソーラス形式による類義語の効用
 - ⑨ 異名・別名・別称の記述の有無
 - ⑩ ことばの語源探求は、如何に解明されてきているか？
 - ⑪ 引用用例と典拠とした書籍について
 - ⑫ 『大言海』引用の研究論文資料の確認
- 以上、12項目について検討を重ねていく。

[検討作業にともなう計画表案]

- 4月 受講手続き確認
- 5月12日 受講再確認とカード表の入力締め切り
本格的に作業確立のための資料準備
分析「ことば」に基づく旅立ち調査とその方法
(夏休みを大いに利用しよう)
- 9月下旬 調査結果の報告書の作成
- 10月以降 結果報告を公開発表
- 1月 評価決定

成績評価の方法

月毎に辞書収載のことばを選択し、上記項目を常にふまえる形で提出発表していく。個人が分析することばの数を100語として、一語ずつ評価する。

教科書

私家版『大言海』〈情報言語学研究室「テキストデータ」にて公開中。FD 4枚程度 URL <http://www.komazawa.com/hagi>〉を使用する。

参考書等

大槻文彦『大言海』初版から現代版まで(富山房)他国語辞書。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	佐 原 作 美	短国2選必	2

講義のねらい

平安朝の前期に成立し、わが国の仏教説話集の祖とされる『日本霊異記』をもとに演習を行う。この作品は、上中下巻の三巻に116の説話を収めたものであるが、その思想的主張は序文に見られるように、仏教思想とくに因果応報の思想をもとにしての教化善導にあると言える。そこには当時の一般庶民が何に苦しみ悩み、何に光明を見出そうとしていたかなど、古代社会にあってその底辺にあった人々の心情や思想行動がよく描写されている。作品の読解をもとに、当時の社会状況や人々の心性を見ていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

科目の性格上、受講生による調査の発表を中心に進めることになる。具体的には、上中下の各巻ごとに、受講生が任意に担当する説話を選び、その調査をもとに口頭による発表とそれへの質疑応答をまじえながら授業を展開していきたい。

履修上の留意点

演習授業という点からどうしても受講生の発表が中心となるが、単に説話の内容やあらすじを知るだけに終らせず、作品や登場人物の背景となっている社会的時代的な状況をも視野に入れて、より多角的に理解を深めることが必要である。作中人物を追体験する程の気概を持ってのぞんでほしい。

成績評価の方法

成績は授業時の発表やレポートや出席状況(重視)などを見て評価する。

教科書

新潮日本古典集成『日本霊異記』(新潮社)2,200円

参考書等

授業の折に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	鈴 木 裕 子	短国2選必	2

講義のねらい

この演習の目的は、主として三つあります。まず、古典文学に親しむこと。次に、古典を正確に読む力を養うこと。そして、各自が自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

講義の内容・授業スケジュール

『伊勢物語』を読みます。歌物語とはいったいどのような作品なのか、和歌がどのように機能しているかなど考えながら、古典のおもしろさを味わえるようにしたいと思います。また、この作品が後世に及ぼした影響についても学習しましょう。

履修上の留意点

授業は受講生の分担報告を中心として進めます。担当者はもちろん、発表を聞く者も、積極的にテキストを読み、調査し、考えて授業に臨みましょう。

成績評価の方法

学年末に提出するレポート、授業中の発表内容・発言、出席状況(欠席・遅刻しないことは前提)などから総合的に行います。

教科書

『伊勢物語』校注古典叢書(明治書院)

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	岡 本 恭 子 <small>おか もと ゆきこ</small>	短国2選必	2

講義のねらい

『徒然草』作者を「吉田兼好」と呼んでいるが、こうした呼称は江戸時代になってからのものであるから、もし姓を付して呼ぶとすれば「卜部兼好」と言うべきであろう。その兼好が遁世した時期や原因については明確でない。兼好は、『徒然草』の中では冗舌であるが、自身の出家に関しては沈黙する。そのせいか、時代を越えて、個人の今、という立場によって、つまり作品に対する接近の仕方によって、いろんな相貌を見せるのである。ゆえに、ある時は叱咤される、あるときは生きる指針を与えてくれる書であるという如く感じとっているのが、『徒然草』である。たぐさんの未来をもつ学生たちに生きることの意味を、また生きる上でのヒントを与えられるか、それが楽しみである。

講義の内容・授業スケジュール

分担者による発表の場が設けられるということは、大学生として真に力つける場である。最終学年として、あるいは次のステップとなるように、手を抜かず勉強してほしい。

履修上の留意点

『徒然草』に関する研究図書は多いので、発表者は取り扱いやすいかも知れない。しかし、自分の発表する主題に添っての取捨選択は、自分の中でかなり消化していないとむづかしい。

成績評価の方法

授業の発表内容（資料作成も含む）・出席率・授業態度を含む総合点による。

教科書

『常緑本 徒然草』（大修館書店）930円

参考書等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	坂 口 博 規 <small>さか ぐち ひろ きた</small>	短国2選必	2

講義のねらい

鴨長明の歌論書『無名抄』を読む。当代の歌人たちのエピソードを中心に読み、あわせて長明の和歌観をさぐる。

講義の内容・授業スケジュール

開講の始めに鴨長明の伝記を『方丈記』に照らして概観し、主に歌人たちのエピソードを主とする話や歌論を受講者に分担して、本文読解を中心とした発表によって授業を進めてゆく。

履修上の留意点

演習につき各担当者の発表内容を中心として評価する。特に出席重視。

成績評価の方法

演習につき出席重視。レポートの発表内容をもって評価する。

教科書

菊池良一・村上光徳・坂口博規編『方丈記 無名抄』（双文社出版）1,800円

参考書等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	その 蘭 部 幹 生	短国2選必	2

講義のねらい

国文学における、代表的なジャンルの一つである説話文学を取り扱う。各自が、好きな説話を一話選び、1年間かけて、その話について、調査・研究し、演習形式で発表する。その実践を通じて、研究方法を身につけ、説話文学の本質を考えることを、目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期にそれぞれ1回ずつの発表があるが、それぞれ追加・訂正の発表をとまなうので、年間の発表回数は一人6～7回程度となる。

履修上の留意点

各自の調査・研究は当然のことであるが、他の受講生の発表に対して問題意識を持つことも、たいせつな学修の要件となる。なお、受講生がそれぞれ異なった説話を取り扱うので、具体的な研究方法については、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して助言する。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を30点満点で評価する。それ以上の成績を得たい場合は、レポートを提出する。定期試験を含めた筆記試験は一切行わない。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じて、そのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	せい だ けい こ	短国2選必	2

講義のねらい

一年次で習得した国文学研究方法を、さらに発展させ、同じ素材を別の作者・異なるジャンルで扱うとどのような作品になるか、比較しながらそれぞれの作品を評価していくという方法を試みたい。とりあえずは、西鶴と近松との作品で検討するが、その後の材料は参加者が自由に選んでかまわない。

講義の内容・授業スケジュール

西鶴の『好色五人女』・近松の世話浮瑠璃にとり上げられた[おなつ清十郎及びおさん茂兵衛]について論じてもらい、その後は参加者の提出する材料を全員で検討していきたい。

履修上の留意点

演習という科目の性質上、出席すること、論議に加わることが最重要になる。発表担当者の準備は当然だが、それをよく聞きとり、自分の意見を積極的に述べる姿勢が望ましい。

成績評価の方法

出席状況(三分の一以上の欠席は〈不可〉となる)及び、発表の内容、折々の宿題や夏期レポート等による。定期試験は行わない。

教科書

松崎仁・白石悌三編『西鶴と近松』(和泉書院)1,470円

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	こ ばやし 小 林 治	短国2選必	2

講義のねらい

安部公房、島尾敏雄、深沢七郎、加賀乙彦、村上龍、村上春樹などの第二次戦後派以降、現在に至るまでの作家の作品、あるいは上野英信などによるルポルタージュ文学作品を読み、戦後の日本文学の可能性と限界について考える。演習Ⅰからの積み重ねの科目として、個々に自分が文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むことを対象化して考えることを意識しながら、作品に向かってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導・助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講生は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をおつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどり着ければと考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

その他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国2選必	2

講義のねらい

マルチメディア時代における言語表現を、パフォーマンス論の立場から考える。パフォーマンスとは、狭義には演劇などの上演を意味するが、ここではより広く、ある表現者の作品が、それを鑑賞する者に届くまでの一連のプロセスとして定義する。作家という職業の人間が紙の上に文字を書き、出版社の手を経て、本という形態の作品が書店に並び、読者がそれを買って読む。それがいわゆる伝統的な文学のパフォーマンス形態であるが、現代生活における表現の場（すなわちメディア）は、実に多様な形態をとっている。そのプロセスにおいては、言葉を発した作者とそれを受取る者が「対」で向き合っているという幻想を抱くことは、もはや不可能に近い。しかし、いかにメディアの技術が発達しようとも、私たちは依然として言葉を使った表現から逃れることはできない。まずは私たちがどのようなメディアに囲まれ、それぞれのメディアにおいて言葉がどのように機能しているのかを考えてみることから出発しよう。

履修上の留意点

与えられた課題を機械的にこなすのではなく、各自がそれぞれの興味と関心をもとに、自分自身で課題を見つけ、それを順次発表する。演習形式の授業なので、各自が授業において積極的な表現を行うことが必要となる。

成績評価の方法

基本的に前・後期各1回の発表の内容によって評価する。

参考書等

文献については各自が発表の内容に応じて自分で探すことになるが、もちろんそのために必要な指導は行う。

その他

初回授業の開始時刻にいない場合、登録を許可しない可能性があるため、注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 語 演 習 II	かた 片 やま 山 はる 晴 かた 賢	短国2選必	2

講義のねらい

1年次に修得した国語・国文学研究法をさらに発展させるのために、各自が好む題材を選び研究を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

国語資料をもとに、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自からの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配付する。

参 考 書 等

授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語演習Ⅱ	はぎ 原 義 雄	短国2選必	2

講義のねらい

百科辞書『塵袋』(鎌倉時代)と『瑤囊鈔』(室町時代)を読む。前記書物の書写者印融上人は、神奈川県横浜市に縁ある関東輩出の高野山の学僧である。この資料は現在、上野国立博物館の所蔵するところであり、1998年印融上人展が、横浜市歴史資料館で催された折にも公開展示されている。現存する唯一の古写本である。しかし、時を隔てず数十年の間に、高野山の他学僧による書写本(零本)などが知られていることもあり、原本『塵袋』の存在を窺わず根拠にも成っている。この書の成立について、本文記載内容から考察し、以下の課題項目について言及してみる。そして、多くの時代性豊かなことばについて考えてみるのも妙趣を感得することでもある。古人の知的関心度は如何なる物事であり、これを読み解くことで、受講者お一人おひとりにして、何か人生の糧となることを期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①『塵袋』『瑤囊鈔』という百科辞書をみんなでもっと知ろう。
- ②書写者、印融上人って、どんな人？行譽という人物は？
- ③項目内容の目次作成って、どういう作業なの？
- ④ことばの作品は、なぜ近代まで作成されなかったの？
- ⑤書写表記する文字に、なぜカタカナと漢字が使用されているの？
- ⑥問答体による記述方法って、質問応答する人物は複数なの？
- ⑦鎌倉時代の知識者というのは、この内容をどう受容していったの？
- ⑧この資料の公開理会の度合いは、どの程度なの？
- ⑨この書籍を見た人って、どのような身分階層人なの？
- ⑩この書籍に引用されている内外の典籍って、どこからどのように入手し、その内容をどの程度で抄録したの？
- ⑪この書籍の文章を音読するとき、どう読むの？
- ⑫読めない文字漢字って、どんな漢字？筆法は？
- ⑬特徴のある古語・古句って、どんなふうに使っているの？
- ⑭回答内容は、当代にあって濫觴のある解釈表現からなっているの？
- ⑮この辞書を編集するに、どの程度の年月をかけて着想してなったの？
- ⑯後世、この書籍がどのように影響を及ぼしているの？
- ⑰この書籍と発想を同じくする内容の書籍は、他に知られていないの？
- ⑱現代人の目からみて、どんな事柄が役立つの？
- ⑲現代語訳するとしたら、どんなふうに表示できるの？
- ⑳この内容を一枚の絵として仕上げることができるのかな……。

[検討作業にともなう計画表案]

- 4月 受講手続きと確認
- 5月12日 受講再確認とカード表の入力締め切り
本格的に作業確立のための資料準備
分析「ことば」に基づく調査とその方法
(夏休みに展示資料館を見に行こう)
- 9月下旬 調査結果の報告書の作成
- 10月以降 結果報告を公開発表
- 1月 評価決定

成績評価の方法

月毎に辞書収載のことばを選択し、上記項目を常にふまえた上で、提出発表していく。個人が年間分析する事柄の数を35問答として、一問答ずつを単位として評価する。

教科書

私家版『塵袋』(情報言語学研究室“テキストデータ”にて公開予定。FD2枚程度 URL <http://user.komazawa.com/hagi>)を使用する。

参考書等

- 山崎 誠編『塵袋』の研究(勉誠社刊)。
- 佐竹昭広編『瑤囊鈔』(臨川書店刊)。
- 原装影印版 増補 古辞書叢刊『瑤囊鈔』(大東急記念文庫蔵・雄松堂出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学史	佐原作美	短国1・2選	4

講義のねらい

無文字時代の文学のありようから、文字を得て記録され、今日にまで継承されて来た飛鳥奈良時代の文学作品を中心に平安初期頃までの文学の流れを、史的背景をふまえながら考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話を豊富に含む『古事記』や『日本書紀』や『風土記』などの散文文学をはじめ、『万葉集』や漢詩集などの韻文文学など、それぞれの作品の一端にふれながら、上代文学のおもしろさを発掘していきたい。

履修上の留意点

教科書に載っている例文や、配布されるであろうプリントの他に、上記の作品を積極的に読んで欲しいと思う。

成績評価の方法

課題のレポートや定期試験その他出席状況（重視）などを見て評価する。

教科書

山岸徳平編『作品中心 日本文学史』（新典社）1,030円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学史	鈴木裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

古代後期（平安時代を中心として）の文学史を学びます。漢詩や和歌、物語や日記などの文学作品にはどのようなものがあるか、なぜそれらが千年もの時を超えて現代にまで読みつがれて来たのか、文学史に〈女性〉が果たしてきた役割とは何なのかなど一緒に考えてみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

韻文・散文ともに実際に作品の一節を読みながら、それぞれの作品の特色や時代の思潮を理解し、古典文学に親しむ契機となるようにします。授業は教科書のほかにプリント教材を配布し、それらを用いての講義が中心となります。また、変体仮名を読む機会も設ける予定。

履修上の留意点

教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文や短い発表などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

神作光一編『中古文学研究』（双文社出版）

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学史	岡本 恭子 <small>おがもとゆきこ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

日本文学とは何か。それを説明する方法の一つに文学史がある。これは日本文学の全体を歴史的展開の軌道に乗せながら、作品・作者・思想などを考えもので、日本文学の全貌を理解する有力な方法の一つである。

ここでは中世期という範囲を設けてはいるが、いうまでもなく前時代の、そして次代への影響についても考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 和歌伝統の回復と衰退について
- ② 新しい詩の創造(連歌)について
- ③ 擬古物語と歴史物語について
- ④ 短篇小説への移行について
- ⑤ 説話集の盛行について
- ⑥ 禅僧たちの文学について
- ⑦ 叙事詩文学世界の展開(軍記もの)について
- ⑧ 自照文学について
- ⑨ 芸能と文学について

履修上の留意点

教科書を用いないが、プリントにて参考資料を配布する。ただし、これはあくまでも「参考資料」であって、主たる資料とはならないので、個々で調べて勉強しなければならない。

成績評価の方法

前期、後期に分けて行う予定であるが、授業の状態によって変更する。また出席状況も評価点に加味する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学史	清田 啓子 <small>せいだけいこ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

近世(江戸時代)の文学の流れを通観する。江戸時代は、庶民が力を発揮できた時代であると同時に、政治的束縛も各分野に及ぼされた。そのような中で、文学を志した人々のあり方はどんなものであったか、どういう作品が生まれ出されたかを探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書とする『近世文学史』には、作品もかなり掲載されているので、なるべく丁寧に作品の意義を見きわめつつ、近世初期から末期までの変遷を辿ることになる。

履修上の留意点

文学とは何か、を、常に念頭においてほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、夏期レポート、折々の提出物等による。

教科書

佐藤毅他編『近世文学史』(双文社出版) 1,800円

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学史	井上優 <small>いのうえまさる</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

「文学史」という言葉を聞くと、どのようなことを思い浮かべるだろうか。たとえば、中学高校時代の国語の試験問題や、大学入試の問題に出題された、有名な作者や重要とされる作品、その文学上の主義に関する事項、あるいはそのためにそれらをやみくもに暗記させられた記憶などであろうか。「文学史」とは何かと問われると、文学の生成発展の歴史を記したものとすぐに答えなくなるだろう。しかし「文学史」も、ひとつの歴史記述として作成されたものである以上、そこに描かれているものは、文学現象として生じたありとあらゆる事実を無私な立場から客観的に、ありのままに復元したものではあり得ない。国語の授業時間や試験の際に覚えたあの傑作とされる作品名やそれを書いた著者名の羅列は、ある立場からの選択と分類によるものにはかならず、そうした「文学史」の記述からこぼれ落ちている数多くの作品や作者が存在していたことはいうまでもない。たとえば、ある「文学史」と銘打たれた書物に取り上げている特定の時期について、当時の雑誌などに掲載されている文壇月評の類いを実際に手にとって見れば、従来の「文学史」が整理し記述している文学的事象との間にさまざまな相異が発見できることになる。クレマン・モワザンは、「文学史は、作品の〈出版〉と同じプロセスによっている。そのプロセスから、選択と組織化のモードに従ってひとつの言説が構成されるのであるが、その言説の主たる特徴は価値づけにある」。「この価値づけは、視点の取りかたとそこから生ずる価値判断に依拠する。文学史が差異や差別によって根拠を示したものを、教育機関が承認して公的なものとする。こうして、過去へとさかのぼって、文学作品として指定されたものが、教育という価値づけの装置によって固定化される」(『文学史再考』)と指摘している。多くの国語教科書に採用され、全国の生徒たちに教授される安定教材のように、えてして、「文学史」は教育と連動する形で、ある作品の正典化を行うと共に、そこに定められた規範や価値観を生徒達が受け入れさせられることに帰結する。だからまず、わたしたちは、教育現場で「文学史」が教授されるとはいかなることかを問いかけなければならない。そしてそのうえで、文学作品を規制し意味を付与している規範、コード、文体やジャンル、そして文学生産物の市場とその流通、消費の過程と場、あるいは発表された作品を読む当時の読者の「期待の地平」と作品との関わりなど、文学現象の広く総体的な目配りのもとで、近代文学を再考することが目標となるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では明治大正期の文学的事象について探って行く。文芸思潮の紹介とそれに付随する作品の列挙に終始することは避け、いくつかの作品を個々に具体的に読解しながら、近代文学として出来たことは何かを見極めることに努めたい。「文学」論であると同時に、最終的には「文学史」のディスクールの構成規則を明らかにする「文学史」論にいたることを目標とした。

履修上の留意点

数々の作品を抜粋に頼らず粘り強く読んで行くことになるし、実際に受講学生が図書館等で当時の新聞雑誌を調査分析し、今日流布している文学史書の記載と比較検討する作業も要請されることにもなるうかと思われるので、作品を準備もせず漫然と出席するだけの学生ではない、意欲的に学ぼうとする人たちの受講を希望する。

成績評価の方法

学年末に教場試験を行う予定だが、折々小課題も課す。なお、そうした素点のみならず、出欠状況や授業態度なども総合して評価したい。

教科書

特定の文学史の教科書は指定しないが、扱う作品は授業で指示し、各自文庫本などで用意し、あらかじめ読んだうえで臨むこと。

参考書等

授業の中でその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学史	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい	現代日本文学の流れを概観しつつ、時代との関わりの中で生成される作品の系譜を考える。現代の起点を関東大震災のあった大正12(1923)年前後に置き、以降、昭和の終り(1988)まで見ていくことになる。
講義の内容・授業スケジュール	前期は総論と昭和20年の敗戦までを、後期にそれ以後を取り上げる予定。
履修上の留意点	授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しくふれる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。
成績評価の方法	定期試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。
教科書	三好行雄編『近代文学史必携』(学燈社-別冊國文學-) 1,000円
参考書等	『時代別日本文学史事典(現代編)』(東京堂出版) 6,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学を読むⅡ	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい	授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝(629-641)の頃から奈良朝の天平宝字3年(759)までの約120年間の和歌約4,500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人である山上憶良の作品を中心に、他の歌人の作品とを比較しながら、講読していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。
成績評価の方法	レポートや出席状況(重視)をもって評価する。
教科書	土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう(桜楓社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学を読むⅡ	すずき 鈴木 裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者の一人一人に答を見付けてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

今年は、真木柱の巻から読みます。六条院の栄華を誇る権力者光源氏の保護を受け、華やかな生活の中で玉鬘の苦悩は続きます。父の期待を裏切らない息子夕霧の成長ぶりや、六条院世界における紫の上の位置も気になるところです。

履修上の留意点

授業は主としてテキストを用いての講義形式です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

学年末に提出するレポートの他、授業態度・課題などから総合的にを行います。

教科書

『源氏物語四』新潮日本古典集成（新潮社）

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学を読むⅡ	さか 坂口 博規	短国1・2選	4

講義のねらい

鎌倉時代後期、後深草上皇の後宮に生きた二条という女性の回想の記『とはすがたり』を読む。上皇の寵愛を受けながら、同時に作中「雪の曙」と称される人物、「有明の月」と称される上皇弟（法親王）の二人の男性から愛され交渉を持つ上での苦悩の告白を中心に読みすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

全五巻の作品のうち巻三までの、三人の男性との交渉を中心として読む。初め、本作品が女性の手になる回想の記として、その自照精神が平安時代とは自から違う特質を考えてゆく。当時の宮廷社会の頹廢的な風潮の中での大胆な愛憎体験の告白を読み、後に西行法師を理想に仰ぎ出家した作者の諸因修行の姿の意味するところまで考えてみたい。

履修上の留意点

全巻通読が叶わないので、要所を選び読み進める上では、是非授業で取り挙げない本文箇所は自ら読んで欲しい。

成績評価の方法

定期試験の成績を基に、出席状況を加えて評価する。授業の際課題を与えて各自の理解を問うことも考えている。

教科書

福田秀一校注『とはすがたり』（新潮社刊）2,270円

参考書等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学を読むⅡ	越後敬子	短国1・2選	4

講義のねらい

西鶴の『西鶴諸国ばなし』は、貞享二(1685)年に刊行された浮世草子で、その内容は諸国の怪異奇談集である。本書を注釈・読解することにより、作品の特質と問題点を明らかにし、また近世文学の特色について触れることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義
西鶴について
『西鶴諸国ばなし』について
2. 演習
『西鶴諸国ばなし』の注釈と読解

履修上の留意点

毎回必ず出席の確認を行い、年間授業回数数の三分の一以上欠席した者は失格とする。

成績評価の方法

期末試験と担当発表の内容に平常点(出席、授業への貢献度)を加味する。

教科書

江本裕編『西鶴諸国ばなし(翻刻)』(おうふう)2,400円

参考書等

『好色二代男・西鶴諸国ばなし・本朝二十不孝』(新日本古典文学大系、岩波書店)、『西鶴諸国ばなし』(日本古典文学全集、小学館)、『西鶴諸国ばなし』(対訳西鶴全集5、明治書院)等、その他授業時に紹介する。

その他

はじめの数回は講義形式で西鶴や『西鶴諸国ばなし』についての解説を行い、その後は履修者が一話ずつ担当し、演習形式で発表してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学を読むⅡ	笹瀬王子	短国1・2選	4

講義のねらい

「貧血した日本近代文学の砂漠の中に、咲きつづける牡丹園をひらいた」と三島由紀夫によって評された泉鏡花の文学を一年間かけて味読する。現代においては、ともすれば軽視されがちな言葉の重さ、表現することの意味をその文学から学び取りたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、鏡花文学の特色がよく出ていると思われる短編小説を中心にその作品を可能な限り数多く取り上げ、詳細な検討を加える。特に作者特有の表現や語法に着目し、作品毎の丁寧な読みを心がけることとする。あくまでも基礎的な読解力を養うことに主眼を置き、その上で日本の近代文学における鏡花文学の特質や意義を考える。

履修上の留意点

受講者は、講義で扱う作品をあらかじめ熟読し、常に自分なりの問題意識をもつてのぞんでもらいたい。

成績評価の方法

レポート、試験(年度末を予定)、平常点(質疑応答、出欠等)を総合的に判断して評価を出す。

教科書

『外科室・海城発電他五篇』(岩波文庫)560円
『鏡花短篇集』(岩波文庫)560円
その他、補助教材として適宜プリントを配布する。

参考書等

講義の際、必要に応じて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代文学を読むⅡ	<small>なが</small> の <small>ひろ</small> 永野宏志	短国1・2選	4

講義のねらい

現代小説の中で、現在も幅広く読まれるミステリー小説について考えたい。このジャンルの登場は、19世紀の鉄道の敷設と写真の発明と同時期であり、メディアやテクノロジーの発達と切り離すことはできない。それゆえ、19世紀から20世紀にかけて急速に展開する写真、電信電話、映画(サイレントからトーキー、モノクロからカラー)、ラジオ、レコード、TV、コンピュータ等のメディア・テクノロジーの変容を軸に、探偵小説からスパイ小説へ、サイキックなあるいはSF的な幻想を加味したミステリーへ変容するこのジャンルを追いながら、都市化と大衆文化を可能にした20世紀を、21世紀のはじまりにあたってあらためて考え直そうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、戦前の日本の探偵小説の牙城『新青年』で活躍した江戸川乱歩を中心に、夢野久作、小栗虫太郎、九生十蘭について、後期は、多様化する探偵小説の状況を、横溝正史、安部公房を中心にして、現在も活躍中の荒俣宏、京極夏彦まで取り上げてみようと考えている(戦後ミステリー作家は時代物、SFと多岐にわたるので、幾人が新たに付け加わる場合もある)。

履修上の留意点

この講義から一人でも将来のミステリー作家が羽ばたいて欲しいともくろんでいる。それゆえ、熱心な受講者を歓迎したい。

成績評価の方法

成績は月の一度のレポート提出と、前後期計2回の教場試験を参考にする。

教科書

教科書は、前期は『江戸川乱歩全短編』全3巻(ちくま文庫)計3,600円、その他必要なテキストは後期のものも含め、追って指示する(なるべく文庫でかつ現在購入可能なものを選ぶつもりである)。

参考書等

参考書は松山巖『乱歩と東京』(ちくま学芸文庫)が講義の指針となる。

その他

可能ならば、毎回、映像を交え、講義する形式で行ないたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 献 資 料 を 読 む	はぎ 菫 ほら 原 よし 義 お 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

「文化資源」として、この地球上に刻まれた文字言語資料は、数知れない。時には金石文・鉄剣・木簡・竹簡・紙（和紙・洋紙）と様々なところに記録されてきた。これらのうち、我が邦の文献資料として、東洋（中国）の漢字資料を見事に取り込み、そこからこの風土に見合った形態に置換し発展させた仮名と真字による文化融合利用の適合性。漢字仮名混じり文が織り成す文化土壌を知り、少しく見つけ直すことで、日本語の文化資源を学習してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 文字との出会い
- 2 日記・記録類と説話資料『今昔物語集』を探る
正倉院文書・木簡にみる日常語文・六国史の世界・文字（かな・カナ・異体字）
- 3 公家文書と武家文書そして寺社文書（表白）
- 4 書簡文書の作法 往来物・消息など
- 5 法制にみる文献資料 滝沢馬琴編、読本『青砥藤綱模稜案』
- 6 寺小屋の教科書を読む
- 7 事件文書を追う瓦版から新聞へ
- 8 速記・講演記録

履修上の留意点

日本語で刻まれた多種多様の文化情報資源でもある古代から近代にわたる文献資料を正確に読みとる力を身につけることを第一義の目的とした。見る・読む・わかるといった個人レベルの次元から一步を踏み出し、異文化領域からの疑問、なぜそう読むの？いつどのように用いるようになったの？どこに行けばもっと詳しいことがわかるの？などといった実用質問に自信をもって対応できる日本語文化資源情報能力を養うことを目的とする。

必要な資料は、その多くをネット公開資料を随時活用、利用し、毎回それぞれの課題を提示し、考察を深めていくことになる。

参 考 書 等

- 橋本進吉『古代国語の音韻に就いて』（岩波文庫）1980年
 大野 晋『日本語をさかのぼる』（岩波新書）1974年
 岸 俊男『ことばと文字』（『日本の古代』14）（中央公論社）1988年
 小松茂美『かな-その成立と変遷』（岩波新書）1968年
 小松茂美『手紙の歴史』（岩波新書）1976年
 『日本国語大辞典』全20巻（小学館）1976年→改編第二版随時参照2000年11月～2001年11月

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 典 講 読	<small>せい だ けい こ</small> 清 田 啓 子	短国1・2選	4

講義のねらい

科目名に示される通り、原典を読みこなすことを第一の目的とする。今年度は原典を江戸時代の版本とする。文字を読みこなし、内容を理解して、近世期の人々の読書を追体験してみよう。

講義の内容・授業スケジュール

原典としてとり上げる書物は、文学書・教養書その他さまざまになる予定。古い書体に慣れるため、低年齢向きの材料から始めたい。

履修上の留意点

資料に早くなじむためには出席が不可欠。受講者の選択する資料の読解にも応じたいので、意欲的な参加を望む。

成績評価の方法

時間内の作業や質疑・時々の宿題や小テストその他を総合的に考える。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

「変体仮名の手引」として、各自が使いやすいもの。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学	<small>かた やま はる かた</small> 片 山 晴 賢	短国1・2選	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声／音韻・文字・語彙の各方面から概説します。なお、概要は次の通りです。

- ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか
どのように声を作っているのか
音声をどのように表記するのか
アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
仮名遣いの諸問題
- ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教 科 書

適宜プリントを配布します。
春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参 考 書 等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	ほご 菫 はら 原 よし 義 お 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼でしかと見据えていくことを目的とする。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となる。そしてどう時代区分されているのかを知らねばなるまい。そのうえで、将来どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|----------------------------|---------------|
| ①国語資料の領域とその分野別区分を学ぼう。 | 計画案
[4、5月] |
| ②古代語の新発見とその資料。 | [6、7月] |
| ③50音図といろはうたの文化。 | [9月] |
| ④古典語に見る内と外 | [10月] |
| ⑤近代語としての口語(方言資料も含む)と文書語。 | [11月] |
| ⑥異国からみた日本語とは、どのような言語だったのか? | [12月] |

成績評価の方法

上記6つごとの課題提示の回答に従って評価する。

教科書

インターネットにテキスト資料“国語史”を公開する。[URL <http://user.komazawa.com/hagi>]

参考書等

『講座国語史』第1巻から第6巻(大修館)
『日本語の歴史』全7巻(平凡社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語文法	かた 片 やま 山 はる 晴 かた 賢	13以降入学生/短国1・2選	4
古典文法		12以前入学生/短国1必	

講義のねらい

古典読解に役立つ文法理論を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本語の特質・文法学説史の講義を中心として、後期は古典語の助詞・助動詞を中心とした授業となる。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、毎時間『古語辞典』を持参すること。

成績評価の方法

出席状況・定期試験・小テストをもとに総合的に評価する。

教科書

『国文法要説』文語篇(おうふう)1,500円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 言 語 学	前期：萩原義雄 後期：片山晴賢	短国1・2選	4

講義のねらい

「電腦国文学」ということばをあなたは理解できますか。まさに電腦システムに基づく国語・国文学研究をめざします。ネット上には、電子テキスト、写本原画像、はたまた学術研究者の公開論文など多種多様な研究すべき素材とテーマがそれぞれのホームページに常時拡張しつづけています。これらのデータをパーソナル・コンピュータという電子の道具をもって利用し、かつ自身がかつとも必要とする情報収集・整理そして自らのレポート・論文作成まで学習していくものとなります。前期で基礎編、後期で応用編を学習していきます。

 講義の内容・
授業スケジュール

基礎編

I 情報収集

- ①URLの仕組み
- ②ブラウザの基本操作
- ③検索の方法
- ④役立つ情報資料
- ⑤周縁圏のガイドライン情報
- ⑥新聞記事を検索で読む
- ⑦展示会・催し物などの情報へのアクセス
- ⑧旅宿・地図・時刻表を読む
- ⑨就職情報へのアクセス
- ⑩ネット交流・メール送受信・掲示板。著作権など

II 情報整理

- ①エディタとワープロ(利便な機能習得)
- ②データベース(基礎データ作成)

応用編

発表用資料の組み立てを知ろう

自分の研究資料に基づく固有辞書の登録(歴史的假名遣い入力など)

漢字(旧漢字や難字・難読漢字をどう理解し、どう活かすか)

電子データのレポート原稿作成

漢字索引・假名索引の製作

教 科 書

《前期分》

漢字文献情報処理研究会編『電腦国文学』CD-ROM付(好文出版)3,200円+税

《後期分》

講義の際、追って指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語教育	おくはらじゅんこ 奥原淳子	短国1・2選	4

講義のねらい

目的は、「日本語を客観的に分析する態度を養うこと」にあります。
 国語教育が、幼い頃から自然に身に付けた言語知識を基に学んでいくのに対して、本講義は、無意識に学んだ日本語を外国語としての日本語という視点から、その規則や表現の奥に隠された日本人の思考を意識化し、さらに、それを教育という視点から捉えなおすものです。

例えば、「書く」という動詞が「五段活用」であることは、「-ない」に接続させ、「あ段」に活用することから判断します。しかし、それは私たちが「書かない」と言う言葉を知っているから分類できることです。「書かない」という言葉を知らない人(日本語を母語としない人)は、どうやって「書かない」を生み出すのでしょうか。また、「食べる」から「食べない」を生み出すのでしょうか。

本講義では、日本語を外国語としての日本語として位置付け、日本語の特徴と、日本語を母語としない人たちが何をどうやって習得していくのか、その具体的な方法や直面する問題をさぐり、さらに、日本語や日本文化の持っている特性を明らかにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本語が学ばれている現状を日本国内外から概観します。次に、日本語の特徴を、音声・文法・文字・語彙などから見ていきます。そして、「日本語を教える」ということがどういうことなのか、教授法や教材を紹介していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとりたいと思います。従って、受身でなく、自ら調べ、分析するという態度で臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度・試験

教科書・参考書等

開講時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
異文化コミュニケーション	おく ほん じゆん こと 奥 原 淳 子	短国1・2選	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。
「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。
近年、国際化がますます進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況にあつて、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。
しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、以下の問題について考えていきます。

- ・「異文化」、「異文化コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・文化摩擦はどうして起こるのか。
- ・言語や非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・日本文化や日本語にはどんな特徴があるのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとりたひと思ひます。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従つて、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持つて授業に臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度・試験

教科書・参考書等

開講時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国文学講読	清水 浩子	短国1・2選	4

講義のねらい	『唐宋八家文』、『白氏文集』、唐詩を学ぶことによって漢文に親しみ、中国の文学への理解を深め、平安文学への影響を考える。
成績評価の方法	年間数回の試験と授業中の発言によって判定を行う。
教科書	中村璋八編『中国思想文学通史』(明治書院)及びプリント

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国文学史	清水 浩子	短国1・2選	4

講義のねらい	中国文学史を通史として学ぶことにより、中国への理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	各時代を2～3時間で学んでいく。できるだけ作品も読みたい。作品は教授者がコピーを用意するが、時には各自に紹介してもらうこともある。
履修上の留意点	意欲を持って受講して欲しい。
教科書	佐藤一郎著『中国文学史』(慶應義塾大学通信教育部)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
和 歌 文 学 I	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国1・2選	4

講義のねらい

鎌倉時代初期に成立した私家集『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛女徳子（安徳天皇母）の宮廷に女房として仕えた、右京大夫と称された女性の個人歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体ほぼ年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学としての自照精神を問うことも出来る。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死別を体験し、その追想の日々を過ごす。その動乱期の戦乱に運命を翻弄された作者の人生を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時、和歌文学の流れを通観し、また女性の手になる自照文学の流れを概説したい。作者はまた一時似絵（肖像画）の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋も体験する。授業では、資盛・隆信二人の男性との交渉時に詠まれた歌を中心に作品を読み進めていく。講読とは違い作品研究という形で本文を読解する。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績をもとに評価する。

教 科 書

糸賀きみ江校注『建礼門院右京大夫集』（新潮社）1,940円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物 語 文 学 III	すず き ひろ こ 鈴 木 裕 子	短国1・2選	4

講義のねらい

『源氏物語』第三部の世界を考察します。光源氏という英雄が不在となった第三部は、第一部・第二部世界を縛っていた王権や家の意思や予言といった強力な呪縛から比較的自由な物語世界と言えるでしょう。とくに宇治十帖に描かれた人間の生の問題に、現代を生きる私たちにも通じる問題意識を探ってみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

今年は浮舟物語について、特に和歌の問題を中心に検討します。まず、『源氏物語』三部構成説についての概説、第二部世界から第三部世界に繋がる問題の所在、匂宮三帖についての解説から始めます。

授業はテキストを用いての講義形式が中心です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教 科 書

角川文庫『源氏物語』第十巻（角川書店）

参 考 書 等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物語文学Ⅳ	その べ みき お 菌 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい	物語文学のなかから、『堤中納言物語』をとりあげる。この作品は、「花桜折る少将」「このつゝめで」「虫めづる姫君」「ほどほどの懸想」「逢坂越えぬ権中納言」「貝あはせ」「思はぬ方にとまりする少将」「はなだの女御」「はいずみ」「よしなしごと」といった十の短編からなる。これらを、できるだけ多く講読していきたい。また、『源氏物語』以降の作り物語の展開にも触れ、物語文学の享受の面から、物語文学の特質にも言及したい。
講義の内容・授業スケジュール	年間を通じて『堤中納言物語』を講読する。
履修上の留意点	毎時間、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	毎時間に提出する意見文で50点分を評価し、12月の時間内に50点満点の筆記試験を行なう。試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込んで参照してよい。なお、1月の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートに関する連絡(該当者・テーマ・提出期限など)をするので、必ず出席すること。
教科書	伊藤博編『堤中納言物語』(おうふう)1,400円
参考書等	必要に応じて、授業時間内にそのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
説話文学Ⅱ	その べ みき お 菌 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい	説話文学のなかで代表的な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらとの比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、家集・歌学書・物語・歴史書・日記等々、あらゆるジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の特質も浮き彫りにしてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、『宇治拾遺物語』の編者を明らかにすることを中心に講義する。後期は、『宇治拾遺物語』の編者の視点から見て、そこに収められた説話をどのように読むとよいかを中心に講義する。
履修上の留意点	前期の講義内容は、昨年度の「説話文学」の講座における前期の講義内容と重複する部分が多いので、昨年度に「説話文学」を履修した学生は、このことを承知のうえで履修すること(後期は扱う話がまったく異なる)。また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持って授業に臨むこと。
成績評価の方法	毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込んで参照してよい。ただし、受講者が極端に少ない場合はレポートに切り替える)。なお、1月の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートに関する連絡を行うので、必ず出席すること。
教科書	中島悦次校注『宇治拾遺物語』(角川文庫)
参考書等	『駒澤短大国文』31号

科目名	担当者名	配当学科	単位
日記文学Ⅰ	おかもとゆきこ 岡本恭子	短国1・2選	4

講義のねらい

日記を付ける、日記を書く、この両者の意味は同じなのか同じでないのか。日記と日記文学の共通性と非共通性について。真名と仮名、男性と女性の、日記の関り合いについて考えることとする。

ここでは主として仮名日記を扱うが、時代を越えて女性の生きざまを学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 日記と日記文学について
- ② 仮名日記誕生の歴史的背景(中古)
- ③ 仮名日記誕生の歴史的背景(中世)
- ④ 仮名日記と歌集について

履修上の留意点

上記の講義の内容・授業スケジュールを簡略に記したが、この中身は多様な問題を有する。それらを学ぶための拠り所として、下記の教科書を教材として用いるが、重要と思われる問題のある場合は、その都度プリントを配布する。ただし、試験はそのいずれも必要とするので、よく承知しておくこと。

成績評価の方法

前期・後期に分けて行いたいと考えている。出席の有無は考慮する。

教科書

藤岡忠美編『王朝日記選』(和泉書院)1,400円

参考書等

授業の中で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史文学Ⅱ	そのべみまお 園部幹生	短国1・2選	4

講義のねらい

歴史文学のなかで、代表的な歴史物語である『大鏡』を取り扱う。昨年度の「歴史文学」の講座のなかで、『大鏡』を読み、序文と兼家伝、および、その関連作品を取り扱ったので、今年度は、兼家伝の続きに当たる道隆伝を講読する。ただし、道隆伝の他に、『栄花物語』のような関連のある歴史物語や、日記・説話の類も読むことになる。それらを通じて、歴史の事象を多面的に捉え、立場による視点の違いを知ること、文学についての理解を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通して『大鏡』道隆伝や関連作品を読み進める。

履修上の留意点

毎時間、授業の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文によって50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の試験を行なう。試験には、ノート・テキスト・参考書・辞書など、何でも持ち込んで参照してよい。なお、1月の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡(該当者・テーマ・提出期限など)を行なうので、必ず出席すること。

教科書

『大鏡』の全文が載っているものであれば、何でもよい。むしろ、各受講者が異なる出版社の『大鏡』を持って授業に臨み、比較・検討できれば、その方がよい。

参考書等

必要に応じて、授業時間内にそのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
連歌・俳諧Ⅱ	越 <small>えち</small> 後 <small>ご</small> 敬 <small>けい</small> 子 <small>こ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

元禄二(1689)年に「おくのほそ道」の旅を終えた芭蕉は、翌三年、四年としばらく各地を転々とする。そのような漂泊の旅の中で企画・編集の進められた『猿蓑』は、蕉風俳諧のあり方を明確に示した撰集であるといわれている。本書にはこれまでいくつかの注釈書が刊行されているので、それらを参考に各句を鑑賞し、蕉風俳諧の魅力に触れてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 講義
芭蕉について
『猿蓑』について
2. 演習
『猿蓑』各句の注釈と鑑賞

履修上の留意点

毎回必ず出席の確認を行い、年間授業回数の三分の一以上欠席した者は失格とする。

成績評価の方法

期末試験と担当発表の内容に平常点(出席、授業への貢献度)を加味する。

教科書

前田利治解説『猿蓑』(勉誠社)1,500円

参考書等

『芭蕉七部集』(新日本古典文学大系、岩波書店)、幸田露伴『評釈猿蓑』(岩波書店)、萩野清『猿蓑俳句研究』(赤尾照文堂)、森田蘭『猿蓑発句鑑賞』(永田書房)、堀切実編注『蕉門名家句選』等、その他授業時に紹介する。

その他

はじめの数回は講義形式で芭蕉や『猿蓑』についての解説を行い、その後は履修者が一句もしくは数句ずつ担当し、演習形式で発表してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近・現代詩Ⅰ	井上優 <small>いのうえ まさる</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

私たちはよく、「文学的」であるとかないとかいおうとして、それと同様の意味で「詩的」であるとかないとかいふことがある。現代、文学ジャンルの中で詩歌は小説などの散文に比較して隅のほうに追いやられている気味がある。特に若い世代にとって、実際詩を朗読したり、あるいは実作したりするということはそう多くないだろうし、例えば高等学校までの国語の授業を振り返ってみても、詩が取り上げられたのは年に一二度であったろう。にもかかわらず、私たちは「文学的」という趣味の範囲を「詩的」という言葉で覆うように想定している日常がある。ところで、ロシア・フォルマリズムの一人ヴィクトル・シクロフスキーが、「日常的に見慣れた事物を奇異なものとして表現する《非日常化》の方法が芸術の方法である」といった(『散文の理論』)ことはよく知られている。このいいかたを文学に引き付けていけば、「文学」と「非文学」との違いは、「文学」とは日常の見慣れ使い古された言葉を《非日常化》したものであるということになる。こういうとなんとなく分かったような気もしてしまうが、「非文学」とされる日常語自体が性別、出身地、現住地、階層、宗教、職業などによって人それぞれ多様であり、皆が皆同じ日常語を共有していると考えるのは幻想であって、「文学的言語」、「詩的言語」が何であるのかは容易に括ってしまえない。だが、そうであっても、いやそうであるからこそ、詩とは何か、詩の言語とは何かを問いかけて行くことは、文学やそれを取り巻く環境を考え直して行くうえで、大切なことであるのだ。この授業では、明治期以降に発表された詩作品を、形式、モチーフ、イメージなど様々な点から考察を加えて行くことを通して、詩的言語の持つ魅力や問題を見つめてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず始めに現代の文学理論の極めて初歩的な事柄について概観する。詩を読むうえで現代文学理論を踏まえることで何が可能となるのか、いくつかの理論の中で、ある理論に立つと詩作品から何が見え、また同時に何が見えないままになってしまうのか、言語や記号への考察を含め、最初にアプローチの手掛かりを求めることにしたい。その後、実際に詩作品の考察を試みるが、詩ジャンルに自閉せず、広く同時代の散文作品や、童話、唱歌、流行唄なども視野に入れ、交響させつつ味わって行きたい。また聴講者それぞれが街へ出て、自らが触れる言葉を拾い集め、実際に詩を作ったり、それを相互に鑑賞しあったりする機会も設けられればと思う。

履修上の留意点

授業で取り上げる作品は各自文庫本を入手したり、配布されたプリントを使ってあらかじめ読んでから出席することが絶対に要求される。読まぬままの学生、および用意してくるよう指示されたものを持参せずに来た学生は出席とは見なさないので、注意すること。

成績評価の方法

学年末に教場での試験を行おうと思うが、ふだんの授業のおりにも何らかの小課題を提出してもらうことも考えている。出席状況や授業中の姿勢も考慮して、多面的に評価したい。

教科書

授業の中で、その都度指示する。

参考書等

授業の中で、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童文学Ⅱ	よし だ もり お 雄 吉 田 司 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

本年度は現在活躍中の児童文学作家の作品を読みながら、併せて実際に童話の創作にチャレンジしてもらおうと考えている。現代の児童文学は多様な試みと可能性をみせているにもかかわらず、それらに触れることなく、固定的な「子供」や「童話」のイメージに囚われている人は多いように思う。自らの思い込みを問い直すきっかけになってほしいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

まずは実際に童話を書いてもらう。次に現代児童文学の作品を読んでみる。そのうえで子供のために書くとはどういうことなのか考えてゆく。こうした書くことと読むこととの往還が授業の中心となる。取り上げる作家は、那須正幹、森忠明、村中季衣、岩瀬成子、上野瞭など。

履修上の留意点

子供のための文学を取り上げるからと言って、授業自体がやさしい訳ではない。また、子供のための童話だからと言って、誰でも簡単に書けるものでもない。何でも見てやろう読んでやろう書いてやろうという、旺盛な好奇心と読書意欲とチャレンジ精神をもって授業に臨むこと。

成績評価の方法

未定。例年は試験を行わず、数回の読書レポートと学年末に提出してもらった創作または児童文学に関する批評で成績評価をした。しかし今年は、創作の習作の提出を幾度か求める他、場合によっては試験を行うかも知れない。出席は大事。遅刻もしないように。

教科書

ジョン・エイキン『子どもの本の書きかた』(晶文社) 1,800円
宮川健郎編『児童文学 新しい潮流』(双文社出版) 2,000円

参考書等

児童文学関係に限らず、多様な資料や参考書を教場で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
随筆・評論Ⅰ	すず き ひろ こ 鈴 木 裕 子	短国2選	4

講義のねらい

『枕草子』を読みます。この作品はそれまでにない新しい文学のスタイルを打ち出したものと言えるでしょう。そのような作品の表現の特色は何か、またこの作品はいかなる美意識に支えられているか、あるいはまた、そこに描き出される宮廷生活とはどのようなものかなど、考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

『枕草子』の中から章段を選んで、作品の全体像が把握できるように、読み進めていきます。周辺の資料も読みながら、『枕草子』のおもしろさを味わいましょう。

履修上の留意点

授業は主としてテキストを用いての講義形式です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

学年末に提出するレポート、授業中の課題や発言、出席状況(欠席・遅刻しないことは前提)などから総合的に行います。

教科書

新編日本古典文学全集『枕草子』(小学館)

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
軍記文学 I	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国1・2選	4

講義のねらい

軍記文学の雄『平家物語』を流布本によって読む。『平家物語』は語り本系と読み本系に大別される諸伝本があり、流布本は前者に属する。各伝本によって記述内容に異同があり、その点も確認しながら平家一門の滅亡の物語を読み進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

物語の主題である「盛者必衰」に即して、『平家物語』の三主人公とも言うべき平清盛・木曾義仲・源義経の栄光と没落の落差に「無常」の文学性を考えるが、授業としては主に清盛の滅亡の因たる悪行を、鹿谷事件の顛末・女人哀話とされる「祇王」「小督」の話・福原遷都をめぐる話に見て、結果としての非業の死までを読みたい。授業開始にあたり軍記文学の流れを概説し導入とする。

履修上の留意点

『平家物語』全体を通読することは叶わないので、出来るだけ授業で触れない物語部分についても読んで欲しい。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。本文解釈を中心として出題、更に論述形式の設問も加える。出席状況も評価の対象とする。

教科書

野村宗朔編『昭和校訂平家物語』（武蔵野書院）1,529円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歌謡 I	かわ 川 上 順 子	短国1・2選	4

講義のねらい

今年度は歌謡の発生の問題を中心に、古事記歌謡をテキストとして講義を行う。また日本書紀歌謡・風土記歌謡・続日本紀歌謡も講義の対象となる。和歌と歌謡の相違、さらに歌謡とよばれるものの豊富な内容のルーツと展開等々について論じていく。

講義の内容・授業スケジュール

- ㉑ 最古の歌謡
- ㉒ 八千矛の歌
- ㉓ 久米歌
- ㉔ 歌垣
- ㉕ 童謡 (ワザウタ)
- ㉖ ヤマトタケル物語と歌謡
- ㉗ 酒宴 (サカホガイ)
- ㉘ 矢河枝比売物語と歌謡
- ㉙ 髪長比売物語と歌謡
- ㉚ 服属儀礼の歌
- ㉛ 仁徳記歌謡
- ㉜ 志都歌・本岐歌・夷振・宮人振
- ㉝ 雄略記歌謡
- ㉞ 闘歌

履修上の留意点

- ㉑ 出席を必ずとる。
- ㉒ 講義ノートにもとづく小テストを数回行うので、教室へは専用ノートを必ず持参すること。

成績評価の方法

- ㉑ 出席回数
- ㉒ 小テストの点数
- ㉓ 夏休みレポートの評価点
- ㉔ 期末レポート試験の評価点
(上記のものを総合して成績を評価する)

教科書

- 西宮一民編『古事記』(おうふう) 1,900円
- 日本書紀歌謡・風土記歌謡・続日本紀歌謡はプリントを配布する。

参考書等

参考書等はそのつど指示する。

その他

授業は講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
短歌・俳句Ⅰ	きよ せ おう じ 笹 瀬 王 子	短国1・2選	4

講義のねらい

近代短歌並びに近代俳句を考える。短歌、俳句は長らく日本固有の伝統芸術としてあったが、他の文学同様に明治期に〈近代〉の洗礼を受けることとなる。そして、伝統と革新の波に翻弄されながら、近代文学として見事に再生を果たす。その過程を代表的な歌人、俳人の作品を通して辿ることで、そこに彼らの文学の魅力あらたに探る。

講義の内容・
授業スケジュール

短歌、俳句共に明治期の作品を見ることから始める。最初は俳(句)論史を踏まえつつ、正岡子規によってなされた俳句革新運動における近代俳句のあり方を考える。主に俳句雑誌『ホトギス』に拠った子規、高浜虚子らの作品の鑑賞が中心となろう。続いて、やはり子規によってなされた短歌革新運動をはじめとする歌論史を参看の上、代表的な歌人の作品を鑑賞する。与謝野鉄幹、晶子、石川啄木ら詩歌雑誌『明星』に集った歌人らを手始めに、なるべくわかりやすい歌を選んであくまでも作品に親しむことを主眼にその世界を味わいたい。

履修上の留意点

短歌、俳句どちらもあらゆる文学ジャンルの中でもっとも私達に身近な短詩型のスタイルを持つ。したがって、はじめから難解なもの、縁のないものとの先入観を持つことなく、あらかじめ講義に先立ち歌句を暗唱出来るぐらい作品に前もって接しておくこと。

成績評価の方法

試験および平常点などを総合的に評価する。

教科書

高浜虚子『俳句はかく解しかく味う』(岩波文庫) 460円
安森・末竹編『近代短歌と現代短歌』(双文社出版) 2,100円
及び教場にて適宜配布するプリント。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代小説 I	山崎真紀子	短国1・2選	4

講義のねらい

日本現代小説に描かれる〈恋愛〉に着目して、村上春樹、吉本ばなな、松浦理英子などの作品を丹念に読んでいく。恋愛は対一の親密なコミュニケーションである。自分とは何者なのか？という問いに答えるには、他者という鏡を必要とするが、恋人はその鏡となり自分を映し出してくれる恰好の存在となる。最も濃密な関係を結ぶ存在と言ってもよいだろうか。深く交わるゆえに傷つき、そのために遠ざけたくなる。遠ざければ、また自分は見えなくなってしまう。

村上春樹が単行本の帯に「これは恋愛小説です。ひどく古ぼけた呼び名だと思うけれど、それ以外にうまい言葉は思いつけないのです。激しくて、物静かで、哀しい、100%の恋愛小説です。」と記した『ノルウェイの森』、一体化を望みながら、それは不可能なことであるという切ない恋愛感情を両岸にたどって描いた松浦理英子の『葬儀の日』、一体化など最初から望めないという諦念から出発している吉本ばなな『キッチン』『うたかた』などは、恋愛小説の新しい形を提出した画期的な作品群である。これらの作品中に発せられる言葉や背後に潜む感情をじっくりとイメージを広げながら読み込み、自分自身の中にそれらを取り込んで反映させ、人が人と交わるといことはどういうことなのか、自分とは何者か、という答えを導き出す糸口となることを願っている。

講義の内容・授業スケジュール

事前にテキストの指定部分を読んでくること。授業時間の前半は講義式で進め、後半は各自考察を深めるために課題に従って文章化したり、意見を発表して貰ったりする。従って、授業に積極的に参加する姿勢が必要となってくる。

履修上の留意点

平常点(授業への参加度や授業時の意見や文章等)を何よりも重要視する。前期・後期終了時にレポート提出を課し、ペーパーテストは行わない。3分の1以上の欠席の場合は単位を認定しない。

教科書

村上春樹『ノルウェイの森』、吉本ばなな『キッチン』『うたかた』、松浦理英子の『葬儀の日』『ナチュラル・ウーマン』など、なるべく文庫で手に入るテキストを選びたいと思っているが、受講者の反応によってはこれ以外の作品も読んでいくこともあるので、その際は適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	清田啓子	短国1・2選	4

講義のねらい

日本の古典芸能に親しみ、鑑賞眼をやしなうための、必要な知識を与えることを目的とする。参加者には、能・人形浄瑠璃・歌舞伎をそれぞれ最低一回鑑賞し、レポートを提出する義務を課す。

講義の内容・授業スケジュール

日本演劇の大まかな歴史を解説し、随時都内又は近郊で上演される上記三種の芸能に関して解説・案内する。基本的に浄瑠璃の歴史を中心に、他に及ぶ予定であるが、上演の現実的な状況から、厳密なスケジュールは立てられない。

履修上の留意点

上記三種の芸能を鑑賞する余力——時間的、経済的、精神的余裕——が必要である。

成績評価の方法

上記三種のレポートと、総括としての期末試験による。

教科書

影山正隆編『人形浄瑠璃関係資料(抄)』(新典社) 515P

参考書等

教場にて指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代戯曲演劇	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義の内容・授業スケジュール

日本における近代演劇の成立と展開を中心に講義する。日本の近代演劇は、西洋の様々な文化とともに外からもたらされた。能や歌舞伎といった伝統芸能との根本的なあり方の違いを考えれば、その時日本人は初めて「演劇」を目にしたとも言える。まずは近代演劇が日本に紹介された歴史的事情を理解した上で、いくつかの戯曲をとりあげ、近代演劇の理念に触れる。その性質上、日本人が書いた作品だけでなく、西洋の近代戯曲がどう翻訳されて紹介されたのかも重要な問題となる。西洋の演劇理念を、日本人がどのように理解し、そこから何を生み出したのかを検証する。その後の展開については、伝統的な表現と結びついた新派劇、近代文学の1ジャンルとしての戯曲文学、社会思想と結びついた左翼演劇など、多様な表現へと分化する。その多様性を見極めるには、近代の「演劇」という理念からはこぼれ落ちた様々な「芸能」をも視野に入れる必要があり、大正時代の浅草オペラや、エノケンの喜劇、宝塚のレビューなどにも触れたい。こうした作業を通じ、劇場という場で演者が観客に向かって何かを上演すること（それを「パフォーマンス」と呼ぶ）の多様な可能性の中で、近代劇とは何だったのかを考える。したがって、本講は戯曲のテキスト研究ではなく、パフォーマンスという表現=コミュニケーションの一形態に関する総合的な論考となる。そのために、演劇史や演劇論の基礎的な部分にも触れることになると思う。また近代の問題をあくまで現代につながるものとしてとらえるために、前期のうちにビデオを使って現代演劇のあり方にも触れたい。

成績評価の方法

出席回数による平常点を加え、適宜レポートの提出を求め、総合的に評価する。

参考書等

教科書・参考書は指定しない。資料は随時、プリントして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較文学	よし だ もり お 吉 田 司 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

文学テキストはそれ自体単独で創造されるものではなく、先行する様々なテキストの影響・引用・交通のうえに生成される。ここでは、近代日本で書かれた文学テキストを基軸に据えながらも、外国文学や他ジャンルへと越境・横断しつつ、それらの相関関係を考えていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は芥川龍之介の「地獄変」を導きの糸として、彼が少年時代から親しんできた桃太郎、西遊記（孫悟空）、雑誌「少年世界」、「今昔物語集」などに目を向けつつ、特に文学テキストにおける「猿」の表象を問題にしたいと考えている。日本文学に止まらずに、「ターザン」「キングコング」「モルグ街の殺人」「猿の惑星」などにも及ぶ予定。後期はシェイクスピアの作品とその日本への移入史を基軸に据えるか、それともピグマリオン・コンプレックスの系譜を辿るか、いずれにしてもジェンダー（社会的文化的性差）の問題を中心に取り上げる予定である。

履修上の留意点

従来の作家論の枠組みから大きく逸脱した授業になることは確かなので、近代日本文学に限定することなく、何でもみてやろう読んでやろうという旺盛な好奇心と学習意欲をもって授業に臨むこと。ただ講義を聞くだけという受動的な姿勢では、間違いなく苦痛になるだろうから。

成績評価の方法

授業内容に関わるレポート、ないし試験を前後期各1回行う他、課題図書やビデオの感想の提出を随時求め、それら平常点を加味して評価したいと現時点では考えている。

教科書

教場でそのつど指示する。かなりの量のテキストを読んでもらうことになる。

参考書等

文学関係に限らず、歴史学・社会学・精神分析等の領域のものも含め、多様な資料や参考書を教場で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
女 性 史	たかしま 高嶋 めぐみ	短国1・2選	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代 ②中世 ③近世 ④近代 ⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況 ②レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

そ の 他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
女 性 学	ふじた かずみ 藤田 和美	短国1・2選	4

講義のねらい

「女性学」とは既存の知や文化をジェンダー(性別)の視点から読み直し、読みかえるものである。近代以降の女性解放運動から現代の女性学研究まで「女性学」という学問の成立の歴史的経緯とその成果をふまえ、法律や制度に目をやりながら、家族関係、性、暴力、労働、教育、表現など現代の女性をめぐる諸問題を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、現代の女性学研究までの近代の女性解放運動の歴史を学び、前期は近代社会における家族関係、女性労働、教育、性と生殖の問題など、それぞれの変遷を追いながら、女性の主体的な生と性のあり方をさぐる。後期は女性と表現の問題を中心にすすめる。文学、美術、漫画、音楽、映画など女性芸術家の作品を鑑賞しながら、女性が何を表現してきたのか、どのように女性が表現活動に参入してきたのか、性による参加と排除のシステムを検討する。

履修上の留意点

あらゆることに広く関心をもち、主体的に取り組むこと。

成績評価の方法

年2回のレポートと授業時に毎回提出する感想文、出席などで総合的に判断する。

教科書

井上輝子・江原由美子編『女性のデータブック』(有斐閣) 3,100円

参考書等

講義開始時に文献リストを配布する。

そ の 他

講義を中心とする。テーマによってはビデオなどの視聴覚教材を用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文 芸 創 作	まつ だ なおき 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

小説・詩・童話・歌詞・シナリオなどの作品を、自分で実際に書いてみる授業。他人の表現を批判するのはたやすいが、自分で書いた作品を人に見せるとなると、表現することの難しさを身をもって感じるようになるだろう。だが同時に、自分の描きたい世界を自分なりのスタイルで表現できたと思えたとき、それは自己表現の喜びに変わるに違いない。まずは自分の中に表現する動機を発見し、それを自分自身のオリジナリティーをもった形で書くことを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

いわゆる「小説の書き方」といった技術上の問題については、後期の最初まではあえて触れない予定である。前期はそれぞれにとって身近な言葉の表現からスタートする。たとえば歌の歌詞、自分の一週間の出来事を日記にしてみる、携帯のメールのやりとりをひとつの表現形式としてとらえた創作など、授業の中で順次課題を出すので、その中から自分が書きたいと思うものを選んで作品を提出してもらう。後期は自分にあったジャンル（形式は自由）のまとまった作品を完成させることを目指す。提出された作品は、授業でプリントして全員に配り、お互いの作品を読んで批評しあう。最終的には、各自が作品の1つを、インターネット上で公開する作品集に掲載することを目標とする。

成績評価の方法

提出された作品によって成績評価をするが、文章の技巧的な巧拙よりも、それぞれが自分自身の表現をどこまで見つけ出すことができたかを重視する。

そ の 他

授業の性質上、個々への指導が必要となるため、希望者が多い場合は受講人数を制限する可能性がある。初回の授業に必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 学 概 論	さか ぐち ひろき 坂 口 博 規	短国1・2選	4

講義のねらい

日本文学は原始より長い歴史をもち、政治や社会や風土と深くかかわりながら、複雑多様で豊かな展開を示してきた。個々の作品や作家を考える上で、そうした日本文学がいかなる背景のもとで生成したのかを理解していることは大切なことである。日本文学の本質をきわめ、その諸相を十分に把握することで作品・作家の抱えた諸問題への深い関心が喚起される。即ち、日本文学を研究する上で様々な視点があることを知り、問題意識を持つ必要があるからである。文学作品を研究するには客観的立場に立って「論証」することが要求され、単に個人の主観的印象や価値判断を与えるものではない。日本文学とはいかなるものか、日本文学研究とはいかなるものかを考えるのが目的である。

講義の内容・授業スケジュール

日本文学について、各ジャンルの様相・文学理念・風土との関係・時代や社会とのつながり等を中心に概観する。講座名に「国文学概論」となっていて、今「日本文学」という語を用いているが、学術体系の名称として、この「国文学」と「日本文学」という用語をめぐる論争の時期もあった。まずその問題から話し始めて、以下テキストを読み進めることを中心に、主に文学理念を考えてゆく。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績をもとに評価する。

教 科 書

阿部正路・上坂信男・神作光一・寺本直彦編著『日本文学概論』（右文書院刊）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有 職 故 実	おお つか ひで こ 大 塚 英 子	短国1・2選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実(正しい前例)に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された、前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解読の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論じることにより、日本文化の研究に一視点を提供したい。

具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期A、「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。

B、平安朝の服飾文化

1. 古代服制の歴史的变化をたどり、平安初期に唐風服飾として完備した時の姿を、各種の資料から考える。
2. 律令服飾制を規範としながら、平安貴族社会がどのような流行を生み、それがまたいかなる制度を生じたかを考える。
3. 平安文学の中心となる撰閲期の男性装束・女性装束を細部にわたって解説。また、かさね色目の標本で当時の色を調べる。
4. 『源氏物語絵巻』のビデオを見る。

後期A、平安朝の年中行事

1. 『源氏物語』花宴をめぐる曲水宴・重陽宴と比較し、文化的年中行事を考える。
2. 正月の年中行事を詳説。特に朝賀の儀式の持つ政治的意味について考える。

B、平安朝における官職位階の制度

履修上の留意点

常時OHPを用いて、視覚的にわかりやすく講義をするが、必ず出席していないと十分な修得はできないので留意すること。

成績評価の方法

夏休みレポート「源氏物語絵巻における服飾と調度」(絵の模写・復原をふくむ)と、学年末テストを総合して評価する。

教 科 書

河鱈実英『有職故実』(搞書房)1,900円、源氏物語絵巻のコピー、及びプリントを使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化概論	菌部幹生・井上優・川上順子 佐藤憲昭・茂野隆晴 末藤美津子・藤田和美	短国1・2選	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことがらは、各担当者により指示があるのでそれに従うこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月11日(水) オリエンテーション

① 近代文学とタブー 《4/18、4/25、5/9、5/16 (4回)》

② 聖と俗 《5/23、5/30、6/6、6/13 (4回)》

③ 上代文学にみえる女性祭祀と神話

④ 教育におけるタブー 《6/20、6/27、7/4、7/11、7/18 (5回)》

⑤ 歴史におけるタブー 《9/19、9/26、10/3、10/10 (4回)》

⑥ 慣習のタブー 《10/17、10/24、10/31、11/7 (4回)》

◎12月12日 まとめ

◎1月9日 レポート提出

菌部幹生

井上優

佐藤憲昭

川上順子

末藤美津子

茂野隆晴

藤田和美

菌部幹生

履修上の留意点

最初の授業時(4/11)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
周縁芸術 I	こはやし おさむ 小林 治	短国1・2選	4

講義のねらい

本講義における周縁芸術とは、文学の周縁にあって、文学を触発し、影響を与え、その想像力を飛躍させ、同時に自己洞察させてきたところの他の様々な芸術、例えば音楽、演劇、映画、美術、写真などを指すこととする。ここでは、それら他ジャンルの芸術と言語表現による芸術-文学作品との関わりの諸相を、日本の近現代に事例をとってみていく。なお、外国文学と日本文学の関わりを考察する比較文学的事例もいくつか入るであろう。

講義の内容・授業スケジュール

宮沢賢治、安部公房、村上龍、村上春樹などの作家、作品と周縁芸術の関係を順次みていく。例えば、賢治と音楽、演劇、安部と演劇、映画、写真、村上龍と音楽、映画、村上春樹と音楽などの予定である。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

その都度、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業で、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
周 縁 芸 術 II	その 園 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい

国文学に隣接した芸術分野のなかから、絵巻物を採り上げる。絵巻物は、巻物に画かれた絵画で、多くは詞書をともなうが、時間的な展開(四次元性・ストーリー)を持つという特徴がある。この講座では、詞書よりも絵に中心をおいて、講義する。絵巻物の特質を理解し、鑑賞することを通して、国文学とも関わる資質を磨いてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

絵画史・絵巻物の種類・特徴的な技法・鑑賞の仕方、取り扱ううえでの注意、等々、多面的な内容にしたい。また、年間を通じて、できるだけ多くの絵巻物について講義したいと考えている。

履修上の留意点

毎時間、最後に、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間に提出する意見文で50点分を評価し、レポートによって50点分を評価する。レポートのテーマや提出期限等については、時間内に指示する。レポート提出機会を何度か設けるので、追・再試験は行わない。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて、授業時間内にそのつと紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特殊研究	すずき ひろこ おかもと ゆきこ 鈴木 裕子・岡本 恭子 こばやし おさむ せいだ けいこ 小林 治・清田 啓子	短国1・2選	4

講義のねらい

「旅」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者から、その都度指示があるので、それに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は次の通りである。

- ① 古代の物語と日記の旅 <4/12・4/19・4/26・5/10・5/17・5/24・5/31> 鈴木裕子
- ② 中世の文学における旅 <6/7・6/14・6/21・6/28・7/5・7/12> 岡本恭子
- ③ 近世の文学における旅 <9/20・9/27・10/4・10/11・10/18・10/25・11/1> 清田啓子
- ④ 現代文学にあらわれた旅 <11/8・11/15・11/22・11/29・12/6・12/13・1/10> 小林 治

履修上の留意点

最初の授業時(4/12)にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道実習Ⅰ	那 須 隆 吉	短国1・2選	2

講義のねらい

芸術全体の中で書道が東洋独自の芸術として、どんな特質を持つのかを考察しながら、書道の基礎的知識と技法を習得すると共に鑑賞力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

執筆法、用筆法、運筆法及び用具用材とその取り扱い方について学ぶ。
 ○書体とその変遷を理解する。
 ○初歩的な楷書、行書、草書の書法を習得する。
 ○仮名の単体、連綿体を学び、平仮名、片仮名の成立、及びいろは歌、五十音図について理解する。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出（又、随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教科書

『大学書写書道教育』（第一法規出版）

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道実習Ⅱ	那 須 隆 吉	短国1・2選	2

講義のねらい

漢字仮名の代表的古典を学び、書道についての理解と鑑賞力を高め、書道文化の素晴らしさを味わいたい。

講義の内容・授業スケジュール

○古典の解説と臨書により、楷書法、行書法、草書法、仮名書法の習熟をはかる。
 ○変体仮名、及び代表的古筆について理解を深める。
 ○実社会で役立つ実用書道（手紙文、宛名書き、のし紙等の書き方）を学び、一層書道に親しめるようにしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出（又、随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教科書

『大学書写書道教育』（第一法規出版）〈書道実習Ⅰ、Ⅱ併用〉

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理	なか 原 まこと 中 原 誠	短国1・2選	4

講義のねらい

コンピュータ利用技術の進歩は、ダウンサイジングと低価格化を招き、「コンピュータは高価で利用は難しい」というイメージを払拭し、社会のあらゆる面に於いてコンピュータによる情報処理は必須となってきている。全社員にパーソナルコンピュータを与え、すべての業務をコンピュータ処理する企業も増えており、コンピュータに関する知識と利用技術は必須となってきている。

このような実社会の現状を踏まえ、この講座では、基本的なコンピュータ知識と利用技術の習得に重点をおき、講義と実習を併用しておこなう。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 前 期

ビジネスレターの作成を通して、ワードプロセッサの利用技術とビジネス社会の基本実務の知識習得に重点をおいて進める。

(2) 後 期

コンピュータの基本機能と利用技術に関する講義とパソコンを利用したビジネス諸表の作成をおこない、コンピュータの理解と一般的な利用技術を習得することに重点を置く。

履修上の留意点

本講座は、情報処理の基本を中心に講義するので、コンピュータ関連の知識は皆無でも受講可能である。

但し、実習がかなりのウエイトをしめるので、欠席した場合は、次の時限の講義を理解することが難しくなる。年間を通して、無欠席で受講する覚悟が必要である。

成績評価の方法

出席状況等の平常評価と試験を組み合わせる。試験は、前期（講義時間内）と期末（全学一斉）におこなう。

教 科 書

すべてプリントを使用する。講義開始時に、都度、配布する。

参 考 書 等

開講時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用情報処理	なか 中原 まこと 誠	短国1・2選	4

講義のねらい

ここ数年世の中はコンピュータブームに沸き、多くの企業で全従業員に1台ずつのパーソナルコンピュータが与えられ、企業内に張り巡らされたネットワークを経由して、誰もが簡単に様々なデータを手に入れ、自らの業務に役立つ情報に加工できるようになってきた。もはや、企業においてはワープロや表計算ソフトを使えることは当たり前となり、むしろデータをどのように処理すればより業務に役立つ情報になるかということを考える知恵が重要視されるようになりつつある。

こうした点を踏まえ本講座では、最近のデータベース技術の概要と利用法を、講義と実習を通じて学びながら、データの有効な活用法を習得することを狙いとす。

 講義の内容・
授業スケジュール

前 期

前期はデータベース技術の概要と利用法の基本を、実習を通じて習得する。

後 期

データベース内のデータを他のアプリケーション（表計算ソフト、ワープロソフト等）を利用して、より役立つ情報に加工する技術を習得する。

履修上の留意点

本講座の受講にあたっては、ワープロの知識は必須で、できれば表計算ソフトの知識があることが望ましい。

実習のウェイトがかなり高く、欠席による遅れを次の時限の講義で取り戻すことがなかなか難しいため年間を通して欠席をしない覚悟が必要である。

成績評価の方法

出席状況等の平常評価と試験の組み合わせで総合的に評価する。

試験は、前期（講義時間内）と期末（全学一斉）に行う。

教 科 書

すべてプリントを使用する。講義開始時に、都度配布する。

参 考 書 等

開講時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実 用 表 現 法	はぎ 原 よし お 萩 原 義 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

〈パフォーマンス〉話すこと・読むこと・書くこと

1、話すこと

話し方には一対一で向かい合って特定の人と話す話し方と、複数の人に対して語りかけるように話す人前での話し方がある。このとき、同じ日本語でも標準語でなく自分の生まれ育った地域のことばで話すとしたら、この話し方はどう変貌するであろう。たとえば、青森出身の人と鹿児島出身の人が話をしたら、どうであろう。また、ことばの豊富な多様性の高い人とまったくことばの知らない人とが会話したらどうなるであろうか。さらに、話し手の発話テンポはどう影響するだろうか、実際の話し方のパフォーマンス表現に従って、その話し方の解明を進めて見たい。

2、読むこと

声にだして読む、これを「朗読」という。声に出さずして目でおって読む、これを「黙読」という。後者の「黙読」は、どの程度のスピードで、どの程度理解して読んでいるのか第三者には定かではない。だが、前者の「朗読」については、声の質や抑揚である読み上げのテンポ・リズムミカルさなどから、朗読する側の伝達感覚状況をつぶさに知ることになるのである。ここでその読み方について、「音曲・語り・落語」などの多種多様の観点から考察を試みてみたい。

3、書くこと

次世代を超越して、人と人が出会うことのできる記憶媒体の形態として「書く」というパフォーマンスが存在する。何千年・何百年の過去の人物との出会える、いわば未来に残し伝えようとするメッセージ作成システムでもある。これを受信した人が、これをどう見つけ、どう表現しているのだろうか。実際、書くことのシステム領域を認識し、その書きぶりを知り、次にあなた自身が次の世代へ伝えていくメッセンジャーとして書く技術をどう生かしていくかを含め、大いに考えてみたい。

成績評価の方法

課題は、上記1、「話す」2、「読む」3「書く」部門毎に提示する。これによって評価する。また、当初の評価基準に達しない結果が提示された場合には、個人に勧告通知後、補足課題を用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
編 集 実 務	は せ がわ たかし 長 谷 川 孝	短国1・2選	4

講義のねらい

編集とは、〈だれかに——何かを——伝える〉過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技術とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」(視点・視野・視角)をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取る力、自分の表現をつくり出す力を養うことを大切にします。

履修上の留意点

授業を「取材」する(「教わる」ではなく)という構えで参加してください。また授業で「取材」した(自分なりに感じ気づき考えた)ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

課題作品(B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作)と、自己評価点および感想文(授業で書く短文)など平常の提出物によります。

教 科 書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ジャーナリズム研究	はたのとしお 篠野寿雄	短国1・2選	4

講義のねらい	ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材（マスメディア志望者）、あるいは、情報をうのみにせず、冷静に解説・判断できる人間（読者）を育成する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。第一線の記者、論説委員、アメリカ勤務などの体験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、日米ジャーナリズムの比較なども試みる。放送局や新聞社の見学も行う。
履修上の留意点	実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。
成績評価の方法	ニュース分析、学習結果を応用したレポート、簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して評価する。
教科書	使用しない。
参考書等	その都度指示する。
その他	私語厳禁、公語（意見発表）歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単位
シナリオ研究	まつだなおゆき 松田直行	短国1・2選	4

講義のねらい	映像作品のシナリオについて考察する。それはあくまで映像作品のために書かれたものであるから、シナリオをテキストとして読解するだけでは当然ながら何の意味もなさない。したがってまずは映像表現とは何かということが前提となるので、映画史および映像理論をひと通り学習することが必要となる。その上で、映像作品の成立に欠かせないシナリオの役割を考える。
講義の内容・授業スケジュール	前期のかなりの時間は、映画史と映像理論に関する講義となる。基本的には映画が中心となるが、後期ではテレビドラマも扱う予定である。
履修上の留意点	映画史・映像理論については、それぞれ教場試験、またそのほかに、各自で具体的な映像作品を取り上げて作成してもらうレポート数回を予定しており、受講者にはかなり負担の多い授業となることを覚悟してほしい。また欠席が年間3回を越える者は不可とする予定（教育実習等の公欠を除く。遅刻は $\frac{1}{2}$ として扱う）なので、学習意欲をしっかりと持って臨んでいただきたい。ビデオを使って授業の中でもいくつかの作品を見るが、映画史上重要な古い作品はビデオになっていない場合が多く、数少ない上映の機会をとらえて、各自で見に行くことも必要となる。
成績評価の方法	上記の出席・試験・レポートによって評価する。
教科書	ジェイムズ・モナコ/岩本憲児『映画の教科書-どのように映画を読むか』（フィルムアート社）3,500円をテキストとして使用する。
参考書等	実際にシナリオを書くことを指導する授業ではないが、本年度同時に「文芸創作」の授業を履修する者は、そちらで指導を受けてシナリオを書いた場合、それをこの授業の後期レポートの1つとして認める場合がある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸 能 研 究	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

芸能とは何か。人間は人間としての歴史が始まって以来、生物としての存続に必要な衣・食・住とは直接関係のない、芸能という行為を行ってきた。現代生活における芸能は、一見「趣味」とか「遊び」といった余剰生産的なものに思われるが、その本質は人間社会の成立に不可欠な表現行為なのではないか。本講では、いわゆる「演劇」の範疇に入らない「芸能」について、古代から現代に至るまでの、様々な形式の芸能を広く視野に入れることにより、現代社会においては見えなくなりがちな芸能という行為の本質を考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

テキスト研究として、古代では記紀における芸能に関する記述、中世では世阿弥の『風姿花伝』、近世では近松の虚実皮膜論を記した『難波土産』などを取り上げ、それらを芸能論として読み解く。またさらに芸能の始原の姿に向けたアプローチとして、現在でも各地に伝わっている民俗芸能を取り上げたい。それは近代以降の様々な力による変質を経たものであり、太古の姿を伝えるものとして解釈することは明らかに間違っているが、しかしそこから芸能の本質的な観念について様々な示唆を得ることができる。できれば各地で行われている民俗芸能を実際に見に行く機会を設けたい。

成績評価の方法

出席による平常点を加え、レポートを課す予定。

参 考 書 等

必要な資料は適宜プリントして配布するので、教科書・参考書は指定しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
秘 書 概 論 (前 期)	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短国1・2選	2

講義のねらい

イギリスの産業革命以後、急激な工業化、社会の変革に伴い秘書業務の必要性が叫ばれ、秘書の地位が確立した。しかし、ここ数年においては、オフィスオートメーションによる情報システムの進展により国際化、情報化が進み、従来の業務とは異なった新しい業務の処理が求められている。このような企業業務革新に伴い、本来の秘書業務を基盤として、さらに質の高い新しい業務処理能力が秘書に求められるのは自明の理である。現在の大きな変革の波の中でこそ有能な秘書のニーズはある。そこで、秘書として必要な基本的資質、職務知識、形態、課題や今後の問題について理解を深め、オフィス・ワーカーとしての資質を養成することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
2. 企業とは何か－会社の種類と特徴、企業経営と組織
3. 「働く」とは－産業、職業に関する知識、職場とは何か
4. 秘書活動の基本－秘書の機能と形態
5. 職務能力と専門性－秘書の資質と専門能力
6. 秘書と人間関係－TAで自分を知る
7. 秘書に求められるコミュニケーション能力
8. 予備日
9. 秘書とパーソナリティ－必要とされるパーソナリティ
10. 秘書と情報
11. ライフスタイルについて－女性とライフスタイル、キャリアアップへの道
12. レポート提出
13. 予備日

履修上の留意点

講義形式で授業を進めるが、各自の個別学習(予習)と全員での学習を効率よくかみ合わせ、クラスでは、発表の機会などを設け自分の考えが表現できるように創造的学習を行う。グループワークも取り入れるので、欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心掛けること。

成績評価の方法

出席およびレポート提出を重視する。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識を持ち自分で考え、自分の言葉で表現できるようになることを望む。課題が出された場合、指定された提出日に必ず出すこと。期限の遅れたものは評価しない。

2年生は就職活動で欠席を余儀なくされることがあるが、欠席の届を出したうえ「就職活動の報告」を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとする。

教 科 書

武田秀子 能登洋子 松井弘子 三村善美『新秘書・ビジネスワーク論』(早稲田教育出版) 1998年

そ の 他

オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと。出席を重視するので、止むを得ず欠席する場合は、必ず届を提出すること。

毎年、受講生が多いため、授業中私語が多かったり、遅刻して他人の迷惑になるような行動は慎むこと。授業中は、大人の女性としての意識を持ち行動するように心掛けること。以上のような基本的なことが守れない人はよく考えること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
秘 書 実 務 (後 期)	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短国1・2選	2

講義のねらい

- 秘書業務の基本を習得する。
- ・毎回の講義と演習を中心にして、秘書の仕事を理解する。
 - ・授業は半期だけのため、効率よく進めるよう心がける。
 - ・到達の日安の一つとして、秘書技能検定試験2級、準1級を受験するのもよい。
(検定取得者について単位認定はありません)
 - ・就職対策になるので1年次で受講するのが望ましい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
秘書の役割とその仕事 ・働くとは
2. 接遇1 美しい言葉使いと立居振舞
3. 接遇2 来客対応 電話対応
4. 文書作成の基本 ・社内文書
5. 文書作成 ・社外文書
6. 文書作成 ・メモ・グラフ
7. 文書管理 日程管理 (予定、出張)
8. 交際業務と環境整備
9. 会議について① 演習
10. 会議の実際 ② 発表
11. 実技 ① 基本の姿勢 面接対応
12. 実技 ② 来客対応の流れに沿って
13. 実技 予備日

履修上の留意点

- グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけないこと。
基本的事項については個別学習 (予習) により理解をしておくこと。
クラスでは、創造的学習を目標とする。
- ・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。
 - ・疑問や質問は積極的に発言すること。

成績評価の方法

筆記テスト、課題提出、出席、検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価とする。

教 科 書

『セクレタリアル・オフィスワーク・ノート』(燃焼社)

そ の 他

出席、課題提出を自己管理できること。
欠席の場合、必ず理由を明記した届を提出すること。

連絡先：mikimori@hotmail.com
TEL&FAX 0467-33-1631

科目名	担当者名	配当学科	単 位
手話 (前期)	しら 須 和 子 しらす かつこ	短国1・2選	2

講義のねらい

言語としての手話の特徴や手話を豊かに表現できる基礎学習、手話で日常会話ができるまでの学習。又聴覚障害とはどんな障害なのか社会生活の場における関連についての講義。

講義の内容・
授業スケジュール

手話技術学習と聴覚障害者に関する問題についての講義。
カリキュラムについては別途に付けます。

履修上の留意点

受講した内容については、特に手話技術については復習が必要。予習は独断でやられるとまちがって覚える恐れがあるのでしないこと。できれば聴覚障害者も含めて福祉関係の本・資料なども目を通してほしい。

成績評価の方法

講義の最終日にテストをする予定。内容は「手話表現の技術」「手話表現を読みとる技術」「講義内容のまとめの文章問題」の以上3点のテスト。

教科書

『手話教室 入門』(財団法人全日本ろうあ連盟出版局) 850円
(厚生省手話奉仕員養成講座-入門課程対応)
申し込み先 新宿区山吹町130SKビル8階 〒162-0801 TEL03-3268-8847

参考書等

随時、講義の時に紹介。

その他

- 受講する学生の人数により講義方式かゼミ方式か決めたい。
- 授業時に準備をしてほしいもの
テレビ(ビデオデッキ付き)
ラジカセ(テープの音声をきくため)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
点 (後 期) 字	わた なべ ゆ き ぞう 渡 辺 勇 喜 三	短国1・2選	2

講義のねらい	日本点字の習得
講義の内容・ 授業スケジュール	全15回 ①～④日本点字の清音から半拗濁音まで ⑤数字とアルファベット ⑥～⑨かなづかい、外国字符 ⑩～⑬わかち書き ⑭⑮符号
履修上の留意点	学生の積極的な参加と教室内の静粛
成績評価の方法	テスト
教科書	あ) 教科書 阿佐博『点字のレッスン』(社会福祉法人 東京ヘレンケラー協会点字出版局)(03-3200-1310) 600円+消費税30円 い) 点字器 N632 (1000円/非課税商品/スケルトンカラーの5色あります) う) 点字用紙 90キロ厚、寸長 100枚 (約250円) ※ (い)、(う)の購入先は社会福祉法人日本点字図書館利用サービス部用具事業課 (03-3290-0751)
参考書等	当山啓『決定版 点字・点訳基本入門』1,700円+消費税
その他	視覚障害者の教育、生活、福祉等を毎時、短時間含める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究Ⅰ	佐原作美	短国2選	4

講義のねらい	上代から近世までの古典文学を対象に、各自が選んだ研究テーマに基づいて、論文作成に必要な基礎的な事項について講義する。
講義の内容・授業スケジュール	四月から五月にかけて、論文作成に必要な基礎的な話をしその間に各自による研究テーマの決定。その後はそのテーマに基づいて専門の教員による指導を受けながら研究を進めていくことになる。かくしてその成果を原稿用紙三十枚程度にまとめ、一月の最終授業までに提出することになる。
履修上の留意点	大学に学んだことの証のひとつに、卒業論文を書いたか否かがあろう。二年間の学修の決算として、自発的な研究成果を残すことは大きな喜びであり、人生にとっても大きな財産となること間違いなし。それだけに意欲的にかつ真摯に取り組んでほしい。
成績評価の方法	作成された論文やその取り組みしせいなどを見て総合的に評価する。
教科書	特に指定しない。適宜プリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究Ⅱ	小林治	短国2選	4

講義のねらい	二年間継続してきた学習の成果として、各自が選んだテーマによって、研究論文を作成することを目的とする。そのために必要な基本的知識と多様な方法論を学びつつ、論文作成のための実地的な指導を受けることになる。なお、このクラスは、研究テーマを近・現代文学に関わるものの中から選ぶとする者が受講するクラスである。
講義の内容・授業スケジュール	四月から五月は、論文の具体的テーマを各自が決める期間であり、研究の基本的な方法、関連する参考文献の調査方法、様々な文学研究の方法論などを学びつつ、それぞれのテーマを検討し、決定していく。六月以降は、対象に選んだ時代、作品ごとに、それぞれ専門の教員の指導を受けていく。そして、一月のはじめまでに四百字詰め原稿用紙で三十枚以上の研究論文を完成、提出することになる。その間、逐次、進行状況、作成上の問題点等を検討し、指導する。
履修上の留意点	二年間、国文科の学生として学んできた成果をまとめ、それを形にして残すという意味でより多くの学生に挑戦してほしい。自分が選んだテーマを、実際に一つの研究論文にまとめていくことは喜びであると同時に、途中いくつもの難問にぶつかって悩むことも多いだろうが、大きな手応えとして卒業後の自信につながることであろう。
成績評価の方法	完成した論文の内容による。また、研究意欲、取り組みへの積極性にも高い評価を与えたい。
教科書	特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究Ⅲ	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	短国2選	4

講義のねらい

卒業研究Ⅲは、国語学についての研究論文を作成するための講座である。国語学研究上必要な方法論・資料収集等の方法について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な論文の例示をして、中世を中心とした音韻・文法・語彙・文字等の特質を概観し、各自の研究対象を確認し、助言した後でそのテーマにそった資料収集を進めてもらう。夏休み中に主な資料のカードを作成してもらい、10月初めに論文作成にとりかかり、12月に各自点検の為の面談を行った後に提出してもらう。

履修上の留意点

各自の自主的な作業で進められるので、論文を作成するという意欲が必要となる。

成績評価の方法

論文作成過程の中の努力・意欲をみて、さらに論文を評価する。

教科書

面談の中で指示する。

1. 專門教育科目

(2) 英 文 科

1. 専門教育科目

(2) 英 文 科

英米文学概論〈熊崎久子〉	71
英語講読Ⅰ〈山縣裕〉	72
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅰ〕	
英語講読Ⅰ〈熊崎久子〉	72
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅰ〕	
英語講読Ⅰ〈滝静寿〉	73
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅰ〕	
Oral CommunicationⅠ〈デンドウ, G.〉	73
〔平成11年度以前入学生：Freshman English〕	
Oral CommunicationⅠ〈キーズ, P.〉	74
〔平成11年度以前入学生：Freshman English〕	
Intensive EnglishⅠ〈モエ, R. A.・ゴマリー・グーナー, L.・オーラ, B.〉	75
Intensive EnglishⅡ〈ウエイド, D. A.〉	76
Intensive EnglishⅡ〈ミルン, A.〉	76
Intensive EnglishⅡ〈アシュウエル, T.〉	77
Intensive EnglishⅢ〈エバラト, A.・ギャリソン, J. G.〉	78
Intensive EnglishⅣ〈アシュウエル, T.・レオーネ, J.・オーラ, B.〉	79
Intensive EnglishⅣ〈ロルフ, M. F.〉	80
Intensive EnglishⅣ〈デンドウ, G.〉	81
コンピュータⅠ〈湯浅陽子〉	82
コンピュータⅠ〈野崎芳秀〉	83
英文学史〈滝静寿〉	84
英語講読Ⅱ〈梅原敏弘〉	85
英語講読Ⅱ〈高野秀夫〉	85
英語講読Ⅱ〈山縣裕〉	86
Oral CommunicationⅡ〈デンドウ, G.〉	86
Oral CommunicationⅡ〈キーズ, P.〉	87
Intensive EnglishⅤ〈モエ, R. A.・ゴマリー・グーナー, L.・オーラ, B.〉	88
Intensive EnglishⅥ〈ウエイド, D. A.〉	89
Intensive EnglishⅥ〈ミルン, A.〉	89
Intensive EnglishⅥ〈アシュウエル, T.〉	90
Intensive EnglishⅦ〈エバラト, A.・ギャリソン, J. G.〉	91
Intensive EnglishⅧ〈アシュウエル, T.・レオーネ, J.・オーラ, B.〉	92
Intensive EnglishⅧ〈ロルフ, M. F.〉	92
Intensive EnglishⅧ〈デンドウ, G.〉	93
コンピュータⅡ〈湯浅陽子〉	94
コンピュータⅡ〈野崎芳秀〉	95
英語学概論〈岡本誠〉	96
言語と文化〈岡本誠〉	97
日英語比較〈梅原敏弘〉	98
英文法論〈梅原敏弘〉	99
英語音声学〈山縣裕〉	99
作品作家研究〔ロマン派の詩〕〈熊崎久子〉	100
作品作家研究〔世紀末文学〕〈滝静寿〉	101

作品作家研究〔20世紀アメリカ小説〕〈吉沢栄治郎〉	101
作品作家研究〔19世紀英文学〕〈高野秀夫〉	102
作品作品研究〔アメリカ20世紀文学〕〈湯浅陽子〉	103
米文学演習〈ギャリソン, J. G.〉	104
20世紀イギリス文学〈高野秀夫〉	104
〔平成11年度以前入学生：20世紀英文学〕	
アメリカ演劇〈休講〉	
20世紀アメリカ文学〈ギャリソン, J. G.〉	105
〔平成11年度以前入学生：20世紀米文学〕	
戯曲研究〈熊崎久子〉	106
英米文学講読〈熊崎久子〉	107
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕	
英米文学講読〈滝静寿〉	107
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕	
英米文学講読〈湯浅陽子〉	108
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕	
英米文学講読〈高野秀夫〉	109
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕	
聖書研究〈水島陽子〉	110
西洋古典文学〈水島陽子〉	111
イギリス史〈アシュウエル, T.〉	111
イギリス文化事情〈休講〉	
アメリカ史〈休講〉	
アメリカ文化事情〈モエ, R. A.〉	112
時事英語〈岡本誠〉	113
英語演習〔英語音声の基礎〕〈岡本誠〉	113
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅰ〕	
英語演習〔シャーロックホームズ〕〈滝静寿〉	114
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅱ〕	
英語演習〔ボキャビュラリービルディング〕〈梅原敏弘〉	114
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅲ〕	
英語演習〔時事英語へのアプローチ〕〈吉沢栄治郎〉	115
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅳ〕	
英語演習〔英語表現〕〈高野秀夫〉	115
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅴ〕	
英語表現〈岡本誠〉	116
〔平成11年度以前入学生：英作文〕	
英語表現〈梅原敏弘〉	117
〔平成11年度以前入学生：英作文〕	
英語表現〈高野秀夫〉	118
〔平成11年度以前入学生：英作文〕	
英語表現〈吉沢栄治郎〉	118
〔平成11年度以前入学生：英作文〕	
英語表現〈滝静寿〉	119
〔平成11年度以前入学生：英作文〕	
英語翻訳法〈梅原敏弘〉	120

Advanced English A 〈モ エ, R. A.〉	121
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II A〕	
Advanced English A 〈ウエイド, D. A.〉	122
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II A〕	
Advanced English A 〈アシュウェル, T.〉	122
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II A〕	
Advanced English A 〈レ オ ー ネ, J.〉	123
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II A〕	
Advanced English A 〈ゴマリー・グーナー, L.〉	123
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II A〕	
Advanced English A 〈グリフィス, J.〉	123
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II A〕	
Advanced English B 〈モ エ, R. A.〉	124
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II B〕	
Advanced English B 〈ウエイド, D. A.〉	125
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II B〕	
Advanced English B 〈アシュウェル, T.〉	125
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II B〕	
Advanced English B 〈レ オ ー ネ, J.〉	126
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II B〕	
Advanced English B 〈ゴマリー・グーナー, L.〉	126
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II B〕	
Advanced English B 〈グリフィス, J.〉	126
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II B〕	
News English 〈グリフィス, J.〉	127
〔平成11年度以前入学生：Reading Comprehension〕	
English through Movies 〈岡 本 誠〉	127
〔平成11年度以前入学生：Group Discussion〕	
英語とコンピュータ I 〈ブルックス, D.〉	128
英語とコンピュータ II 〈ブルックス, D.〉	130
同時通訳入門 〈モ エ, R. A.〉	131
〔平成11年度以前入学生：同時通訳 II〕	
秘 書 英 語 〈森 本 正 恵〉	132
秘 書 実 務 〈森 本 正 恵〉	133
秘 書 概 論 〈湯 浅 陽 子〉	134
ジャーナリズム研究 〈旗 野 寿 雄〉	135
ビジネスイングリッシュ 〈町 井 靖〉	135
日 本 語 教 育 法 〈石 田 小 百 合〉	136
表 現 法 〈萩 原 義 雄〉	136

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 文 学 概 論 (前 期)	くま げま ひさ こ 熊 崎 久 子	12以降入学生/短英1必(一類) 12以降入学生/短英1・2選必(二類)	4
		11以前入学生/短英1必	

専門(英文科)

講義のねらい

古代英語の時代より、中世英語の時代、文芸復興期を経、浪漫主義、古典主義等々の長く、膨大な歴史と伝統の上に結実をみせた19世紀イギリス文学と逞しい開拓精神と果てしない夢と希望の上に独自の浪漫主義を開花させた19世紀アメリカ文学を、それぞれの時代の趨勢を背景に概観する。産業革命の影響を受け、大きく変動していく社会と揺れ動く人心を反映させたヴィクトリア女王朝のイギリス文学は明治の日本文学にも少なからぬ影響を与えています。英国同様に産業革命の影響を受け、また、辺境の消滅による失意から、リアリズム文学へ、自然主義文学へと変革するアメリカ文学は後にこの国独自の文学者を生み出します。南部作家、黒人作家等です。それらの背景を踏まえて社会と文学の接点にも目を向けます。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 前半 ヴィクトリア朝の英文学
 1. 英文学の流れ — 古代英語時代から18世紀まで、およびヴィクトリア朝概観
 2. 詩歌
 3. 小説
 4. アイルランド文芸運動、児童文学、世紀末文学
- ② 後半 19世紀米文学
 5. 独立以前からロマンティズム興起まで
 6. ロマンティズム興隆からリアリズム発生まで
 7. リアリズムの確立、自然主義の台頭、第一次世界大戦前後
 8. 新劇、ロスト・ジェネレーションの作家、黒人作家、南部作家
 9. 補足とまとめ

授業の進め方

- ① 予定表に従い、作家と作品について論じる。重要な作品については必要な箇所を引用し参照します。特に韻律が主要な役割を果たす詩歌の場合は解説のみでは十分な理解ができないので作品を引用し朗読します。
- ② 必要に応じ講義概要を配布する。あるいは黒板に板書します。
- ③ 終了前10分間弱を質問の時間に当てます。

履修上の留意点

広い範囲の作品作家を扱うことになるので、予定表を参考にあらかじめその日のための予備知識を備えて出席すること。出席するだけでは内容の把握が出来ません。またその日の疑問は必ずその日に質問をし、解決しておくこと。

成績評価の方法

1. 試験の成績……50%
2. 2回提出のレポートの評価……30%
3. 授業中に提出をもとめた小レポート……20%

教科書

教場にて説明・紹介します。

参考書等

引用も多く専門的なものとしては、斎藤勇著『英文学史』(研究社)、『アメリカ文学史』(同上)があります。
その他、英米文学史関係の本であれば殆ど差異はありません。自分に合ったものを各自選んでほしい。辞書的なものは『英米文学辞典』(研究社)、『イギリス文学案内』(朝日出版社)、『アメリカ文学案内』(朝日出版社)などがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読Ⅰ(前期)	やまがた 山 縣 裕	12以降入学生/短英(必)(一類)	2
英文講読Ⅰ(前期)		11以前入学生/短英(必)(一類)	

講義のねらい

最近おきた身近なニュース(雪印食品中毒事件、就職氷河期等)を英語で読みながら、英語力の向上をはかる。

成績評価の方法

定期テストと小テストの点数が総合的に評価される。但し、6回以上欠席した者(遅刻は1/2欠席)には、原則として単位を与えない。

教科書

『International News 2001/2002』(三修社)1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読Ⅰ(前期)	くまざき ひさこ 熊 崎 久 子	12以降入学生/短英(必)(一類)	2
英文講読Ⅰ(前期)		11以前入学生/短英(必)(一類)	

講義のねらい

- 20世紀英文学の中でも特異な存在であるD. H. ロレンスの後半生について、妻フリーダが綴った思い出の記、「私ではなく、風が……」を読みます。
- 併せてロレンス自身が書いた短編小説、詩、エッセイ、および書簡を読み、人生、愛、性、芸術、宗教など、あらゆる分野に互り独自の見解を披瀝しているロレンス自身の生き方とその思想に触れたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 前半；第一週 D. H. ロレンスについて解説
第二週以降 “Not I, but the Wind ……” を読む。
質疑応答とまとめ。
- 後半；D. H. ロレンスの作品を読む。小説、詩、エッセイ、書簡等。作品のコピーを逐次配布します。
最終週 質疑応答とまとめ。
授業のスケジュール
① 「私ではなく、風が……」は簡単な文章で綴られていますので速読をいたします。作品中に言及されているロレンスの詩、小説、紀行文などはその都度、一部引用して鑑賞します。受講者全員による朗読とディスカッションを行います。
- 配布プリントはロレンス自身の英語で書かれたものですから十分に文章と内容を味わいます。この場合も受講者全員の発表と意見の交換を行います。

履修上の留意点

十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握して教場に臨んでください。朗読、意見発表は申し出制としますので、下調べ等あらかじめ準備をしてクラスに臨み、積極的に参加してください。

成績評価の方法

試験の成績……60%
平常点……40% とします。

教科書

- Frieda Lawrence: “Not I, but the Wind ……” (弓プレス)
- D. H. Lawrence の作品、プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読 I (前期)	たき 滝 せい 静 じゅ 寿	12以降入学生/短英1必(一類)	2
英文講読 I (前期)		11以前入学生/短英1必(一類)	

講義のねらい

チャールズ・ラムの『シェイクスピア物語』の中の作品(未定)を取り上げ、輪読・鑑賞する。子供向けに平易に書き直されたものであるが、文学的格調の高い文体を通し、ラムのシェイクスピアに対する思い入れを考えていく。また、原典の一部を対訳を通して読み、シェイクスピアの言葉の特質を考えてみる。途中で映画を鑑賞する。

講義の内容・授業スケジュール

ラムの『シェイクスピア物語』を輪読・鑑賞する。原典の一部を対訳を通して読んだり、シェイクスピアの作品の映画を鑑賞し、劇作家とその作品を研究する。

履修上の留意点

小グループに分け、輪番制で研究発表をする。割り当てられた所は、文法的な問題はもとより、全て責任をもって質問や意見に答えてもらう。予習が第一、授業に対する積極的な態度が第二、遅刻、欠席には厳しく臨む。

成績評価の方法

授業態度、出席率、意見の発表、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
Oral Communication I (前期)	Dendo, Gary (デンドウ, G)	12以降入学生/短英1必(一類)	2
Freshman English (前期)		11以前入学生/短英1必(一類)	

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Oral Communication I (前期)	Keyes, Peter (キーズ, P.)	12以降入学生/短英1必(一類)	2
Freshman English (前期)		11以前入学生/短英1必(一類)	

講義のねらい

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

講義の内容・授業スケジュール

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover variety of skill areas such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

成績評価の方法

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

教科書

The text will be announced later.
Supplementary material will be handed out by the teacher.

参考書等

Although the text will be announced later the students will require the following : -
An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).
An English Japanese dictionary.

その他

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English I (前期)	Moe, Richard A.・Gormley-Guner,L.・Olah,B. (モエ,R.A.) (ゴマリ-グナー,L) (オーラ,B)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

To develop and improve English conversational skills.

講義の内容・授業スケジュール

Timed Paired Practice (TPP) exercises. Students are randomly paired and their conversations are timed. They are allowed to speak until they make a mistake at which time they are stopped and the duration of their conversation is recorded. Students may do this up to ten times per class. TPP will be conducted in every class and in the same way. During the first 10 times (TPP1~TPP10) students will be free to talk about anything they wish. During the next 5 times (TPP11~TPP15) students will be assigned a topic that must be discussed in the next class. That gives them time to prepare. For the next 5 times (TPP16~TPP20) the topic will be assigned at the start of the class. From TPP21, topics will not be assigned and students may talk about anything. TPP will be conducted in every class and in the same way.

履修上の留意点

This is a course in which the students are expected to actually use the English they know in conversational situations. In other words, they should try to use what they have studied and are studying in other courses. Mistakes are any unnatural English usage. That includes grammatical errors, pronunciation errors, delivery errors, and also if the content is considered odd, that is an error. Pauses of more than half a second are also considered to be errors. Not speaking loudly enough will also be an error. If a student repeats a word, that also is an error. If a student realizes she has made a mistake, she may correct it by first saying, "Excuse me," and then repeating the corrected phrase. If a student thinks that her partner has made a mistake or if she can not understand what her partner says, then she should say, "Pardon?" The other person must then repeat from the beginning, being careful to speak correctly.

成績評価の方法

The grades are based on the average length of a conversation and also the number of times that a student does TPP. This data is put into the following formula :

$$\text{Avg} * (\text{Count} / 3) + (60 - (\text{TPP No.} * 3)) = \text{score}$$

Avg = the average length of all TPP conversations

Count = the number of times a student did TPP conversations

This provides a score for one TPP class. The scores for all the TPP, from 1 through 20 (or whatever the last one might be) are averaged to provide the final score. The final score is then put into the following formula to determine the final grade. :

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{final grade}$$

X = number of unexcused absences

Y = number of unexcused times tardy

Z = final score

α = adjustments made by teacher

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教科書

ありません

参考書等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

その他

Students should their talk to their teacher or to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Scores will be posted regularly outside the office of the English Department.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English II (前期)	Wade, D. A. (ウエイド, D. A.)	短英1必(二類)	2

講義の内容・
授業スケジュール

Students will be expected to read a large quantity of graded English material (both fiction and non-fiction books will be provided) in order to increase both their confidence and proficiency in reading. Students will be required to write a book report in English for every book they read during the term. After the introductory period — during which the whole class will read the same book and prepare a practice book report — each class will follow a similar format: there will usually be an initial warm-up reading activity (covering tips & techniques for improving your reading skills and comprehension), followed by a 'book exchange' opportunity, and an extended period of individual in-class reading. Please note that in order to achieve the high target of books to be read during the term, you must be prepared to devote considerable time to reading extensively outside the class and at home.

成績評価の方法

Final grades for the course will be based on (i) the number and the graded level of the books read, (ii) the quality of the completed book reports, and (iii) overall effort and attendance. Note: absences without an appropriate excuse and/or persistent lateness will affect your final grade.

教科書

No textbook is required. Graded readers and some supplementary material will be provided in class. A book-form or electronic dictionary is highly recommended.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English II (前期)	Milne, A. (ミルン, A.)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

すらすらと英語が読め、ネイティブが読む雑誌、本、テキスト等から知りたい情報をすぐに見つけることができるようなレベルに持っていくことがねらいである。そして、授業内容は、楽に、そして集中して読める能力を身につけることに中心とする。

講義の内容・
授業スケジュール

ある特定の本を読んでもらい、毎週確実にあらかじめ決めたページ数を読んでもらいたい。そして、リーディング日誌に、どのぐらい読み進んだか、その本の感想、要約をそのつど読み終わった範囲で書いてもらいたい。また、読んだ本の中から、学びたい10単語(ボキャブラリー)選び、それらをボキャブラリーシートに記入し、後日そのことに関して、質問してもらい、確実に語彙力を増やしていってもらいたい。

履修上の留意点

リーディング日誌用に、B5ノートと、ボキャブラリーシート保管用のフォルダーの購入をお願いしたい。それに付け加えて、教室への携帯電話の持ち込みと、授業中の使用をやめてもらいたい。

成績評価の方法

大学の成績基準条件に沿って評価する。それに付け加えて課題、出席状況、また、リーディング日誌きちんとなしているかも評価の対照とする。

教科書

大学側より指定テキストがなければ、大学の図書館にあるネイティブ用新聞、雑誌、本等を補足として使用する。

参考書等

クラスでの学生の要望と興味に基づいた私自信で作成した資料を使用したいと考えている。学生の興味に応え、読むという機会を与えることが大切であると感じている。

その他

2段階のクラス形態がある。授業の25分間は、本の感想文または、速読の開発、どちらから一方の時間に使いたい。その後ネイティブスピーカー用の雑誌、本などから抜粋した段落ごとの記事の一つの物語に並べかえていったり、特定の情報から質問に答える能力を養う時間に使いたい。これは、全部テキストを読まなくても、知りたい情報を見付け出す能力と、短時間での精読を養うことができるようになるであろう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English II (前期)	Ashwell, Tim (アシュウェル, T.)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

In this course students will read a large quantity of graded English material in order to develop confidence and fluency in reading. Students will also write in English about the books they read and will write their first extended piece as a lead-in to the writing class proper which will begin in September.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will receive an orientation booklet at the beginning of the course explaining the rationale for the course, the target number of pages they will have to read and the way the grading system is connected to the total number of pages read. Students will turn in reports on each graded reader they read. These will be checked by the teacher and returned to the students who will then stick the reports into a notebook. Apart from reading the graded readers silently in class, students will complete an extended piece of writing in English towards the end of the semester.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on i). number of pages read; ii). quality of book reports; iii). quality of extended writing assignment; iv). effort shown in class; v). attendance.

教科書

All readers are provided.

その他

Students will need a B5 (or slightly bigger) notebook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English III (前 期)	Everaert, Amanda・Garrison, Jeffrey G. (エバラト,A.) (ギャリソン,J. G.)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

Designed to expose students to authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. Primary emphasis on comprehension of video materials selected by the instructor from American television; secondary emphasis on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. All material and instruction in English.

講義の内容・
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L. L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script. During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced. Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation (25%) and the results of tests given after each lesson is completed normally 3 to 4 (75%).

教 科 書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参 考 書 等

None.

そ の 他

Class conducted in the language laboratory.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English IV (前 期)	Ashwell, Tim・Leone, James・Olah, B (アッシュウェル,T) (レオーネ,J) (オーラ,B)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

This course will aim to develop students' ability to cope successfully with situations they are likely to find themselves in if they travel in English-speaking countries or if they study abroad or if they go on a homestay programme abroad. The emphasis will be very much on spoken survival English.

講義の内容・授業スケジュール

Starting with the English students have at their disposal, situations and the language needed to survive in those situations will gradually be built up in each class.

履修上の留意点

This course is being provided in the new curriculum in part as an antidote to the years of "examination English" students have had to endure at high school and partly in response to the call for more conversation classes from students who have passed through Komazawa Junior College in previous years. It is imperative that students take an active part in this class for this course to be successful. Any student who does not speak English or who does not become proficient in the expressions needed for the different situations covered will not pass this course.

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Students will be tested orally in this class every other week and at the end of the semester. Grades will be based on: 1). mastery of the expressions covered; 2). effort shown in class; 3). attendance.

教 科 書

None. All materials will be provided by the teacher.

そ の 他

Students will need a B5 notebook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English IV (前期)	Rolff, Michael, F. (ロルフ, M. F.)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

Intensive English 4

In this class, you will learn to be more confident when speaking English. You will be required to speak English every day. The lessons are about English speaking situations in Japan and abroad. You will be encouraged to speak English in Japan and you will be encouraged to travel abroad.

成績評価の方法

Grading is based on the following :

- a) Participation (counts for 25% of your grade). You must speak English during class and outside of class.
- b) Class work/Homework (counts for 25% of your grade). You must keep 2 audio taped journals. One taped journal is for in-class work and the other one is for homework.
- c) Testing (counts for 25% of your grade). You must successfully complete 2 one-on-one interviews with the teacher. (Students are required to tape the interviews)
- d) Attendance (counts for 25% of your grade). You are expected to attend all classes and to be on time.

履修上の留意点

Required materials for this course are :

- a) A Cassette Tape Recorder. You must buy a handheld cassette tape recorder (standard size tape). Recorders are affordable (an Aiwa TP-S3 is about 3,500 yen).
- b) Three cassette tapes (60-minute type only).
- c) One B5 size notebook.
- d) A college-level dictionary (English-to-Japanese/Japanese-to-English)
- e) One file folder. There will be many photocopied prints given to you. You are expected to keep the prints organized.
- f) One passport size color photograph (please smile).

そ の 他

Email : If you have any questions about this course, please contact me at :
mike@rb3. so-net.ne.jp

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English IV (前期)	Dendo, Gary (デンドウ, G.)	短英1必(二類)	2

講義のねらい	This course will aim to develop students' ability to cope successfully with situations they are likely to find themselves in if they go on a homestay programme abroad. The emphasis will be very much on spoken survival English.
講義の内容・授業スケジュール	Starting with the English students have at their disposal, situations and the language needed to survive in those situations will gradually be built up in class.
履修上の留意点	This course is being provided in the new curriculum in part as an antidote to the years of "examination English" students have had to endure at high school and partly in response to the call for more conversation classes from students who have passed through Komazawa Junior College in previous years. It is imperative that students take an active part in this class for this course to be successful. Any student who does not speak English or who does not become proficient in the expressions needed for the different situations will not pass the course. Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.
成績評価の方法	Students will be tested orally in this class every other week and at the end of the semester. Grades will be based on : 1). mastery of the expressions covered : 2). effort shown in class : 3). attendance
教科書	None. All materials will be provided by the teacher.
参考書等	None.
その他	Students will need a B5 notebook.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ I (前期)	湯 浅 陽 子 <small>あさ よう こ</small>	短英 1 選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータが普及しており、実社会では職種に関係なくコンピュータを扱えることが就職の基本条件となってまいりました。情報処理業務では、第一にデータの入力を正確に早く行うことが要求されます。それには“Touch Typing”(タッチタイピング技能=ブラインドタッチ：手元を見ないで打つ技能)を身につけることが必須となります。この授業では、独自の方法で短期間にそれを習得し、その上で社会に出てすぐ役立つ代表的なアプリケーションソフトの基本操作を身に付けます。

講義の内容・授業スケジュール

- 4～5月 入力装置(マウス、キーボード)の操作練習
ハードウェアの基本的な操作
キーボーディング(ブラインドタッチ習得練習)
(日本商工会議所のキーボード操作技能認定試験対応)
- 5～6月 OSの基本操作
ワープロソフト(Word)を使用して文書の作成および編集
(日本商工会議所の日本語文書処理技能検定試験対応)
(実務技能検定協会のビジネス文書検定試験対応)
- 6～7月 表計算ソフト(Excel)を使った表およびグラフの作成
(日本商工会議所のビジネスコンピューティング検定試験対応)

12月に日本商工会議所主催のキーボード操作技能認定試験(通称：キータッチ2000テスト)を実施します。この認定試験は、試験時間の10分間に入力できた文字数を、商工会議所がTouch Typing 技能として証明するもので、申請者には「タッチタイピング技能認定証」が交付されます。コンピュータIでは模擬テストを行い、後期に実施する本試験に備えます。模擬テスト時の入力文字数が成績評価基準の大きな部分を占めます。

履修上の留意点

- ① 必ず総合情報センターの自習室利用登録を行い、Touch Typing の練習やキータッチ2000テスト対策、課題の作成に利用すること。(1年間有効)
- ② 総合情報センターのオリエンテーションもしくはネットワーク講習会を受講し、必ずメールアドレスを取得すること。自習室利用登録を行わないとメールアドレスを取得できない。
- ③ キータッチ2000テスト専用フロッピーディスクを必ず購入すること。(学校で一括購入)
- ④ 欠席しないこと。どうしても都合がつかない場合は事前にメールで伝えること。2回以上連続の無断欠席は認めない。
- ⑤ フロッピーディスクや必要なプリントを忘れないこと。
- ⑥ 教場内では携帯電話の電源を切るか、留守電モードにすること。
- ⑦ 教場は飲食物持込禁止である。

成績評価の方法

出席を重視します。また、キータッチ2000テスト結果も重要なポイントになります。この他、ブラインドタッチ習得のために自習した練習時間の合計や、指示に従って作成した提出物の良否、日常の理解度、機器操作習得のための工夫や必需品を忘れないなどに顕れる授業への参加度・熱心さなどによって総合評価を行います。

なお、欠席が多い人、提出物が8割に満たない人、最終的にブラインドタッチが習得できていない人、または10分間の入力文字数が900字未満の人には単位を認めません。また、コンピュータIを落とすと同時に後期のコンピュータIIの受講資格が無くなります。

教科書

正式な教科書は特にありません。ただし、ブラインドタッチ習得練習のデータ保存用およびその他のアプリケーションソフトで作成したデータ保存用フロッピーディスク(各自調達)と、キータッチ2000テスト用フロッピーディスク(一括購入：1,440円経理部に払込)を用意していただきます。

参考書等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

その他

最良の学習環境を確保するために人数制限を行います。第1回目の授業時に抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行しますので、勝手に履修登録をすることはできません。

夏に学内で受験できる日本商工会議所の日本語文書処理技能検定試験(ワープロ検定)およびビジネスコンピューティング検定試験(ドリーム検定)の受験希望者は、定められた申込手続期間に経理部にて申込をしないと受験できません。申込手続期間は総合情報センターのホームページにて確認してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ I (前期)	野崎芳秀 <small>の ぎ き よ し ひ で</small>	短英 1 選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております、実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています、今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。情報処理の業務には、必ず第一にデータの入力、すなわちコンピュータの入力装置（マウス、キーボード）を使って正確で敏速な入力技能が必要です。次にコンピュータの心臓部である OS [Operating System]（アプリケーションソフトは OS の基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です）の基本操作、次に代表的なアプリケーションソフトの基本操作等、以上基本操作を中心にパーソナルコンピュータを使用して繰り返し操作を行う事により、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

- 4～5月 入力装置（マウス、キーボード）の操作練習
ハードウェアの基本的な操作
電子メールの送受信
- 6～7月 OSの基本操作、
ワープロソフト（Word）を使用して文書の作成及び編集
表計算ソフト（Excel）を使用して表の作成及び機能習得

履修上の留意点

操作を繰り返す事で技能を身につけるため、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。基本操作の積み重ねですから、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教科書

正式の教科書は特に有りません。
データ保存用フロッピーディスク（3.5インチ2HD）を3～4枚が必要です。
駒澤大学発行（KOMAnet）の電子メールアドレスが必要です。

参考書等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文学 (後学期)	たき 滝 せい 静 じゅ 寿	12以降入学生/短英1必(一類)	4
		11以前入学生/短英2必	

講義のねらい

歴史を背景に、イギリス文学の流れを、その時代の代表的な作品、作家を取り上げながら概観する。講義形式であるので、ノートをとって貰う。

講義の内容・授業スケジュール

- イギリス文学史の年間講義の概略の説明、イギリスについての基礎知識、アングロ・サクソン時代までの簡単な歴史。
- 古英語時代の詩歌等『ベイウルフ』を中心に。ノーマン・コンクエストによる言語・文化の変遷。
- 16世紀までの歴史。中英語の文学チョウサー、ラングランドを中心に。ギリシヤ・ローマ演劇について。
- 17世紀までの歴史、中世のイギリス演劇。ヒューマニズムについて。
- エリザベス朝の文学と演劇、特にシェイクスピアを中心に。
- 18世紀までの歴史、・ビュリタニズムについて、特にミルトン、パンヤンを中心に。王政復古について。
- 19世紀までの歴史。ポープ等について。散文の登場、ジャーナリズムの発展、サムエル・ジョンソン等を中心に。
- ヴィクトリア朝の歴史と文芸。
- イギリス文学史の総まとめ。

履修上の留意点

出欠はとらない代わりに、レポートを提出し、それが出席率になる。未提出(期日まで)者は単位修得はできない。

成績評価の方法

学年末のペーパーのテストが主で、提出のレポートを参考に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

教場で説明。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語講読Ⅱ (後期)	うめ 梅 ほん 原 とし 敏 ひろ 弘	12以降入学生/短英1必(1期)	2

講義のねらい

正確な英文読書力の養成を主眼とします。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を使って、授業を進めていきます。この教科書は、アメリカの著名な日本文学研究者である Donald Keene 氏の日本人の独自性について綴ったエッセイです。平易な英語で書かれているので、1回の授業で3-4ページ進み、半期で読み上げる予定です。

履修上の留意点

受講者は必ず、毎回予習をしてくること。アットランダムにあてていくので、口頭での訳が困難な場合、訳をノートに書いてくること。

成績評価の方法

平常の授業時に行うテスト(3-4回を予定)の結果により成績判定をします。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、及び予習をしてこなかった場合、減点します。

教科書

Donald Keene 著 *The Distinctiveness of the Japanese* (朝日出版社)

参考書等

出来れば、学習者用の英英辞書(Longman Dictionary of Contemporary EnglishやOxford Advanced Learner's Dictionary of Current English等の)を購入し、利用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語講読Ⅱ (後期)	たか の ひで お 高 野 秀 夫	12以降入学生/短英1必(1期)	2

講義のねらい

Natural Speed の英語の読みと聞き取り、平易な英文の作成、作品の内容の理解に努める。

講義の内容・授業スケジュール

① Natural Speed で英語の読み、聞く能力を高める。
 ② 教科書を読み進める。
 19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家Thomas Hardyは、運命論者として知られ、「この宇宙にはImmanent Will (内在された意志)があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。
 悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

履修上の留意点

教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

中間、期末筆記試験、平常点(出席点、レポート等)

教科書

① *To Please His Wife and Other Stories* (成美堂)
 ② プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 講 読 期 II (後 期)	やま がた めたが 山 縣 裕	12以降入学生/短英1必(一類)	2

講義のねらい

数あるニュースの中から、アジアと日本との関係を扱っているものに焦点をあて、それらを英語で読む。

講義の内容・
授業スケジュール

定期テストと小テストの点数が総合的に評価される。但し、6回以上欠席した者(遅刻は1/2欠席)には、原則として単位を与えない。

教 科 書

『Asia Watches Japan』(南雲堂) 1,900円

専
門
(
英
文
科
)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication II (後 期)	Dendo, Gary (デンドウ, G.)	12以降入学生/短英1必(一類)	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・
授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week.

Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his/her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教 科 書

Not text will be used.

参 考 書 等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication II (後 期)	Keyes, Peter (キ ー ズ , P .)	12以降入学生/短英1必(一類)	2

講義のねらい

The text will be announced later.
Supplementary material will be handed out by the teacher.

講義の内容・
授業スケジュール

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

履修上の留意点

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

成績評価の方法

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover a variety of skill areas such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

教 科 書

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt.

参 考 書 等

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

そ の 他

Although the text will be announced later the students will require the following : -
An A 4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).
An English Japanese dictionary.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English V (後 期)	Moe, Richard A.・Gormley-Guner,L.・Olah,B. (モエ,R.A.) (ゴマリ-ガーナー,L.) (オ-ラ,B.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2
		11以前入学生/短英2必(二類)	

講義のねらい

To develop and improve English conversational skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will build upon the skills developed in Intensive English I. Students will be randomly paired to practice extemporaneous conversations. Specific topics will be introduced and instruction given as to how to converse on these topics in depth. Every third or fourth class students will be tested on their ability, the testing method being the TPP exercise that was introduced in Intensive English I.

履修上の留意点

Practice outside of class will be essential in order to make the progress necessary in class to receive a passing grade. That is to say, students must be able to carry on conversations for at least one minute without making any mistakes.

成績評価の方法

The grades are based on the average length of a conversation and also the number of times that a student does TPP. This data is put into the following formula :

$$\text{Avg}^* (\text{Count } 3) = \text{score}$$

Avg=the average length of all TPP conversations

Count=the number of times a student did TPP conversations

This provides a score for one TPP class. The scores for all the TPP, from 1 through 20 (or whatever the last one might be) are averaged to provide the final score. The final score is then put into the following formula to determine the final grade.

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{final grade}$$

X = number of unexcused absences

Y = number of unexcused times tardy

Z = final score

α = adjustments made by teacher

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教 科 書

ありません

参 考 書 等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

そ の 他

Students should either talk to their teacher or to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Scores will be posted regularly outside the office of the English Department.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English VI (後 期)	Wade, D. A. (ウエイド, D. A.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2
		11以前入学生/短英2必(二類)	

講義のねらい

Description : During the first part of the term we will concentrate on the many exercises in the textbook *"Write Here, Write Now"*. This focuses on organising your ideas into well formed paragraphs, the fundamental unit of written communication in English. In the second half of the term we will practice building paragraphs into a number of well constructed essays, which will give you the opportunity to express your own opinions and feelings on a range of interesting topics.

成績評価の方法

Grading : Final grades for the course will be based on (i) the quality of the work in your completed textbooks, (ii) the communicative ability you demonstrate in the longer essays, and (iii) your overall effort and attendance.

Note : absences without an appropriate excuse and/or persistent lateness will affect your final grade.

教科書

Textbook : WRITE HERE, WRITE NOW by Colin J. Toms
(published by Macmillan)

A book-form or electronic dictionary is highly recommended.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English VI (後 期)	Milne, A. (ミルン, A.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2
		11以前入学生/短英2必(二類)	

講義のねらい

このクラスは英語で生徒たちの意見を伝えることができるように、そして論文を書くことができる能力をつくることを目的としたクラスである。ハイレベルの生徒には引用文を使いこなせる本格的な研究論文を書くことができるよう導く。

講義の内容・授業スケジュール

論文を書くうえで、段落の作り方、結び方、そしてプランの方法、解答の仕方、引用文の使い方などを英語でアドバイスしたプリントをすべての学生に用意をし、授業でそれを活用していく。生徒たちはこれらを実際の彼等の研究論文や、将来の仕事などに役立てることができるであろう。

履修上の留意点

授業でのプリントと宿題を完全にこなしてもらいたい。また、授業開始前には必ず携帯電話の電源を切ってもらうこと、授業中の使用をやめてもらいたい。

成績評価の方法

大学成績基準条件に沿って評価をする。それに付け加えて課題、出席状況、また、生徒の上達ぐあいをみるライティングノートの内容等も評価の対象とする。

教科書

大学側より指定テキストがなければ、ネイティブがみる小説、新聞、雑誌等をベースとする私自身で作成した資料を授業資料の補足として使用したい。生徒たちは、考え、それらをまとめて、授業で使用するプリントを基に実際に、論文を書く。そして、学生がネイティブ用資料、引用文等から選んだどんな題材をも基に論文を書くことができるようになる。

参考書等

クラスでの学生の要望と興味に基づいた私自身で作成した資料を使用したいと考えている。学生の興味に応え、書くという機会を与えることが大切であると感じている。

その他

授業初日、学生に題材を選んでもらい、それについて書いてもらう。そのときから、学生には段落の作り方、結び方、引用元と同じような引用文の書き方等をアドバイスしたプリントをわたす。また、授業が始まってから一度、論文の描き方、プランの仕方、または、ライティング能力アップ、学生がどちらか一方を希望しているのかを聞く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VI (後 期)	Ashwell, Tim (アシュウェル, T)	12以降入学生/短英1必(二類)	2
		11以前入学生/短英2必(二類)	

講義のねらい

In this course, students will write extensively in English in order to develop greater fluency and greater belief in using English as a means of communication and as a way of expressing themselves. Students will also write more formally in order to develop the ability to present their ideas in an organized fashion.

講義の内容・
授業スケジュール

Each week students will be given a target number of pages to complete in their journals. Students will also be required to produce essays which will need to be researched and drafted.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on : 1). completing journals on time each week ; 2). completed assignments(essays) ; 3). effort shown in class ; 4). attendance.

教 科 書

No textbook will be used.

参 考 書 等

Students should bring an English-Japanese dictionary to each class. Students will be advised about buying a good English-English dictionary in the first class.

そ の 他

Students will need a B5 notebook to use for their journal and for researching their essays.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VII (後 期)	Everaert, Amanda・Garrison, Jeffrey G. (エバート,A.) (ギャリソン,J. G.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい

Continuation of Intensive English III. Designed to further develop students' ability to understand authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. As with IE III, primary emphasis will remain on comprehension of video materials while secondary emphasis will once again be on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. The material selected for inclusion in this class will be more advanced than that of IE III.

講義の内容・
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L. L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script. During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced. Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation (25%) and the results of tests given after each lesson is completed-normally 3 to 4 (75%).

教 科 書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参 考 書 等

None.

そ の 他

Class conducted in the language laboratory.
All material and instruction in English.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English Ⅷ (後 期)	Ashwell, Tim・Leone, James・Olah, B (アッシュウェル, T.) (レオーネ, J.) (オーラ, B.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい

The purpose of this course is to familiarize students with the TOEIC test and improve their test scores so that they feel ready to attempt the real TOEIC test for themselves.

講義の内容・授業スケジュール

At the beginning of this course, students will take a baseline TOEIC test and at the end an exit TOEIC test. Improvement over the course in terms of test scores constitutes a major part of the assessment for the course. In between, students will study from the textbook and will have opportunities to take practice TOEIC tests. The scores on these tests will also contribute to the final grade. Students will also be expected to set up their own study plans so that they organise their work outside class properly too. Work outside class also figures in the assessment of this course.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Final grades are based on i). improvement in TOEIC score between the beginning and end of the course ; ii). comparison with the average improvement in the class ; iii). scores on practice tests ; iv). completion of work outside class ; v). effort, attendance, etc.

教 科 書

You will be told well in advance of the first class which textbook to buy.

そ の 他

REMEMBER : you can get 4 extra credits if you get 530 or over on the real TOEIC under the 'Kentei shiken' system. (Your teacher will explain more when this course begins).

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English Ⅷ (後 期)	Rolff, Michael, F. (ロルフ, M. F.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい

The Test of English for International Communication (TOEIC) is a test you will be encouraged to take. In this course you will learn to build skills necessary for taking the TOEIC. In this class, you will learn how to improve your TOEIC score.

成績評価の方法

- ・ Grading is based on the following :
 - a) Participation. You must be active in class, ask questions if you do not understand something, and encourage and help your classmates.
 - b) Homework. Homework must be completed before every class. Homework will be checked regularly.
 - c) Testing. There will be 5 complete (unofficial) TOEIC tests given in the course of the semester. Part of your grade will be determined by how much you improve your TOEIC score over the semester.
 - d) Attendance. You are expected to attend all classes and to be on time.

履修上の留意点

- ・ Required materials for this course are :
 - a) Textbook. You will be told well in advance of the first class which textbook to buy.
 - b) Flash cards. A set of 300 (business card size) flash cards.
 - c) File folder. There will be many photocopied prints given to you. You are expected to keep the prints organized.

そ の 他

- ・ IMPORTANT : You can get 4 extra credits if you get 530 or over on the real TOEIC under the 'Kentei shiken' system. (I will explain more when this course begins).
- ・ Email : if you have any questions about this course, please contact me at : mike@rb3. so-net.ne.jp

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English Ⅷ (後 期)	Dendo, Gary (デンドウ, G.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい

The purpose of this course is to familiarize students with the TOEIC test and improve their scores so that they feel ready to attempt the real TOEIC test for themselves.

講義の内容・
授業スケジュール

At the beginning of this course, students will take a baseline TOEIC test and at the end an exit TOEIC test. Improvement over the course in terms of test scores constitutes a major part of the assessment for the course. In between, students will study from the textbook and will have opportunities to take practice TOEIC tests. The scores on these tests will also contribute to the final grade. Students will also be expected to set up their own study plans so that they organise their work outside class properly too. Work outside class also figures in the assessment of this course.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Final grades will be based on ; 1). improvement in TOEIC score between the beginning and end of the course ; 2). comparison with the average improvement in the class ; 3). scores on practice tests ; 4). completion of work outside class ; 5). effort, attendance, etc.

教 科 書

You will be told well in advance of the first class which textbook to buy.

参 考 書 等

None

そ の 他

You can get 4 extra credits if you get 530 or over on the real TOEIC test under the 'Kentei shiken' system. This will be explained further in class.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータⅡ (後 期)	湯 浅 陽 子	短 英 1 選	2

講義のねらい

本講義ではコンピュータⅠで習得した基本的技能を応用し、さらに高度な情報処理ができる能力を養います。本講義を受講するには、コンピュータⅠを受講し合格しているか、もしくは高校生の時に、既にブラインドタッチの習得・Word・Excelの基本的技能を習得済みであることが必要です。必ず、前期のうちに行う履修登録前に、ガイダンスを受けてください。特にコンピュータⅠを履修しない場合は、授業についていけるかどうかを確認する必要があります。受講許可書を受理した人のみ受講資格がありますので、勝手に履修登録をしても許可できません。

講義の内容・
授業スケジュール

- 9～10月 キータッチ2000テスト模擬試験
Wordで各種検定試験対策
Excelで表計算技能をさらにバージョン・アップ
- 10～11月 プレゼンテーションソフト (PowerPoint) を使用して、スライド作成
- 11～12月 ホームページ作成ソフト (Homepage Builder) を使用して、自分のホームページ原稿の作成
- 12～1月 キータッチ2000テスト本試験
まとめ

履修上の留意点

- ① 総合情報センターの自習室利用登録を行ってあること。
- ② 総合情報センターのオリエンテーションもしくはネットワーク講習会を受講し、必ずメールアドレスを取得してあること。
- ③ キータッチ2000テスト専用フロッピーディスクを購入してあること。
- ④ 欠席しないこと。どうしても都合がつかない場合は事前にメールで伝えること。2回以上連続の無断欠席は認めない。
- ⑤ フロッピーディスクや必要なプリントを忘れないこと。
- ⑥ 教場内では携帯電話の電源を切るか、留守電モードにすること。
- ⑦ 教場は飲食物持込禁止である。
- ⑧ 前期の履修登録前に受講許可願を提出し、受講許可書を受理すること。

成績評価の方法

出席を重視します。また、日本商工会議所のキータッチ2000テスト結果も重要なポイントになります。この他、Touch Typingのレベルアップのために要した自習時間の合計、指示に従って作成した提出物の良否、日常の理解度、機器操作習得のための工夫や必需品を忘れないなどに顕れる授業への参加度・熱心さなどによって総合評価を行います。

なお、欠席が多い人、提出物が不備で8割に満たない人、最終的にブラインドタッチが習得できていなかった人、または10分間の入力文字数が1,000字未満の人には単位を認めません。

教 科 書

正式な教科書は特にありません。ただし、種々のアプリケーションソフトで作成したデータ保存用フロッピーディスク(各自調達)と、キータッチ2000テスト用フロッピーディスクが必要です。

参 考 書 等

駒澤大学総合情報センター『やさしいホームページ作成』

そ の 他

最良の学習環境を確保するために人数制限を行います。4月の後期授業を履修するためのガイダンス日に受講者を決定し、受講許可書を発行しますので、勝手に履修登録をすることはできません。

晩秋に学内で受験できる日本商工会議所の日本語文書処理技能検定試験(ワープロ検定)の受験希望者は、定められた申込手続期間に経理部にて申込をしないと受験できません。申込手続期間は総合情報センターのホームページにて確認してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータⅡ (後期)	の野 ^の 崎 ^{ざき} 芳 ^{よし} 秀 ^{ひで}	短英1選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております、実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています、今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。コンピュータの心臓部である OS〔Operating System〕(アプリケーションソフトはOSの基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です)の操作を学び、良く使われているアプリケーションソフト(ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション等)の豊富な機能を習得し、幅広い実務に使えるように、パーソナルコンピュータを使用して、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

なお、本講義を受講するためには、コンピュータIを受講済みであるか、もしくはそれと同等の操作が出来ることが必要です。

講義の内容・
授業スケジュール

9～12月 OSの基本操作
ワープロソフト (Word) を使用して文書の作成及び編集
表計算ソフト (Excel) を使用して表の作成、グラフの作成及びデータベース機能
プレゼンテーションソフト (PowerPoint) を使用してパソコンを使つての表現力を学ぶ

履修上の留意点

授業に入る前にその日の資料を配布しますので、遅刻をしない事。アプリケーションソフトは多くの機能を学びます、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。授業中に作品が完成出来なかったり、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。
ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教科書

正式の教科書は特に有りません。
データ保存用フロッピーディスク (3.5インチ2HD) を3～4枚が必要です。
駒澤大学発行 (KOMAnet) のメールアドレスが必要です。

参考書等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学概論 (前期)	おがもと まこと 岡 本 誠	12以降入学生/短英1・2選必 11以前入学生/短英2必(1類)	4

講義のねらい

日本語で「王様の」と言うとき、英語では“royal”とか“kingly”であるとか、また“regal”などという語がそれに相当する。我々英語を勉強している者にとっては、どれか一つにしてくれと言いたいところであるが、こういう例は枚挙にいとまがない。これには実は英語の歴史的背景がある。日本人は中学校以来英語を勉強させられるが、その英語そのものがどういう歴史をたどってきたかは全然視野に入っていない。国際共通語の地位を得たかに思えるこの言語は、そもそもいかなる出生・生立ちであるのか。その道程を概観することは、ただ単に一外国語のレベルにとどまらず、我々の母語である日本語をもあらためて見なおすヒントを得ることにもなる。本講義は、とあるドイツ北方の言葉が海を越えてイギリスの島にわたり、国際語へと変貌をとげていく、英語の劇的な出世物語を少しでも理解しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

英語の歴史的区分。インド・ヨーロッパ語と英語の関係。英語が影響を受けることになったブリテン島の対外関係。ノルマン人によるフランス語の影響。ルネサンスと英語との関係。17世紀の英語の自己発見。大英帝国を背景とした英語。アメリカの台頭とその英語。世界各地の英語。

履修上の留意点

教科書を使用することもあるが、その際は事前に次のところを読んでおくこと。ケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

学期末試験。レポート。小テスト。

教科書

モセ著『英語史』（開文社）並びにプリント。

参考書等

適宜プリントを配布するが、お金があまっていてどうしても欲しい、という際は次のものが最も網羅的である。
ポー／ケイブル著・永嶋大典他訳『英語史概説』（研究者）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
言語と文化 (後期)	おかもと まこと 岡本 誠	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

日本は高 context 文化であると言われる。つまり特定の場面で発話する際、全部を言わずともあとは状況で察してほしいということである。電車をおりた人が駅から電話をかけてきて「今着いたんだけど」と言う。電話を受けた人は「だからなんなのさ？」などとは応じない。「じゃ待ってて。今車で迎えに行くから」などと言う。これが我々の住んでいる文化である。英語圏で、日本語あるいは日本人の発想で“I'm here at the station”と電話すればそれこそ“What do you mean?”と言われかねない。つまり我々は状況に頼っていてストレートにものを言わない文化の中にいる。

この文化の特徴は直接的に言わずにほのめかして、あとは相手に察してほしい、というわけであるから、必然的に目立とうとしないことを多とする。目立つ人は出しゃばりになるのである。ところが欧米ではいい意味で目立つ人が評価されるわけで、ユニークであることはいいことである。他の人と違うからである。出しゃばらない文化では先輩をさしおいてなどという行動はありえない。先輩はたてまつるのである。悲しいかな中学校の部活で既に「先輩」「後輩」の意識はできあがってしまうようだ。しかるに、こういう言い方が英語にはない。彼らはファーストネームで呼び合う You and I are equal の世界にいる。従って英語には敬語がないとよく言われるが、「へりくだり」の言い方はもったない。「愚妻」だとか「豚児」などの語はないのである。

本講義では異文化間コミュニケーションとも相通じる、言語と文化の関係を考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

この趣旨にそった話題を新聞や雑誌に求め、ディスカッションの場とする。

履修上の留意点

事前に問題点を吟味してくる。ケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

出席状況。発表状況。レポート提出。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 英 語 比 較 (後 期)	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	12以降入学生/短英1,2選必	4

講義のねらい

日本語と英語を比較・対照させることによって、両語の特徴と差異を探る。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語の「腰」という言葉と英語の“hip”とは同じであろうか、何故 hips と複数でいうのであろうか、というような語彙レベルでの問題、英語圏の国に手紙を書くとき、どうして番地を先に書いて、町名、国名などを後に書くのか、また英語では主語の次に動詞がきてその後に目的語が来るのに対して、日本語では動詞が目的語の後に来るのはどうしてなのか、というような語順の問題、日本語の敬語に相当するような表現が英語にあるのだろうか、という待遇表現の問題等、様々な「違い」が日英両語の間には存在する。それらを順次取り上げ、両語の特徴を探りながら、英語の表現上の特徴を明らかにしていく。授業は講義形式で行うが、完全な一方通行ではなく、日英両語の特徴と差異について、受講者自らに様々な具体的な例をあげてもらい、ディスカッションもしていく予定。

履修上の留意点

言葉に興味をもっている受講者が望ましい。履修希望者は必ず履修届を出す前に、授業に出て受講許可を受けること。

成績評価の方法

レポートの出来映え、特にその独自性、と授業への積極的参加と貢献度を勘案して決める。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教 科 書

使用せず。

参 考 書 等

小島義郎著『日本語の意味 英語の意味』(南雲堂)
 国広 編『日英語比較講座』全5巻(大修館)
 国広哲哉 著『日英語の比較』(現代英語教育-8)(研究社)
 榎垣 実 著『日英比較表現論』(大修館)
 中右 実 編『日英語比較選書』全10巻(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文法論 (前期)	梅原敏弘 <small>うめ はら とし ひろ</small>	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英1必(一類)	

講義のねらい	基本的な文構造の知識の再確認と日本人が得に苦手とする文法項目の克服を主眼とする。
講義の内容・授業スケジュール	指定された教科書にそって、5文型を中心とした基本的な文構造の批判的再確認を先ず行う。次いで、時制、アスペクト(完了相、進行相)、法助動詞と仮定法、不定詞等の日本人に難しい文法項目を順次取り上げ、解説していくことにする。
履修上の留意点	数多くの問題練習をやりながら、各文法項目の理解を確実なものにするという方法をとるので、各自、問題練習は全て自分でやってみて、レポートとして提出すること。
成績評価の方法	平常の授業時間内に2～3回テストを行い、その平均点に基づいて成績評価をする。レポートの提出は重視し、レポートを提出しなかった場合はテストの平均点から減点する。1回の未提出につき4点減点。
教科書	高橋作太郎著『文法』(大修館) 1,900円
参考書等	クワーク著『現代英語文法』(紀伊国屋書店) 松波 有編『英文法』(大修館) 正保富三著『英語の冠詞がわかる本』(研究社) 江川泰一郎著『英文法解説』(金子書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語音声学 (後期)	山縣裕 <small>やま がた ゆたか</small>	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英1必	

講義のねらい	ビデオを使用し、日常会話の練習をしながら、個々の英語の発音も学習していく。
成績評価の方法	定期テストと小テストの点数が総合的に評価される。但し、6回以上欠席した者(遅刻は1/2欠席)には、原則として単位を与えない。
教科書	『Sounds Right! Sounds Good!』(マクミラン・ランゲージハウス) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品作家研究(後期) 〔ロマン派の詩〕	くま ざき ひさ こ 熊 崎 久 子	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

イギリス・ロマン派の詩を鑑賞します。
 エリザ朝にその最初の萌芽と開花を見た英国浪漫主義は、「理性と散文の時代」を経て、18世紀後半から19世紀初頭にかけて円熟と完成の時期を迎えます。この時期に活躍した詩人（その殆どは夭折してしまいましたが）とその作品を研究、鑑賞し、彼らがどのように自然と人間に対峙したかを学び、かつ、彼らがさまざまな詩型と詩句を駆使して語るイギリス湖水地方を初めとする美しい田園の姿を味わい得ることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール

- ①英国浪漫主義について
- ②英詩の特徴、詩型、韻律等について
- ③人と作品
 - 1. ウィリアム・ブレイク
 - 2. ウィリアム・ワーズワース
 - 3. S.T.コールリッジ
 - 4. G.G.バイロン
 - 5. P.B.シェリー
 - 6. ジョン・キーツ
- ④補足とまとめ

授業の進め方

- 概ね以下の手順で進めます。
1. 受講者は取り上げる詩人について、生涯、作品の特質、傾向等をあらかじめ調べて出席し、発表する。
 2. 発表に対し、質疑応答を行う。
 3. 担当者が補足する。
 4. 取り上げた作品の英国俳優等による朗読を聞く。
 5. 受講者の朗読と作品解釈。
 6. 詩型、詩句、韻律について担当者より補足。
 7. 作品について意見交換。

履修上の留意点

- ① 英詩における韻律はその作品を理解する上で特に重要な役割を持っています。従って黙読するだけでは十分な把握は望めません。用いられている語句に正しい抑揚をつけて音読することが必要となります。各自が下調べの段階において繰り返し音読をしてきていただきたい。
- ② 地名、その他固有名詞についてはテキスト注を参照されたい。
- ③ 詩人の伝記等については、『英米文学辞典』（研究社）その他の「文学辞典」、「文学史」関係の書によって簡単に調べることが出来ます。必要に応じ教場において説明、紹介します。

成績評価の方法

1. リポートによる評価……60%
2. 授業中の発表等に対する評価……40%

教科書

“English Romantic Poetry”『ロマン派詩選』（研究社・研究社小英文叢書）

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究(前期) 〔世紀末文学〕	たま 滝 せい 静 じゅ 寿	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい	オスカー・ワイルドの作品を中心に、世紀末の文芸を考えてみる。童話や戯曲を中心に輪読し、ワイルドの文体をも研究する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>輪読形式で行う。毎時間、議長と書記を選び、討論しながら進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世紀末文芸と概観。ワイルドについて、作品鑑賞(童話を中心に)。 ○戯曲『サロメ』の輪読。世紀末画家(ピアズレーを中心に)について。ビデオで、バーコフの『サロメ』鑑賞。 ○小説『ドリアン・グレーの画像』福田恒存訳を一部原文と比較しながら輪読しワイルドの芸術観への導入。
履修上の留意点	必ず予習し、積極的に意見や考えを述べることを義務づける。テーマを割り当て、研究発表を行う。
成績評価の方法	輪読を進めていく過程での平常点、出席率、前後期レポート等の総合評価。
教科書	<p>O. Wilde <i>The Happy Prince and Other Tales</i> (北星堂)</p> <p>O. Wilde <i>Salome</i> (英光社)</p>

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究(後期) 〔20世紀アメリカ小説〕	よし 吉 ざわ 沢 えい 栄 じろう 治郎	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい	作品を原文で読むことに意義があります。原文を時に音読し、或いは(一部)抜書きし乍ら、作品世界に没入できるようであり度い。
講義の内容・授業スケジュール	作品を訳読していきます。訳しながら登場人物の心理をとらえ、情景を描いてみよう。辞典を活用します。
履修上の留意点	英和辞典を持参。
成績評価の方法	年度末の定期試験で評価します。
教科書	『赤い仔馬』(南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品作家研究(前期) 〔19世紀英文学〕	たかの野秀夫	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

英国では英文学の入門書となっている「サイラス・マーナー」の作品を読む。その著者、ジョージ・エリオットがなぜ19世紀英文学において特異な存在になったのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

教科書

神への信仰を失い、親友、恋人そして仲間にも裏切られた主人公、サイラス・マーナーは、住み慣れた都会からラヴィロー村に移る。金を貯めることが人生の唯一の楽しみになり、ついに、天涯孤独な守銭奴となる。16年後その金が盗まれ、再び絶望の淵をさ迷う。その時、たまたま、迷い児、エッピーが家に転がり込んで来る。サイラスはその児を育てながら、美しい自然のなかで暮らす村人の温かな心に触れ、生きることの素晴らしさを知る。そして可愛い娘に成長したエッピーと幸せに暮らす。

この物語を原書で読み、登場人物の様々な問題点(孤独、神、偶然等)を採り挙げ、ジョージ・エリオット文学への扉を開く。

口頭発表

各自が課題を決めて20分程度でまとめる。

履修上の留意点

主要な19世紀英国作家の作品に触れ、絶えず文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

- ① 口頭発表
- ② レポート
- ③ 7枚程度の論文

教 科 書

- ① George Eliot : *Silas Marner*

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究(後期) [アメリカ20世紀文学]	湯 浅 陽 子 <small>あさ よう こ</small>	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

“Lost Generation”という単語を聞いたことがあるだろうか。これは、アーネスト・ヘミングウェイ(1899~1961)が、最初の長編 *The Sun Also Rises* の扉にガートルード・スタイン(1874~1946)の言葉として掲げた「あなた方はみんな失われた世代よ」という一句から取られたものである。そして、これはスタインが第一次世界大戦後のパリで、自分のまわりに集まってきた若い芸術家たちに向かって言った文句と考えられ、失われた世代とは戦後の社会的混乱の中で生活の指針を失ってさ迷っている若い世代を表す言葉と解釈されている。文学史上ではその世代に属するF・スコット・フィッツジェラルド(1896~1940)、ジョン・ドス・パソス(1896~1970)、ウィリアム・フォークナー(1897~1962)、ヘミングウェイといった、第一次世界大戦後に輩出した一群の作家たちを総称する言葉とされてきた。

その世代の中から、ヘミングウェイの *A Farewell to Arms* を読む。ヘミングウェイは、フォークナーとならんで、20世紀アメリカ文学界の巨星であった。そして、この彼の代表作 *A Farewell to Arms* は、20世紀アメリカ文学の古典として既に定評がある。その意味でこの作品は20世紀アメリカ文学を知る上に欠くべからざるものであり、何よりもまず読むべき好個の入門書である。

アメリカを代表する偉大な作家でありながら、ヘミングウェイは必ずしもアメリカを描いた作家とは言えず、むしろヨーロッパを、スペインをそしてアフリカを書いた。そうした所を舞台に、彼は暴力に打ちひしがれ、絶望する人間を書いた。そして、その絶望から立ち上がろうと必死にもがきながらも、絶望を見事に克服し、忍耐と勇気を持つ逞しい人間を描いた。人一倍生きることと死ぬことを直視したヘミングウェイの作品に触れてみて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

9月 映画に描かれている *A Farewell to Arms* 鑑賞
 10月 Book One 第1章~第12章 58.5ページ Book Two 第13章~第24章 60.5ページ
 11月 Book Three 第14章~第32章 55ページ Book Four 第33章~第37章 39ページ
 12月 Book Five 第38章~第40章 34ページ

履修上の留意点

テキストに入る前に受講者をグループに分け、分担して発表してもらう。

発表は次の要領で行う：

- ①担当した部分の Reading、(文章が把握できているかどうか読み方で判る)
- ②その部分の要約、
- ③気がついた注目すべき／難解な英語表現、
- ④その部分にまつわるエピソード等調べてわかった周辺の事柄、
- ⑤その他自分の感想等

万が一自分の発表の日に欠席すると、所属するグループ全体の責任となり、他のメンバーがその部分の穴埋めをしなければならない。発表者はメンバーの迷惑をかけないように注意してもらいたい。グループ間の連絡を密にしておく必要があることは言うまでもないが、万が一の場合に備えて、自分の担当の前後についても一応準備しておくことよい。なお、発表日に休むと本人の大きな減点になるだけでなく、その部分をメンバーがカバーできなかった場合はメンバーも減点になる。その意味で発表はグループの連帯責任なのである。

発表以外の人は担当者の発表をよく聴き、発表終了後に質問事項と発表に関する評価を所定用紙に記入し提出する。質問された担当者は、その場で答えられることは答えるが、準備不足の場合は、次週に回答する。

成績評価の方法

毎回の出席および質問等を含めた授業への参加度(25%)、何回か回ってくる発表の為の準備度平均点(25%)、宿題レポート(25%)、最終試験結果(25%)の総合で評価する。

教科書

Ernest Hemingway : *A Farewell to Arms* Penguin Book

参考書等

佐伯彰一編『20世紀英米文学案内-15-Ernest Hemingway』(研究社)
 石 一 郎著『アーネスト・ヘミングウェイ研究』(南雲堂)
 中島顕治著『ヘミングウェイの考え方と生き方』(弓書房)
 E.L.アレン著 藤久米ネ訳『オンリー・イエスタディー-1920年代・アメリカ』(研究社叢書)

その他

最良の学習環境を確保するために人数制限を行う。4月の「英米文学講読」第1回目の授業時にこの授業分も抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行する予定であるので、勝手に履修登録をすることはできない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
米 文 学 演 習 (後 期)	Garrison, Jeffrey G. (ギャリソン, J.G.)	12以降入学生/短英1・2選必 11以前入学生/短英1・2選	4

講義のねらい

The literature, art and music of the Harlem Renaissance during the 1920s, how they reflect the social changes brought about by World War I, Industrialization, the Great Migration and the search by Black Americans for their African roots. The poetry, novels and short stories of Langston Hughes, Claude McKay, Countee Cullen, Jean Toomer and James Weldon Johnson will be introduced in order to present an overview of prevailing literary and social trends in America and encourage a deeper understanding of the forces at work forging racial identity and pride among African-Americans during the period.

講義の内容・
授業スケジュール

Introductory comments on American culture and slavery, followed by discussion of the social, cultural and literary trends in America during the early 1900s. Reading, discussion and analysis of selected authors, both Black and White, whose works are available in Japanese translation. Limited reading in English. Participation in seminar discussions and scheduled group and individual presentations on subjects and authors assigned upon consultation with instructor.

履修上の留意点

There will be no retests ; term papers, however, may be rewritten within certain time limits. Computer and internet skills required.

成績評価の方法

Completion of assignments, class participation and presentations (50%) and one 7-10 page research paper (50%) on an author or artist selected by the student in consultation with the instructor.

教 科 書

Steven Watson 著、*The Harlem Renaissance : Hub of African-American Culture*, 1920-1930, Pantheon Books, New York, 1995

参 考 書 等

None

そ の 他

Sophomores will be given preference in admission.
Completion of 20世紀アメリカ文学 or アメリカ演劇 recommended.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
20世紀イギリス文学(前期)	たか の ひで お 高 野 秀 夫	12以降入学生/短英1・2選必	4
20世紀英文学(前期)		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

- ① Natural Speed で英語の聞く能力を高める。
- ② 教科書：
19世紀には、偉大な女流作家が英文学史上に次々に登場した。男性優位の甚だしい社会の陰で、女性弱者の立場から自らの文学をこつこつ築き上げて、英文学をより一層豊かなものにした。その伝統をしっかり受け継いで、現代に生きる人の心を魅了し続けている20世紀の新しいタイプの女流小説家、20世紀英国文壇の旗手ヴァージニア・ウルフの作品を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① テープの英語
- ② 20世紀英国小説の“意識の流れ”の作家、ウルフの作品理解に努める。

履修上の留意点

英語の質疑応答があるので予習は欠かせないこと。

成績評価の方法

研究発表、筆記試験、平常点(出席、レポート等)

教 科 書

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
20世紀アメリカ文学(前期)	Garrison, Jeffrey G.	12以降入学生/短英1・2選必	4
20世紀米文学(前期)	(ギャリソン, J. G.)	11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

A survey course introducing the student to American literature in the 20th Century and the problems, approaches and styles characteristic of each age and genre from the early 1900s to the late 1990s.

講義の内容・
授業スケジュール

[Lesson content may vary somewhat from scheduled lesson plan as result of holidays, class cancellations and the need to spend more or less time on certain subjects.]

20世紀アメリカ文学の展望を講義しながら自然主義やリアリズムからエスニック文学、そしてミニマリズムまで代表的な作品を翻訳文で読んでディスカッションを行う。

- 4月 2週 Introduction and explanation of syllabus.
- 3週 Naturalism and Realism Part I : Stephen Crane's "The Open Boat" & Jack London's "To Build a Fire"
- 4週 Naturalism and Realism, Part II Theodore Dreiser's *An American Tragedy* (Film)
- 5月 2週 The Roaring Twenties : Riot and Riches Scott Fitzgerald's *The Great Gatsby* (Film)
- 3週 The "Other America" The Harlem Renaissance : Langston Hughes, Claude McKay & Countee Cullen
- 4週 William Faulkner's "A Rose for Emily" & *As I Lay Dying*
- 6月 1週 The Lost Generation : Ernest Hemingway's "The Killers," & *Old Man and the Sea*
- 2週 The Great Depression : John Steinbeck's *Of Mice and Men* (Film)
- 3週 Language, Sex and Censorship : Henry Miller's *Tropic of Cancer* (excerpts) ; The Beats : Allen Ginsberg's "Howl" & Jack Kerouac's *On the Road*
- 4週 Black Women Writers : Alice Walker's *The Color Purple* (Film)
- 7月 1週 PostModernism and Minimalism : short stories by Raymond Carver and Richard Ford
- 2週 スケジュール調整 (or Test)
- 3週 スケジュール調整 (or Test)

履修上の留意点

There will be no retests.

成績評価の方法

Grades will be based on one in-class presentation on the works of an author selected in consultation with the instructor (30%), one short (3-5 page) paper on a subject assigned by the instructor (40%) and class participation (20%).

教科書

Selected novels, collections of poetry and short stories in translation (to be announced).

参考書等

None

その他

Nothing

科目名	担当者名	配当学科	単 位
戯曲 (前期)	くま ざき ひさ こ 熊 崎 久 子	12以降入学生/短英1・2履必 11以前入学生/短英1・2選	4

講義のねらい

シェイクスピアの「夏の夜の夢」を読みます。
 没後400年余を経てもなおシェイクスピアは世界中で最も愛されている作家と言っても過言ではありません。我が国においても内外の劇団によって、年間に上演されるシェイクスピアの作品は相当の数にのぼり、しかもいずれの場合も満席の観客を動員しています。原作を読みその魅力を味わいます。
 この作品はシェイクスピアの一連のロマンティック・コメディの中の傑作であり、人生の喜びや青春の輝きに満ちています。妖精の出没する森を背景に、妖精、アテネの貴族、職人たちが繰り広げる、真に「夏の夜の夢」そのままのファンタジイの世界を堪能し、また芝居の面白さを十分に楽しみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 一回目 'Syllabus'に基づいて、科目に関し、内容、年間の予定、目標等々について説明をし、質疑を受けます。
 二回目 シェイクスピアについて
 三回目 シェイクスピアの作品全般について
 以降は ①テキストの講読
 ②研究発表と発表を巡ってのディスカッション
 ③発表に対する補足をを行います。
- ① James Kirkupの解説と批評（『夏の夜の夢』朝日出版社）に基づいて作品へアプローチします。その中で言及され、指摘されている名句、名場面は原文（"A Midsummer Night's Dream"研究社）によって味わいます。
 ② 履修者が確定した段階で個人或はグループによる研究発表の要領を決め、逐次発表してもらうこととなります。研究のテーマ、発表の日時については追って発表します。
 ③ 発表に対し、質疑応答を行います。
 ④ 担当者が補足します。
 ⑤ ビデオ・テープを用いてBBC放送収録の映画"A Midsummer Night's Dream"を鑑賞します。

履修上の留意点

シェイクスピアの戯曲は韻文で書かれており、現代の散文で書かれたものに比べ難解な箇所も多々あります。テキストの注、或は訳本等を参照して、十分に予習をすることが不可欠となります。発表に備えてあらかじめ個別に指導します。予約をし研究室において打ち合わせを行います。必要な参考書についてはその都度紹介、指示します。参考書は非常に多く、皆さんの必要に応じたものを取り敢えず指示することになります。

成績評価の方法

1. 研究発表の評価（発表の態度、内容等）……50%
2. 発表原稿の提出……20%
3. 平常の評価……30%

教科書

- ① "A Midsummer Night's Dream"『夏の夜の夢』（James Kirkup 著 朝日出版社）
- ② "A Midsummer Night's Dream"『夏の夜の夢』（研究社小英文叢書）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学講読(後期)	くま ぎき ひさ こと 熊 崎 久 子	12以降入学生/短英1・2選必	2
英文講読Ⅱ(後期)		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

戦後華やかにアメリカ文壇に登場し、1990年代後半に数多くの作品を発表したトルーマン・カポーティの中期の代表作「ティファニーで朝食を」を読みます。方言、俗語などもしばしば出てきますが、内容、表現を楽しめるよう、読解力の向上を図ります。愛着を込めて描かれているニュー・ヨークの風物、都会的なスマートな雰囲気味わいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ① ビデオ・テープを用いてアメリカ映画“Breakfast at Tiffany’s”を鑑賞し、hearing の力を養う。
- ② 内容について意見を交換をし、内容の理解を深める。
本文内容についての意見の発表、その他問題点について討論など、いずれの場合もクラス全員の自発的発表、参加を主体に授業を進めます。

履修上の留意点

活発な発表と意見の交換を求められますので出席者は十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握し、また語句の下調べ、英語表現に関しても事前に必ず独自の意見をまとめておいて欲しい。質問に対しては即答できるようにしておくこと。

成績評価の方法

- ① 原則として筆記試験による評価…60%
平常点…40% とします。
- ② クラスの人数によっては平常点のみで評価する場合があります。

教科書

“Breakfast at Tiffany’s” (Penguin Fiction)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学講読(後期)	たき せい じゅ 滝 静 寿	12以降入学生/短英1・2選必	2
英文講読Ⅱ(後期)		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

旧約聖書の『創世記』を輪読し、西洋文化の根底をなす世界観に接し、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の違いを概観してみる。平易な英語で書かれているので、速読に馴れることを目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

- 『聖書』、『聖書物語』について
- 「創世記」“天地創造”から“バベルの塔”まで
- “ノアの箱舟”
- “天地創造”のビデオ鑑賞
- “アブラハム”
- “ソドム”
- “イサク”
- “ヨセフ”から“モーゼの十戒”(出エジプト記)への導入と、ビデオ鑑賞
- 全体のまとめ

履修上の留意点

教員のみでなく学生からも常に問題を提起し、読むだけでなく、各ストーリーにもられた意味等を考えながら進めていく。
必ず予習し、積極的な意見の発表を義務づける。予習しない者は入室を拒否する。

成績評価の方法

授業を進めていく過程での平常点、出席率、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教科書

The Story Bible by Pearl S.Buck Vol.1 (英宝社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学講読(前期)	ゆ あさ よう こ 湯 浅 陽 子	12以降入学生/短英・2選必	2
英文講読Ⅱ(前期)		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

今から100年前にアメリカのミネソタ州セントポール市に生まれ、1920年～1930年代に活躍した Francis Scott Key Fitzgerald の *The Great Gatsby* を読む。フィッツジェラルドは44歳で死んだ短命な作家である。第一次世界大戦後の狂騒的な好況の1920年代とあまりにも密着していたところに、この作家の華々しいスタートと成功の、ひいては1929年の大恐慌を経た後の30年代における閑却と不遇の原因を求めるのが今日のほぼ通説と見てよいかもしれない。

正味10年程の短い活動期を自分の夢を追いかけて駆け抜けていった男に「アメリカの夢」を重ね合わせる人も多い。いま若い女性に人気のある村上春樹氏も実は相当フィッツジェラルドに傾倒していることを知っている人も少なくないことだろう。また、本木雅広演ずる某男性化粧品会社のCMに出てくる化粧品の名前もたしか“Gatsby”だった。不景気な世の中だからこそ、この名前には彷彿としたものを感じさせる何かがあるのだろうか。作品を通してそれが何であるのかを感じとってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月 映画に描かれている *The Great Gatsby* 鑑賞
- 5月 発表 第1章 19ページ
 ♪ 第2章 14ページ
 ♪ 第3章 19ページ
 宿題 第4・5章 33ページ
- 6月 発表 第6章 13.5ページ
 ♪ 第7章 31ページ
 ♪ 第8章 15ページ
 ♪ 第9章 17ページ
- 7月 Fitzgerald と作品および家族、人生観、女性観について

履修上の留意点

The Great Gatsby は中編小説だが、全章読破するとなると中々大変である。テキストは発表形式で読み進める。受講者は幾つかのグループに分かれ、そのメンバーで自分たちの担当する章を決めたうえで、分担して発表する。

発表は次の要領で行う：

- ①担当した部分の Reading、(文章が把握できているかどうか読み方で判る)
- ②その部分の要約、
- ③気がついた注目すべき／難解な英語表現、
- ④その部分にまつわるエピソード等調べてわかった周辺的事柄、
- ⑤その他自分の感想等

万が一自分の発表の日に欠席すると、所属するグループ全体の責任となり、他のメンバーがその部分の穴埋めをしなければならない。発表者はメンバーに迷惑をかけないように注意してもらいたい。グループ間の連絡を密にしておく必要があることは言うまでもないが、万が一の場合に備えて、自分の担当の前後についても一応準備をしておくことよ。なお、発表日に休むと本人の大きな減点になるだけでなく、その部分をメンバーがカバーできなかった場合はメンバーも減点になる。その意味で発表はグループの連帯責任なのである。

発表以外の人は担当者の発表をよく聴き、発表終了後に質問事項と発表に関する評価を所定用紙に記入し提出する。質問された担当者は、その場で答えられることは答えるが、準備不足の場合は、次回に回答する。

第4章と5章は日程の関係で担当者学会出張中の宿題となる予定である。発表要領と同じようにレポートを作成して出張明けの授業開始時に全員提出する。

成績評価の方法

毎回の出席および質問等を含めた授業への参加度(25%)、何回か回ってくる発表の為の準備度平均点(25%)、宿題レポート(25%)、最終試験結果(25%)の総合で評価する。

教科書

F. Scott Fitzgerald: *The Great Gatsby* Penguin Book

参考書等

野崎孝編「20世紀英米文学案内-7-F. Scott Fitzgerald」(研究社)
 小堀用一朗著「スコット・フィッツジェラルド一人と作品-」(弓書房)
 ナンシー・ミルフォード著 大橋吉之輔訳「ゼルダ・愛と狂気の生涯」(新潮社)
Fitzgerald's The Great Gatsby - The Novel, The Critics, The Background
 Henry Dan Piper 著
 Charles Scribner's Sons

そ の 他

最良の学習環境を確保するために人数制限を行う。第1回目の授業時に抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行するので、勝手に履修登録をすることはできない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英米文学講読(後期)	たかのひでおの野秀夫	12以降入学生/短英1・2選必	2
英文講読Ⅱ(後期)		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

- ① Natural Speed で、テープの英語を聞き取る。英語の質疑応答で教科書の内容を把握し、英語の基本構文を理解する。
- ② 教科書「クリスマス・キャロル」はいわゆるクリスマスの読物のなかでとりわけ有名な作品である。特に、冷酷な主人公が、亡霊に導かれてやさしい人間に生まれ変わる心の動きに注目しながら読み進め、様々な視点からディケンズ文学の理解を図り、英文学の面白さに迫る。

講義の内容・授業スケジュール

- ① テープの英語
- ② 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、英国文学の知識を広げる。

履修上の留意点

英語の質疑応答があるので予習は欠かせないこと。

成績評価の方法

期末筆記試験、平常点(発表、出席、レポート)

教 科 書

- ① Charles Dickens : *A Christmas Carol*
- ② プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
聖 書 研 究	みずしま ようこ 水 島 陽 子	12以降入学生/短英1・2選(一類)	4
		12以降入学生/短英1・2選(二類)	
		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

言うまでもなく、聖書をぬきにして西洋文明は語れず、また、日本を含む様々な非キリスト教文化圏においてもその影響は多大かつ複雑である。永遠のベストセラーと呼ばれるこの書物は、ありとあらゆる言語に翻訳され、人々の信仰を支えると同時に、キリスト教とキリスト教文化を知るための最も有効な手掛りのひとつとなっている。

ここでは日本語訳聖書を実際に読み進めながら、その意味、構造、歴史的背景などを理解し、さらに、英文学をはじめとする数々の文学、音楽、美術などに親しく触れながら、それらの中に聖書との関係を確認していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期……主として旧約聖書について

(天地創造、アダムとイヴ、ノア、アブラハム、モーセ、ダビデ、ソロモン、詩篇、預言書など)

後期……主として新約聖書について

(福音書とたとえ話、イエスの生涯、パウロ書簡など)

履修上の留意点

1限の授業なので、年間を通して遅刻・欠席のないように。

いかにベストセラーといえども、聖書を「読む」のは骨が折れる。授業でも紹介するが、いわゆる「聖書物語」を読むことで予備知識をつけておくとわかりやすいであろう。何より望まれるのは授業への積極的な参加である。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、意見・感想を述べたりコメントを書いたりしてもらい予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

レポート・出席重視

教 科 書

『新共同訳聖書』(日本聖書協会編)

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋古典文学	みず しま よう こ 水 島 陽 子	12以降入学生/短英1・2選必(一類)	4
		12以降入学生/短英1・2選(二類)	
		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

二千年をはるかに超える昔、ギリシャに花開いた文化は西洋文化の源流の一端となって、今もなお多様な形でその消息をたどることができる。文学・哲学・歴史、その他人間のあらゆる文化的営みの原型がギリシャにあると言っても、過言ではないだろう。その、いわゆる「古典期ギリシャ」において人々を捉えてきたテーマは、「人間とは」ということであった。人間とはいかなるものか、また、いかに生きべきものか。

ここでは、多彩に発展した神話をもとに、詩人たちがそれぞれの世界観の中でどのように「人間」を捉えてきたかを追っていきたい。古くはホメロスの『イリアス』『オデュッセイア』から、紀元前5世紀の黄金時代に競演された数々のギリシャ悲劇までを、作品論的に、かつまた現実の時代背景との関連において考察する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期……神話と詩人
ホメロス『イリアス』『オデュッセイア』
後期……ギリシア悲劇
ソポクレス『オイディプス王』など

履修上の留意点

テキストに必ず目を通しておくこと。叙事詩や劇の形式、また古めかしい表現などにとまどいがあるかもしれないが、決してむずかしすぎることはない。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、コメントを書いてもらう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

筆記試験及びレポート

教科書

ソポクレス『オイディプス王』(岩波文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス史 (後期)	Ashwell, Tim (アシュウェル, T.)	12以降入学生/短英1・2選必(一類)	4
		12以降入学生/短英1・2選(二類)	
		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

In this course it is hoped that students will gain some insight in to the changes that have occurred in Britain, particularly over the past fifty years. This will mainly be done by comparing changes that have occurred here in Japan over the same period with those that have taken place in the UK and by trying to decide how similar or different those changes have been in both countries. Occasionally, connections will be made to events and people pre-1945, but the focus will principally be on Britain (and Japan's) post-war history.

講義の内容・授業スケジュール

A series of topics will be investigated and two or three weeks will be spent exploring each one. Topics may include : Northern Ireland, Education and The Royal Family. A mini-test will be given on each topic and the results of these tests will constitute the greater part of students' final grades. An assignment will also be set so that students can research a topic which particularly interests them.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual.
Reasons for absence are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on : 1). effort shown in class ; 2). mini-test results ; 3). homework ; 4). assignment ; 5). attendance.

教科書

なし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文化事情 (前期)	Moe, Richard A. (モエ, R. A.)	12以降入学生/短英1・2選必(一類)	4
		12以降入学生/短英1・2選(二類)	
		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

To provide a comprehensive understanding of American culture by examining major components and influences that determine it.

講義の内容・
授業スケジュール

The course will begin with an examination and discussion of "culture" and then using the definition obtained from that discussion, elements of American culture will be analyzed and discussed, and comparisons will also be made to Japan.

履修上の留意点

The course will be conducted as a discussion so it will be imperative that students participate actively.

成績評価の方法

The following formula is used to determine the final grade.

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{final grade}$$

X = number of unexcused absences

Y = number of unexcused times tardy

Z = average of tests and reports

α = adjustments made by teacher

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教 科 書

There is no specified textbook for this class so students are free to use any reference materials and resources at their disposal. Use of the Internet is especially encouraged.

参 考 書 等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

そ の 他

Students should either talk to their teacher or to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Scores will be posted regularly outside the office of the English Department.

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語 (前期)	おか 岡 もと 本 まこと 誠	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でいえば“Current English”ということになるだろうか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。英字新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらゐは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習[英語音声の基礎](前期)	おか 岡 もと 本 まこと 誠	12以降入学生/短英2選必	4
英語演習Ⅰ[英語音声の基礎](前期)		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

英語音声の認識をディクテーションの手法で行なう。英語を聴いて、それを正確に書き上げるという作業はその人の実力をずばりと表す。例の“r”音と“l”音の認識といったレベルにとどまらず、ここで文が完結したな、じゃここでピリオドを打って次が文題になるな、などといったイントネーションのレベルに至るまで幅広く力量が要求されるからである。TOEFL500点以上、TOEIC700点以上を達成したい人はどうぞ。

講義の内容・授業スケジュール

聴く英語の内容は慣用語句の成立背景を説明したもの。同じ聴いて書くならば、面白くてためになるものが多い。例えば、アメリカでは「近所の人と生活振りを張りあう、世間に遅れをとらないようにする」ということを“to keep up with the joneses”と言う。また、もともとは人物の名前(実在の市長さん)であったのだが“maverick”は「一匹狼」の意味で現在はい用いられている。こういう表現の成立をついでに知って、自分達も使いこなそう、という意図でもある。

履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるは迷惑至極。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。そういう授業なのである。

成績評価の方法

小テスト。発表情況。出席情況。

教科書

教科書は使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習Ⅰ(シャーロックホームズ)(後期)	たき せい じゆ 滝 静 寿	12以降入学生/短英2選必	4
英語演習Ⅱ(シャーロックホームズ)(後期)		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

推理小説の古典『シャーロック・ホームズ』ものの中から1篇を、受講者の希望を考慮して選び、輪読し、推理しながら当時のロンドンの風俗やイギリス人気質など研究する。

講義の内容・授業スケジュール

輪読しながら、ロンドンを中心に地図をもとにしながら、推理過程における町や鉄道の様子、生活状況を研究していく。2、3篇の作品をビデオ鑑賞する予定。

履修上の留意点

必ず予習し、時間中は積極的に意見や考えを述べることを義務づける。また他の全作品を日本語訳で必ず読んで貰う。

成績評価の方法

輪読を進めていく過程での平常点、出席率、学年末のペーパー・テスト等による総合評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習(ボキャビュラー ビルディング)(前期)	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	12以降入学生/短英2選必	4
英語演習Ⅲ(ボキャビュラー ビルディング)(前期)		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

英文読解の基礎は単語と文法と文脈を読む力にある。文法は高校までの文法がしっかりしていれば日常の読書には殆ど問題はない。文脈を読む力は単語力に左右される。要するに問題は単語である。辞書を引き引き1時間かけて1ページ読むというのでは、実用的な読書にはほど遠い。こうした読書をせざるをえないのは単語を知らないからである。実用的な読書をするためには、単語力の増強が不可欠である。とはいっても、英語の単語の数は膨大であるし、覚えなくてはいけない単語の数は気が遠くなるほど多い。特に読書の際に必要な長音節語は、会話の際頻出する基本語に比べて出現頻度も高くなく、読書をしながら覚えていくにしても、あまり効率よく覚えられない。そこでどうしたら効率よく単語を覚えるかが問題となる。本演習では、効果的単語力増強の一方法として語源を利用することとし、実際に語源を使って語彙を増やししながら、語源を使った単語力増強法を身につけてもらう。また、単語力の増強を図りながら、一言一句細かく英文を読みながら正確に英文を読み取ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

新聞や雑誌の記事、ちょっとしたストーリーや逸話など、異なった種類の英文を取り上げ、まずそれらを綿密に読む。その後で、その中で使われている単語の中から語源的に興味ある単語を抽出して、語根、接頭語、接尾語を中心とした語源的観点から当該単語の意味を解説する。次いで同じ語根、接頭語、接尾語を持つ関連語を教師が受講生に提示し、それらの意味・用法を説明する。時には受講生自ら辞書を使い、教師のヒントをもとに関連語を探し出し、簡単な語源的記述をして、教師の用意した例文を読んで、実際に文の中でどのように当該単語が使われるかを観察することもある。一つの記事もしくはストーリーが終わるごとに小テストをして、扱った単語の記憶を図る。

履修上の留意点

単語力をつけるためには普段からの努力の積み重ねが必要である。そうした努力を厭わない受講者が望ましい。教材の準備及び演習という授業の性格上、またパソコン教室を使用する関係上、受講者数を限定せざるをえない。受講希望者多数の場合は小テストをして、受講者を決定する。従って、受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。

成績評価の方法

授業時間中に頻繁に行う小テストの合計点で成績判定をする。

教科書

使用しない。ハンドアウトを配る。

参考書等

小川芳男 編『ハンディ語源英和辞典』(有精堂)
渡部昇 著『英語の語源』(講談社現代新書)
梅田修 著『英語の語源物語』(大修館書店)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語演習(時事英語へのアプローチ)(前期)	よし ざわ えい し ろう 吉 沢 栄 治 郎	12以降入学生/短英2選必	4
英語演習Ⅳ(時事英語へのアプローチ)(前期)		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい	時事文を読んでいます。話題は広範囲に及ぶので、多方面の知識が求められます。自分で調べるように。
講義の内容・授業スケジュール	ラジオ放送 AFN から流れるニュースを教材にしてディクテーションをします。英語の響きに馴れたい。
履修上の留意点	英和辞典を持参のこと。
成績評価の方法	期末定期試験で評価します。
教科書	プリントを配布します。
参考書等	『イミダス』(集英社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語演習〔英語表現〕(前期)	たか の ひで おと 高 野 秀 夫	12以降入学生/短英2選必	4
英語演習Ⅵ〔英語表現〕(前期)		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい	日常、大学生活において役に立つ、口語英語表現の英作の例文を多数練習し、Case by Caseですぐに英語で自分の意思が伝えられるような、実践的な英作文の授業を目指す。 また、英字新聞で日常生活の出来事を伝えるための身近な英語表現の向上をも図る。
講義の内容・授業スケジュール	① 英字新聞の活用。 ② 「コミュニケーションのための口語英作文」のテキスト使用。
履修上の留意点	① 日常の出来事を30分間でよいから毎日英文で書き表す習慣を身につけること。 ② 教科書の練習問題の解答、レポート提出を忘れぬこと。
成績評価の方法	① レポート (いろいろな話題を英語で書き表す) ② 中間・期末のテスト (a) 英字新聞 (b) 教科書 (c) 自由英作文 (辞書持込可) ③ 平常点
教科書	① <i>The Road From Writing To Speaking</i> ② <i>Broadcasting English 21 Approaches</i>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語表現(後期)	おが もと まこと 岡 本 誠	12以降入学生/短英2選必	4
英作文(後期)		11以前入学生/短英2必(1-類)	2

講義のねらい

英語が話せるようになりたいと願う人は多い。しかし、いきなり話せるようになるものではない。聴く力がまず備わることが前提になっている。つまり listening comprehension の力なくして話せるようにはならない。これは真理である。この講義ではリスニングの力を養い、それをいかに発話に結びつけていくか、つまり、いかに英語で表現してみるか、ということに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

聴く対象としてはアメリカに関する面白そうな話題を用意している。例えば

- ・アメリカへの移民の歴史
- ・入植者と先住民の対立
- ・黒人の苦勞
- ・Fast food の文化と健康の問題
- ・Walt Disney とその事業
- etc.

履修上の留意点

こういった話題のテープをダビングし、まず自分で下見ならぬ下聴きをし、授業に臨む。話の展開に応じての英語による質問に英語で答えることが要求される。遅刻は物音をたてるので減点の対象。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。

成績評価の方法

発表力。出席情況。

教 科 書

教科書の類は使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現(後期)	うめ梅 ほん原 とし敏 ひろ弘	12以降入学生/短英2選必	4
英作文(後期)		11以前入学生/短英2必(一類)	2

講義のねらい

英語で自分の意志を表現するための基礎力の養成を目指す。具体的には、まず第一に基本的な英語表現をセンテンス単位で完全に覚え込み、それを使いこなせるようにする。第二にはテープを反復練習することによって英語の音声に慣れ、基礎的な英語聴解力を養うと同時に、英語の音声・特にリズムの基礎を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者はあらかじめ家でテープに録音された英語のセンテンスを聴き、それをノートに書き写しておく。毎回15センテンス程度。そして教室でその結果をコンピューターに入力し、教師から正答を聞き、聞き取れなかった単語を補い、また誤って聞き取ってしまった単語を訂正する。その際、各々の表現について語法上の注意点及び聞き取れなかった箇所の音声上の問題点につき説明をうける。その後でテープを使って各々のセンテンスの反復練習をおこなう。限られた授業時間では反復練習は十分におこなうことが出来ないため、家で十分に反復練習することが求められる。

毎回、授業は前回の授業で習った文を完全に覚え込んでいるかどうかを確認することから始まる。この際、テープの後についてよどみなく且つ正しい英語のリズムで英文を言うことが出来るかどうか注意が払われる。その後で、各々の表現を使った英問英答練習及び口頭英作文の練習をおこなう。

履修上の留意点

授業の性格上またコンピューターを使用する関係上、多人数の授業は無理なので、受講希望者が多数の場合は、小テストを実施して受講者を決定する。従って、受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。

成績評価の方法

毎回授業の最初におこなうテープを使った再現練習の出来具合、前期・後期の終了時におこなう試験の結果及び出席を総合的に勘案して成績評価をする。

教科書

テキストは使わない。

参考書等

東後勝明『英会話のリズムとイントネーション』(金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現(後期)	たかのひでお夫 高野秀夫	12以降入学生/短英2選必	4
英作文(後期)		11以前入学生/短英2必(一類)	2

講義のねらい

英作文の教科書と英語ニュースで英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 各授業時間一つのニュースを Natural Speed の英語で聞き、その役立つ英語表現で自由に英文を作る練習を重ねる。
- ② 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。
- ③ A Short Speech は身近な話題を自分の英語で表現する。

履修上の留意点

- ① 出来るだけ Natural Speed の生の英語に慣れ親しむこと。
- ② 一日30分間でよいから自分の思ったことを英語で書き表してみる。

成績評価の方法

- ① レポート
- ② 中間・期末各1回テスト
 - (a) 英語ニュース
 - (b) 教科書の英作文
 - (c) 自由英作文
- ③ 平常点

教科書

- ① *Unique English Composition* (Vol. I・II)
- ② *TV News Watching・21 Approaches*

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現(後期)	よしざわえいじろう 吉沢栄治郎	12以降入学生/短英2選必	4
英作文(後期)		11以前入学生/短英2必(一類)	2

講義のねらい

基本的な表現を数多く覚える。音声面に留意して口頭英作文も心掛ける。

講義の内容・授業スケジュール

短い日本語を逐次、英訳していく。自分で事前に英訳文を用意のこと。板書して訂正していきます。

履修上の留意点

和英辞典を持参のこと。

成績評価の方法

期末定期試験で評価します。

教科書

『新大学英作文』(成美堂)

参考書等

『新自修英作文』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現(前期)	たき せい じゆ 滝 静 寿	12以降入学生/短英2選必	4
英 作 文(前期)		11以前入学生/短英2必(一類)	2

講義のねらい

日本の文学作品が多数英訳され、世界中で読まれている。しかし日本の伝統ある文化がどのように伝えられているだろうか。必ずしも適正に伝達されているとは思えない。翻訳者の優劣もさることながら、他国語に移しかえることは大変難しい。文学作品なら更に困難な問題が山積している。この授業では、名訳とされている作品の一部を取り上げ、原典と比較して、言葉の違いが理解、観賞する上でどのような影響をおよぼすか研究する。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に、世界の古典『源氏物語』を取り上げ、二、三の現代日本語訳を比較し、英訳ではウェーリー、サイデンスティフカー等の訳を検討する。その他漱石、川端の作品、短歌、俳句等研究する。

履修上の留意点

英語のみならず、日本語の学習を充分することを要求する。

成績評価の方法

定期テスト60点、出欠20点、平常点20点で評価する。

教科書・
参考書等

すべて配布プリントによる。

そ の 他

積極的に意見発表することが肝要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 翻 訳 法 (前 期)	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	12以降入学生/短英2選必	4

専門(英文科)

講義のねらい

「A translator is a traitor」(翻訳者は反逆者である)とはよく言われる。これは、完全な翻訳がいかに難しいかを指摘するためにしばしば引き合いに出される言葉である。確かに、翻訳は難しいし、所謂「名訳」は一流の翻訳家の「名人芸」によってしか、生み出されないのかもしれない。勿論、この講義で目指すのはそうした「名人芸」の修得ではない。授業やテストの際お目にかかる、妙な、理解に苦しむ直訳からいかに脱し、出来るだけ自然な訳文に近づけるにはどうしたらよいか、その方法を勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

「直訳という名の誤訳」という本が出版されたことがある。直訳が全て誤訳というわけではないが、この本の指摘する通り、英文を正しく理解していなくても、直訳によって、英文を日本語にすることは出来る。しかし、こうした直訳では、正しい意味や微妙なニュアンスを伝えることが殆ど不可能であると言ってよい。意味不明の訳文には、えてして直訳によるものが多い。こうした事態に陥るのは、一つには、英語と日本語の構造の違いを無視して、英語の構文に訳語をあてはめて、英文の構文はほぼそのままにし、語順だけを日本語にするからである。

そこで本講義では、直訳を避け、出来る限り自然な日本語訳にするための一つの大きな要素として、英語の構文をいかに日本語の構文に移し変えるかという点をとりあげ、それを重点に講義を進めていくことにする。

授業を3段階に分け、学生の翻訳実習と添削を中心に授業を進める。

第1段階：翻訳の基礎練習。(読み下し練習、辞書の訳語と“定訳”、代名詞と省略、漢語と和語、無生物主語、その他)

第2段階：文法項目を中心とした翻訳練習。(名詞構文と動詞構文、所有格、時制、関係代名詞、形容詞・副詞、仮定法、語法、その他)

第3段階：総合練習。(長文翻訳練習)

履修上の留意点

授業はコンピュータを使って行うので、受講者はワープロ・ソフトを使いこなせるようにしておくこと。なおコンピュータの台数に制限があるため、受講希望者多数の場合は、選抜を行います。受講希望者は、下記の英文をあらかじめ翻訳し、第1回目の授業に必ず出席して、提出すること。

Whoever has to deal with young children soon learns that too much sympathy is a mistake. A child that invariably receives sympathy will continue to cry over a tiny mishap; the ordinary self-control of the average adult is only achieved through knowledge that no sympathy will be won by making a fuss.

成績評価の方法

平常の授業時に行う翻訳の小テストの結果(50%)、毎回提出してもらう課題の英文翻訳練習の出来具合(30%)、期末長文翻訳問題の出来具合(20%)。

正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教科書

使用しません。

参考書等

- 別宮貞徳 著 『翻訳を学ぶ』(八潮出版社)
- 別宮貞徳 著 『翻訳読本』(講談社)
- 河野一郎 著 『翻訳上達法』(講談社)
- 東田千秋 著 『直訳という名の誤訳』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A(前期)	Moe, Richard A. (モエ, R. A.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II A(前期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

To encourage students to develop their own ideas by introducing them to selected readings over which discussions will be held.

 講義の内容・
授業スケジュール

Students will be expected to read the following books on their own outside of class. They may read these texts in either English or Japanese; understanding the contents of them will be essential as these will provide the basis of discussions in class. The books should be read in the order in which they are listed.

履修上の留意点

Students will be expected to participate actively in class discussions. Students who are passive, shy, and who do not make any effort to participate in the discussions will not pass this course. All communications, reports, and tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$ where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and α represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教科書

Tao by Lao tzu, *The Art of War* by Sun tzu, *Nineteen Eighty-four* by George Orwell, and *Brave New World* by Aldous Huxley. Some of these books are difficult to obtain, so students are free to use any versions they can find.

参考書等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

その他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A(前期)	Wade, D. A. (ウエイド, D. A.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II A(前期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

You have studied English for several years, often using repetitive drills and memorising dialogues—this course is different. We will use the various activities and exercises in the textbook *Go Ahead, Talk* (which was written especially for Japanese students at junior colleges) as the basis for free-form discussions of a wide variety of interesting topics. You will have the opportunity to make solo presentations, work in pairs, engage in group activities and reports, and to talk English one-on-one with the instructor. Supplementary material will be regularly supplied in class to deal with three areas that are of particular difficulty to Japanese students: (i) talking about all the different kinds of numbers we use in English, (ii) pronunciation practice of key sounds, and (iii) writing and performing your own meaningful conversations.

成績評価の方法

Final grades for the course will be based on (i) the effort and enthusiasm you put into class activities and your overall improvement over the term, (ii) a small number of in-class quizzes and presentations/performances, and (iii) your attendance. Note: absences without an appropriate excuse and/or persistent lateness will affect your final grade.

教科書

GO AHEAD, TALK by Paul Gilbert (published by Macmillan)
A book-form or electronic dictionary is highly recommended.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A(前期)	Ashwell, Tim (アシュウェル, T.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II A(前期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' all-round abilities in English in a small group environment.

講義の内容・授業スケジュール

The content of this course will largely be decided by the teacher and the students as we go along. It will depend on students' interests and goals, but it is anticipated that students will read and discuss books as well as have free conversation practice.

履修上の留意点

Students will be expected to have a strong commitment to improving their English abilities. Only a small number of students who can demonstrate a real determination to get better at English will be admitted to this class.

成績評価の方法

開講時に指示します。

教科書

なし

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A(前期)	Leone, James (レオーネ, J.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II A(前期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

4月最初の授業で説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A(前期)	Gormley-Guner, L. (ゴマリー・グナー, L.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II A(前期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

4月最初の授業で説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A(前期)	Griffiths, J. (グリフィス, J.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II A(前期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

The principal aims of this course will be to improve the ability of the students to express themselves effectively in conversational English on a variety of topics and also to increase their vocabulary and understanding of written English.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will cover different topics in the news, popular culture, or in global trends in business, science, and the environment. Students may be asked to make individual presentations to serve as the basis for broader interaction among members of the entire class.

履修上の留意点

During the course of two semesters, students will be expected to become familiar with the material presented in class, whether it is presented by other students or culled from the Internet, textbooks, or other sources. Regular attendance and enthusiastic participation in classroom activities will be required to successfully complete the course.

成績評価の方法

Attendance and class participation will count for 50% of the final grade. Presentations, assignments, or test scores will count for the other 50%. Every three unexcused absences may lower the final grade by ten points. Tardiness will be frowned upon and may result in the lowering of grades.

教科書

To be announced.

その他

Any questions or problems a student has concerning the class should be discussed directly with the instructor.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B(後期)	Moe, Richard A. (モエ, R. A.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II B(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

Students will be given the opportunity to expand and develop the skills they have developed in Advanced English A through discussions of any topics that interest them.

講義の内容・
授業スケジュール

The emphasis of the course is in conducting and maintaining natural conversations in English over a broad range of topics.

Reading newspapers, weekly magazines and other periodicals, listening to the news on the radio or watching it on TV, and researching subjects of interest on the Internet are encouraged as they provide valuable material for discussion.

履修上の留意点

Students will be expected to participate actively in class discussions. Students who are passive, shy, and who do not make any effort to participate in the discussions will not pass this course. All communications, reports, and tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) \cdot 3 + \alpha$ where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and α represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教 科 書

There are no assigned texts for this course.

参 考 書 等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

そ の 他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B(後期)	Wade, D. A. (ウエイド, D. A.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II B(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

You have studied English for several years, often using repetitive drills and memorising dialogues—this course will be different. We will use the various activities and exercises in the textbook *Face to Face* (which was written especially for Japanese students) as the basis for free-form discussions of a wide variety of interesting topics. Each unit ends with a short reading selection and one-page mini-essay—these will be considered as a regular homework assignment and which will act as a kind of on-going journal.

In class, you will have the opportunity to make solo presentations, work in pairs, and to talk English one-on-one with the instructor. Supplementary material will be regularly supplied in class to deal with three areas that are of particular difficulty to Japanese students: (i) talking about all the different kinds of numbers we use in English, (ii) pronunciation practice of certain key sounds, and (iii) writing and performing your own meaningful conversations.

成績評価の方法

Final grades for the course will be based on (i) the effort and enthusiasm you put into class activities and your overall improvement over the term, (ii) the work completed in your textbooks (iii) a small number of in-class quizzes and presentations/performances, and (iv) your attendance. Note: absences without an appropriate excuse and/or persistent lateness will affect your final grade.

教科書

FACE TO FACE by Dale & Corey Fuller (published by Macmillan)
A book-form or electronic dictionary is highly recommended.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B(後期)	Ashwell, Tim (アシュウェル, T.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II B(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' all-round abilities in English in a small group environment.

講義の内容・授業スケジュール

The content of this course will largely be decided by the teacher and the students as we go along. It will depend on students' interests and goals, but it is anticipated that students will read and discuss books as well as have free conversation practice.

履修上の留意点

Students will be expected to have a strong commitment to improving their English abilities. Only a small number of students who can demonstrate a real determination to get better at English will be admitted to this class.

成績評価の方法

開講時に指示します。

教科書

なし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Advanced English B(後期)	Leone, James (レオーネ, J.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II B(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

4月最初の授業で説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Advanced English B(後期)	Gormley-Guner, L. (ゴマリー・グナー, L.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II B(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

4月最初の授業で説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Advanced English B(後期)	Griffiths, J. (グリフィス, J.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II B(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

The principal aims of this course will be to further improve the ability of the students to express themselves effectively in conversational English on a variety of topics and also to increase their vocabulary and understanding of written English.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will cover different topics in the news, popular culture, or in global trends in business, science, and the environment. Students may be asked to make individual presentations to serve as the basis for broader interaction among members of the entire class.

履修上の留意点

During the course of two semeters, students will be expected to become familiar with the material presented in class, whether it is presented by other students or culled from the Internet, textbooks, or other sources. Regular attendance and enthusiastic participation in classroom activities will be required to successfully complete the course.

成績評価の方法

Attendance and class participation will count for 50% of the final grade. Presentations, assignments, or test scores will count for the other 50%. Every three unexcused absences may lower the final grade by ten points. Tardiness will be frowned upon and may result in the lowering of grades.

教科書

To be announced.

その他

Any questions or problems a student has concerning the class should be discussed directly with the instructor.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
News English(後期)	Griffiths, J. (グリフィス, J.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Reading Comprehension(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選(二類)	

講義のねらい

The principal aims of this course will be to improve the ability of the students to understand written news English on a variety of topics and also to increase their vocabulary.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will cover different topics in the news, popular culture, or in global trends in business, science, and the environment. Students may be asked to make individual presentations to serve as the basis for broader interaction among members of the entire class.

履修上の留意点

During the course of two semesters, students will be expected to become familiar with the material presented in class, whether it is culled from the Internet, newspapers, magazines or other sources. Regular attendance and enthusiastic participation in classroom activities will be required to successfully complete the course.

成績評価の方法

Attendance and class participation will count for 50% of the final grade. Presentations, assignments, or test scores will count for the other 50%. Every three unexcused absences may lower the final grade by ten points. Tardiness will be frowned upon and may result in the lowering of grades.

教科書

To be announced.

その他

Any questions or problems a student has concerning the class should be discussed directly with the instructor.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
English through Movies(後期)	おか 岡 もと まこと 誠	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Group Discussion(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選(二類)	

講義のねらい

映画が嫌いだという人はまずいない。邦画でなければ、世界を席捲しているハリウッドものになってしまい、いきおい英語が飛び交うことになる。その映画を手段にして英語を勉強しよう、というのが本講義のねらいとするところで、「エーガでエーゴ」というのがモットーである。

講義の内容・授業スケジュール

しかし、いわゆる「アクションもの」というか「刑事もの」というか、カーチェイスがあったりとかいう「ドカン!バキューン!」の類は我に英語を外国語とする者にとっては勉強にならない。勉強するのにわざわざ「汚ない英語」を目標とすることはないのである。外国語を勉強するときは、その国の王様や大統領とも話せるような言葉を身につけるべきだ。そこで、担当者の好みのせいもあるが、落ち着いた雰囲気のあるいい作品を対象とする。

また逆に、邦画を観て、登場人物の台詞をいかに要領のいい英語に訳すか、ということも行なう。つまり、逆トグ・ナツコをやるのである。どちらにしても、事前にシナリオをこちらから提供する。

履修上の留意点

シナリオを事前に自分で吟味し、対訳を考えてみること。ケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

発表状況。小テスト。出席情況。

教科書

教科書の類は使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語とコンピュータ I (前期)	Brooks, D. (ブルックス, D.)	12以降入学生/短英2選(一類) 12以降入学生/短英2選必(二類) 11以前入学生/短英2選	2

講義のねらい

The aim of the English For Computers (Eigo to konpyuta) course is to teach students the English language skills needed to work with computers and information technology. Additionally, the students will become familiar with a wide variety of computer uses for both home and office. One of the main goals of the course is to bring students to thorough understanding of the Internet and multimedia. The course seeks to give them experiences to deal effectively with these in English.

講義の内容・授業スケジュール

The focus of the course is on acquiring practical hands-on competence and English communication skills for using information technology, especially the Internet. Beginning with computer hardware and the concept of the computer network communications, the students will gain a basic understanding of the nature of information technology. Browsing the World Wide Web, search strategies, e-mail writing and etiquette, mailing list subscription, Telnet, FTP, newsgroups, webchatting are among the Internet topics to be explored. Students will learn how to make their own homepage with links to other websites.

NOTE : Owing to the students' background knowledge and skill and to the availability of software, the actual unit content may be altered.

UNIT TEACHING CONTENT

- 1 Computers and You : how computers affect our lives
- 2 Introduction to information technology and the Net
- 3 E-mail : using it and writing effective e-mail
- 4 Exploring the Internet through e-mail : listserv, e-zines, newsgroups
- 5 Browsing the World Wide Web
- 6 Search Strategies : how to find the information you want
- 7 Internet management tools : Telnet, FTP, Gopher, HTML
- 8 Individual project : Web-based research project
- 9 Homepage : content, design, and creation
- 10 Multimedia : integrating text, graphics, audio and video
- 11 Introduction to Class project : multimedia database / guide
- 12 Computing for entertainment and education
- 13 The Future of computers and information networks
Preparation for Final Evaluation Project
Final Exam

履修上の留意点

A. Students will be able to competently use information technology software : 1) to successfully locate information on the Internet, 2) read and write effective e-mail messages, 3) to access the full scope of the Internet resources, 4) to create and modify their own homepage on the Internet, 5) to produce a report using Internet sources.

B. Students will be able to understand computer and information technology concepts in English and will be able to communicate concerning computer procedures and Internet functions in English.

C. Students will improve their English language competence in the four main skills through communication in speaking, listening, reading, and writing about computers and through using the Internet and multimedia tools.

成績評価の方法

On-going evaluation through unit assignments and projects will be the major component of course evaluation. Students will be informed at the beginning of each unit of the skills they will be expected to be able to learn and how they will demonstrate their learning. A practical hands-on performance examination to demonstrate competence will be another possible part of the evaluation. Attendance and class participation are important parts of the course grading. The instructor may use brief multiple-choice quizzes during the class to check comprehension of the English language content and computer vocabulary. Course projects will count 70% of the final grade. Examinations, quizzes, assignments, attendance, and class participation will make up the other portion of the grade.

教科書

There is no required text for the course. It is recommended that students purchase : The Usborne Complete Book of the Internet&World Wide Web by P. Wingate and A. Kalbag (Editors) paperback 48pp (March, 1999) EOC publications : ISBN : 0746033427 price \$ 11.96 at Amazon.co.jp

(optional textbook) Please see the instructor before ordering it.

Handouts will be provided as needed. Regular attendance and hands-on participation in class are the main ways of learning the required skills with the computer applications.

その他

Access to a computer outside of class is not required. Students will be using Windows PC in a university computer lab.

This is a hands-on practical skills course. There is a limited amount of lecture during each class period. However, the students will be actively listening and following the teacher's instructions in order to understand the features and the specific functions for the software programs. Students will be expected to communicate ideas in English and to work toward computer project in English.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語とコンピュータⅡ (後 期)	Brooks, D. (ブルックス, D.)	12以降入学生/短英2選(一類) 12以降入学生/短英2選必(二類) 11以前入学生/短英2選	2

講義のねらい

The aim of the course is to provide students with practical skills with computer applications in English, building on the skills acquired in the previous course. Students will become familiar with various types of computer uses for business and personal information management. They will acquire skills in creating and manipulating data using such computer tools as word-processing, spreadsheet, database, and presentation software programs.

講義の内容・授業スケジュール

The focus of the course is on acquiring practical hands-on competence with the four computer applications used in most work environments; word processing, database management software, spreadsheets, and presentation software. Beginning with an introduction to typical computer hardware and the concept of computer networks, the students will improve their mastery of routine computer functions through familiarity with the operating system(Windows). Each computer application will be covered individually, followed by a practical project to integrate the information from several of the applications. NOTE: Owing to the students' background knowledge and skills, the actual unit content may be altered.

UNIT TEACHING CONTENT

- 1 Introduction to information management and computer hardware
- 2 Computer software and operating systems
- 3 Word processing skills
- 4 Desk-top publishing
- 5 Introduction to spreadsheet software
- 6 Using spreadsheet to make decisions
- 7 Introduction to database management
- 8 Using database software for organizing data records
- 9 Integrating software applications (form letters)
- 10 Introduction to Presentation software
- 11 Project: presentation using all the computer applications
- 12 Preparation for Final Evaluation
- 13 Final Exam

履修上の留意点

A. Students will be able to competently use computer applications:

1) to create letters, newsletters or brochures, 2) design a simple budget using spreadsheet software and show how financial decisions can be made through analysis of spreadsheet models, 3) design and manage a computer database of clients. 4) use the information from several computer software applications to create formletters, integrating several types of data and 5) make a computer presentation.

(slide show) which illustrates a concept and integrates data from the other computer applications.

B. Students will be able to understand computer application concepts and operations in English and will be able to communicate concerning fundamental computer procedures and functions in English.

C. Students will gain a broader understanding of the ways that personal computers are used in today's office environments and will be confident in seeking to further develop their own competencies with computer applications.

成績評価の方法

On-going evaluation through unit assignments and projects will be the major component of course evaluation. Students will be informed at the beginning of each unit of the skills they will be expected to be able to learn and how they will demonstrate their learning. A practical hands-on performance examination to demonstrate competence will be another possible part of the evaluation. Attendance and class participation are important parts of the course grading. The instructor may use brief multiple-choice quizzes during the class to check comprehension of the English language content and computer vocabulary. Course projects will likely count 60% of the final grade. Examinations, quizzes, assignments, attendance, and class participation will make up the other portion of the grade.

教科書

There is no text for the course. Handouts will be provided as needed. Regular attendance and hands-on participation in class are the main ways of learning the required skills with the computer applications.

その他

Access to a computer outside of class is not required. Students will be using Windows PC in a university computer lab.

This is a hands-on practical skills course. There is a limited amount of lecture during each class period. However, the students will be actively listening and following the teacher's instructions in order to understand the features and the specific functions for the software programs. Students will be expected to communicate ideas in English and to work toward computer project in English.

科目名	担当者名	配当学科	単位
同時通訳入門(後期)	Moe, Richard A. (モエ, R. A.)	12以降入学生/短英2選(一類)	4
同時通訳Ⅱ(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

To teach students the basic skills of simultaneous interpreting

講義の内容・授業スケジュール

After introducing the basic skills of interpreting, students will be expected to apply them in practice. Both Japanese to English and English to Japanese interpretation will be covered. Each student will be expected to be able to give two short talks, one in English and the other in Japanese. As she does so, another student will simultaneously interpret the talks.

履修上の留意点

Students will need to practice speaking smoothly and clearly prior to class so that time in class will not have to be taken to correct their English. The emphasis of this course is on interpreting and not grammar or pronunciation, so students should practice those skills in other classes. Much preparation will be required to speak naturally in class without notes. Inability to do so will adversely affect a student's evaluation. Students will be evaluated at each class.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$ where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all evaluations, and α represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教科書

There are no assigned texts for this course.

参考書等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

その他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
秘 書 英 語 (前 期)	もり 森 本 正 恵	短英1・2選	2

講義のねらい

日本の国際化に伴い、企業で働く秘書として実務に即した英会話の学習は必修であるといえる。来客応対や電話応対の英語、ビジネスレターの作成などを学び、秘書英語検定の対策としても対応できる力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

毎回1つの unit を学習する。Dialog について内容をよく理解したうえで、hearing, speaking, roll play を通して体得していく。
復習を各自で十分に行ない、毎回の小テストに備えておくこと。

履修上の留意点

復習中心になりますので、テキストの順序どおりに講義しません。毎回出席しないと次回のテスト範囲がわかりませんので、必ず授業の進捗を把握しておくこと（止むをえず欠席の場合は、友人に尋ねておくこと）。

成績評価の方法

毎回実施する小テスト及びまとめのテストの成績。
出席を重視します。

教 科 書

服部栄子メリエン著『やさしい秘書の英会話』（南雲堂）1,000円

そ の 他

- ① 受付、取次ぎ、案内などの来客応対における秘書としての会話を学ぶ。
- ② 電話会話、伝言メモの作成。
- ③ ビジネスレターの作成や履歴書の書き方。
- ④ まとめとして、来客応対のロールプレイを演習し、実際に活用できるか確認する。90分テープ1本を用意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
秘書実務 (後期)	もり 森 もと 本 まさ 正 え 恵	短英1・2選	2

講義のねらい

- 秘書業務の基本を習得する。
- ・毎回の講義と演習を中心にして、秘書の仕事を理解する。
 - ・授業は半期だけのため、効率よく進めるよう心がける。
 - ・到達の目安の一つとして、秘書技能検定試験2級、準1級を受験するのもよい。
 - ・検定2級取得者は、単位認定あり。
 - ・就職対策になるので1年次で受講するのが望ましい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
秘書の役割とその仕事 ・働くとは
2. 接遇1 美しい言葉使いと立居振舞
3. 接遇2 来客対応 電話応対
4. 文書作成の基本 ・社内文書
5. 文書作成 ・社外文書
6. 文書作成 ・メモ・グラフ
7. 文書管理 日程管理 (予定、出張)
8. 交際業務と環境整備
9. 会議について① 演習
10. 会議の実際 ② 発表
11. 実技 ① 基本の姿勢 面接対応
12. 実技 ② 来客対応の流れに沿って
13. 実技 予備口

履修上の留意点

- グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけること。
基本的事項については個別学習(予習)により理解をしておくこと。
クラスでは、創造的学習を目標とする。
- ・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。
 - ・疑問や質問は積極的に発言すること。

成績評価の方法

筆記テスト、課題提出、出席、検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価とする。
欠席した場合、必ず理由を明記した届を提出すること。

教科書

『セクレタリアル・オフィスワーク・ノート』(燃焼社)

その他

毎年受講者が多いため、各時限の受講者数に偏りがでないように抽選で決めたい。
については、第一回目の授業に必ず出席すること。

連絡先: mikimori@hotmail.com
TEL&FAX 0467-33-1631

科目名	担当者名	配当学科	単 位
秘書概論 (前期)	湯浅陽子	短英1・2選	2

講義のねらい

イギリスの産業革命以後、印刷技術の発達に伴い秘書業務の必要性が認識され、近代の秘書の地位が確立しました。しかし、ここ数年の情報技術の変革により、国際化・情報化がさらに進むことにより、秘書は本来の秘書業務を基盤として、より質の高い新しい業務処理能力が求められます。有能な秘書は、いつの時代にもその存在意義を見つけることができます。
本講義では秘書になるためではなく、素敵なデキル社会人になるために、有能な秘書に求められる基本的資質、職務知識等を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- ① オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
- ② ビジネス実務とは何か：ビジネス実務のとらえ方
- ③ 「働く」とは何か：個人業務とマネジメント
- ④ 秘書活動の基本：協働業務とマネジメント
- ⑤ 職務能力と専門性：秘書の資質と専門能力
- ⑥ 秘書と人間関係：TAで自分を知る
- ⑦ 秘書に求められるコミュニケーション能力
- ⑧ ビジネス実務をささえる個人業務の基本とノウハウ
- ⑨ ビジネス実務をささえる協働業務の基本とノウハウ
- ⑩ これからのビジネスとビジネスワーカー
- ⑪ ビジネス一般知識
- ⑫ レポート提出
- ⑬ 予備日

履修上の留意点

講義形式で授業を進めますが、グループ学習を取り入れます。また、ケーススタディにおいて自分ならどうするか、自分の考えをまとめて提出してもらうこともあります。正味10回の授業ですから3回欠席すると単位が認められません。

成績評価の方法

出席日数、小レポート、最終レポートの評価合計の平均で決定します。2年生の場合、就職活動で欠席を余儀なくされることがありますが、欠席届を提出したうえで、次週に皆の前で欠席した時の就職活動の様子を発表した場合に限り、欠席分を補えるものとします。

教科書

森脇道子 編著『ビジネス実務総論』(実務出版)

参考書等

必要に応じてプリントを配布します。

その他

授業中に携帯電話を鳴らした人は、自覚が足りない罰則として欠席1回分の減点をします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ジャーナリズム研究	はたのとしお 篠野 寿雄	短英1・2選	4

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材(マスメディア志望者)、あるいは、情報をうのみにせず、冷静に解説・判断できる人間(読者)を育成する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。第一線の記者、論説委員、アメリカ勤務などの体験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、日米ジャーナリズムの比較なども試みる。放送局や新聞社の見学も行う。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、学習結果を応用したレポート、簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

その都度指示する。

その他

私語厳禁、公語(意見発表)歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネスイングリッシュ	まちいやすし 町井 靖	短英1・2選	4

講義のねらい

『商品の輸出入に関する英文の手紙』を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オフア、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階でよく使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっていく。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習(英文解釈)、復習(英作文)が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』(創成社)1,600円(本体価格)

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語教育法 (前期)(後期)	いしだ きゅり 石 田 小 百 合	短英1・2選	4

講義のねらい	日本語を教える際に必要な、日本語に関する知識を身につける。知識をうのみにするのではなく、自分で考え、分析し、判断できる能力を養う。
講義の内容・ 授業スケジュール	日本語の体系（音声、語彙、文字、表記、文法） 日本語の運用（社会言語学）
履修上の留意点	受講者には、日本語に関する知識だけではなく、自分の頭で考え、分析し、判断できる能力を養ってほしい。そのため授業は基本的に受講者主体で行う。毎回課題をこなし、全日程出席できる意欲ある者に受講してほしい。 最初の授業で授業内容の詳細を説明するので、必ず出席すること。
成績評価の方法	試験及び出席、授業態度、課題提出などを総合して評価する。
教科書	後日指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
表 現 法	はぎ ほん よし お 萩 原 義 雄	短英1・2選	4

講義のねらい	<p>実用表現法（国）・表現法（英）〈パフォーマンス〉話すこと・読むこと・書くこと</p> <p>1、話すこと 話し方には一対一で向かい合って特定の人と話す話し方と、複数の人に対して語りかけるように話す人前での話し方がある。このとき、同じ日本語でも標準語でなく自分の生まれ育った地域のことばで話すとしたら、この話し方はどう変貌するであろう。たとえば、青森出身の人と鹿児島出身（例：ラーフル）の人とが話しをしたら、どうであろう。また、ことばの豊富な多様性の高い人とまったくことばの知らない人とか会話したらどうなるであろうか。さらに、話し手の発話テンポはどう影響するだろうか、実際の話し方パフォーマンス表現に従って、その話し方の解明を進めて見たい。</p> <p>2、読むこと 声にだして読む、これを“朗読”という。声に出さずして目で読んで読む、これを“黙読”という。後者の“黙読”は、どの程度のスピーディーさで、どの程度理解して読んでいるのか第三者には定かではない。だが、前者の“朗読”については、声の質や抑揚である読み上げのテンポ・リズムカルさなどから、朗読する側の伝達感覚状況をつぶさに知ることになるのである。ここでその読み方について、「音曲・語り・落語」などの多種多様の観点から考察を試みてみたい。</p> <p>3、書くこと 次世代を超越して、人と人が出会うことのできる記憶媒体の形態として「書く」というパフォーマンスが存在する。何千年・何百年の過去の人物との出会える、いわば未来に残し伝えようとするメッセージ作成システムでもある。これを受信した人が、これをどう見つけ、どう表現しているのだろうか。実際、書くことのシステム領域を認識し、その書きぶりを知り、次にあなた自身が次の世代へ伝えていくメッセンジャーとして書く技術をどう生かしていくかを含め、大いに考えてみたい。</p>
成績評価の方法	課題は、上記1、“話す”2、“読む”3“書く”部門毎に提示する。これによって評価する。また、当初の評価基準に達しない結果が提示された場合には、個人に勧告通知後、補正課題を用意する。

1. 專門教育科目

(3) 放射線科

1. 専門教育科目

(3) 放射線科

放射線物理学	〈小山正希〉	141
電気工学	〈佐藤昌憲〉	141
放射線機器概論	〈氏家盛通〉	142
放射線写真学	〈古川克治〉	143
解剖学	〈作山攜子〉	144
生理学	〈樋口雄三〉	144
環境保健医学	〔平成12年度以前入学生：衛生学及び公衆衛生学〕 〈吉田稔〉	145
画像技術学概論	〔平成12年度以前入学生：画像検査技術学概論〕 〈西尾誠示〉	145
放射線基礎数学	〈小林久夫〉	146
近代物理学序論	〈小林久夫〉	146
放射化学序論	〈原田和正〉	147
実験 I A	〈西尾誠示・氏家盛通・高野正雄・三浦康平〉	148
実験 I B	〈佐藤昌憲・小林久夫・長谷川武・百瀬旬〉	149
実験 I C	〈山本裕右・榎尾英次・原田和正〉	149
実験 I D	〈山本裕右・高田健夫・原田和正・村上雅彦〉	150
医学概論	〈作山攜子〉	151
臨床医学概論	〈作山攜子〉	151
放射線生物学	〈大田忠親〉	152
病理学	〈作山攜子〉	153
生化学	〈原田和正〉	153
応用数学	〈高野正雄〉	154
原子核物理学	〈青木清〉	154
放射化学	〈山本裕右〉	155
電子工学	〈杉田徹〉	155
放射線機器工学	〈中北倫男〉	156
画像工学	〈高野正雄〉	156
画像技術学	〈西尾誠示〉	157
放射線計測学	〈小山正希〉	158
関係法規	〈一守俊寛〉	159
実験 II A	〈西尾誠示・阿部敏・氏家盛通・金谷信一〉	160
実験 II B	〈小山正希・佐藤昌憲・中北倫男・中本淳〉	161
実験 II C	〈杉田徹・青木清・川副護・木村登〉	161
実験 II D	〈杉田徹・青木清・木村登・吉田正廣〉	162
実験 II E	〈榎尾英次・一守俊寛・中北倫男〉	162
病院実習 I	〈氏家盛通〉	163
放射線医学概論	〈作山攜子〉	163
自動制御工学	〈青木清〉	164
医用機器工学	〈榎尾英次〉	165
放射性同位元素応用機器工学	〈小山正希〉	166
画像情報学	〈西尾誠示〉	166
放射性同位元素検査技術学	〈氏家盛通〉	167
放射線治療技術学	〈高山誠〉	168

放射線管理學	〈一 守 俊 寛〉	168
放射線學演習	〈西 尾 誠 示〉	169
実験Ⅲ A	〈小山 正希・佐藤 昌憲・羽生 毅〉	169
実験Ⅲ B	〈青木 清・杉田 徹・永井 喜則〉	170
実験Ⅲ C	〈山本 裕右・大田 忠親・原田 和正・村上 雅彦〉	171
実験Ⅲ D	〈榎尾 英次・氏家 盛通・小林 久夫・高野 正雄〉	172
病院実習Ⅱ	〈氏 家 盛 通〉	173
医学英語	〈伊 藤 典 子〉	173
臨床医学特論	〈 休 講 〉	
臨床放射線特論	〈 休 講 〉	
統計学	〈 休 講 〉	
情報工学	〈 休 講 〉	
画像処理論	〈榎 尾 英 次〉	174
化学特論	〈原 田 和 正〉	175
応用計測学	〈榎 尾 英 次〉	176
放射線学特論	〈星 川 嘉 一〉	176
放射線学基礎演習	〈氏 家 盛 通〉	177
放射線学基礎演習	〈小 山 正 希〉	177
放射線学基礎演習	〈杉 田 徹〉	178
放射線学基礎演習	〈中 北 倫 男〉	178
放射線学基礎演習	〈山 本 裕 右〉	179
放射線学特別演習	〈青 木 清〉	179
放射線学特別演習	〈榎 尾 英 次〉	180
放射線学特別演習	〈佐 藤 昌 憲〉	180
放射線学特別演習	〈西 尾 誠 示〉	181
放射線学特別演習	〈原 田 和 正〉	181
放射線学特別演習	〈山 本 裕 右〉	182

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線物理学	小山正希	短放 1 必	2

講義のねらい

診療放射線学の基礎的概念である放射線（ここでは主としてX線）と物質との相互作用を中心として、最も多用されているX線の発生機構を含めて、放射線とその作用効果の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

主たる項目とその学習順序は凡そ次の通りである。

- 1) 放射線・放射能の定義と概念。
- 2) 放射線の種類と分類。
- 3) 光子（X線・ γ 線）の粒子性。
- 4) 光電効果。
- 5) 原子の構造・粒子の波動性。
- 6) X線回折・ブラグ反射。
- 7) 軌道電子のエネルギー準位。
- 8) 輝線スペクトル。
- 9) 制動X線・特性X線の発生機構。
- 10) X線の線質。
- 11) 光子と物質との相互作用（光電効果・コンプトン効果・電子対生成効果・トムソン散乱など）。
- 12) 吸収端現象とその応用。
- 13) 電子と物質との相互作用（電離・励起・制動輻射・チエレンコフ輻射など）。
- 14) 光子の減弱（吸収係数・再生係数・平均自由行程など）。
- 15) 電子の飛程。
- 16) 放射線の単位。

X線による写真や電子機器を通して得られる人体に関する画像は総べてここで学習するX線と物質との相互作用に依っている。即ち放射線の利用も、また放射線による損傷効果も、その基本的過程は相互作用に有ると言える。従ってこの科目の内容は診療放射線学全体の理解に要する最も基本的な概念知識となっている。放射線の単位は、その内容が本科目での知識なしには理解し得ないので、最後に学ぶ事になるが、学習の各段階で折にふれ概要を説明する。

成績評価の方法

定期試験の他、2～3回行なう中間試験および出席状況により評価する。

教科書

教科書は使用しないが、参考となる書籍とその部分については適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
電気工学	佐藤昌憲	短放 1 必	2

講義のねらい

電気工学全般にわたる広い基礎知識を得ることを目的としている。この科目は、診療放射線技師国家試験科目であるので、十分な演習と中間テストも合せ講義をする。

講義の内容・授業スケジュール

次の内容で授業を進める。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ① 電気回路の電圧・電流 | ② 消費電力と発生熱量 |
| ③ 電気抵抗 | ④ 磁界の強さと磁束密度 |
| ⑤ 磁気回路 | ⑥ 電磁力 |
| ⑦ 電磁誘導作用と電磁エネルギー | ⑧ 静電現象 |
| ⑨ 電界の強さと電束密度 | ⑩ 静電エネルギー |
| ⑪ 交流回路の基礎 | ⑫ 交流の平均値・実効値 |
| ⑬ 正弦波交流の基本回路 | ⑭ 交流の直列回路 |
| ⑮ 交流の並列回路 | ⑯ 交流の電力 |
| ⑰ 複素数とベクトル | ⑱ 交流回路の計算 |
| ⑲ 相互インダクタンスを含む回路の計算 | ⑳ 三相交流の基礎 |
| ㉑ 三相の結線方法と電圧・電流の関係 | ㉒ 三相交流の電力と力率 |
| ㉓ 平衡三相交流回路の計算 | ㉔ 電気計測（電圧・電流・電力の測定） |
| ㉕ 変圧器の基礎 | |

成績評価の方法

中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。

教科書

『新電気基礎問題集』（綜文館）800円
『電気基礎上』（東京電機大学）2,472円
『電気基礎下』（東京電機大学）2,369円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線機器概論 (後 期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短放1必	1

講義のねらい

診療放射線業務を行うには医療用放射線機器や器具が必要である。それらのうち診療用の各種 X 線機器・装置・用具の構造・動作原理や取扱い方法・精度維持や安全管理に必要な知識について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 診療 X 線機器：X 線機器の概要、X 線管の構造、用具・感光材料の基礎知識。
- ② 一般撮影装置：X 線装置・X 線発生装置、X 線制御装置。
- ③ X 線源装置、X 線用高電圧ケーブル、X 線高電圧発生装置、電源設備。
- ④ X 線機械装置：透視撮影装置、保持装置・撮影台、その他の特殊装置。
- ⑤ 関連用品：散乱 X 線除去用グリッド、フィルムカセット、イメージング装置。
- ⑥ 診断用 X 線装置：外科系、消化器系、呼吸器系、頭部系等撮影装置。
- ⑦ 特殊 X 線装置：乳房用 X 線装置、泌尿器・婦人科系 X 線装置、乳幼児撮影装置。
- ⑧ X 線断層撮影装置、X 線間接撮影装置、X 線拡大撮影法・立体撮影法。
- ⑨ 循環器系 X 線検査装置：連続撮影装置、X 線シネ装置と関連機器。
- ⑩ X 線 CT 装置：原理と画像再構成、前処理と補正、X 線 CT 走査方式。
- ⑪ X 線 CT 検出器、寝台、X 線発生装置、X 線管、コンピュータシステム。
- ⑫ X 線 CT 装置の特徴：スリッピング方式、画像記録装置、画像記憶・表示装置。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要な X 線装置などの基礎的知識について教科書を用いて講義する。

成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況による。

教 科 書

『診療放射線技術』上巻（南江堂）7,004円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線写真学 (後期)	ふる かわ かつ ほう 古 川 克 治	短放 1 必	1

講義のねらい

画像診断の根幹をなす、各種医用画像の画像形成につき、感光材料、感熱材料等のセンサー科学とその最新技術につき理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 感光材料概論
- ② 感光理論
- ③ 現像理論
- ④ X線写真
- ⑤ 増感紙・蛍光板・I I管

感光材料	現像理論	X線写真	増感紙
感光理論	品質管理	X線の特性と写真	蛍光板、I I管
H13/9～/10	H13/10～/11	H13/11～/12	H13/12～H14/1
2+2回	3回	4回	2回

履修上の留意点

期中2回程度のミニテスト実施予定。
教科書・参考書・文献等で理解を深める。

成績評価の方法

期末試験を重視。出席・ミニテストを参考に最終評価をする。追試、再試「有」。

教科書

『新しい放射線写真学』改訂新版（富士メディカルシステム㈱）5,700円

参考書等

- ・日本写真学会編『写真工学の基礎』（銀塩写真編）（コロナ社）
- ・友田宣忠『写真科学』（通商産業研究社）
- ・笹井 明『写真の化学』（写真工業出版社）
- ・内田他『放射線画像情報工学』（通商産業研究社）

その他

授業方法：講義、X線写真、OHP

科目名	担当者名	配当学科	単 位
解剖学	さく やま けい こ 作 山 攜 子	短放1必	2

講義のねらい

医療の道を進む者にとって人体解剖学は最も基礎的な学問である。特に臨床の分野に従事する技師にとっては必須のものである。現状では画像は身体の前後像のみならず軸位、矢状、冠状各断層像に加え、3D イメージなどによって診断が行われている。これらの画像を撮像するためにも解剖の理解は重要である。

講義の内容・授業スケジュール

骨格系、筋肉系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、内分泌、神経系などについて学ぶ。

履修上の留意点

将来診療放射線技師としてどの分野に従事するとしても基本的事項であるため、授業後は復習をし疑問は次の時間に質問をする。

成績評価の方法

定期的筆記試験。出席は重視する。中間試験は参考とする。

教科書

吉川、星、林共著『解剖生理学』（金原出版）3,000円

参考書等

講義を主とするが、OHP や模型を用いて重要なポイントを強調する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生 理 学 (後 期)	ひ ぐち ゆう ぞう 樋 口 雄 三	13入学生/短放1必	1
		12以前入学生/短放1必	2

講義のねらい

生体の生命現象について、単にその調節機序を解説するのではなく、それらが互いに有機的に関連しあい恒常性が維持されていることをホリスティックな視点から理解を深めることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生命と健康
2. 体 液
3. 循 環
4. 呼 吸
5. 消化吸収
6. 栄養・代謝・体温
7. 排 泄
8. 内 分 泌
9. 神経の興奮
10. 中枢神経系
11. 末梢神経系
12. 感 覚
13. 筋収縮と運動
14. 生体の防御機構
15. 生 殖

履修上の留意点

講義内容は、教科書よりも高いレベルで重点的に話すのでノートを必ずとること。出席を重視する。

成績評価の方法

筆記試験。出席点を与える。

教科書

松村・越智・豊田著『臨床検査技術学⑥生理学』（医学書院）3,914円

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境保健医学(後期)	よしだ みのる 吉田 稔	13入学生/短放1必	1
衛生学及び公衆衛生学(後期)		12以前入学生/短放1必	2

講義のねらい

衛生・公衆衛生学は、人々を疾病から守り、健康を保持、増進および福祉の向上を目的とした学問である。しかも個人、家族、地域社会および全国民の健康を対象とし、疾病のみならずすべての健康からの偏りを予防、コントロールし、積極的な健康の達成を目指すものである。しかしながら、健康の保持には環境、病因、宿主の間のバランスが重要である。今日では地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨といった地球規模での環境破壊が健康保持に深刻な問題を投げかけている。ここでは公衆衛生が果たす役割のみならず環境問題についても学ぶ。

教科書

鈴木庄助・久道茂編集『シンプル衛生・公衆衛生学』改訂7版(南江堂)2,400円

参考書等

『国民衛生の動向』(厚生指針 臨時増刊)厚生統計協会
厚生省編『厚生白書』(厚生省統計協会)
環境庁編『環境白書』(大蔵省印刷局)

専門(放射線科)

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像技術学概論(後期)	にし おせい じし 西尾 誠 示	13入学生/短放1必	1
画像検査技術学概論(後期)		12以前入学生/短放1必	2

講義のねらい

診療放射線学を学ぶ上で基礎となる X 線画像の基礎知識および臨床現場で放射線技師に求められる条件などについて講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 医療社会について
医療社会の構成、病院組織、関連職種、チーム医療などについて
- ② 放射線技師の役割
社会における診療放射線技師の役割、放射線学の歴史、将来の展望等について
- ③ 画像の成り立ち
X 線照射によって生じる写真効果と画像の拡大、歪み、重畳効果など
- ④ 画質を評価するとき使用される尺度
画質を評価するときの対象となるコントラスト、鮮鋭度、粒状性について
- ⑤ 撮影条件の設定と考え方
最適な画像を得るための理論的な考え方、課題と改善策について
- ⑥ 画像を左右する要因
管電圧、フィルター、散乱線とグリッド、フィルム・増感紙などについて
- ⑦ 体の基準線と名称
医療画像検査を行う上で重要な基準線、名称および体表解剖について
- ⑧ 画像検査の種類
単純撮影、造影法、特殊検査の原理と検査の基礎的知識について

成績評価の方法

定期試験を基準にするが、各自の学習意欲を重視する。

教科書

立入弘著『診療放射線技術』(南江堂)6,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線基礎数学	小林久夫	短放1必	2

講義のねらい

実用数学の中心となる学問としての微分・積分学を学ぶ。本講では、その基礎の上に確率論から統計論に議論を進める。後期の統計論においては、単なる学問にとどまらず実社会に役に立つきわめて実用となる手法を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：高校で学習した微分・積分学の基礎をおさらいする。ただし、受験数学としての問題解法を重視するのではなく、学問としての数学というものの考え方を重視した講義を行う。
後期：まず、高校での履修者は少ないかもしれないことを考慮して、確率論の基礎を学ぶ。次いで、統計論の基礎部分から実用となる統計手法までを学習する。本講義の結果、例えば「新薬と偽薬（プラシボ）の効果評価」、「世論調査結果の信頼性評価」等が実施できるようにする。

履修上の留意点

講義はできるだけ参考書に沿って実施する。また、講義の理解度を確認し整理する意味で随時テスト・宿題を実施する。定規・電卓必要。
私語禁止、携帯を机の上に置くこと禁止。違反者は欠席扱いとする。

成績評価の方法

出席数・テスト・宿題を重視（60%）、期末試験（40%）。

教科書

前期：水本久夫『教養数学の基礎』（培風館）
後期：和達三樹・十河清『キーポイント確率・統計』（岩波書店）

参考書等

前期：樋口禎一『基礎からよくわかる数学Ⅲ・C』（旺文社）（高校での微分・積分学未履修者、丁寧な式の導出）
後期：E.クライツィグ『数理統計学Ⅰ』、『同Ⅱ』（培風館）（教科書と比べ少し古いがかっちりとした実用書、将来の役に立つ好書）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代物理学序論	小林久夫	短放1必	2

講義のねらい

近代物理学の成立過程とその進展、さらに現代物理学に至る道程をできるだけ分かりやすく学ぶ。可能な限り数式を用いない形の講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 近代物理学の黎明
古典力学の確立と惑星の運動と海王星の発見、熱力学の確立と熱の本体・エントロピー・絶対零度、電磁気学の基礎の確立をとおして、近代物理学の夜明けをたどる。
- II. 近代物理学の誕生と現代物理学への進展
原子のなりたちと、量子論の誕生と粒子性・波動性の観測事実から、不確性的原理と量子力学の確立過程を明らかにする。その成果としての、レーザー光線、パウリの排他律と元素中の電子、半導体とエレクトロニクス、超流動ヘリウムの噴水、永久磁石と超伝導等についてその概要を論ずる。相対性理論とその世界、原子核とエネルギー利用、新粒子の発見と統一理論、宇宙の創生と星の一生などにも触れる。

履修上の留意点

講義はできるだけ参考書に沿って実施する。また、講義の理解度を確認し整理する意味で随時テスト・宿題を実施する。定規・電卓必要。
私語禁止、携帯を机の上に置くこと禁止。違反者は欠席扱いとする。

成績評価の方法

出席数・テスト・宿題を重視（60%）、期末試験（40%）。

教科書

信賞豊一郎『現代物理学への道標』（内田老鶴圃）

参考書等

（高校での物理未履修者、物理計算に役立つ）
力武常次・都築嘉弘『チャート式シリーズ新物理ⅠB・Ⅱ』（数研出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 化 学 序 論	はら だ かず まさ 原 田 和 正	短 放 1 必	2

講義のねらい

本講義では「放射化学」、「放射線写真学」、「生化学」などを学ぶ上で必要となる化学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 原子・分子・モル
2. 電子配置と周期表
3. 化学結合
4. 化学平衡
5. 酸・塩基、酸化・還元
6. 反応速度論
7. 化学熱力学

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点で評価する。

教 科 書

井本稔・岩本振武著『化学 その現代的理解』（東京化学同人）1,930円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 I A	西尾 誠示・氏家 盛通 高野 正雄・三浦 康平	短 放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

X線装置及び周辺機器の構造を理解し、正しい使用方法を習得する。
X線画像を左右する様々な要因について基礎的な実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① X線量と写真濃度
被検体からより多い情報を得るための適切な線量を求める。アクリルなどを用いて、照射を行いX線の吸収と写真濃度を理解する。
- ② 照射野の線量分布と撮影距離
X線照射野とフィルム・X線焦点間距離を変化させながら写真濃度を測定し、照射野内のX線分布を把握する。
- ③ フィルムの特性曲線の作成
距離の逆二乗則を利用した距離法にて複数の特性曲線を作成する。曲線からフィルムの特性を比較し、検査部位とフィルムの適合性について基礎を学ぶ。
- ④ 撮影電圧とコントラスト
電圧とフィルター厚を変化させ、線質の違いが画質に及ぼす影響を調べる。
X線吸収差の少ない被写体のコントラスト、微小検体の描出度を評価する。
- ⑤ 撮影条件表の作成
アクリル板を用い、その厚さの変化に対する適正な線量、電圧を求め、条件表を作成する。
- ⑥ 増感紙の感度
フィルムの特性曲線を用い様々な増感紙の相対感度を求める。感度と被曝線量の関係について学習する。
- ⑦ フィルム・増感紙の鮮鋭度/解像力
矩形波チャートを用いたコントラスト法にて、フィルム・増感紙のMTFを求める。マイクログラフメータの取扱を習得する。
- ⑧ 散乱線の評価
上記の特性曲線を用いて、鉛ディスク法による散乱線含有率を求める。被写体厚と照射野を変化させて散乱線の量を測定し、臨床における量を把握する。
- ⑨ グリッドの性能評価
鉛ディスク法にて散乱線透過率、直接線透過率、全X線透過率から露出倍数、コントラスト改善度、選択度を求め、グリッドの基本的性能を評価する。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。

成績評価の方法

定期試験、学習姿勢、レポート・試問について総合的に判定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 I B	佐藤 昌憲・小林 久夫 長谷川 武・百瀬 旬	短放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の練習をする。後半はデーターを処理する方法を扱う実験を用意してある。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

内容は手引書を制作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。そのためにスケジュールは個人によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けによるスケジュールを発表する。

成績評価の方法

1. レポート 2. 実験 3. 質疑応答 4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教科書

放射線科でいくつかの実験のために用意した手引書を制作してある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 I C	山本 裕右・榎尾 英次 原由 和正	短放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

1年次後期で並行して学ぶ「放射線写真学」および2年次で学ぶ「画像工学」の基礎となる事項について実験を行う。医療用フィルム画像をよりよく理解するために、フィルムの現像、定着の化学から始まり、フィルム現像、エックス線フィルムの特性を測定するセンチメートルに至る実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の項目について実験を行う。
1. 基礎実験Ⅰ（ハロゲン化銀の性質、現像液の単薬調合）
 2. 基礎実験Ⅱ（現像液組成薬品の化学的性質、定着液組成薬品の化学的性質）
 3. フィルム現像
 4. 引伸しプリント
 5. センシトメトリー（感光計によるエックス線フィルムの特性曲線の作成）
 6. 現像薬品と画像（異なる現像薬品組成をもつ現像液処理による画像の比較）
 7. スライド作成（カラーホイルおよびポジフィルムによるスライド作成）
 8. エックス線フィルム画像の複写
 9. マイクロデントメータによる濃度測定
 10. プートストラップ法による特性曲線の作成
 11. 安全光試験

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教科書

実験プリント。

参考書等

高尾慶人他『新しい放射線写真学』新版（富士メディカルシステム）5,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 I D	山本 裕右・高田 健夫 原田 和正・村上 雅彦	短 放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

化学実験の基本操作を習得すると共に、実験の結果として得られたデータの処理法およびその解釈、報告書の作製について学習する。

化学実験は常に危険を伴うが、その危険は実験前の下調べ、正しい実験操作および実験中の注意深い観察により避けることができる。また、得られた実験結果に伴う誤差には原因がある。その原因を突き止め、誤差をいかに最小限にとどめるかは、実験者の洞察力と腕の見せ所である。これらのことは、実際に実験を行ってのみ経験でき、養えることである。

必ずしもよい結果だけを追いかける必要はない。失敗もまた次への大きな手がかりとなる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. ガイダンス
2. ガラス細工、器具の洗浄
3. 容量、重量の測定、試薬の調整法
4. 中和滴定による酸の定量
5. 薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
6. 分子模型実習
7. pH メータによる緩衝能の測定
8. 硫酸銅 (II) 五水和物の合成
9. ヨウ素滴定による銅 (II) の定量
10. o-フェナントロリン法による鉄 (II) の比色分析
11. イオン交換樹脂の交換容量の測定

履修上の留意点

- ・ 欠席しないこと：実験操作を段階的、体系的に学習できるようにテーマを設定してあるので、欠席をすると次の実験に支障をきたす。
- ・ 遅刻しないこと：冒頭で実験についての注意事項を説明する。遅刻すると、これらの説明を聞かないで実験することになり、操作の誤りや、事故を起こしかねないので危険である。したがって、遅刻者には当日の実験を許可しない。
- ・ 予習、下調べをして実験のフローチャートを作製してくること：実験の詳細はプリントして2週間前に配布するので、当日までにフローチャートを作製し、使用する薬品の性質、器具の使用法について下調べしておく。
- ・ 実験室内での規則を守ること：化学実験には危険や事故が付きまとう。これらをできる限り排除するように努力すべきである。そのためにはガイダンスでの注意事項を厳守する必要がある。
- ・ レポートの提出：各テーマごとに実験終了1週間後にレポートを提出する。ガイダンスで説明する形式が守られていない場合、内容に誤りがあるか不十分な場合は再提出となる。最終的にレポートが受理されて初めてその実験が終了となる。

成績評価の方法

平常点、レポート、定期試験により評価する。

教 科 書

プリント使用。

参 考 書 等

新版『実験を安全に行うために (正) 事故・災害防止編』(化学同人) 800円
 新版『実験を安全に行うために (続) 基本操作・基本測定編』(化学同人) 700円
 以上2冊は、実験時に常に持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 学 (前 期) 概 論	さく やま けい こ 作 山 攜 子	短 放 2 必	2

講義のねらい

医学とは何か。正しい医療はどうあるべきか。病気と人間との関わりについて。さらに診断、治療および予防について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 医学をどのようにとらえるか
- ② 医学の発達史
- ③ 健康・病気・医学の体系
- ④ 病気の原因
- ⑤ 病気による身体の変化
- ⑥ 病気の診断
- ⑦ 病気の治療とリハビリテーション
- ⑧ 病気の予防
- ⑨ 新しい医療システム
- ⑩ 健康教育と衛生統計
- ⑪ 医学の生命へのアプローチ

履修上の留意点

医学とはという大きなテーマであるが、平易な表現で医学の全体像を把握する。医学各論に入る前の重要な領域である。

成績評価の方法

定期の筆記試験。出席は重視する。

教 科 書

日野原重明著『医学概論』（医学書院）1,200円

専門（放射線科）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
臨 床 医 学 概 論 (後 期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	短 放 2 必	2

講義のねらい

診療放射線技師として知っていなければならない知識を総論的に学ぶ。診断および治療をも含め臨床医学とは何かを修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 疾患の分類
- ② 疾患の症状と診断
- ③ 疾患の治療
- ④ 発展する医療

疾患の分類については器質的疾患と機能的疾患、臓器別の疾患、種々の症候群、国際疾患分類についても学ぶ。

履修上の留意点

解剖についての知識を得、医学概論も終えて臨床分野に入っていく。専門用語も日本語のみならず欧文でも理解できるように学ぶ。放射線科に各科からの撮影依頼がくるが、それらを理解できるように修得する。

成績評価の方法

定期の筆記試験。出席は重視する。

教 科 書

玉木正男・林文字子・林邦昭著『臨床医学概論』（名古屋大学出版会）3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 生 物 学 (前 期)	おお だ ただ ちか 大 田 忠 親	短 放 2 必	1

講義のねらい

1895年、レントゲンによってX線が発見された翌年には、X線による手の皮膚炎や脱毛が報告されている。以来、一世紀にわたり放射線の研究・応用と放射線障害の防止の研究・応用とは、相補的な関係で発展してきた。

21世紀の原子力利用は更なる発展が考えられ、特に医療の高度化に伴う医療被曝の増加、原子力発電所への依存が増すことによる環境放射能の増加、SPRING-8（放射光）に代表される加速器の普及や高々度飛行時の宇宙線などによる被曝の増加が予想される。

放射線生物学は、生物の集団から分子の各レベルに対する放射線の影響を研究する分野であるから、今後さらにその重要性は増すであろう。

講義の内容・
授業スケジュール

次の各項目よりなる。

- 1 放射線、放射光、宇宙線、素粒子
- 2 放射線の物理・化学作用
- 3 細胞の生存曲線
- 4 温度効果と酸素効果
- 5 LETとRBE
- 6 放射線感受性と細胞周期
- 7 酵素、核酸、DNA修復
- 8 急性効果
- 9 晩発効果
- 10 遺伝的効果
- 11 胎児および胚に対する効果
- 12 環境放射能
- 13 放射線診断・治療による危険と恩恵

履修上の留意点

授業開始時ならびに終了時にレポートを提出していただくので時刻厳守のこと。

成績評価の方法

評価は毎時間ごとのレポートにより判定する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業中に必要に応じ指示する。

そ の 他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
病理学 (後期)	まく やま けい こ 作 山 攜 子	短放2必	2

講義のねらい

病理学は2つの面をもつ。1つは病気で死亡した患者を解剖し、死因を明らかにすることである。他の1つは生きている患者の病変を組織片や喀痰などから診断をする。したがって病理学は基礎医学と臨床を合せもつ学問といえる。総論としては次の項目を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 先天異常
 - ② 代謝異常
 - ③ 循環障害
 - ④ 炎症と免疫
 - ⑤ 腫瘍
 - ⑥ 老化と死
- 各論は各臓器の主な疾患について学ぶ。

履修上の留意点

総論を理解して各論について修得する。

成績評価の方法

定期の筆記試験。出席は重視する。

教科書

『新病理学総論及び各論』（日本医事新報社）
『病理学』（系統看護学講座専門基礎4）（医学書院）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生化学 (前期)	はら だ かず まさ 原 田 和 正	短放2必	2

講義のねらい

生化学の分野から、診療放射線技師にとって最低限必要と思われる項目に重点を置いて学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 細胞
2. 酵素とビタミン
3. 代謝
4. 核酸と遺伝子
5. タンパク質の生合成

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

猪飼篤著『化学入門コース8生化学』（岩波書店）2,913円

参考書等

林典夫・廣野治子編『シンプル生化学』（南江堂）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応 用 数 学	たかの まさお 高野正雄	短放2必	2

講義のねらい

放射線技術者として社会に出た時、必要となる知識は10年前と大きく異なっている。本講では単なる数学を学ぶのではなく、主題は画像に有り、数学は取り扱うための手段としての位置付として講義と演習をおこなう。
IT時代の技術者として、自分達の取扱う画像の考え方、それをさゝえる数学的裏付を正確に理解できるようにと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- ①コンボリューション積分と画像
- ②フーリエ変換と画像
- ③画像処理 I
- ④ II
- ⑤データ圧縮
- ⑥その他 (ROC 他)

成績評価の方法

試験 (2回/年)、レポート

教 科 書

氏原真代ほか『画像数学入門』(東洋書店) 3,200円
プリントを補足として配布

参 考 書 等

野邑雄吉著『応用数学-工学専攻者のための』(内田老鶴圃新社) 2,472円
英保茂著『医用画像処理』(朝倉書店)
今里悠一ほか著『画像処理』(昭晃堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原 子 核 物 理 学	あおき きよし 青木清	短放2必	2

講義のねらい

放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射能に関する講義を行う。特に α ・ β 壊変と γ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。きちんと理解すると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子核の性質 (構成粒子、質量、結合エネルギー、核力、核模型、磁気モーメント)
2. 放射性壊変 (放射能、 α ・ β ・ γ 線、壊変図)
3. α 壊変 (α 線のエネルギー、ガイガーヌツタルの法則、トンネル効果)
4. β 壊変 (β 壊変、 β^- 壊変、 β^+ 壊変、 β 線のエネルギー、電子捕獲、カリブプロット)
5. γ 線放射 (γ 線の角運動量、核異性体、内部転換、メスバウアー効果)
6. 核反応 (核反応の種類、Q値、しきい値、核反応断面積、複合核、光核反応)
7. 中性子 (中性子の性質、中性子発生源、エネルギーによる分類)
8. 原子炉 (核分裂と放出エネルギー、中性子の減速、原子炉の構造、中性子捕捉療法)

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後には、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験以外に中間試験を2回行い、その結果から成績を評価する。出席は重視する。

教 科 書

教科書は使用しない。

参 考 書 等

竹井力著『放射線物理学』(南山堂)
田島英三著『原子核物理概論』(地人書館)

そ の 他

授業の中では演習問題も出題する。電卓を用意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射化学	やまもと ゆう すけ 山 本 裕 右	短放 2 必	2

講義のねらい

診療放射線技師として必要な放射性同位元素の化学について学ぶ。
 本講義では、すでに1年次に学んだ「放射化学序論」および「放射線物理学」、さらに2年次で並行して学ぶ「原子核物理学」で得た化学的、物理的知識を基に、放射性同位元素の化学について解説する。またここで学ぶ事柄は、3年次の「実験ⅢC(放射化学実験)」を履修するための必要不可欠な学問的基礎となるものであると同時に、「放射性同位元素検査技術学」、「管理学」に必要な放射化学的知識の基礎となるものである。
 なお、診療放射線技師国家試験科目として「放射化学」がある。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から以下の内容について講義する。

1. 天然に存在する放射性同位元素
2. 放射能、放射壊変および壊変則
3. 放射平衡
4. 放射性同位元素の製造
5. 放射性同位元素の分離、精製
6. 放射能を利用する分析法
7. 放射性標識化合物の合成法

成績評価の方法

2回の中間試験および学年末試験により評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』(日本アイソトープ協会) 1,470円を使用する。講義には必ず持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
電子工学	すぎ た とおる 杉 田 徹	短放 2 必	2

講義のねらい

電子工学の主役は「電子」である。電子工学はまず電子の挙動を制御する素子の理解に始まり、その展開上に回路技術を習得する。現在、電子工学は医療分野に於ける基礎技術として考えなければならない。そのような観点から、次に掲げる項目に従い講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 電子の性質
2. 場との相互作用
3. 素子への展開と周辺技術
4. 基礎的な回路技術
5. 電子応用機器の概論

履修上の留意点

時間的制約があり概論的な講義になるが、基本的な知識の習得を心掛けて欲しい。

成績評価の方法

中間試験、定期試験、出席状況により成績評価を行う。

教科書

宇佐美晶、曾根福保共著『テキストブック・電子工学概論』(日本理工出版会) 2,500円

その他

国家試験該当科目である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 機 器 工 学	なか 中 きた 北 つね 倫 お 男	短 放 2 必	2

講義のねらい

診断用 X 線発生装置および X 線映像装置の構成、構成要素の構造、機能、特性、装置の動作原理、動作特性などについて学び、装置を取り扱うための基礎知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

X 線発生装置は、X 線管部、直流高電圧発生部および制御部などから構成される。直流高電圧の発生形式により、自己整流式、単相ならびに三相全波整流式、インバータ式およびコンデンサ式などの種別がある。また X 線映像装置として X 線 TV 装置とミラーカメラ装置がある。

前期は X 線管装置から単相ならびに三相全波整流式 X 線装置について講義し、後期はインバータ式、コンデンサ式および自己整流式 X 線装置と、X 線 TV 装置およびミラーカメラ装置について講義する。

履修上の留意点

X 線発生装置は、高電圧応用機器の一種でさまざまな技術要素を内包する。また X 線映像装置はエレクトロニクスと光学の応用機器である。したがって、この教科をよく理解するには、電気工学、電子工学、物理学、化学、自動制御工学などを併せ履修することが望ましい。

成績評価の方法

年度内に行う試験（中間試験、定期試験）および出席状況により評価する。

教科書

青柳泰司ほか著『改訂 対放射線機器工学(I) X線診断機器』（コロナ社）5,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 （ 前 期 ） 工 学	たかの 高 野 まさ 正 雄	短 放 2 必	1

講義のねらい

1970年以降のエレクトロニクスを中心とした技術の進歩により、医療診断関係の画像形成システムはすばらしい発展を遂げた。

本講では、これらの画像形成システムの基本を理解することを目的に、考え方を中心に進める（数学は補助手段）。

講義の内容・授業スケジュール

- ①線形システムとは？
- ②画像の数学的取扱い（基礎）
- ③画像の解析と評価（Ⅰ）
 （Ⅱ）
- ④デジタル画像形成システム
- ⑤画像処理

成績評価の方法

試験及びレポート（2回）

教科書

教科書は使用しない（毎回プリント配布）。

参考書等

岡部哲夫、瓜谷富三編『医用画像工学』（医用放射線科学講座14）（医歯薬出版）4,800円
英保茂著『医用画像処理』（朝倉書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 技 術 学	にし お せい じ 西 尾 誠 示	短 放 2 必	2

講義のねらい

画像技術学はX線解剖学や画像工学を元にした幅広い学問によって構成される。解剖・生理を裏付けとした整位・撮影条件論、及び得られた画像の評価まで含めて講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ①胸部撮影の理論と画像評価
- ②腹部の撮影技術と画像評価
- ③乳房・軟X線撮影の理論
- ④頭部の撮影技術と画像評価
- ⑤耳鼻科領域の撮影技術と評価
- ⑥椎骨の撮影技術とチェックポイント
- ⑦四肢の撮影技術とチェックポイント
- ⑧上部消化管検査の手順
- ⑨小腸・大腸の検査について
- ⑩肝・胆・膵の画像検査について
- ⑪泌尿器の画像検査について
- ⑫心臓大血管造影の検査手順と画像
- ⑬腹部の血管造影検査について
- ⑭脳神経系の画像検査について

成績評価の方法

定期試験及び中間試験が基準であるが、学習意欲を参考にする。

教 科 書

稲本一夫編『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円

参 考 書 等

立入弘著『診療放射線技術』（南江堂）6,800円
日本放射線技術学会編『放射線検査学』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 計 測 学	こ 山 正 希 こ やま まさ き	短 放 2 必	2

講義のねらい

万能である放射線計測系は存在していない。即ち、測定対象と必要なデータとを接続する計測系は測定対象によっても、また必要とされるデータによっても様々に異なってくる。診療放射線学における放射線計測学とは一般に、状況に応じて変えなければならない計測系を如何に選択し、かつ使用するかを主としている。ここで必要とされる素養はこのことを念頭に置いて、現存する多種類の検出系、計測系の放射線応答を出来る限り詳細に知ることであろう。これらの系の選択に当っては絶対的なものが無い以上、あくまでも相互比較によってより適切な物を決定する必要がある。従って単に事項の項目的理解では計測学を学んだことにならない。本科目ではこれらの点に留意して学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

主として取り上げる事項は次の通りである。

- 1) 放射線検出器分類上の着眼点。
- 2) 放射線検出器の全体像とそれぞれの検出器の位置づけ。
- 3) 電離箱型検出器の基本動作原理。
- 4) 電子及びイオンの運動。
- 5) 電離箱型検出器の基本特性。
- 6) 電離箱型検出器の種類とその概要。
- 7) 電離箱型検出器の出力回路と動作モード。
- 8) 各種電離箱（自由空気型、指頭型、空洞型、外挿型、シャロー型、均質型など）の基本原則とその実際。
- 9) 線量計測とその実際。
- 10) 各種計数管（GM・比例・シンチレーション計数管など）の動作原理と特性。
- 11) パルス計測の基本とその応用。
- 12) 計測データの統計処理。
- 13) 半導体検出器の原理と応用。

検出器や計測系について、既成のコンポーネントの組合せでは目的が達せられない場合、必要なコンポーネント自身を研究開発し、実用に供するのが次の段階の計測学の内容となる。このレベルを念頭に置き学習したい。

成績評価の方法

定期試験の他、2～3回行なう中間試験および出席状況により評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
関 係 法 規 (後 期)	いち もり とし ひろ 一 守 俊 寛	短 放 2 必	1

講義のねらい

法律上、放射性同位元素及び放射線発生装置に関しては放射線障害防止法により、診療用放射線装置に関しては診療放射線技師法により、放射性医薬品に関しては医療法・薬事法によって規制される。しかしながら、保護法益、取扱いの態様等により更に電離放射線障害防止規則等により規制される。各々の法律を正確に理解するには各人の相当な努力が要求される。整理・関連性等を重視し効率的な理解を日論む。

講義の内容・
授業スケジュール

- * 関係する各種法令の体系的な把握
- * 各法令での定義、規制に関する共通・特異性のある事項の抽出
- * 管理技術との関連性に着目して法令条項の理解度を増大させる。
- * 数値的規制が与えられている項目についての整理と数値の意味の把握
- * 係わる各種業務に対応した法令の把握
- * 想定される各種実務に対する整理された法令の理解・把握

履修上の留意点

国家試験該当科目「放射線管理学」に対応し、基本的事項を確実に理解するよう心掛けて欲しい。

成績評価の方法

出席率、定期試験により評価する。

教 科 書

医用放射線科学講座 4 『放射線安全管理学』(医歯薬出版 KK) 4,000円
配布資料

参 考 書 等

日本アイソトープ協会
『医学における放射線の防護と安全』ICRP Publication 73 2,400円
『医療放射線防護関係法令集』2,200円
『放射線障害の防止に関する法令』概説と要点 1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II A	にし お せい し あべ さとし 西尾 誠示・阿部 敏 うじい え もり みち かな や しんいち 氏家 盛通・金谷 信一	短 放 2 必	実験 II (II A~II E) 7

講義のねらい

X線装置等を用い、実際に人体ファントムを撮影する。実際の検査手順と体表解剖学を踏まえた撮影手技を学び、得られた画像について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 頭部 X線撮影法
ファントムを用い、頭部の撮影法を学び、頭部の画像解剖を理解する。
- ② 副鼻腔 X線撮影法
ファントムを用いて副鼻腔の撮影法を学び、画像解剖とその意義を理解する。
- ③ 側頭骨 X線撮影法
頭部ファントムを用いて聴器の撮影法と画像解剖を理解する。
- ④ 上肢の X線撮影法
手関節、肘関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- ⑤ 下肢の X線撮影法
膝関節、足関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- ⑥ 腰椎、骨盤の X線撮影法
腹部ファントムを用い、多種に及ぶ腰部の撮影技術を習得する。
- ⑦ 胸部の撮影技術と感光材料
胸部の撮影手技を学ぶと共に、胸部に最適な撮影条件と検出系を選択する。
- ⑧ 乳房 X線撮影 (Mammography)
乳房用 X線装置を用いて照射条件毎の画像の変化を評価する。撮影に用いる機器類、感光材料から軟線画像の特殊性を理解する。
- ⑨ 胃造影検査法
X線 TV 装置の操作法を習得するとともに、造影剤とファントムを用い透視撮影法を学ぶ。特に体位と画像評価が重要になる。
- ⑩ X線 CT 検査法
X線 CT 装置の原理と構造を理解し、ファントムを用いた検査手技、撮像法を習得する。
- ⑩ CR の取扱手順と画像処理
上記の実験と平行して CR (コンピューテッド・ラジオグラフィ) 装置の原理・構造と画像処理について学ぶ。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。

成績評価の方法

定期試験、学習姿勢、レポート・試問について総合的に判定する。

教 科 書

稲本一夫編『放射線画像技術学』(医歯薬出版) 4,800円 及び配布プリント。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実 験 II B	<small>こやま まさき さとう まさのり</small> 小山 正希・佐藤 昌憲 <small>なかきた つねお なかもと しゅん</small> 中北 倫男・中本 淳	短放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

実際に放射線を測定することで、検出器を含む計測系の放射線応答から放射線についての知識の確認をすることを主眼とする。その題材として、ここでは診断用 X 線発生装置からの制動 X 線の実効エネルギー、エネルギー分析のためのパルス波高選別の基礎的手法、診療に用いられる放射線場測定の主たる検出器である電離箱の基本特性、計数管型検出器のパルス計数処理の基本である統計処理の基礎的手順などを取り上げて実験し、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

実験項目は次の通りである。

- 1) 制動 X 線の実効エネルギーの測定。
連続エネルギー分布である制動 X 線を実効的に代表する単一なエネルギー値に置き換える。
- 2) シングルチャンネル波高分析器によるエネルギー分布測定。
シンチレーション型プローブを用いて γ 線のエネルギー分布測定のためのパルス波高分析の基礎的手法を学ぶ。
- 3) X 線による物質の 2 次電子平衡厚の測定。
2 次電子平衡の概念を理解する為に、⁶⁰Co 線源によって電離箱壁厚を変化させた時の出力応答を測定する方法により求める。同時に電離電流出力の飽和特性などの電離箱型放射線検出器の基本特性を求める。2 次電子平衡の概念は、吸収線量率や照射線量率の概念形成にきわめて重要な係わりがあることを確認する。
- 4) GM 計数管の基本特性と計数の統計。
最も普遍的な計数管である GM 計数管の基本的応答特性と得られる計数率の統計処理の基礎を学ぶ。GM 計数管の分解時間と電子回路系の弁別レベルとの関係、ダブルパルス分解能、プラトー特性の意味、印加電圧レベルの与える効果、実測された計数率から確からしい値を得る方法などの計数率の統計を学ぶ。

専門(放射線科)

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況、定期試験によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実 験 II C	<small>すぎた じゅん あおき さよし</small> 杉田 徹・青木 清 <small>かわぞえ まもる きむら のほる</small> 川副 護・木村 登	短放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

電子工学分野の実際を経験する。教人のグループ構成で行うものと各自が行うものがある。

講義の内容・授業スケジュール

- 下記の項目について実験を行う。
1. 真空管 (三極真空管の静特性)
 2. 半導体素子 (ダイオード、トランジスタ、サイリスタの代表的特性)
 3. 集積回路 (オペアンプとデジタル素子)
 4. パルス波形の観測 (シンクロスコープによる観測)
 5. 波形変形回路 (微、積分回路、ダイオードクリッパー)
 6. 波形整形回路 (シュミット・トリガー回路の特性)
 7. パーソナルコンピュータ (図形処理Ⅰ)
 8. パーソナルコンピュータ (図形処理Ⅱ)

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教科書

『実験書 (ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB) (第四版)』

その他

パーソナルコンピュータの実験は情報教育センターで行う。
前期、後期の初めにガイダンスを行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実 験 II D	杉田 徹・青木 清 木村 登・吉田 正廣	短放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

電気工学分野の実験を経験する。数人のグループ構成で行う。
下記の項目について実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

1. コンデンサーの充放電特性
2. 直、並列共振 (共振現象の基礎知識を得る)
3. 交流ブリッジ (インダクタンス、キャパシタンス)
4. R-C回路 (インピーダンスとベクトル)
5. 整流回路 (整流と平滑、定電圧回路)
6. 変圧器 (電磁誘導、巻数比と電圧比)
7. 三相12ピーク整流回路 (多相整流)
8. 高電圧発生回路 (倍電圧、コッククロフト回路)

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

『実験書 (ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB) [第四版]』

そ の 他

前期、後期の初めにガイダンスを行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実 験 II E	榎尾 英次・一守 俊寛 中北 倫男	短放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

放射線機器工学で学修する理論を実験を通じて理解させることに主眼を置き、併せて各種装置・機器の取扱法を習熟させることを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

- 実験を遂行する上で必要な説明を加えながら、以下のテーマについて実験を行う。
1. X線管焦点寸法の測定
 2. X線管電圧、X線管電流の測定
 3. 撮影時間の測定
 4. 三相全波整流装置の特性

履修上の留意点

実験は結果の取得のみを目的として行うものではなく、あくまでも関連する理論の学修を助け、より確実な知識修得を図る目的で設置された科目であるため、実験中はすでに学修済みの内容の確認とか、理論との間に生じる問題点などの把握に心掛けて欲しい。
報告書(レポート)の作成に当たっては、所定の書き方によるのは当然であるが、書かれている内容を理解することが最も重要であることを認識して欲しい。報告書提出時の試問は記載内容の理解度を確認、評価するために行っているもので、理解度が極めて低い場合には再提出を求められることもある。

成績評価の方法

実験態度、報告書及び試問、中間テスト、定期試験などの結果によって総合評価する。

教 科 書

配布プリント

参 考 書 等

『JISハンドブック 放射線(能)』(日本規格協会)最新版(隔年発行)

そ の 他

実験科目の単位修得には所定のテーマすべてを終了することが必要で、やむを得ない理由により欠席した場合は、追実験を受けなくてはならない(実験Ⅱの単位認定はⅡA~ⅡEすべての合格が条件である)。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
病院実習Ⅰ (後期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短放 2 必	3

講義のねらい

病院実習は指定規則により、診療放射線技師国家試験受験資格取得のための必須科目です。2学年期までの履修科目や実験で修得した基礎知識が、臨床実習病院では、どのように応用されているかを知ると共に、臨床実習指導者等による臨床の場での教育と指導により研修し、将来の診療放射線技師としての資質を養う機会となる。特に学内では経験できない患者接遇のあり方など意義深いものがある。また学内での学習で不足していた点などに気付き、その後の学習意欲へつながることが多い。臨床病院実習に先だって、学習ガイダンスを担当教員と、実習病院の臨床実習指導者によって学内で実習する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 病院実習の目的、実習手続上必要な書類と記入方法。
- ② 各実習病院の施設説明。実習生の実習病院希望調査。実習要項の説明。
- ③ 実習病院の決定。実習報告書についての説明。
- ④ 病院実習のための知識。病院の組織と業務や病院の機能について。
- ⑤ 患者接遇と患者心理について。
- ⑥ 病院実習における実習上の心得。
- ⑦ 実習病院の臨床実習指導者による実習項目別ガイダンス。
 - a. 一般撮影系
 - b. 透視撮影系
 - c. 血管造影検査系
 - d. X線 CT検査系
 - e. 救急検査系
 - f. 超音波・MR検査系

専門
(放射線科)

成績評価の方法

実習病院の実習指導者からの実習成績報告書と実習生の提出する実習報告書の評価を参考として決定する。

教科書

病院実習要項・専門教育科目教科書参考書

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線医学概論 (後期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	短放 3 必	2

講義のねらい

診療放射線技師として特に必要な解剖学の復習をする。特に矢状断、冠状断の理解と復得をする。さらに診断学、治療学の発達の歴史、現状および今後の展望について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①X線診断
- ②血管撮影
- ③IVR
- ④MRI
- ⑤超音波

履修上の留意点

将来放射線技師として医療に携わるものにとって放射線業務の医学への役割を知ることはきわめて大切である。自分の職業に対する自覚をもつような講義としたい。自由に発言できる機会をもつようにしたい。

成績評価の方法

定期の筆記試験。出席は重視する。

教科書

大澤忠編集『臨床放射線医学』(系統看護学講座別巻7)(医学書院)1,900円

参考書等

スライドまたは OHP 使用のこともある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 動 制 御 工 学 (前 期)	あおき きよし 青 木 清	短 放 3 必	2

講義のねらい

近年の医用装置は自動化が進んでおり、これを使いこなすには自動制御の考え方を理解しておくことが大切である。ここでは自動制御の基礎的な理論を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 自動制御の概要 (自動制御の意味と種類、目標値、制御対象、制御量)
2. フィードバック制御
 - ① ラプラス変換とラプラス逆変換
 - ② 制御系の構成 (基本的構成と種類、サーボ機構、ブロック線図、伝達関数)
 - ③ 動作特性 (過渡特性、インディシャル応答、定常特性、定常偏差)
 - ④ 周波数特性 (周波数伝達関数、ベクトル軌跡、ボード線図)
 - ⑤ 安定判別 (ナイキストの安定判別法、ゲイン余有、位相余有)
3. シーケンス制御
 - ① 基本素子 (命令スイッチ、検出スイッチ、電磁リレー)
 - ② リレー回路 (自己保持回路、AND 回路、OR 回路、NAND 回路、NOR 回路、論理図)
 - ③ 基本回路 (優先回路、禁止回路)

履修上の留意点

講義の後は、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験により成績評価を行う。出席は重視する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

柳瀬著『自動制御の入門』(東京電機大出版局)、深海・藤巻監『制御工学』(東京電機大出版局)

そ の 他

自動制御に関する実験を実験ⅢBにて行う。実験の内容も良く理解しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 用 機 器 工 学 (後 期)	かし 檀 お 尾 えい じ 次	短 放 3 必	2

講義のねらい

この科目は医用画像診断装置の中で、X線CT装置とMRIを重点に講義する。また、放射線治療などに用いられる加速器についてはその概要を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. X線CT装置
 - 1) X線CTの原理および種々の方式
 - 2) 検出器およびデータ収集系
 - 3) システムおよび画像再構成
2. MRI装置
 - 1) 核磁気共鳴の物理的原理
 - 2) MRIシステムの概要
 - 3) 画像形成の原理〈1〉
 - 4) 画像形成の原理〈2〉
3. 加速器
 - 1) 加速器の概要、コッククロフト形とバンデグラーフ形加速器
 - 2) 線形加速器
 - 3) サイクロトロン、シンクロトロン
 - 4) ベータトロン、マイクロトロン

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。X線CT、MRI、および加速器の各講義の後演習を行う。過去の放射線機器工学の国家試験問題を事前に勉強しておくこと。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射性同位元素応用機器工学 (前期)	こやま まさき 小山 正 希	短放 3 必	2

講義のねらい

2 年次における放射線計測学を基礎として、更に中性子計測・電子線計測・個人被曝線量計測について検出系の検出原理、応答特性、実測上の問題点などについてそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 中性子計測の全体像。
中性子の計測は、それが間接電離粒子であるという理由と荷電粒子への変換過程が光子ほどの普遍性がないことなどによって、他の放射線の計測に比較して未発達であると言える。従って計測系は種々の方法に分散している状況にある。ここでは現状での考え方を整理し中性子計測理解の一助とする。
- 2) 中性子検出の原理
中性子の検出には荷電粒子変換物質を選択利用するのが一般的である。ここでは変換物質の種類とその目的に応じた選択・利用法について学ぶ。
- 3) 電離箱によるもの。
変換された荷電粒子を電離箱で測定する方法について見る。
- 4) 計数管によるもの
計数管を用いて変換荷電粒子を測定する際の得失を見る。
- 5) 半導体検出器によるもの。
半導体検出器を利用する意味を把握する。
- 6) 核反応を利用した箔物質による測定法
- 7) 中性子線量測定
- 8) 電子線の測定と検出器
- 9) 個人被曝管理用検出器の原理と実際。

電離箱式・TLD・ガラス線量計・エキソ電子線量計・エレクトレット線量計など。
計測学は計測器による計測値を如何に評価するかの問題を常に含んでいる。アンフォールディング処理などもその一環であるが最も基本となるのは計測値の精度であり、従ってトレーサビリティを常に念頭に置く必要がある。ここではこれらの点についても考える。

成績評価の方法

定期試験の他、随時おこなう中間試験、出席状況などにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像情報学 (前期)	にし おせい 西 尾 誠 示	短放 3 必	2

講義のねらい

X 線画像、および CT、MR、超音波などの臨床画像を主体に講義を行う。学生は実際の臨床写真を観察し、その伝達理論と画像評価を習得すること、最低限正常像の画像の解説ができることが望ましい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①画像情報概論
- ②画像形成に影響を与える因子と画質の評価尺度
- ③胸部の画像
X 線画像の最適化、CT 画像を加えて立体的な画像解剖を学ぶ。
- ④腹部領域の画像
診断目的に応じた画像技術と画像解剖。CT、超音波画像との対比。
- ⑤乳房の X 線画像
軟線と画質、CR 画像、正診率、被曝線量、集団検診の現状など
- ⑥頭部の画像
頭部単純写真、CT 像、MR 像の画像評価の基礎
- ⑦椎骨と四肢骨の画像解剖
- ⑧CR の基礎と画像処理

成績評価の方法

定期試験および学習意欲により判定する。

教 科 書

稲本一夫編『放射線画像医学』（医歯薬出版）3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射性同位元素検査技術学	うじ いえ もり みら 氏 家 盛 通	短 放 3 必	2

講義のねらい

放射性同位元素検査技術学は、放射線医学のひとつである核医学部門の検査技術学である。核医学は医学・理工学・薬学の諸分野と緊密に結びつき、それぞれの進歩とともに発展してきた専門分野である。疾病の診断のために放射性同位元素を利用して、病態生理、生化学的な代謝と機能状態を核医学検査機器にて行う検査法である。

これらの検査法は測定の対象に従って、生体の測定（患者検査）および医学試料の測定（血液・糞尿など）に大別される。これらは放射性同位元素を生体内に投与するもの（インビボ法）と投与しないもの（インビトロ法）の2種類となる。核医学検査法に関する放射性医薬品、試薬キット類、検査機器、検査手技、データ処理法などについて講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 核医学検査概論、検査装置、機器、放射性医薬品概論、放射性医薬品の体内集積機序。
- ② 医薬品ジェネレータ、薬剤管理、検査法概論、シンチグラフィ概論。
- ③ 検査法前処置、放射性医薬品投与方法、画像処理の基本概念、RI 動態検査法。
- ④ RI 動態検査データ解析法、臓器摂取・代謝機能測定法・RI 動態機能検査装置。
- ⑤ RI 試料測定装置、ポジトロン断層装置・ヒューマンカウンタ。
- ⑥ インビボ検査各論、脳神経系シンチグラフィ。
- ⑦ 脳循環動態計測、甲状腺摂取率測定・シンチグラフィ。
- ⑧ 甲状腺癌・副甲状腺・副腎皮質・髄質シンチグラフィ。
- ⑨ 肺血流・肺換気・肺吸入シンチグラフィ、心筋シンチグラフィとデータ解析法。
- ⑩ 心プールシンチグラフィ、心機能データ解析法、末梢循環・血栓・脾シンチグラフィ。
- ⑪ 腫瘍・炎症・リンパ節シンチグラフィ。
- ⑫ ヘパトグラム、肝血流測定法、メッケル憩室、消化管出血、唾液腺シンチグラフィ。
- ⑬ VB₁₂吸収試験、蛋白漏出試験、腎・腎動態シンチグラフィとレノグラム。
- ⑭ 循環血液量・血漿量・血球量測定・鉄代謝・赤血球寿命測定。
- ⑮ 血小板寿命・カルシウム代謝測定、ポジトロン断層検査法。
- ⑯ インビトロ検査概論。インビトロ放射性医薬品・検査法の原理・B/F分離法。
- ⑰ 測定試薬、基準値、精度管理、インビトロ検査の臨床的意義。
- ⑱ インビトロ検査各論。AFP、CEA、CA19-9、エラスターゼ、PA、CA125、CA15-3、NSE 他の腫瘍マーカー。ACTH、GH、T₃、T₄、PTH、HB 他。

専門
(放射線科)

成績評価の方法

中間試験・定期試験の結果および出席状況による。

教 科 書

インビボ・インビトロ編『核医学検査技術』（通商産業研究社）各編 4,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線治療技術学	たか やま まこと 高山 誠	短放3必	2

講義の内容・
授業スケジュール

前半では癌治療における放射線治療の役割や意義を中心とした放射線治療概論について講ずる。
放射線の人体に対する影響などの放射線生物学や実際の臨床に用いられる放射線治療機器について解説を行い、放射線治療の計画と実技、線量分布や照射方法(外部照射、密封小線源治療等)の総論的項目について考える。
また後半では各疾患別の放射線治療について各論的項目を検討していく。

教科書

村上晃一著『放射線治療技術』
立入 弘監修『診療放射線技術』下巻 改訂第5版

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線管理学 (前期)	いち もり とし ひろ 一守 俊寛	短放3必	2

講義のねらい

放射線防護の観点からは、人間の被曝を伴う諸活動に対して適切に安全な諸条件を作り上げ維持することが重要であり、そのための基本的な理念と指針を与えている「国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告」の概要について理解し、放射線計測・線量測定技術に支えられた放射線・放射性物質の取扱・管理についての知識を修得することを目的としている。また、国内法令による管理基準との関係について注意をはらう。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 基本的な概念
- 2) 放射線生物学上の考察
- 3) 線量制限の体系と放射線防護体系
- 4) 放射線防護実施の一般原則
- 5) 職業上、医療上の被曝
- 6) 放射線モニタリング技術
- 7) 被曝計測評価
- 8) 個人被曝管理
- 9) 放射性同位元素の管理と取扱
- 10) 放射線遮蔽

履修上の留意点

学術面よりも実務上で役立つことを重視する。《関係法規》の知識と関連させた視点で理解できるよう心掛けて欲しい。

成績評価の方法

定期試験、出席状況を加味して評価する。

教科書

医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』(医歯薬出版KK) 4,000円

参考書等

日本アイソトープ協会
『国際放射線防護委員会勧告』ICRP Publication 26
『国際放射線防護委員会の1990年勧告』ICRP Publication 60 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学演習 (後期)	にし お尾 せい じ 西 尾 誠 示	短放3必	2

講義のねらい

この授業は放射線科の課程で学ぶ全科目の総合的評価を行うことを目的としている。具体的には診療放射線技師として必要な知識の習得を確認する。

 講義の内容・
授業スケジュール

学生が主体となって教員支援のもとに国家試験対策を強化してゆく。
ゼミ形式の学習体制をつくり、学生の能力、到達度に応じた指導を行う。

成績評価の方法

中間試験、定期試験の成績によって評価する。

教科書

『診療放射線技師国家試験対策全科(第7版)』(金芳堂) 8,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅢA	こやま まさあき さとう まさのり 小山 正希・佐藤 昌憲 はぶ たくし 羽生 毅	短放3必	実験Ⅲ(ⅢA~ⅢD) 5

講義のねらい

放射能の測定手順・放射能測定用計測系の機能・放射線治療を念頭に置いた吸収線量測定のご概念と実測技術の基礎を把握する。

 講義の内容・
授業スケジュール

主として行なわれる実験題目とその概要は次の通りである。

- 1) 吸収線量の測定。
高エネルギー放射線による治療では人体組織に対する吸収線量の附与レベル決定がきわめて重要な因子である。ここでは⁶⁰Co線源を用いて、指頭型電離箱と樹脂ファントムの組合せによる吸収線量測定の基礎的手順を学ぶ。⁶⁰Co線源に対する照射線量率定数・指頭型電離箱の特性と使用法・線源—ファントム—電離箱の幾何学的位置関係の効果・吸収線量率値とファントム厚さとの関係などに注意する必要がある。
- 2) フィルムによる放射線場の測定。
計測器としてのフィルムは実時間(リアルタイム)応答の計測器では容易に得ることのできない特性を持っている。ここでは⁶⁰Co線源を使用して、照射線量分布・肺近以不均等物質での深部線量百分率補正などの実測手順を学ぶ。
- 3) 半導体検出器によるα線の測定。
表面障壁型半導体検出器を使用してα線による波高分布を測定する。逆方向電圧による電荷集積率・エネルギー分解能などへ与える効果、空乏層との関係を中心として学ぶ。
- 4) GM計数管による線源のβ壊変率測定。
GM計数管を検出器とする比較的簡単な測定装置を用いて線源の壊変率を求める手順と、その補正の考え方を学ぶ。
実験で取上げる項目は少ないものであるが、各々の知識が実際にはどの様に係わり、結果に影響してくるかを実感して欲しい。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況、随時おこなう中間テストなどにより評価する。

参考書等

放射線学会編『吸収線量の標準測定法』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 III B	あおき 清・杉田 徹 ながい 喜則	短 放 3 必	実験Ⅲ(ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

自動制御に関する基礎的実験を行うことにより、放射線機器で使用されている自動制御機構についての理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の項目について実験する。

1. フィードバック制御Ⅰ (二次遅れ要素および基本的な自動制御回路について、過度特性、定常特性、安定性、周波数特性を測定し、理論との比較を行う。)
2. フィードバック制御Ⅱ (自動電圧調整器について実験し、電圧調整特性、定常偏差、整定時間、インディシャル応等と増幅部特性との関係について調べる。)
3. シーケンス制御Ⅰ (エックス線撮影用ホトタイマの模擬装置を使用し、装置構成要素である積分器、比較器、NOR回路、ソリッドステートリレー等の特性を測定する。)
4. シーケンス制御Ⅱ (各構成要素をつなぐことによりホトタイマを組み上げ、その制御特性を種々の条件で測定する。)
5. コンピュータ制御Ⅰ (パソコンにAD変換器をつなぎ、その制御プログラムを作成する。)
6. コンピュータ制御Ⅱ (AD変換器とデジタル入出力ボードにより温度の制御を行う。)

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要となるグラフ用紙や電卓などを用意しておくこと。自動制御の理論については「自動制御工学」で講義する。実験の前に講義の復習もしておくこと。

成績評価の方法

実験の実施状況、実験レポート、定期試験により成績評価を行う。

教 科 書

『実験書(ⅡC・ⅡD・ⅢB)第五版』

そ の 他

一つのテーマについての実験を3～4人のグループで実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅢC	山本 裕右・大田 忠親 原田 和正・村上 雅彦	短放3必	実験Ⅲ(ⅢA~ⅢD) 5

講義のねらい

主として放射化学領域における実験を行う。
本実験では、2年次に学んだ「放射化学」、「放射線計測学」での知識を基に、放射性核種の製造、放射平衡、放射化学的分離法についての実験を行い、マルチチャンネル波高分析器によるγ線スペクトルおよび半減期を測定する。また、3年次で並行して学ぶ「管理学」の実践の場でもある。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の項目について実験を行う。
- ^{99m}Tc のミルキング
 - コールドラン
 - ホットラン：⁹⁹Mo の製造、溶媒抽出法による^{99m}Tc のミルキング、γ線スペクトルの測定、半減期の測定
ホットランは学外実習として立教大学原子力研究所で行う。
 - マイクロビペットの検定（重量法、吸光光度法）

履修上の留意点

非密封放射性同位元素は医学、化学、生物などの研究においてきわめて有用な情報を我々に与えてくれるものであると同時に、放射能汚染や被曝の問題など、危険な側面も持っている。従って、実験に対する準備を十分おこない、事前に実験操作、手順を理解しておくと同時に取り扱う放射性同位元素の性質を熟知しておくことが必要である。

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教科書

実験プリント

参考書等

日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会）1,470円

専門（放射線科）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 III D	<small>かしの</small> 榎尾 英次・氏家 盛通 <small>こばしの</small> 小林 久夫・高野 正雄	短 放 3 必	実験Ⅲ(ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

放射性同位元素検査技術学、医用機器工学、画像処理および放射線計測学に関連するテーマについて実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

主な実験テーマは次の通り。

- 1) ガンマカメラの性能評価
ガンマカメラの基本性能をファントムを使用して測定する。
- 2) ポジトロン同時計数測定
PETの基本的な実験として、ポジトロン核種を用いた同時計数の実験を行う。
- 3) 超音波の各種特性の測定
超音波装置を使用して、超音波が水中を伝播中に生じる反射、散乱、減衰などの特性と装置の主要な性能を測定する。
- 4) マルチチャンネル計測法
マルチチャンネル波高分析器を使用して、未知の核種を測定し、そのデータより核種を同定する。
- 5) X線 CT 装置による画像処理
X線 CT 装置を使用して水ファントム、校正用ファントムを測定する。このデータを画像処理し、結果を表示させる。
- 6) 甲状腺ヨード摂取率測定
模擬ヨード線源を用いて甲状腺ヨード摂取率測定の実験を行う。
- 7) C 言語による画像処理
サンプルの画像データを使用して、濃度ヒストグラムの作成、階調表示および空間フィルタリング等について画像処理を行う。

履修上の留意点

あらかじめ実験ガイダンスを行うので、実験の前に予習しておくこと。

成績評価の方法

報告書と定期試験により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
病院実習Ⅱ (前期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短放3必	3

講義のねらい

3学年期の病院実習も2学年期と同じ、指定規則による必須科目となっている。実習科目は、放射性同位元素検査技術学（核医学検査技術学）と放射線治療技術学および放射線管理技術学の臨床実習である。臨床実習病院では、診療業務を実施しながら指導してくれる。実習生は限られた期間内で確実な結果を得よう積極的に、意欲的に知識と技術を習得し、医療技術者としての修練と、自覚を高め目的意識を明確に把握して、貴重な体験を将来に活かして欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 病院実習の内容、実習に必要な手続上の書類の説明と記入方法。
- ② 病院実習施設の説明と実習先希望調査。
- ③ 病院実習先の決定と学制定期の申請
- ④ 実習要項（核医学系）の説明
- ⑤ 実習要項（放射線治療系）の説明
放射性同位元素の取り扱い上の注意。
- ⑥ 非密封放射性同位元素管理。
- ⑦ 実習報告書の説明。
- ⑧ 患者接遇（3学年実習関係）について。
- ⑨ 臨床実習における実習生の心得。
- ⑩ 実習病院の臨床実習指導者による実習項目と内容の説明。
 - a. 核医学検査法
 - b. 放射線治療法
 - c. 核医学診療・放射線治療の放射線管理。

成績評価の方法

病院実習先の実習指導責任者からの成績報告書を中心に、学生の提出する実習報告書の評価を参考として決定する。

教科書

病院実習要項と3学年期で使用している教科書等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
医学英語 (前期)	い とう のり こ 伊 藤 典 子	短放2選	1

講義のねらい

科学分野の記事をもとに、英語の総合力『Reading』『Listening』『Speaking』『Writing』を養って行くのがねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

英字新聞や専門誌からの環境・健康・福祉・臓器移植・医療倫理・遺伝子操作・地雷などに関する記事を読み、テープを聞いて、自分の意見を英語で述べ、練習問題をやって行きます。この授業は前期のみです。

履修上の留意点

あらかじめ記事を読んで予習しておくこと
必ず英和辞典を所持していること
テープを流すので、遅刻はしないこと

成績評価の方法

各記事の練習問題を授業内でやって、提出すること。翌週添削、採点して（100点満点）返します。各点数を合計し、その合計点を実施した回数で割って、出た平均点が最終成績評価になります。期末試験は実施しません。

教科書

John W. Casey『総合英語：グローバルに考える A World in Common』（三修社）1,850円＋税

参考書等

『ワードパル英和辞典』（小学館）

その他

全員参加の演習ワークショップ形式です。読む・聞く・話す・書くの4拍子をそろえて、英語総合力アップの演習を行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像処理論 (後 期)	かし 櫃 尾 英 次	短 放 3 選	1

講義のねらい

コンピュータのハードウェアの小型化は、マルチプロセッサの使用を可能とし、大容量で高速な画像処理が可能となった。それに伴いコンピュータを用いた画像処理が、今後ますます盛んになるものと思われる。

コンピュータによる画像の処理と認識は、その処理の柔軟性からさまざまな応用が考えられ、その重要性が高まるであろう。

最近の医用画像診断機器は、ほとんどがコンピュータを内蔵し、画像処理した結果を出力としている。講義では画像の処理と認識の基本を修得することを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は次の通り。

- 1) 画像の処理と認識について
- 2) 画像の入出力
- 3) 画像のフィルタリング
- 4) 画像の直交変換
- 5) 2値画像処理
- 6) 特徴空間とクラスタリング
- 7) パターンマッチング
- 8) 構文解析的パターン認識
- 9) 画像の領域分割
- 10) 立体認識
- 11) 神経回路網による画像認識

履修上の留意点

画像処理の基本を理解するように努力されたい。

教 科 書

安居院猛、長尾智晴共著『画像の処理と認識』（昭晃堂）3,675円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
化学特論 (後期)	ほら だ かず まさ 原 田 和 正	短放3選	1

講義のねらい

核医学で用いられる放射性同位元素および標識化合物についての各論を学ぶ。現在、放射性医薬品として使われている放射性核種は99m-テクネチウムを中心として、133-キセノン、67、68-ガリウム、123、125、131-ヨウ素など多種にわたる。これらの核種を利用しての核医学検査技術学的な面については、3年次の「放射性同位元素検査技術学」で学ぶが、本講義においては *in vivo* 放射性医薬品の体内での挙動を理解するうえで基礎となる事項を中心に解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の観点から、*in vivo* 放射性医薬品として使用されている放射性同位元素を同属元素別にまとめ、以下の内容について講義する。

1. テクネチウム (発見の歴史、核的性質、化学的性質、製造法、ジェネレータ、標識化合物の性質と標識法)
2. キセノン、クリプトン (希ガス発見の歴史とその存在、化学的性質、核的性質、製造法、 ^{81m}Kr ジェネレータ)
3. ガリウム、インジウム、タリウム (発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法)
4. ヨウ素 (発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法)

成績評価の方法

学年末試験と平常点により評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』(日本アイソトープ協会) 1,470円を使用する。講義には必ず持参すること。その他、参考書として厚生省薬務局審査課編『放射性医薬品基準ハンドブック』(日本アイソトープ協会) 2,310円をもつとよい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用計測学 (前期)	かし 櫃 尾 英 次	短放3選	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
 - 放射性核種および放射線計測の基礎
 - ガンマカメラ
 - SPECT
 - PET
 - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) X線診断装置
 - CR (Computed Radiography)
 - DSA (Digital Subtraction Angiography)
- 3) 超音波診断装置
- 4) PACS (画像管理システム)
- 5) 生体電気計測
- 6) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特論 (後期)	ほし 星 かわ 川 よし 嘉 かず 一	短放3選	1

講義のねらい

既に学んだ解剖学、放射線物理学や画像技術の基礎の上に、実際の症例を通して臨床に役立つ良い画像とは何かを学ぶ。又、医師、看護婦、放射線技師等で形成される医療チームにおける臨床放射線技師の役割についても理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

単純写真、造影検査、CT、MRI、血管造影等のモダリティ別に、又頭部、頸部、胸部、腹部、四肢等の臓器別に実際の症例を見ながら、正常像や代表的な疾患の画像を学ぶ。

履修上の留意点

一方的な受け身の形ではなく、積極的な発言等の授業への参加を求める。

成績評価の方法

基本的には期末試験の結果で評価を行なうが、授業への出席やその態度についても参考にする。

そ の 他

授業の方法は実際の画像、スライド、ビデオ、OHPを使用し、学生の参加を主体にして進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習 (前期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短放1選	1

講義のねらい

将来診療放射線技師として医療に従事する者にとって、これから放射線関連の多くの専門科目を履修しなければならない。そこで放射線や放射能に関連する文献より選び、具体的な事例をもとに講述する。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 生活環境と放射線
- ② 奥の細道と放射線
- ③ 植物と放射線
- ④ 食品中の放射性物質
- ⑤ 核実験と放射能
- ⑥ 食生活と人工放射能
- ⑦ 実効線量当量
- ⑧ 線量限度の考え方
- ⑨ 海洋の放射能
- ⑩ 病院での放射線
- ⑪ 放射能時計

これらのことを中心に4月より7月にかけて講述する。

教科書

授業に使用する資料は、毎回配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習 (前期)	こ やま まさ き 小 山 正 希	短放1選	1

講義のねらい

この科目の目的は、専門的な科目を学ぶ初学者に必要とされる学習の姿勢・考え方を培い、自分なりに学習の方法論を獲得しようとする場合に役立つようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的基礎的な放射線・放射能の応用機器・放射線の種々の物質に対する効果などに関する文献・書籍の内容を題材として、それらについての最新の動向・展望を含めて、何が、どのような視点で、どのように取扱われているかを検討し、議論を加えてゆく。取上げる題材の例を掲げれば(概要)

- X線を用いた元素分析
- 放射線定量の概念
- 医療用放射線機器
- 放射線と発光効果
- 放射線と天文学

などである。これらの題材はその内容・知識を獲得することが目的ではなく、テキストを通じて、放射線の世界のどこかに好奇心の対象を見出し、それへの関心を核として学習にはずみをつけること、種々の事項を関連づけて考える姿勢を身につけることなどを目標としているのである。専門科目を受講するときに陥り易い、単なる項目的理解を超えて、概念の流れを理解し、項目それぞれの位置づけが可能な学習姿勢培養の一助としたい。

成績評価の方法

小テストなど授業時間内の学習状況により評価する。

教科書

授業に使用するテキストはプリントなどの形式で配布し、参考書などは個々の問題について、その都度紹介してゆく。

その他

授業の方法はゼミ形式で行い、テキストの消化量より、討論を主としたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	すぎ 杉 田 徹	短放1選	1

講義のねらい

新入生の諸君に一つの場を提供し、いかに学ぶべきかを教員と共に考えることを目的としている。具体的にはゼミ形式をとり授業を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

専門分野のテーマにこだわらず広く問題意識が発現出来る授業としたい。

履修上の留意点

やる気のある学生の受講を望む。

成績評価の方法

試験は行わない。(レポートと平常点により評価)

教科書

資料は毎回配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	なか きた つね 倫 男	短放1選	1

講義のねらい

放射線科における学業になじみ、将来診療放射線技師として立つための自覚を促し、学習意欲を引き出したい。

講義の内容・授業スケジュール

輪読を中心に、放射線発見の歴史を辿り、また、放射線に関する平易な解説パンフレットにしたがい放射線学への緒を学ぶ。さらに、医療技術の革新状況、画像診断機器の現状と将来、医師との共働者(COMEDICAL)としての診療放射線技師の役割と位置づけなどを、最近の文献から読み取り、認識と展望を持つ。

履修上の留意点

この演習を契機として、それぞれ学習と自己啓発を発展させることを期待する。意欲ある学生の受講を望む。

成績評価の方法

演習への参加、取り組み状況による。

教科書

資料は、必要に応じて随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	やまもと めうすけ 山 本 裕 右	短放1選	1

講義のねらい

自然科学においては物事をどのうよに捉え、解釈し、理解するのか。また、未知の事柄に対してどのように取り組むのか。これらの一端を覗くことをしてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

原子および放射線、放射能、原子力についての基礎的事項をいくつか限定して取り上げ、少し深くまで探ることをする。具体的には以下のようなテーマを取り上げ、ゼミ形式で進める。

- ・原子とは
- ・原子の中の電子
- ・安定同位体と放射性同位体
- ・放射能とは
- ・放射線とは
- ・エネルギー問題と原子力

履修上の留意点

ただ座っていたのでは何も与えられません。自ら積極的に調べ、発表し、疑問な点は遠慮なく質問してください。そして、自分にとって未知の物事がはっきりと見え出したときの喜びを味わってください。

成績評価の方法

平常点

教科書

その都度プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	あおき きよし 青 木 清	短放3選	2

講義のねらい

診断用X線およびその散乱線の線量と線質に関する実験を行い、研究発表ができるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

X線の測定は線量計や半導体検出器を用いて行う。測定結果はパソコンにより処理し、実効線量や実効エネルギーを求める。テーマによってはパソコンによるシミュレーションも行う。これらの結果から、診断時の患者・術者の被曝線量を求めると共に、被曝低減の可能性を考える。

活動は下記のような順序で行う。

1. 論文や報告書の講読
2. 実験テーマの設定
3. 実験の実施
4. 報告書の作成
5. 研究発表

履修上の留意点

通常の学生実験と異なり、テーマや方法が最初から決まっているものではない。それらは学生同士がお互いの議論の中から決めていくものであり、自主的な取り組みが最も大切である。

成績評価の方法

普段の活動状況、報告書、研究発表の内容から成績を評価する。試験は行わない。

教科書

使用しない。

参考書等

テーマに即した内容の論文や報告書を使用する。

その他

ゼミ形式で論文講読や討論を行うと共に、個人またはグループ単位で実験を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	かし 櫃 尾 英 次	短放3選	2

講義のねらい

パソコンを利用したデータ処理に関する分野からテーマを選び、データ処理の実験を行い、研究レポートとしてまとめる。

講義の内容・授業スケジュール

ニューラルネットワークや遺伝的アルゴリズムについての基礎を学習し、これの基本的なプログラムについてパソコンを利用して実習する。

- 1) テキストおよび論文の講読
- 2) 実験テーマの選定
- 3) 実験
- 4) 研究レポートの作成
- 5) 研究発表

履修上の留意点

あらかじめ本演習についての大綱を示すので、実験テーマおよび実験計画について、全員で討議して決める。

成績評価の方法

ゼミの活動状況、研究レポートおよび研究発表を総合して評価する。

教 科 書

ゼミのテキストとして適したものを採用する予定である。

そ の 他

ゼミ形式で講読を行い、メンバー全員が参加して実験を進める。メンバーの自主的な活動を期待する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	さ 佐 藤 昌 憲	短放3選	2

講義のねらい

この特別演習では、放射線線量計測に関するテーマを選び、実験を行い、論文としてまとめ、発表出来るようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- テーマ
- 自由空気外挿電離箱の開発
 - 電離箱による X 線線量の評価
 - 電離箱による γ 線線量の評価
 - パソコンによるシミュレーション

成績評価の方法

研究論文にて評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	にし お尾 せい じ 示	短放3選	2

講義のねらい	画質の維持・改善には、画像工学及び画像評価の知識が必要不可欠である。基礎として画像形成過程における事象について知識を持つこと、及び得られた画像について理論的な評価ができることが望ましい。
講義の内容・授業スケジュール	① 画質を左右する要因について実験 ② 画質の物理的・視覚的評価法 ③ 臨床写真の評価
履修上の留意点	学生個人でテーマに沿って実験を行い、発表会で結果を報告できるようにする。
成績評価の方法	研究に対する意欲、報告書の内容について評価する。
そ の 他	週1回、当番制で論文輪読会を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	はら だ かず まさ 原 田 和 正	短放3選	2

講義のねらい	各種の発光体材料など、放射線技術学に関連が深い物質について実験を行い、その特性やメカニズムを理解するとともに、実験結果について考察する力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	各自一つの研究テーマを設定し、そのテーマに沿って行った実験の結果をレポートとしてまとめ、発表する。また、関連分野の文献について輪読を行う。
履修上の留意点	学生実験とは異なり、研究実験において「模範解答」は存在しない。各自が得た実験結果から、未知の解答を各自が導き出すものである。1年間、研究テーマに対して自発的・積極的に取り組む姿勢が必要である。
成績評価の方法	レポートの内容と平常点で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	やまもと ゆう すけ 山 本 裕 右	短放3選	2

講義のねらい

放射線技術学の分野では、放射線検出のために熱ルミネセンス、輝尽発光、ラジオルミネセンス（シンチレーション）など種々の発光現象が利用されている。本演習においては、これらの発光を示す発光体材料を実際に取り扱い、新しい発光体の開発、あるいは既存の発光体について種々の特性を測定することにより、発光現象をより深く理解すると共に、得られたデータを解析、考察し、一つのレポートとしてまとめる作業を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

学年当初に履修者と相談のうえ各自の1年間のテーマを決定する。それぞれの学生は各自のテーマについて実験を行い、学年末までにレポートをまとめる。また、得られた成果についての発表会を行う。

さらに、各自のテーマとは別に、発光体関係の基礎的な文献または専門書を選び輪講を行う。

履修上の留意点

本演習を履修するにあたっては、学生各自の独自の工夫や創造性が要求される。すなわち、指示されたことを受け身で行うのではなく、各自が積極的に自分のテーマに取り組み、文献調査を行い、独自の観点からまとめることが必要である。

成績評価の方法

平常点。

2. 他学部履修科目

2. 他学部履修科目

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	189
中国禅宗史	〈田中良昭〉	190
日本禅宗史	〈石井清純〉	190
禅籍講読Ⅰ	〈田中良昭〉	191
禅籍講読Ⅲ	〈佐藤秀孝〉	192
仏教概論	〈池田練太郎〉	192
インド仏教文化史	〈休講〉	
中国仏教文化史	〈永井政之〉	193
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	193
中国古典語初級	〈石井公成〉	194
中国哲学史	〈前川亨〉	194
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	195
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	195
中世文学研究Ⅰ	〈村上光徳〉	196
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	196
近代文学研究Ⅰ	〈山崎眞紀子〉	197
比較文学	〈満谷マーガレット〉	198
児童文学	〈山口節子〉	199
西洋思想史	〈麻生建〉	199
演劇概論	〈井上理恵〉	200
編集実務	〈長谷川孝〉	200
イギリス文学特講Ⅰ	〈石原孝哉〉	201
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	201
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	202
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	202
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	203
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	204
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	205
アメリカ文学特講Ⅲ	〈川崎笑佳〉	205
演劇特講〈イギリス・アメリカ〉	〈落合和昭〉	206
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	206
地理思想史	〈竹内啓一〉	207
地形学	〈小池一之〉	208
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈小泉雅弘〉	208
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕	〈趙軍〉	209
考古学特講Ⅲ	〈酒井清治〉	210
日本仏教史Ⅱ	〈休講〉	
西洋文化史Ⅰ	〈休講〉	
日本民俗学	〈谷口貢〉	211
哲学史	〈山口祐弘〉	212
歴史哲学	〈麻生建〉	212
産業・職業社会学	〈休講〉	
マス・コミュニケーション論	〈休講〉	
社会福祉発達史	〈林千代〉	213
国民所得論	〈吉野紀〉	214

日本経済史	〈橋野知子〉	215
中小企業	〈和田耕治〉	216
社会政策	〈光岡博美〉	217
日本経済論	〈小林正人〉	218
アジア経済論	〈鄭章淵〉	219
中国経済論	〈休講〉	
アメリカ経済論	〈瀬戸岡紘〉	220
ロシア・東欧経済論	〈山縣弘志〉	222
商業政策	〈岩下弘〉	223
マーケティング	〈曾我信孝〉	224
経営管理論	〈百田義治〉	225
労務管理論	〈堀龍二〉	226
財務会計論	〈小栗崇資〉	227
会計監査論	〈飯岡透〉	228
管理会計	〈休講〉	
貿易論	〈古沢紘造〉	229
銀行法	〈齊藤正〉	230
比較憲法	〈齊藤寿〉	231
親族法	〈休講〉	
西洋法	〈竹中智香〉	232
英米法	〈竹中智香〉	232
経済法	〈北野かほる〉	233
ヨーロッパ政治論(1)	〈北野かほる〉	234
国際政治学	〈岡田外司博〉	235
地方自治法	〈中野裕二〉	235
議会関係法	〈南山淳〉	236
立法過程論	〈富井幸雄〉	237
比較代政治家	〈休講〉	
比較憲法	〈前田英昭〉	238
商業情報	〈三竹直哉〉	239
情報学	〈大塚桂〉	240
上代文学史	〈休講〉	
中古文学史	〈山田勝〉	241
近世文学史	〈高井徹雄〉	242
近代文学史	〈西村和夫〉	243
現代文学史	〈佐原作美〉	244
異文化コミュニケーション	〈鈴木裕子〉	244
時事英語	〈岡本恭子〉	245
英語演習 I	〈清田啓子〉	245
	〈井上優〉	246
	〈小林治〉	247
	〈奥原淳子〉	247
	〈岡本誠〉	248
	〈岡本誠〉	248

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

商学総論	〈大吹勝男〉	(329)
社会思想史	〈阿部弘〉	(330)
国際経済論	〈徳永俊明〉	(331)
社会政策	〈休講〉		
価格理論	〈荒木勝啓〉	(332)
国民所得論	〈吉野紀〉	(333)
銀行論	〈齊藤正〉	(334)
中小企業論	〈和田耕治〉	(335)
中国経済論	〈小杉修二〉	(336)
人口論	〈森岡仁〉	(337)
アメリカ経済論	〈休講〉		
ヨーロッパ経済論	〈休講〉		
貿易論	〈古沢紘造〉	(338)
会計監査論	〈休講〉		
管理会計論	〈休講〉		
法思想史	〈高橋洋城〉	(339)
日本法制史	〈休講〉		
西洋法制史	〈北野かほる〉	(340)
経済法	〈岡田外司博〉	(341)
国際関係論	〈首藤素子〉	(341)
地方自治法	〈富井幸雄〉	(342)
倒産処理法	〈奥野善彦〉	(343)
アメリカ経営学	〈宮城徹〉	(344)
経営財務論	〈休講〉		
経営組織論	〈長瀬勝彦〉	(345)
経営技術論	〈休講〉		
公益企業論	〈園田哲男〉	(346)
管理会計論	〈猿山義広〉	(347)
会計監査論	〈休講〉		
日本経済論	〈羽鳥茂〉	(348)

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	佐藤秀孝	短国・短英	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禅那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禅定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国禅宗史	たなか りょう しょう 田中良昭	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達摩を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

菩提達摩の渡来以前の仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達摩の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪州宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものにしておくことが、その後の学習にとって最善の方法であると確信している。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教科書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参考書等

比較的理解しやすいものに、〈講座〉第3巻『禅の歴史—中国—』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』があるが、入手困難のため図書館を利用されたい。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅仏教の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、『中国禅宗史論考』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものである。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	いし い せい じゅん 石井清純	短国・短英	4

講義のねらい

中国において成立した禅宗は、鎌倉時代に日本に伝播し発展した。それは、ある部分では中国の叢林制度そのままの移植であり、またある部分では柔軟に日本の文化に順応して変容した。本講義では、その展開の様相を歴史的に概観し、現存する禅宗各派の成立基盤を明確化してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

禅の伝来より、時代を追って明治時代の禅宗三派の成立までを概観する。

1. 奈良・平安時代の「禅」の伝来、
2. 「禅宗」の成立、
3. 五山と林下、
4. 禅宗教団の地方展開、
5. 江戸幕府の宗教政策と禅宗、
6. 隠元の米朝
7. 明治維新と禅宗の統合、
8. 禅宗各派の再成立。

成績評価の方法

前期終了時のレポートおよび年度末の筆記試験をもって判定する。

教科書

講義ごとにプリントを配布。

参考書等

竹貫元勝『日本禅宗史』（大蔵出版）・船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 I	たなか りょう しょう 田 中 良 昭	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、中国で成立した初期の禅籍（禅宗語録）を講読するものである。本年は、昨年に引続き、初期の禅籍の内、六祖慧能（638～713）が韶州大梵寺で道俗のために説法した記録とされる『六祖壇経』を読む。『六祖壇経』は、長い年月にわたって数多くの異本が生み出され、その間に著しい増広がなされたが、本講義では、最も素朴な姿を伝える現存最古のテキストである敦煌本の内、最初にその存在の知られたスタイン本（S5475号）と、近年、周紹良氏によってその内容が明らかにされた敦煌県博物館所蔵本（敦博本）を比較しつつ、その説解を通じて、初期の禅宗語録の特徴、禅思想、特に南宗禅の基本的立場を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 慧能に至る初期の禅宗について、2. 『六祖壇経』とその構成、3. 前年に講読した部分の概要、4. 新たな部分の講読

履修上の留意点

原文（影印本）に触れることの意義を体験し、認識していただきたい。

成績評価の方法

平常の出席状況と学年末試験の結果を総合して評価する。

教科書

スタイン本に興聖寺本を加えて校訂したヤンボルスキー校訂本と周紹良編著『敦煌写本壇経原本』（文物出版社）の該当部分をコピーして配布する。

参考書等

柳田聖山訳『六祖壇経』（世界の名著）18『禅語録』（中央公論社）及び（世界古典文学全集）36A『禅家語録』I（筑摩書房）、楊曾文校写『敦煌新本・六祖壇経』（上海古籍出版社）、佐藤悦成和訳『敦煌新本・六祖壇経』（全国曹洞宗青年会事務局）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 III	佐 藤 秀 孝	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は日本禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して日本の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。日本への禅宗の伝来は平安末期から鎌倉時代に始まっており、南北朝時代から室町・戦国時代にはその隆盛期を迎えている。ここで初期の日本禅籍というのは、こうした中世禅林に成立したものをその対象としている。

はじめに日本への禅宗の伝来、兼修禅と純粹禅、臨濟宗と曹洞宗の展開とその状況、五山叢林と林下、漢文語録と仮名法語などの問題を概観し、日本禅籍の分類や特徴を講ずる。とくに永平道元（1200～53）や瑩山紹瑾（1264～1325）に始まる曹洞宗の禅籍についてはいくぶん詳しく説明したい。

その後当該の禅籍を講読するわけであるが、今年は『道元禅師語録』をその対象とし、特徴的な上堂語その他を順次に読み進めることにしたい。本書は道元の語録である『道元和尚広録』（『永平広録』とも）10巻を抜粋編集して1巻となした『永平元禅師語録』すなわち『永平略録』のことであり、その編集は道元と同門に当たる南宋の無外義遠（?～1266）によってなされているらしい。その間の事情などを踏まえて本書を精読吟味していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

仮名の『正法眼蔵』と違い、本書は漢文の語録であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教科書

鏡島元隆訳註『道元禅師語録』（講談社学術文庫）700円

参考書等

大久保道舟訳註『道元禅師語録』（岩波文庫・岩波書店）520円
酒井得元訳註『永平元禅師語録』（『道元禅師全集』第5巻に所収）（春秋社）4,120円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	池 田 練 太 郎	短国・短英	4

講義のねらい

本講義は、仏教の基本的な要素である三宝（仏・法・僧）の体系にしたがって、開祖であるブッダ、その教義、それを維持し展開させた教団の順に仏教の基本的立場を概説していく。内容はインド仏教が中心になるが、中国・日本などの諸地域に広まった仏教にもふれていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第にしたがい、最初に「仏教とは何か」について考え、その後、①ブッダの生涯、②仏の本質、③法——仏教の真理観、④一切法——法の分類、⑤輪廻と業・煩惱、⑥悟りへの道、⑦心——実践の主体、⑧修行者の理想像、⑨戒律と教団の組織、⑩仏教の歴史（インドとその周辺・中国・朝鮮・日本）の順に進めていく。

成績評価の方法

授業中に数回行う予定の小テスト、及び年度末の定期試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』、東京大学出版会刊、2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	短国・短英	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」ととらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「仏・菩薩への信仰」を取りあげて考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

参考書等

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	短国・短英	4

講義のねらい

「成仏と捨身と聖（ひじり）」という課題のもとに講義を行いたい。「捨身」は、飛鳥時代の玉虫厨子に描かれた絵を見ても分かるように、我が国古来よりの重要なテーマである。これに穢れなどの観念も加わって、穢れた身を清める行、およびそれを行う行者としての「聖」の観念も我が国の文化の中には大いに定着した。かかる文化の展開の背景には、大乘仏教と共に展開した「成仏」思想というものが大きく影響している。このような文化史の問題を、上記の課題のもとに、高崎直道博士の下記の著書を教科書として用いながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を中心に、そのテーマの展開に応じて、下記の参考書などを資料として取り上げながら、課題追求を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

講義において指示する資料や文献を自分できちんと読むことが要求されるであろう。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。

教科書

高崎直道『死は成仏か』（校成出版社）1,400円

参考書等

『大乘本生心地観経』（大正蔵、3巻、291-331頁）

本居宣長『大祓詞後釈』（本居宣長全集、第7巻、筑摩書房、75-183頁）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国古典語初級	いし 井 公 成	短国・短英	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教 科 書

使用せず、コピーを配布する。

参 考 書 等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国哲学史	まえ 前 川 亨	短国・短英	4

講義のねらい

中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。その際、東アジア世界の中での中国思想という広い視野を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式がどのような特徴をもち、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なるかを考える機会となれば幸いである。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者の関心を勘案して、前年度同様に孔子から始めて唐・宋代に及ぶか、唐・宋代から始めて近・現代に及ぶかを決めたい。いずれにしても、断代史的ではなく、問題史的に進めていくつもりである。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

中国の思想・宗教・文化などに関心を有する多様な受講者の参加を期待する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識を持っていること（持とうという意欲をもっていること）が望ましいが、授業じたいはそれなしでも理解可能であろう。継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちで受講しないでほしい。問題意識と積極的な意欲に富む受講者を求める。

成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらう。

教 科 書

特に必要としない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を徹しながら進めたい。積極的な問題提起、討論を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学研究Ⅰ	おのの野 <small>ひろし</small> 寛	短国・短英2年	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は万葉集巻三から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全般的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究Ⅰ	まつおがともゆき松岡智之	短国・短英	4

講義のねらい

古典の文学作品は現代においていかに読みうるか。作品理解の基盤となるものは何であるかというのを、『源氏物語』について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

作中人物の死をめぐる叙述を中心に、『源氏物語』を読み進める。

履修上の留意点

『源氏物語』を通読したことのある者、またはこれを機会に通読する意欲のある者の受講を求める。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 研 究 I	むら 村上 かがみ 光 みのり 徳	短国・短英2年	4

講義のねらい	「中世女流日記」文学について考察する。作者の問題、時代背景、人間関係などにつき講ずる。
講義の内容・授業スケジュール	「十六夜日記」・「たけむきが記」・「とはずがたり」などの作者、作品を中心に他の時代の作品をも参考にして考える。
履修上の留意点	出席を考慮する。
成績評価の方法	筆記試験が中心
教科書	教科書は使用しない

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 世 文 学 研 究 I	この え 近 衛 のり 典 こ 子	短国・短英2年	4

講義のねらい	井原西鶴の浮世草子のうち、『本朝二十不孝』を読む。下剋上の世界を生き延びて政権の座に就いた徳川氏は、主君への忠・親への孝を絶対的な価値として、永くその頂点に君臨することとなった。その、幕府による忠孝の奨励を逆手に取って「孝を勧める一助」と称して書かれたのが本書である。徹底した親不孝者を描き出すこの作品は、中国に淵源を持つ『二十四孝』や藤井懶齋作『本朝孝子伝』を下敷にしたパロディともなっている。近世の時代背景を押さえつつ、西鶴の軽妙な文章を味わいたい。
講義の内容・授業スケジュール	I 西鶴略歴 II 『本朝二十不孝』概略 III 卷一の一「今の都も世は借物」 IV 卷二の二「旅行の暮の僧にて候」 V 卷二の四「親子五人仍書置如件」 VI 『二十四孝』『本朝孝子伝』との比較 VII まとめ
成績評価の方法	出席状況、及びレポートで評価する。
教科書	佐竹昭広『絵入本朝二十不孝』（岩波書店）2,400円。適宜プリントを配布する。
その他	講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学研究 I	やま さき まき こ 山 崎 眞 紀 子	短国・短英 2年	4

講義のねらい

21世紀の幕開けである。日本近代文学を通して私たちはいったい何を学びとることができるのだろうか。20世紀最後のオリンピックは女性の活躍が目立ったと報道されていた。〈男性〉と〈女性〉という枠組みで未だ語られることの多い現代であり、それならばこの境界線を崩す前に、〈女性〉という枠組みから見えるものは何であったのか？ この百年間において、〈女性〉は歴史的・文化的にどのような変貌を遂げたのか？ いったい何が変わり、何が変わらなかったのか？ を考えてみる必要があるのだろう。講義では日本の近代化が進められた明治期から昭和までの女性作家の作品を読むことを通して、上記の問題を考えていきたいと思う。女性が表現してきた言語空間を、さまざまなアプローチ方法で読みとり、現代に照射させ、未来に向かってどのようなヴィジョンを抱くことができるのかを考察していきたい。また、未だ学問の世界は男性中心である。実社会の現実はその上だ。人=manではないように男性の視点=ニュートラルではないことを、女性文学を通じて発見・認知していく力をつけたいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

樋口一葉、与謝野晶子、水野仙子、田村俊子、吉屋信子、宇野千代、尾崎翠、岡本かの子、佐多稲子、林芙美子などの短編小説を読む。女性作家の作品を読むからといって、女子学生のみが対象とさせていただきたくはない（そんなことを考える人はいないだろうが）。女性がいったいどのようなメンタリティをもつのかを身体構造も含めて、より一層理解を深めるよい機会となるように小説以外の資料も用いてアプローチしていく。一方的な講義ではなく、双方向的な授業を行う。

履修上の留意点

事前にテキストの指定部分を読んでくること。ただ講義を聴くという受け身的な態度ではなく、常に意見を発表できるよう、積極的な態度を望む。

成績評価の方法

平常点を重要視する。前期・後期終了時にレポート提出を課し、ペーパーテストは行わない。3分の1以上の欠席の場合は単位を認定しない。

教 科 書

女性文学会編『女性文学の近代』（双文社出版）2,000円
この他、文庫本などを使用することもあるかもしれない。その際は適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	^{みつたに} 満谷マーガレット	短 英	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るときともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教 科 書

プリント

参 考 書 等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991
西田直敏『「新体詩抄」 研究と資料』（翰林書房）1994など

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童文学	山 <small>やま</small> 口 <small>くち</small> 節 <small>せつ</small> 子 <small>こ</small>	短英	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日的状況をのり超える力をもつことを、M. エンデの『モモ』やルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教科書

授業の際に、事前に紹介する。

参考書等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

その他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	麻 <small>あ</small> 生 <small>そう</small> 建 <small>けん</small>	短国・短英	4

講義のねらい

ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。
特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。

履修上の留意点

教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。

成績評価の方法

学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。

教科書

麻生建著『ドイツ言語哲学の諸相』（東京大学出版会）3,502円

参考書等

特になし。必要な場合は授業中に指示する。

その他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇概論	井上理恵 <small>いのうえ よしえ</small>	短 英	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかに取飲すればいいのかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

演劇史、ドラマトウロジー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ビデオや舞台上で展開される演劇を観て、西洋と日本の文化の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講Ⅹを同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいったりして批評を書いてもらうつもりでいるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件としたい。

成績評価の方法

成績評価はレポート（二回の観劇批評およびその他二回）およびテスト。

教科書

授業時に販売（約500～800円）「井上理恵講義ノート」（私家版）

参考書等

毛利三彌『東西演劇の比較』（放送大学教育振興会）

その他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
編集実務	長谷川孝 <small>はせがわ たかし</small>	短 英	4

講義のねらい

編集とは、〈だれかに—何かを—伝える〉過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」（視点・視野・視角）をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取る力、自分の表現をつくり出す力を養うことを大切にします。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また授業で「取材」した（自分なりに感じ気づき考えた）ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

課題作品（B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と、自己評価点および感想文（授業で書く短文）など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	いし ほん こう さい 石 原 孝 哉	短国・短英2年	4

講義のねらい

シェイクスピアを中心に、ルネッサンス期のイギリス文学を、広くヨーロッパ文学の流れの中で講じる。

講義の内容・授業スケジュール

主として取り上げる内容は、① 神話と文学 ② 文学の源流 ③ 詩・民話・劇 ④ ルネッサンスと新学問 ⑤ トマス・モアと新しい流れ ⑥ エドモンド・スペンサーと『妖精の女王』 ⑦ クリストファー・マーロウとヒューマニズム ⑧ ウィリアム・シェイクスピアの世界 I, II, III, IV ⑨ シェイクスピアと歴史 I, II, III ⑩ イギリスの文化（歴史と文学を中心に）

成績評価の方法

期末試験およびレポートで評価する。

教科書

『シェイクスピア喜劇とロマンスの発展』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たか の まさ お 高 野 正 夫	短国・短英2年	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心を持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope などに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖木地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おが ざき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	短国・短英2年	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernity という言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出版として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらに D. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おが ひろし 中 岡 洋	短国・短英2年	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいいがなくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参考書等

教場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 V	ふ じ かわ よし ゆき 富 士 川 義 之	短国・短英2年	4

講義のねらい

英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

適宜指定する。

そ の 他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	まるこ てつお 丸 小 哲 雄	短国・短英2年	4

講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自律していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを見出すことです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

- イ) *Elements of fiction* by R.Scholes（英宝社）
- ロ) 『〈持続する〉テキストへの意匠』（英宝社）
- ハ) プリント使用：プリントのファイルを用意すること；読書リストのプリント配布

参 考 書 等

- イ) 『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）
- ロ) 『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あづま 東 ゆう いち ろう 雄 一 郎	短国・短英2年	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand 等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を探り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教 科 書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参 考 書 等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	かわ 川 さき 崎 えみ 笑 か 佳	短国・短英2年	4

講義のねらい

Mark Twain の作品を読み、歴史的背景等を考慮に入れつつ、その作風、思想を探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

ディスカッション形式で授業を行う。又、毎回数名の学生に発表してもらう。

履修上の留意点

予習を前提に授業を進める。

成績評価の方法

積極的な授業態度が必須である。出席と授業中の発言や小レポートを平常点とし、前期・後期あわせて2回のレポートを加えて、年間の評価とする。

教 科 書

『*The Higher Animals*』（北星堂書店）1,500円

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	おち 落 あい 合 かず 和 あき 昭	短国・短英2年	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀の 아일랜드 やイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つの劇）を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Shirley Jackson (1919-65)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Sam Shepard (1943-)、David Mamet (1947-)、アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930-) である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

定期試験ではなく、前期二回、後期二回の課題やその他の合計で評価する。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2000字から4000字）

教科書

- 1) マクミラン『演劇用語辞典』3,300円
- 2) プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	短国2年	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タレントなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 思 想 史	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	短国・短英2年	4

講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のもの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシアンとして禄をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあり、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の接続と断絶関係を明らかにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的实践は空間的に限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これらの間には多様な拮抗関係があって、その解明も地理思想研究の課題となる。このような folk, official academic geographies が、local, national, global, concerns をめぐって、どのような関係にあったかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがって、地理思想史の構造について話をして、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。講義への出欠のチェックはしないが、予告なしに、講義時間の最初または最後に小テストを年間4回おこなう。

成績評価の方法

上記小テストの成績 (40%) と学年末の持ち込み一切自由の筆記試験 (60点) による。

教科書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』(大明堂) 2,500円
日本の地理思想史については、私が作成した資料を配布。

参考書等

読むべき文献・参考書等は講義中に提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかげておく。

手塚章 (訳編) 『地理学の古典』(古今書院)
西川治 (編) 『地理学総論』(総総観地理学講座1) (朝倉書店)
水津一朗 『近代地理学の開拓者たち』(地人書房)
野沢秀樹 『フランス地理学の群像』(地人書房)
飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』(日本評論社) (『飯塚浩二著作集』6 平凡社に収録)
野沢秀樹 『ヴィダル・ド・ラ・ブラーシュ研究』(地人書房)
竹内啓一 『とぼろうぐ』(古今書院)
織田武雄 『古地図の世界』(講談社)
織田武雄 『地図の歴史』(講談社)
長澤和俊 『世界探検史』(白水社)
スケルトン (増田・信岡訳) 『探検地図の歴史：大航海時代から極地探検まで』(原書房)
増田義郎 『大航海時代』(世界の歴史13) (講談社)
ジョン・ノーブル・ウィルフィールド (鈴木訳) 『地図を作った人びと：古代から現代までにいたる地図製作の偉大な物語』(河出書房新社)

日本における近代地理学の発達については以下の私の著書がある。

Modern Japanese Geography: An Intellectual History. Kokon-Shoin

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 形 学	こ 池 一 之 いけ かず ひとし	短国・短英2年	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：
 地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）
 海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形（火山地形など）
 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

小池一之・坂上寛一ほか著『新版地学教育講座⑨「地表環境の地学・地形と土壌」』（東海大学出版会）2,575円

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円
 小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅶ （近代）	こ 泉 雅 弘 いずみ まさひろ	短国・短英2年	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民権分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 X (近・現 代)	ちよう 趙 ぐん 軍	短 国・短 英 2 年	4

講義のねらい

〈近代・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識や教養を高めることである。

講義の内容・
授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携」と「征亞論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山滿と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満州事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦
14. 改革開放と「新アジア主義」
15. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教 科 書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年
竹内実著『日中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

参 考 書 等

田中明彦著『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.esthi-hone.jp/~zhaojun/> など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 Ⅲ	酒 井 清 治 <small>さか い きよ じ</small>	短国・短英2年	4

講義のねらい

考古学における古墳時代は、古墳の築造に特色をもつように古墳の変遷はその時代を知る重要な要素である。また、古墳からの出土遺物も古墳時代を知るためにも重要である。このような古墳の変遷、地域色、あるいは出土遺物から、列島における中央・地方の関係、あるいは各地の首長層の動静を知ることにも可能である。

この講義では、古墳時代を知るために、古墳あるいは出土遺物から古墳時代史を探ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

古墳時代の論文を受講者ととも読み解く。

履修上の留意点

遅刻はしないように。

成績評価の方法

平常点とレポートによる。

教 科 書

白石太一郎編『古代を考える 古墳』（吉川弘文館）

参 考 書 等

授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	谷 口 貢 ^{たに ぐち みつぎ}	短国・短英2年	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変わり、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の霊魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲 学 史	やま くち まさ ひろ 山 口 祐 弘	短国・短英2年	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参 考 書 等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴 史 哲 学	あ そ う けん 麻 生 建	短国・短英2年	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートをとり、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教 科 書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 発 達 史	はやし 林 千 代	短国・短英2年	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教 科 書

特にきめないが、今岡他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）をあげておきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 民 所 得 論	よしの 吉 野 紀	短 仏	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。ここでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」 5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」 4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」 8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」 4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」 5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教 科 書

R.J.ゴードン『現代マクロエコノミックス(上)』(第6版)(多賀出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	はし 橋 の 野 とも こ 知 子	短 国 ・ 短 仏	4

講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義での考察する歴史的背景のなかで生まれきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。知ることこそが重要なのです。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 近代日本経済史へのアプローチ1－日本経済史に対するさまざまな見方
2. 近代日本経済史へのアプローチ2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
3. 近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
4. 国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
5. 工業化の進展1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
6. 工業化の進展2－農業部門と非農業部門との関係
7. 日清・日露戦争と日本経済
8. 第一次世界大戦と日本経済1－世界秩序の変化と日本経済
9. 第一次世界大戦と日本経済2－動力革命、在来産業の近代化、重化学工業化の進展
10. 「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
11. 二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
12. 「ボックス・ブリタニカ」の解体と日本経済－国際金本位制度の終焉
13. 1930年代の経済成長1－政策の転換、銀行制度
14. 1930年代の経済成長2－産業構造、産業組織の変化
15. 戦後経済史への展望－市場経済の変容、戦時統制経済、太平洋戦争

履修上の留意点

重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。配布された資料を通じて、図表を理解する力を養いましょう。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ？どうして？」という疑問を大切にしてください。また、当時の社会や経済を実際に知る人の話を積極的に聞いてみて下さい。教科書では得られない新鮮な驚きや発見があるはずです。

成績評価の方法

夏休みのレポートと試験を総合して評価します。再試験を実施します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

授業は講義形式ですが、ビデオの利用による説明も取り入れたいと思っています。昨年度は夏休みのレポートの準備として、講義中に「自分のふるさとの経済史」に関するアンケートを1回行いました。今年度も類似の内容のアンケートを行う予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	和 田 耕 治	短 仏	4

講義のねらい

平成8年度版「事業所統計」によると、わが国の第1次産業を除く約650万の事業所の内、中小事業所は98.9%を占めており、大事業所は0.7%に過ぎない。また、雇用者数についても、総雇用者、約5,435万人の内、中小事業所で雇用されているものは、80.4%、大事業所では19.6%となっている。このようにみていくと、中小企業はわが国経済において、大きな位置にあるといえる。本講義は、わが国経済で大きな地位を占めている中小企業の実態を踏まえつつ、今日までの中小企業研究の蓄積を基づいて、理論的水準を落とすことなく進めることとする。

講義の内容・
授業スケジュール

中小企業に関する実態や問題を理論的、歴史的に把握した上で、中小企業を構造的視点により考察する。また、近年、中小企業研究は非常に多面的な展開を示している現状を鑑み、最新の研究動向について、触れることとする。さらに、必要に応じて、視聴覚教材を用いることにより、受講者の問題意識を鮮明化させる。

成績評価の方法

期末試験とレポートによる評価とする。片方だけの提出は合格点にはならない。

教 科 書

三井逸友編著『現代中小企業の創業と革新』（仮題）（同友館） 近刊

参 考 書 等

中小企業庁編『平成13年度版中小企業白書』（大蔵省印刷局）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか ぼく み 光 岡 博 美	短 国 ・ 短 仏	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	こ ばやし まさ と 小 林 正 人	短 国 ・ 短 英 2 年	4
		短 仏	

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、今の平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の産業構造
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
3. 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
情報通信革命（インターネット）
4. 日本の産業問題
製品の安全性と PL 法
環境問題と経済発展

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義では OHP などをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教 科 書

なし

参 考 書 等

適時指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	短 仏	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期のみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジア NIEs の経済発展
 - (1) アジア NIEs の範疇と経済発展の特徴
※NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEAN の歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジア NIEs 論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APEC の発展過程
 - (2) ASEAN の自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	瀬 戸 岡 紘 <small>せ と おが ひろし</small>	短 仏	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅広く、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらにふかめた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し、資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

講義の内容・
授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマにはおおむね以下のような項目を予定していますが、すべてをとりあげることは時間の制約上むずかしいので、受講者の要望の強いものから優先的に講義していきます。

《導入の話題》

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

◇アメリカの建国の理念と現代の経済

◇アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

◇アメリカの農業

◇アメリカの工業

◇アメリカの企業家とヴェンチャービジネス

◇アメリカの雇用と労働者

◇アメリカの商業とサービス

◇アメリカの交通・通信・情報

◇アメリカの金融

◇アメリカの教育と経済

◇アメリカの科学技術

◇アメリカの先端産業

◇アメリカ経済と環境問題

◇アメリカ社会とヴォランティア

◇女性・マイノリティとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

◇国際通貨ドルの地位と IMF

◇アメリカと貿易 (GATT と WTO)

◇アメリカ軍の世界的ネットワークとその経済的意義

◇アメリカの海外援助

◇アメリカの多国籍企業

◇多国籍企業とアメリカ経済

《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカと EU
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋
- ◇アメリカとカナダ・メキシコ

《むすびの話題》

- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

授業の方法

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくくりは、ふたたび今日的话题にもとづいて、その日の講義で学んだことが現実経済のなかでどのように機能しているのかを確認します。

あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話します。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらぬで、ことの真相や本質的なことから、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。トピックスのコーナーは、この講義の大きな特色として位置づけています。

アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして楽しくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をとおさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

成績評価の方法

熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

年間をとおして随時、ほぼ授業2～3回につき1回の割合で受講者のみなさんに小論を書いてもらい、それをもって成績評価をします。それぞれ前回または前々回の講義の内容にかんすることを書いてもらうことになるので、おのずと授業には恒常的に出席していないとよい成績がとれないことになります。

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には退屈させない楽しい講義をするつもりですし、またそういう受講者がよい成績をおさめられるようにしているからです。この平常点重視のたてまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しない方向です。また、この成績評価のたてまえから、再試験も実施いたしません。

教科書・参考書等

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーク著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店 1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志	短 仏	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることではできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まざれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達したか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と経済管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型経済管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) ブレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。
再試験あり。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわ ^{した} 岩 下 ひろし ^弘	短 仏	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導=抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題-商店法
 - 2 フランス-ロワイエ法
 - 3 ドイツ-土地利用計画
 - 4 アメリカ-ゾーニング規制

他学部履修科目

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない

参 考 書 等

その都度指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ	曾 我 信 孝	短 国 ・ 短 仏	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
 - ・消費者の価値観とマーケティング支配
 - ・マーケティングと取奪関係
2. 製品政策
 - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
 - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
 - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
 - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
 - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
 - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
 - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャンネル政策
 - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
 - ・販売チャンネル（販売チャンネルを支配する理由は何でしょう）
 - ・チャンネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
 - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
 - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
 - ・サービス（現在存在しないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
 - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
 - ・マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2～4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけではなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができていかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜き書き解答等には厳しい評価となる。
2. 中間期に夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からはずす可能性がある。
4. 再試験は実施する

教 科 書

指定なし

参 考 書 等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	短 国	4

講義のねらい

21世紀を迎えて、日本企業は大きく変貌しています。その底流には、IT革命やグローバリゼーションの進展があります。IT革命はいん石が地球に衝突した（恐竜の死滅）のと同様な影響を産業構造・経営組織・労働組織に及ぼし、コア・コンピタンスを武器としたネットワーク型経営を現実化し、ビッグ・ビジネスだけが競争優位を確立できる時代に終止符を打とうとしています。また、ポータレス化したグローバルな市場統合はメガ・コンペティション（大競争）を現出し、「グローバル・スタンダード（アメリカン・スタンダード）」が「日本的経営」の根本的変革を迫っています。頻繁かつ大規模な企業再編（合併や提携）、持株会社の解禁・普及、企業集団や下請関係の再編、猛烈なリストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭などなど、日本企業の変貌が日々新聞やテレビで報じられています。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からその現状と今後の課題についてアプローチします。

講義の内容・
授業スケジュール

（前期の授業スケジュール）

- ① 授業ガイダンス（経営管理論とはどのような学問か）
- ② 現代企業と経営管理（経営管理とは何か）
- ③ 大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム）
- ④ 経営管理と人間性（人間関係論と行動科学、労働の人間化…）
- ⑤ 経営組織の基本形態と発展形態（ラインとスタッフ、事業部制、カンパニー制、分社化…）

（夏休みのレポート）

（後期の授業スケジュール）

- ⑥ IT革命の進展と企業経営の変容（ネットワーク型経営と企業間関係）
- ⑦ グローバリゼーションの進展と企業経営の課題（グローバル化、ローカル化、異文化共生）
- ⑧ 日本的企業システムの変化（所有構造、統治システム、企業と政府）
- ⑨ 日本的生産システムの再編（トヨタ・システム、製販統合システム…）
- ⑩ 日本的労働システムの変化（終身雇用、年功制、能力主義、成果主義、…）

（学年末試験）

履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業テーマと関連づけて講義します。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心を向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学総論、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。
再試験なし。

教 科 書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2001年。

参 考 書 等

授業や課題レポート（夏休み）に関連して随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	短 仏	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、おおよその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用形態の多様化
 2. 賃金・処遇の成果主義化
 3. 職能資格制度とキャリア形成
 4. 成果主義と目標管理と人事考課
 5. 労働時間の弾力化
 6. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施する。

教科書

未定。初回のガイダンス時に指示する予定。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務会計論	小栗 嵩 資	短国・短英2年	4
		短 仏	

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

他学部履修科目

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので、注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論』（白桃書房）

参考書等

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	<small>い</small> 飯 <small>おか</small> 岡 <small>とある</small> 透	短 仏	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表が、その企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義での授業内容とスケジュールは、次のとおりである。

〔前期〕

- 4月 会計監査の目的と種類
 (1)会計監査の目的
 (2)会計監査の種類
 (3)監査基準の必要性とその構造
- 5月 わが国監査制度の展開
 (1)第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
 (2)第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開
 監査人の要件と責任
 (1)監査人の要件
 (2)監査人の選任と解任
 (3)監査人の職務権限と責任
- 6月 監査要点と監査手続の選択適用
 (1)監査要点の意義と種類
 (2)通常実施すべき監査手続とその内容
- 7月 監査証拠の種類と内容
 (1)監査証拠の意義と分類
 (2)十分な監査証拠と合理的な基礎

〔後期〕

- 9月 内部統制と監査リスク
 (1)内部統制の構成要素
 (2)内部統制の評価
 (3)監査リスクと重要性
- 10月 監査計画と組織的監査
 (1)監査契約と予備調査
 (2)監査計画の目的とその設定
 (3)組織的監査の重要性和審査機能の整備
 (4)他の監査人の監査結果の利用
- 11月 監査調書の目的と種類
 (1)監査調書の目的と作成要件
 (2)監査調書の種類と保存
 経営者確認書の意義と記載内容
 (1)経営者確認書の意義と目的
 (2)経営者確認書の記載内容
- 12月 監査報告書と監査概要書
 (1)監査報告書の意義と機能
 (2)監査報告書の種類
 (3)短形式監査報告書の記載内容
 (4)特記事項の記載内容
 (5)監査概要書の目的と記載内容
- 1月 この講義の総括と年度末試験の説明

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論、財務会計論及び簿記論の講義を履修し、財務諸表について十分理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、レポート(30%)及び年度末のテスト(70%)の結果によって評価する。
 なお、再試験は実施する。

教 科 書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』(中央経済社)
 飯岡透著『中間財務情報制度論』(中央経済社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	<small>ふる</small> 古 <small>さわ</small> 沢 <small>こう</small> 紘 <small>ぞう</small> 造	短 仏	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. 公正と貿易
 4. グローバリゼーションと貿易
 5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。再試験を実施する。

教科書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	さいとう 藤 正 ^{ただし}	短 国 ・ 短 仏	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバル」な金融市場の実現を掲げ、98年4月にスタートした「日本版金融ビッグバン」の展開のなかで日本の金融制度が大きく変わろうとしている。大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている一方、バブル崩壊後の不況が長引き、不良債権処理が遅れるなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安が高まってきた。それは、特に地域金融機関において厳しく表れ、地域経済に深刻な影響を及ぼしている。

銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く求められている。

本講義では、銀行の基礎理論に関連づけながら戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 前期は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
 - ①まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面して諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
 - ②「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業専門金融機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
 - ③時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1990年まで）、バブル崩壊以降（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- 2) 後期は銀行の基礎理論を中心に講義する。
 - ①銀行経営の不振とは対照的に消費者金融会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いはどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - ②銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- 3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバンを様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

履修上の留意点

成績は、前期試験（またはレポート）と後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業はレジメに沿って進める。

参考書

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー 金融業』（大月書店）2001年
 山田・野田編『現代日本の金融』（新日本出版社）1997年。
 日本銀行【新版 わが国の金融制度】

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	さいとう ひよし 斎 藤 寿	短 仏	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) — との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
親 族 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族 [第4増補版]』(有斐閣双書) 1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第5版]』(有斐閣) 2,200円
六法

科目名	担当者名	配当学科	単 位
相 続 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	短国・短仏	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続 [第4増補版]』(有斐閣双書) 1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第5版]』(有斐閣) 2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	また 北 野 か ほ る	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北 野 かほる	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法概念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	岡田外司博 <small>おかだとしひろ</small>	短 仏	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてつづけるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法人門』（法律文化社）

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1)	中野裕二 <small>なかのゆうじ</small>	短国・短英	4

講義のねらい

本講義では、西ヨーロッパの政治や社会の今の動きをできるだけ理論的に把握することを目標とする。対象となるのが「西ヨーロッパ」であるので、すべての国やすべての政治現象を網羅的に紹介することはできないので、取り扱う国やテーマを絞っていく。そこで、本年度はフランスを素材として、フランスの共和制は「共生」の理念であるとの理解に立って、共和制への異議申し立てと見なされるコルシカの民族主義、移民の自己確立、極右政党の台頭の実状、それが共和制にもたらす影響を明確にしていく。そして、「共生」のためにはどのような社会編成の理念に立つべきかについて考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

1. フランス共和制と共生の問題
2. コルシカとフランス共和制
補論 コルシカの紛争に見る「民族」
3. 「フランス人であること」の多様性
補論 90年代フランスにおける「もうひとつの民族問題」
4. 「新しい人権主義」の社会観と共和制
5. フランス共和制の理論的位置
6. 「新共和主義」と「ポスト共和主義」
補論 統合原理を模索するフランス
7. 「共和制モデル」とフランス共和制

成績評価の方法

学年末試験と小テスト・レポートを7：3の割合で総合的に評価する。ただし、学生の積極的参加（意見、質問）は別個に高く評価する。

教科書

中野裕二『フランス国家とマイノリティ』（国際書院）1996年 2,718円
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』（人文書院）1998年 2,600円

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 政 治 学	みなみ やま あつし 南 山 淳	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国民国家体系は「戦争」と「新たな世界秩序の構築」というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきた。他方、「グローバリゼーション」に象徴される国境を越えた様々な活動の増殖が、今日では国際政治構造そのものに大きな影響を与えるようになってきている。

このような（国家間関係およびトランスナショナルな行為主体間の関係の総体としての）国際政治現象を構造として理解することが本講義の目的である。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際政治の動態のなかで「持続」と「変容」の領域を各々確定していく作業に他ならない。具体的には、変動する国際政治構造の全体像を歴史と理論の両側面を連関させながら検証していきたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存等、国際政治学の基礎概念の理解と主要理論の概説に重点をおき、後期は地域紛争、グローバル経済、地球環境、ジェンダー等、冷戦後の国際政治における具体的諸問題を取りあげる予定である。詳細については開講時に述べる。

履修上の留意点

政治学、近現代史および国際問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

レポートおよび定期試験。

教 科 書

特定の教科書は使用しないが、講義理解のために下記の参考書を読んでおくことを必須とする。

参 考 書 等

PR.ピオティ・M.V.カピ 著 (D.J.ウェッセルズ・石坂葉穂子 訳)
『国際関係論 第二版－現実主義・多元主義・グローバリズム－』(彩流社) 1993年。
小林誠・速藤誠治 編『グローバル・ポリティクス』(有信堂) 2000年。
石井修 著『国際政治史としての二〇世紀』(有信堂) 2000年。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	短 国	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本的に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）、『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度に地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
立 法 過 程 論	まえ だ ひで あき 前 田 英 昭	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

法律はどのような経過を経て、どのような人々の手によって、どのようにつくられるのかを勉強することによって、法律、政令、条例などの法令の起案の仕方や、社会生活において必要とされる規則のつくり方に習熟し、法令や規則の理解を容易にすることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

立法過程とは、立法を中心に議会でのさまざまな決定をめぐって繰り返される議会内外諸勢力の公式・非公式の相互作用の実質的な過程であり、狭義には、議会内部での法律制定に関する立法手続の諸過程をさす。今年度は、後者を主として対象とする。

[取り上げるテーマ] 立法過程とは、国会における審議過程。立法過程における政府の役割。立法過程における議員の役割。内閣提出法律案。議員提出法律案。内閣法制局と議院法制局。常任委員会制。法律の体裁と用語の解説。法律・政令・条例。政府委員。審議会。会期制。会議の公開。委任立法（行政立法）。法律と予算。法律の公布・施行。その他サッカーくじ法など個別法案。（順不同）

履修上の留意点

この講義は、公務員志望の学生、立法機関としての国会や地方議会に関心のある学生向きである。できるだけ出席して国会職員としての経験談も聞き、講義のテーマに関連した時事問題の解説にも注目すること。

成績評価の方法

平常点と期末試験（ノート持ち込み可）

教 科 書

前田英昭『国会の立法活動』（信山社）

参 考 書 等

小島和夫『法律のできるまで』（日本評論社）
浅野一郎『立法過程』（ぎょうせい）
前田英昭『国会の100年』（原書房）
岩井奉信『立法過程』（東大出版会）
林修三『法令用語の常識』（日本評論社）
中村睦男・前田英昭『立法過程の研究』（信山社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	み 三 たいけ 竹 なお 直 や 哉	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・
授業スケジュール

民主化、民族対立管理、移民政策という三つのテーマを柱にします。

履修上の留意点

専門科目の中でも専門性の高い授業として提供します。

成績評価の方法

期末試験は12月の授業期間中と、1月の定期試験期間中の二度です。授業中の発言や小テストでも得点できます。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は〈必ず〉参照してください。

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円

参 考 書 等

授業中に指示します。

そ の 他

最新の情報は、ゼミのホームページで確認できるようにします。法学部の公式ページからリンクをたどってきてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おほ つか かつら 大 塚 桂	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況にあります。大国・日本丸はどこへすすもうとしているのでしょうか。ありうべき国家とは何か、が現代政治学において重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履修してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論(史)的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みたと、政治学=国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目(憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学)の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。国家論は総合科学としての性格を有するからです。

講義の内容・
授業スケジュール

A 国家論の課題ならびに研究方法

①序論 ②官立アカデミズムの形成

B 国家学説の史的展開

①古代国家学説 ②中世国家学説 ③近代国家学説 ④現代国家学説

C 法治国家の構成原理

①法治国家論 ②政治制度 ③官僚制 ④国家緊急権

D 行政国家の構成原理

①福祉国家論 ②ネオ・コーポラティズム ③シティズンシップ ④きたるべき国家像

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。

A方式(レポートによる単位認定)

～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。

B方式(試験による単位認定)

～ペーパーテスト(中間・期末)による評価です。

C方式(AとBの折衷)

※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂)3,000円

参 考 書 等

上記教科書にかかげてある〈関連文献〉を参照のこと

そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階(2835)にあります。電話は、3418-9377(直)です。質問など気軽に訪問してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	短 国	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継 続 性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流 通 量 |
| (3) 利 潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品 | (9) 価 格 革 命 |
| (5) 市 場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。
教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営情報論	たか 高 井 徹 雄	短 国	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点 (前期)

(1) 科学とシステムの観点 (4月～5月：4週)

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域 (5月～6月：5週)

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用 (6月～7月：5週)

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観する。また、インターネットと同様な環境をベースとした、イントラネット・エクストラネットに触れ、現在から近未来における戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

II. 情報の利用技術 (後期)

(1) 多変量データ解析 (9月～10月：7週)

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、III、II類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション (11月～12月：4週)

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

(3) DSSとES (12月～1月：3週)

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS(意思決定支援システム)、ES(専門家システム)の概要について学ぶ。

※なお受講人数が収容可能であれば、適宜(前期3、後期5回程度)、情報教育センターのコンピュータルームを利用して実習形式で授業を行う。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。
その他、出席状況と実習授業時の課題も評価に反映する。

教科書

開講時に指定する。

その他

情報処理基礎、統計原論を先にまたは同時に履修しておくことが望ましい。
この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむらかずお夫 西村和夫	短 国	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報をフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

講義の内容・
授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5	3	対数の原理と性質、計算練習
6	4	情報量の定義、練習、情報量の利用
7	3	暗号系と用語、古典的な暗号
9	2	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10	2	符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の中間試験
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度、言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

他学部履修科目

履修上の留意点

4年生が履修するのは困難です。2～3年生のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕 → 経営情報論
この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学史	佐原 作美	短英	4

講義のねらい

無文字時代の文学のありようから、文字を得て記録され、今日にまで継承されて来た飛鳥奈良時代の文学作品を中心に平安初期頃までの文学の流れを、史的背景をふまえながら考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話を豊富に含む『古事記』や『日本書紀』や『風土記』などの散文文学をはじめ、『万葉集』や漢詩集などの韻文学など、それぞれの作品の一端にふれながら、上代文学のおもしろさを発掘していきたい。

履修上の留意点

教科書に載っている例文や、配布されるであろうプリントの他に、上記の作品を積極的に読んで欲しいと思う。

成績評価の方法

課題のレポートや定期試験その他出席状況（重視）などを見て評価する。

教科書

山岸徳平編『作品中心 日本文学史』（新典社）1,030円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学史	鈴木 裕子	短英	4

講義のねらい

古代後期（平安時代を中心として）の文学史を学びます。漢詩や和歌、物語や日記などの文学作品にはどのようなものがあるか、なぜそれらが千年もの時を超えて現代にまで読みつかれて来たのか、文学史に〈女性〉が果たしてきた役割とは何なのかなど一緒に考えてみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

韻文・散文ともに実際に作品の一節を読みながら、それぞれの作品の特色や時代の思潮を理解し、古典文学に親しむ契機となるようにします。授業は教科書のほかにプリント教材を配布し、それらを用いての講義が中心となります。また、変体仮名を読む機会も設ける予定。

履修上の留意点

教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文や短い発表などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

神作光一編『中古文学研究』（双文社出版）

参考書等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 史	おが 岡 本 恭 子 もと 恭 子	短 英	4

講義のねらい

日本文学とは何か。それを説明する方法の一つに文学史がある。これは日本文学の全体を歴史的展開の軌道に乗せながら、作品・作者・思想などを考えもので、日本文学の全貌を理解する有力な方法の一つである。

ここでは中世期という範囲を設けてはいるが、いうまでもなく前時代の、そして次代への影響についても考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 和歌伝統の回復と衰退について
- ② 新しい詩の創造（連歌）について
- ③ 擬古物語と歴史物語について
- ④ 短篇小説への移行について
- ⑤ 説話集の盛行について
- ⑥ 禅僧たちの文学について
- ⑦ 叙事詩文学世界の展開（軍記もの）について
- ⑧ 自照文学について
- ⑨ 芸能と文学について

履修上の留意点

教科書を用いないが、プリントにて参考資料を配布する。ただし、これはあくまでも「参考資料」であって、主たる資料とはならないので、個々で調べて勉強しなければならない。

成績評価の方法

前期、後期に分けて行う予定であるが、授業の状態によって変更する。また出席状況も評価点に加味する。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

授業の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 世 文 学 史	せい 清 田 啓 子 だ 啓 子	短 英	4

講義のねらい

近世（江戸時代）の文学の流れを通観する。江戸時代は、庶民が力を発揮できた時代であると同時に、政治的束縛も各分野に及ぼされた。そのような中で、文学を志した人々のあり方はどんなものであったか、どのような作品が生み出されたかを探って行きたい。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書とする『近世文学史』には、作品もかなり掲載されているので、なるべく丁寧に作品の意義を見きわめつつ、近世初期から末期までの変遷を辿ることになる。

履修上の留意点

文学とは何か、を、常に念頭においてほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、夏期レポート、折々の提出物等による。

教 科 書

佐藤毅他編『近世文学史』（双文社出版）1,800円

参 考 書 等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学史	<small>いの</small> 井 <small>うえ</small> 上 <small>まさる</small> 優	短 英	4

講義のねらい

「文学史」という言葉を聞くと、どのようなことを想い浮かべるだろうか。たとえば、中学高校時代の国語の試験問題や、大学入試の問題に出題された、有名な作者や重要とされる作品、その文学上の主義に関する事項、あるいはそのためにそれらをやみくもに暗記させられた記憶などであろうか。「文学史」とは何かと問われると、文学の生成発展の歴史を記したものとすぐに答えたいだろうか。しかし「文学史」も、ひとつの歴史記述として作成されたものである以上、そこに描かれているものは、文学現象として生じたありとあらゆる事実を無私な立場から客観的に、ありのままに復元したものではあり得ない。国語の授業時間や試験の際に覚えたあの傑作とされる作品名やそれを書いた著者名の羅列は、ある立場からの選択と分類によるものにほかならず、そうした「文学史」の記述からこぼれ落ちている数多くの作品や作者が存在していたことはいうまでもない。たとえば、ある「文学史」と銘打たれた書物を取り上げている特定の時期については、当時の雑誌などに掲載されている文壇月評の類いを実際に手にとって見れば、従来の「文学史」が整理し記述している文学的事象との間にさまざまな相異が発見できることになる。クレマン・モワザンは、「文学史は、作品の〈出版〉と同じプロセスによっている。そのプロセスから、選択と組織化のモードに従ってひとつの言説が構成されるのであるが、その言説の主たる特徴は価値づけにある」。「この価値づけは、視点の取りかたとそこから生ずる価値判断に依拠する。文学史が差異や差別によって根拠を示したものを、教育機関が承認して公的なものとする。こうして、過去へとさかのぼって、文学作品として指定されたものが、教育という価値づけの装置によって固定化される」（『文学史再考』）と指摘している。多くの国語教科書に採用され、全国の生徒たちに教授される安定教材のように、えてして、「文学史」は教育と連動する形で、ある作品の正典化を行うと共に、そこに定められた規範や価値観を生徒達が受け入れさせられることに帰結する。だからまず、わたしたちは、教育現場で「文学史」が教授されるとはいかなることかを問いかねなければならない。そしてそのうえで、文学作品を規制し意味を付与している規範、コード、文体やジャンル、そして文学生産物の市場とその流通、消費の過程と場、あるいは発表された作品を読む当時の読者の「期待の地平」と作品との関わりなど、文学現象の広く総体的な目配りのもとで、近代文学を再考することが目標となるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では明治大正期の文学的事象について探って行く。文芸思潮の紹介とそれに付随する作品の列挙に終始することは避け、いくつかの作品を個々に具体的に読解しながら、近代文学として出来たことは何かを見極めることに努めたい。「文学」論であると同時に、最終的には「文学史」のディスカールの構成規則を明らかにする「文学史」論にいたることを目標とした。

履修上の留意点

数々の作品を抜粋に頼らず粘り強く読んで行くことになるし、実際に受講学生が図書館等で当時の新聞雑誌を調査分析し、今日流通している文学史書の記載と比較検討する作業も要請されることにもなろうかと思われるので、作品を準備もせず漫然と出席するだけの学生ではない、意欲的に学ぼうとする人たちの受講を希望する。

成績評価の方法

学年末に教場試験を行う予定だが、折々小課題も課す。なお、そうした素点のみならず、出欠状況や授業態度なども総合して評価したい。

教科書

特定の文学史の教科書は指定しないが、扱う作品は授業で指示し、各自文庫本などで用意し、あらかじめ読んだうえで臨むこと。

参考書等

授業の中でその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学史	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>	短 英	4

講義のねらい

現代日本文学の流れを概観しつつ、時代との関わりの中で生成される作品の系譜を考える。現代の起点を関東大震災のあった大正12（1923）年前後に置き、以降、昭和の終り（1988）まで見ていくことになろう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は総論と昭和20年の敗戦までを、後期にそれ以後を取り上げる予定。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しくふれる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

三好行雄編『近代文学史必携』（学燈社－別冊國文學－）1,000円

参考書等

『時代別日本文学史事典（現代編）』（東京堂出版）6,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
異文化コミュニケーション	奥原 淳子 <small>おくはら じゆんこ</small>	短 英	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。近年、国際化がますます進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況にあって、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、以下の問題について考えていきます。

- ・「異文化」、「異文化コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・文化摩擦はどうして起こるのか。
- ・言語や非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・日本文化や日本語にはどんな特徴があるのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとりたいたいと思います。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心となる活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度・試験

教科書・参考書等

開講時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語 (前期)	おが もと まこと 岡 本 誠	短 国	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語で言えば“Current English”ということになろうか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。英字新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習Ⅰ〔英語音声の基礎〕 (前期)	おが もと まこと 岡 本 誠	短 国	4

講義のねらい

英語音声の認識をディクテーションの手法で行なう。英語を聴いて、それを正確に書き上げるという作業はその人の実力をずばりと表す。例の“r”音と“l”音の認識といったレベルにとどまらず、ここで文が完結したな、じゃここでピリオドを打って次が文題になるな、などといったイントネーションのレベルに至るまで幅広く力量が要求されるからである。TOEFL500点以上、TOEIC700点以上を達成したい人はどうぞ。

講義の内容・授業スケジュール

聴く英語の内容は慣用語句の成立背景を説明したもの。同じ聴いて書くならば、面白くてためになるものが多い。例えば、アメリカでは「近所の人と生活振りを張りあう、世間に遅れをとらないようにする」ということを“to keep up with the joneses”と言う。また、もともとは人物の名前(実在の市長さん)であったのだが“maverick”は「一匹狼」の意味で現在は用いられている。こういう表現の成立をついでに知って、自分達も使いこなそう、という意図でもある。

履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるは迷惑至極。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。そういう授業なのである。

成績評価の方法

小テスト。発表情況。出席情況。

教科書

教科書は使用しない。

3. 「日本語」・「日本事情」科目

3. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日 本 語	I	〈佐野典子〉	253
日 本 語	I	〈多田羅哲子〉	253
日 本 語	II	〈佐野典子〉	254
日 本 語	II	〈多田羅哲子〉	254
日 本 語	III	〈多田羅哲子〉	255
日 本 語	III	〈湯村礼子〉	255
日 本 語	IV	〈石川守〉	256
日 本 語	IV	〈湯村礼子〉	256
日 本 語	V	〈石川守〉	257
日 本 語	V	〈多田羅哲子〉	257
日 本 語	VI	〈石川守〉	258
日 本 語	VI	〈多田羅哲子〉	258

《日本事情科目》

日本事情 I〔地理〕	(前期)	〈須山 聡〉	259
日本事情 II〔自然〕	(前期)	〈清水 善和〉	259
日本事情 III〔歴史〕	(後期)	〈宮本 由紀子〉	260
日本事情 IV〔思想〕	(前期)	〈赤羽 由規子〉	260
日本事情 V〔社会〕	(後期)	〈牛島 千尋〉	261
日本事情 VI〔政治・法律〕	(後期)	〈前田 英昭〉	261
日本事情 VII〔文学〕	(後期)	〈奥原 淳子〉	262
日本事情 VIII〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽 由規子〉	262
日本事情 IX〔経済〕	(前期)	〈瀬戸岡 紘〉	263
日本事情 X〔経営〕	(前期)	〈鈴木 幸毅〉	264

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	佐 野 典 子 <small>さ の のり こ</small>	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本語の聴解能力の向上を目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	日本の映画、TVドラマ、ニュース、などの内容を把握する。
成績評価の方法	試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。
教 科 書	特に教科書は使わない。聴解シートはその都度、配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	多 田 羅 哲 子 <small>た た ら あき こ</small>	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい	常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。 漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。
講義の内容・ 授業スケジュール	○常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。 ○語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。 ○助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。
成績評価の方法	平常点と期末試験の成績で評価する。
教 科 書	プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、小説、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	佐野典子	短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の読解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の現代作家の小説、ノンフィクション、エッセイ等を輪読する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。

教科書

授業で使用する教材は担当者がそのコピーを用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	多田羅哲子	短大 (短放随意)	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- 事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
 - 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
 - あわせて書く練習もする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- 読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- 話したことを文章にまとめる。
- テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 Ⅲ	た た ら あまこ 多 田 羅 哲 子	短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
 - 一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 Ⅲ	ゆ むら れい こ 湯 村 礼 子	短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	いし かわ まもる 石 川 守	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本語の中・上級のさまざまな文型の用法を分析して、理解するばかりでなく、会話や作文で使えるようにしていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義の進め方は、テキスト「日本語中上級文型」を使って、そこに出てくる文型や、文法事項、語彙、表現、アクセントの問題などをともに分析して進めていきたい。
履修上の留意点	授業は一方的な講義の形ではなく、教師の側が、学生に質問をしながら進めて行く。教師から教えてもらうのではなく、自分で考え、自分で準備し、積極的に参加するようにしてもらいたい。
成績評価の方法	成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。
教科書	教材は、授業中にプリントを配布する。
参考書等	特になし
その他	授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	ゆ むら れい こ 湯 村 礼 子	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい	書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。
履修上の留意点	講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	作文・レポートなど（5回程度） 授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）
教科書	授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	いし かわ まもる 石 川 守	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特質を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	た た ら あま こ 多 田 羅 哲 子	短 大 (短放随意)	2

講義のねらい

・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。
テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布、ビデオも使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	いし かわ まもる 石 川 守	短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

「いろはがるた」にあらわれる古くから庶民に親しまれてきた日本のことわざを通し、日本人の考え、日本語の表現、文法などを学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

「いろはがるた」を読みながら、その内容について討論し、また、自国のことわざについて考えていく。

履修上の留意点

できるだけ、発言すること。

成績評価の方法

平常点と試験

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

随時、教室で指示する。

そ の 他

特になし。

日 本 語
日 本 事 情 科 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

読解能力を向上させる。
文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教 科 書

プリントを配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(前期)	須山 聡	短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれの地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。

成績評価の方法

出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(前期)	清水 善和	短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り、亜熱帯の沖縄まで約3,000kmの細長い国土を有している。国土の67%は山地であり、複雑な海岸線とあいまって多様な地形を形成している。また、日本は複数のプレートの境界域に当たり、世界でも有数の火山・地震地帯となっている。このような多様な環境を反映して、日本には独特の動物・植物が多数生息・生育している。

本講義では日本の自然を気候・地形・地質、生物の3分野に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジアの自然の中での日本の位置づけ、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながり、(3)自然と日本の文化との関係。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることによって、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。また、講義の最後には日本の自然破壊の歴史とその保護の在り方についても言及する。

成績評価の方法

レポート（2、3回）と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。参考書は適宜紹介する。

その他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	みやもと ゆきこ 宮本由紀子	短大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとして。
講義の内容・授業スケジュール	特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。
履修上の留意点	板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。
成績評価の方法	出席日数を評価の参考とし、レポートで成績の評価とする。
教科書	なし
参考書等	なし
その他	講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あかば ゆきこ 赤羽由規子	短大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本人が古くから伝承してきた民俗音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。 民俗音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。
成績評価の方法	出席数、筆記試験によって採点する。
その他	その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 V 〔 社 会 〕 (後 期)	うし じま ち ひろ 牛 島 千 尋	短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

本講義は、新聞・雑誌記事、ビデオ、関連文献・資料を用いて、日本の社会・文化等に関する基礎的な知識の学習とともに、現代日本の社会の仕組み、および、その成り立ちを学習することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の概略は次の通りである。1. 都市と農村の変容 2. 労働と余暇 3. マスメディアと若者文化 4. 都市と環境問題 5. 家族の変化と少子化 6. 女性の社会的地位 7. 日本の教育と階層構造 8. ライフスタイルと生活意識

成績評価の方法

レポートと講義中の発言によって総合的に評価する。

教 科 書

特に指定しない。資料を配布する。

そ の 他

ビデオなどのマルチメディア教材を利用した講義を行う。履修者の人数にもよるが、それぞれのテーマについて、毎回、質疑応答や議論を合わせて行いたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VI 〔 政 治 ・ 法 律 〕 (後 期)	まえ だ ひで あき 前 田 英 昭	短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

日本の政治状況を外国との比較において解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の政治状況をとらえた新聞記事などを読み、学生の間で意見交換する方法で勉強し、主として次のテーマの理解につとめる。
日本の国会、選挙、官僚、政策、政治史、政治文化など。

成績評価の方法

出席回数と平常点による。

教 科 書

『国会と政治改革』(小学館文庫)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VII 〔 文 学 〕 (後 期)	おく はら じゆん こ 奥 原 淳 子	短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進めます。その際、内容はもちろん、言語面での問題点も共に考えていきます。

テーマは、文学作品、作家、日本語の言語項目を対象とします。

第一回の授業には、予め関心のある作品や作家、言語項目を持って出席してください。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教科書・
参考書等

その都度指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VIII 〔 文 化 ・ 芸 術 〕 (後 期)	あか ぼ ゆき こ 赤 羽 由 規 子	短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅸ 〔経済〕(前期)	瀬戸岡 紘 <small>せと おか ひろし</small>	短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。わかっているようで、わからないことを、なるべくいてねいに話します。たとえば、明治時代以来の工業化は、アジア諸国のなかでなぜ日本が先んじて成功したのか？ 日本の経営が今あちこちで問題にされていますが、どのようにしてそれが日本に根をおろしていったのか？ 就業人口に占める農業人口の割合は、日本とオーストラリアとイギリスとアメリカでは、どこが一番高いか？ そして農業生産高はどうか？ そして時には余談もします。たとえば、この国の本当の名前ってニホンなの？ ニッポンなの？ それともジャパンでもいいの？ など、みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話することがねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

日本の工業地帯と工業
日本の農村と農業および日本の水産業
日本のサービス業および金融
明治維新以前の日本経済の歴史
明治維新以降の日本経済の歴史
第2次世界大戦以降の日本経済の展開
日本経済とアメリカ経済
日本経済とアジア経済
日本経済と政府の役割
日本の労働者・サラリーマンの生活
日本経済と社会や文化の変化
その他

成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト30%、宿題30%が目安です。なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施いたしません。

教科書・
参考書等

日本経済について書かれた本はあまりにたくさんあるので、特定の本を指定することはいたしません。しかし、授業のなかでその都度適切な本を紹介しします。日々のニュースをよく聞いてください。この講義では、日ごろあなたが目にするそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。とくに、よい本をもとめたい人は、私に相談してください。いくらでも紹介します。

そ の 他

授業は、おおむね日本語ですすめます。しかし、希望があれば、その日の要点を英語でも話します。質問は、日本語でも英語でもどちらでも受けつけます。授業のなかで、みなさんが積極的に発言することを期待しています。はじめのうち、どうしても日本語がうまくつかえなければ、英語で発言してもかまいません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 X 〔 経 営 〕 (前 期)	すず き こう き 鈴 木 幸 毅	短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

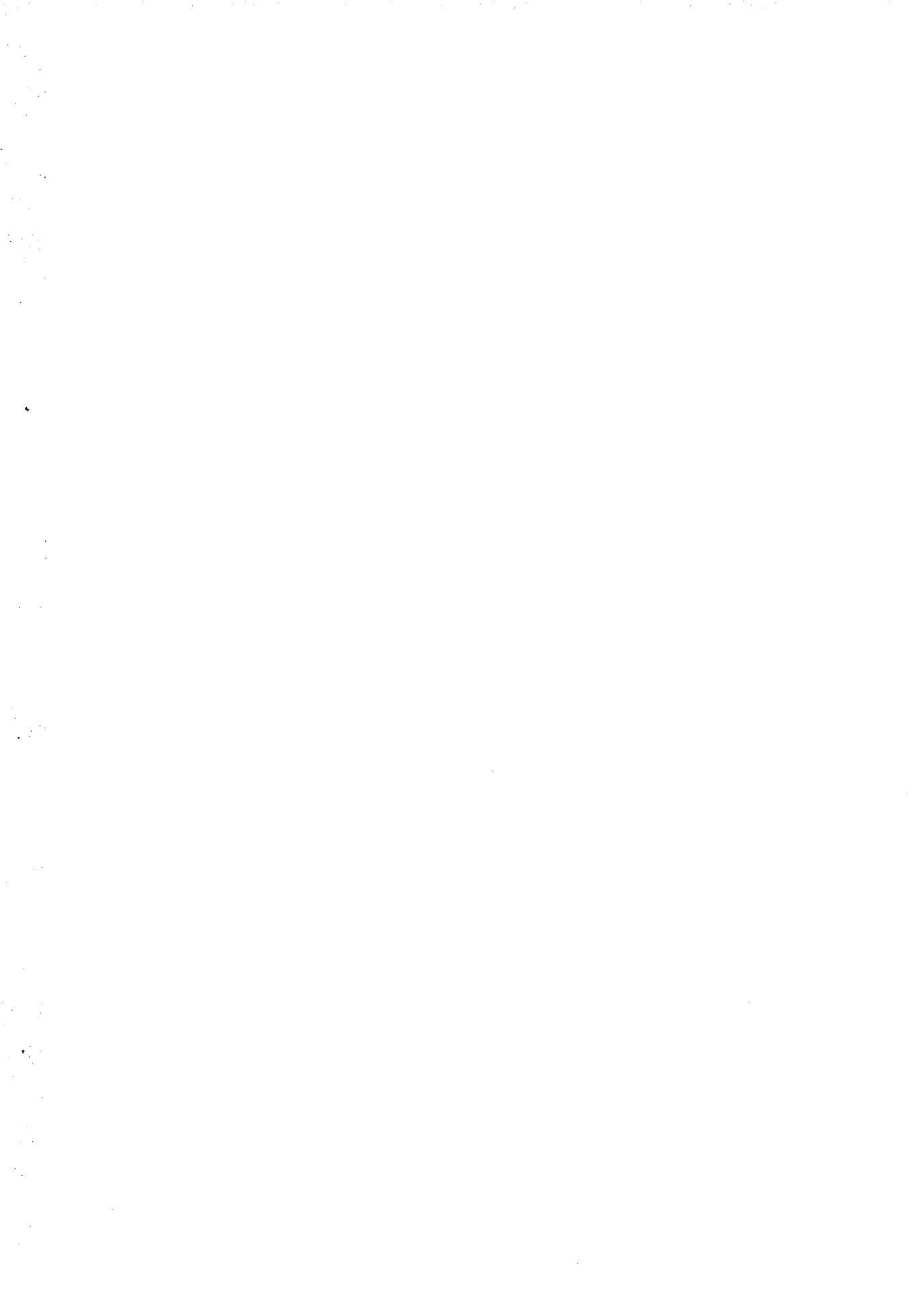
教 科 書 ・
参 考 書 等

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

4. 教職課程・資格講座科目 (国文科・英文科)

I 教 職 課 程

II 学校図書館司書教諭講座



4. 教職課程・資格講座科目

[注意] 頁()は、他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は、主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示しています。

I 教職課程

(1)教職に関する専門科目(必修)

教 職 入 門	〈大浜幾久子・伊藤 茂樹・遠藤 司・北村 三子 坂本 信昭・豊田千代子・村山 輝吉〉	271
教 育 の 思 想	〈北 村 三 子〉	271
教 育 と 社 会	〈北 村 三 子〉	272
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈大 浜 幾 久 子〉	272
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈大 浜 幾 久 子〉	273
教 育 と メ デ ィ ア	〈石 橋 達 也〉	273
国 語 科 教 育 法	〈小 林 治〉	274
英 語 科 教 育 法	〈山 縣 裕〉	275
特 別 活 導	〈山 田 忠 行〉	275
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈遠 藤 司〉	276
道 徳 教 育 の 研 究	〈山 田 忠 行〉	277
教 育 臨 床	〈遠 藤 司〉	278
総 合 演 習 (現 代 生 活 を 見 直 す)	〈北 村 三 子〉	278
教 育 実 習 I ・ II	〈坂 本 信 昭〉	279
教 育 実 習 I ・ II	〈村 山 輝 吉〉	279

(2)教職に関する科目(選択) (11年度以前入学生)

教科又は教職に関する科目 (12年度以降入学生)

教 育 関 係 法 規	〈広 沢 明〉	280
学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	(281)
読 書 と 豊 かな 人 間 性	〈山 田 節 子〉	(281)
学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	〈源 昌 久〉	(281)
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	〈源 昌 久〉	(281)
学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	(281)

II 学校図書館司書教諭講座

学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	285
読 書 と 豊 かな 人 間 性	〈山 田 節 子〉	285
学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	〈源 昌 久〉	286
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	〈源 昌 久〉	286
学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	287

※平成12年度以降入学生は大学（学部）に開講されている下記の科目を履修することができます。ただし、できるかぎり短大の開講科目を履修することが望ましいです。やむを得ず履修しなければならない場合は教職窓口（教務部②番）に相談して下さい。

科目名

「教職入門」「教育とメディア」「道德教育の研究」「特別活動」「生徒指導論（進路指導を含む）」
「教育臨床」「総合演習（1）～（12）」「学校経営と学校図書館」「読書と豊かな人間性」
「学校図書館メディアの活用」「情報メディアの活用」「学習指導と学校図書館」

I 教 職 課 程

(1)教職に関する科目（必修）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 職 （ 後 入 期 ）	大浜幾久子・伊藤茂樹・遠藤司・北村三子 坂本信昭・豊田千代子・村山輝吉	12以降入学生/教職1必 (短国・短英)	2

講義のねらい

高度消費社会の出現や、情報化社会の進展の中で、今日の日本の教育界は多くの困難な問題を抱えています。将来教師になろうとする人には、そうした問題に自ら取り組んでいく覚悟とそれを越えてゆける力量が必要となるでしょう。その力量の中には、知識ばかりでなく、関心の広さ、感受性、想像力、柔軟な発想、そして体力など、きわめて多様なものが含まれます。この講義では、教職課程の専任教員7名に加え、外部からも講師をお迎えして、さまざまな角度から教育を語っていきますが、教師になるための勉強の第一歩として、教師という職業には関心を持つべき多くのことがあるということを、まずは実感してください。

講義の内容・授業スケジュール

今日の教育に関する諸問題をオムニバス形式で講じていきます（毎回テーマと講師が代わっていきます）。また、11月12日(月)および11月15日(木)は、普通の講義ではなく、学部1年次生を対象とした教職課程・資格講座ガイダンスが予定されています。詳しいスケジュールは、初回の講義で配布される予定です。

履修上の留意点

レポートによる評価。

成績評価の方法

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 （ 前 の 思 想 期 ）	北 村 三 子	短国・短英1必	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていききたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴……18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したものうち、代表的なものをいくつか取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考……今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周知的だった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（あるいはそれに代わるレポート）

参 考 書 等

教場で指示

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	きたむらみつこ 北村三子	短国・短英1必	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……不登校その他の具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（またはそれに代わるレポート）

教科書

教場で指示

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	短国・短英1必	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

履修上の留意点

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後 期)	おお はま きく こ 大 浜 幾 久 子	12以降入学生/短国・短英1必	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部省

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育とメディア (前 期)	いし ばし たつ や 石 橋 達 也	教職1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

本授業では、情報化社会が著しく進展していく今日の状況での教育の在り方について学んでいきます。はじめに、教育/学習あるいは授業の捉え方や教育におけるメディアの利用の仕方について、教育心理学や教育方法学の観点から眺めます。それに続いて、インターネットなどを含めたコンピュータ活用教育について焦点を当て、その実践のために必要な操作や教師としての姿勢などについて学ぶとともに、コンピュータ利用上の注意点や問題点についても検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業のスケジュールとしては、およそ以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。1. 教育の情報化と教育方法、2. 授業と学習過程の理解、3. 学習者特性の理解、4. 授業モデルと授業設計、5. 教育メディアとメディアリテラシー、6. 教育へのコンピュータの導入、7. コンピュータと情報活用能力、8. インターネットの活用と協同学習、9. インターネット社会への参加態度など。

履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚して、毎回まじめに出席することと授業に積極的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、期末試験の得点を中心にして、授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書

教科書は、次のものを使用する予定です。今栄国晴編著『新版 教育の情報化と認知科学—教育の方法と技術の革新—』(福村出版) (1988) 2,4000円+税

参考書等

授業の中で必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していく予定です。

その他

授業の中で、毎回コンピュータを使用する実習時間があります。初歩的なレベルから始めていきますので、初心者でも学ぶ意欲があれば、安心して学習していけるはずでです。
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 科 教 育 法	こ ぼ や し 林 治 おまむ	教 職 1 必 (短 国)	4

講義のねらい

本講座の受講生は、その大半が一年後には教育実習生として、教室で生徒を前に授業という形で国語の教科指導を行なうことになる。あるいは、将来、教師として教壇に立つこともあるだろう。そのような時に、国語という科目をどのように教えることができるか、その方法と実際に学ぶための講座である。

国語という科目は大きく分けて、理解と表現という二領域があると考えられる。理解とは、論説文、文学作品などの読解、鑑賞であり、表現とは、文章表現（書く）、口頭表現（話す・聞く）に関わることである。そして、この二領域を横断する要素として、考えること（思考）がある。これらの領域、要素にまたがって、様々な教材を使って生徒の総合的な国語力修得をはかることが、教科指導の目的である。しかし、教育現場において生徒一人一人は、その能力、適性、学習の進度に大きな差があり、一律には指導できない。その多様さに応じた学習指導上の工夫も必須であると言えよう。よって、本講座では従来の一斉授業の枠の中でその長所を把握し、そこにおける効率的学習のあり方を考えることを経て、個人差に応じた学習指導の工夫を試みる授業形態を考えていくことになる。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 現行学習指導要領の解説および2002年実施の新学習指導要領について。
2. 国語科教育の基本的な知識と方法。
3. 中学校教科書を用いた授業展開例の紹介と、その問題点の把握。
4. 実際に教育現場で行なわれている新しい指導法の紹介。
5. 指導案の作成。
6. 中学校教科書を用いての受講者一人一人の模擬授業。

履修上の留意点

受講生が教育現場で教壇に立った時に遭遇する様々な困難を想定し、それに対処できるような実践力の養成を行ないたいので、漠然とした教師への憧れや、安易な資格取得目的による受講がないよう希望する。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容（教科指導案を含む）、模擬授業の内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

『改編 中学校・高等学校 国語科教育法』（おうふう）1,800円
中学校教科書『現代の国語1』（三省堂）690円（五月以降に購入可能）

参 考 書 等

その都度指示する。なお、適宜、プリントを配布する。

そ の 他

ビデオ等を使って各校の授業展開例を紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語科教育法 (前期)	やまがた ゆたか 山 縣 裕	教職1必 (短英)	4

講義のねらい

過渡期の日本の英語教育学を体系だてて理解できるように、学生をサポートしていく。

講義の内容・
授業スケジュール

定期テスト、小テスト等を総合的に評価する。但し、6回以上欠席した者(遅刻は $\frac{1}{2}$ 欠席)には、原則として単位を与えない。

教科書

『新英語科教育法』(大修館) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
特別活動 (後期)	やま だ ただ ゆき 山 田 忠 行	教職1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

「特別活動」は、望ましい集団活動を通して、好ましい人間関係を形成し、社会の一員としての自覚と責任ある態度を身につけるとともに、人間としての生き方を探求し自己を生かす能力などを養うものである。この「特別活動」の教育的意義や目標及び内容、方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。特に、実践的な面では、特別活動の活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行い、実践的な指導力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

①特別活動の基本的な性格 ②特別活動の目標とコンセプト ③特別活動の歴史的変遷 ④学級活動の特質と活動内容 ⑤生徒会活動の特質と活動内容 ⑥学校行事の特質と活動内容 ⑦特別活動の指導計画の作成 ⑧特別活動と生徒指導 ⑨ガイダンスの機能の充実 ⑩特別活動とボランティア活動 ⑪特別活動の指導を担当する教師 ⑫特別活動における評価

履修上の留意点

文献による理論的な研究を深めるとともに、特別活動の具体的な実践にかかわる指導計画の作成や指導内容、指導方法等についての研究を深め、実践的な指導力を身につけてほしい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成やレポート等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部省『中学校学習指導要領解説-特別活動編-』(ぎょうせい) 70円

参考書等

森嶋昭伸・鹿嶋研之助編著『中学校新教育課程の解説-特別活動-』(第一法規) 1,300円

その他

講義及び年間指導計画、指導案の立案等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	えん どう 遠 藤 つかさ 司	教職1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは、現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとしている人間として、生徒（他者）の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生徒指導観、あるいは進路指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 生徒指導、進路指導の理論、歴史とその目的の変遷
2. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題
3. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察
4. 教師－生徒関係の中での生徒指導、進路指導
5. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導、進路指導

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

期末試験、またはレポートを予定している。

教 科 書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 (前 期)	やま だ ただ ゆき 山 田 忠 行	教 職 2 必 (短 国 ・ 短 英)	2

講義のねらい

「道徳教育」の充実、我が国の大きな課題であり、学校教育全体において充実した取り組みを行わなければならない。そのために、小・中学校においては教育課程に「道徳」が位置付けられ、高校においては、人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行わなければならない。この「道徳教育」の教育的意義や目標及び内容、方法等について理論と実践の両面から研究を行う。道徳教育を進めるに当たっては、豊かな体験を通して生徒の内面に根ざした道徳性の育成が求められる。教師としての実践的な指導力を身につけるために、道徳教育の内容や活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

①道徳教育の戦前・戦後の経緯 ②今求められる心の教育 ③道徳教育の基本的な在り方 ④道徳教育の目標と道徳の時間の役割 ⑤道徳の時間の指導内容 ⑥道徳の時間の指導の在り方 ⑦道徳の時間の学習指導案の書き方 ⑧道徳の時間の資料の開発と活用 ⑨全教育活動における道徳教育 ⑩豊かな体験と道徳性の育成 ⑪家庭や地域社会が道徳教育に果たす役割 ⑫生徒理解に基づく道徳教育の評価

履修上の留意点

文献に基づく道徳や道徳教育に関する理論的な研究とともに、道徳教育の具体的な指導計画の作成や指導内容、指導方法等について理解を深め、指導力を身につけてほしい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成やレポート等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部省『中学校学習指導要領解説－道徳編－』（大蔵省印刷局）260円

参考書等

七條正典・押谷慶昭編著『中学校新教育課程の解説－道徳－』（第一法規）1,300円

その他

講義、指導案の立案、毎時間講義内容に則した小レポートを提出する等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 (後 臨 期) 床	えん どう つかさ 遠 藤 司	12以降入学生/教職1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

心の教育が重視されている現在の教育現場において、生徒が自らの生き方を考え、自己を確立するために、一方的な指導ではなく、相互の対話を基に生徒との関係を作ろうとする教師の姿勢が求められている。特に、カウンセリングに代表されるような、臨床心理学的視点をもつ教師の育成が求められている。この授業においては、臨床心理学的視点に学びながら、生徒が陥りやすい心の危機に対する対処法や援助法について、実践的に学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 人が人と関係をもつことの意味
2. カウンセリングマインドとは
3. 教師としてカウンセリングマインドをもつことの意味
4. 教師-生徒関係の見直しと再生の過程
5. 人間の生涯における思春期・青年期の諸問題

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

期末試験、またはレポートを予定している。

教 科 書

特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習〔現代生活を見直す〕 (後 期)	きた むら みつ こ 北 村 三 子	12以降入学生/教職2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

環境汚染は日々深刻さを増してきており、私たちの子供や孫の世代が健康に暮らしていけるかどうかさえ怪しくなっている。人類の未だ経験したことのないこの危機に、私たちはどう対処していったらよいのだろうか。この授業では、現代人の生活を見直すことを通じて、私たちに何ができるかを考えていきたい。また、「総合的学習」の指導にもこの演習が役立つようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

「総合的学習」についての解説したあと、エネルギー問題を中心に検討したい。文献を読み議論することが中心となるが、必要に応じて自分達で調査することも試みたい。

成績評価の方法

レポート（または平常点）

参 考 書 等

石川映輔『大江戸エネルギー事情』（講談社文庫）466円

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	11以前入学生/教職2必(短国)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職2必(短国)	5

講義のねらい

教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくすることよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導(教育)も大事にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。
教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。
教育実習後には、各自の教育実習報告、レポート作成(提出)、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か——どうあるべきか——について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

①実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、②教育実習報告(口頭報告)及び報告レポート、③ビデオ視聴のコメント(感想)、④年度末試験(または、課題レポート)によって、総合的に評価します。なお、①~④について重視する度合は、全て同グレードに考えている。

教科書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』(宣協社)1,500円

参考書等

寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』(学文社)1,000円
西村絢子他編『現代教育を考える』(昭和堂)2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	11以前入学生/教職2必(短英)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職2必(短英)	5

講義のねらい

学生が教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じておおむね次の事項を取りあげる。
○教育実習の意義と心がまえ
○学習指導について
○生徒指導について
○学校と教師に関する諸問題
実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、出席等により総合的に評価する。

教科書

教科書・参考書等はそのつど指示する。

(2)教職に関する科目（選択）（11年度以前入学生）
 教科又は教職に関する科目（12年度以降入学生）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 関 係 法 規	ひろ さわ あきら 広 沢 明	教 職 1 選 (短国・短英)	4

講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 学校の種類
2. 教育の機会均等（民族・性・障害）
3. 義務教育
4. 教育の中立性（政治・宗教）
5. 教育行政
6. 懲戒

履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きの姿勢を求める。

成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

教 科 書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

参 考 書 等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.285) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.285) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.286) 参照

教職課程
資格講座

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.286) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.287) 参照

Ⅱ 学校図書館司書教諭講座

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こと 山 田 節 子	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

成績評価の方法

小論文とテストによる

参考書等

- 全国 SLA 図書館学編集委員会編『学校図書館学 1 学校図書館の原理と運営』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

そ の 他

講義・討論・ビデオ
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅰ」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こと 山 田 節 子	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子どもの読書実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

成績評価の方法

小論文とテストによる

参考書等

- 全国 SLA 編『学校図書館白書 2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

そ の 他

この科目の受講は下記の1、2を終了してからが望ましい。
1. 学校経営と学校図書館 (前期)
2. 学習指導と学校図書館 (前期)
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅰ」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前 期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 2) 分類法(表)の解説・演習 3) 目録の解説・演習 4) 資料組織の機械化 5) 多様な学習環と学校図書館メディアの配置

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教 科 書

『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価 6,000円
『日本目録規則 1987年版 改定版』(日本図書館協会) 3,500円

参 考 書 等

講義中に指示する。

そ の 他

必要に応じて、ビデオを活用する。
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報メディアの活用 (後 期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

1) 情報化社会と人間 2) 情報メディアの特性と選択 3) 視聴覚メディアの活用 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用 5) 情報検索

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教 科 書

情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』(日外アソシエーツ) 2,200円

参 考 書 等

講義中に指示する。

そ の 他

この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学校図書館は児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。
この科目は、その原理と方法を学と共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習過程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

成績評価の方法

小論文とテストによる。

参 考 書 等

- 全国 SLA 編『これからの学校図書館と司書教諭の役割：改正学校図書館法マニュアル』
- 井沢純著 全国 SLA 刊行『図書館学大系7 読書教育言論』

そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習
この科目は、平成10年度までに「図書館学 I」の単位を修得した者は、履修できません。

專 攻 科

(放射線技術科学専攻)

専攻科（放射線技術科学専攻）

応用医療生物学	〈日下部 正宏〉	293
放射線の生物影響	〈日下部 正宏〉	293
放射線生物学研究	〈休 講〉	
放射線生物学特別実験	〈休 講〉	
疾病と画像	〈作山 攜子〉	294
放射線治療効果	〈作山 攜子〉	294
画像医学研究	〈作山 攜子・氏家 盛通・西尾 誠示〉	295
画像医学特別実験	〈作山 攜子〉	295
線量計測工学	〈小山 正希〉	296
放射線検出器工学	〈小山 正希〉	296
放射線計測工学研究	〈小山 正希・青木 清・佐藤 昌憲・杉田 徹〉	297
放射線計測工学特別実験	〈小山 正希〉	297
放射線感光化学	〈山本 裕右〉	298
放射線化学特論	〈山本 裕右〉	298
応用放射線化学研究	〈山本 裕右・原田 和正〉	299
応用放射線化学特別実験	〈山本 裕右〉	299
放射線リスク評価学	〈一守 俊寛〉	300
最新放射線治療技術	〈久保田 進〉	300
診療機器工学研究	〈中北 倫男・櫃尾 英次〉	301
診療機器工学特別実験	〈中北 倫男〉	301
診療機器システム基礎工学	〈中北 倫男〉	302
診療機器材料・デバイス工学	〈中北 倫男〉	302

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用医療生物工学 (前期)	くさ か べ まさ ひろ 日下部 正 宏	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

ヒトの体の構造と機能を理解する。また、生物に共通する現象や法則性についても理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

医療人として必要となる、解剖学、生理学、分子生物学の知識を、最近のトピックスを含めて講義する。

- 1) 神経系の構造と機能
- 2) 循環系の構造と機能
- 3) 呼吸系の機能と構造
- 4) 消化器系の機能と構造
- 5) 泌尿器系の機能と構造
- 6) 生命と遺伝情報

履修上の留意点

授業に出席すること。

成績評価の方法

定期試験とレポートにより評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリント。

参考書等

中野昭一著『学生のための生理学』(医学書院)
松田幸次郎ら共訳『医科生理学の展望』(丸善)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線の生物影響 (後期)	くさ か べ まさ ひろ 日下部 正 宏	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線が生物に与える影響について理解する。また放射線治療学の基礎となる学習としても理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

放射線作用の特徴、放射線の分子・細胞レベルにおける作用機構、放射線が臓器および個体に与える影響について講義する。

- 1) 放射線と分子生物学
- 2) 放射線と臓器および個体
- 3) 放射線と温熱作用
- 4) 放射線治療の基礎
- 5) 放射線ホルミシス効果

履修上の留意点

授業に出席すること。英語の辞書を持参すること

成績評価の方法

定期試験とレポートにより評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリント。

参考書等

菅原努 監修『放射線基礎医学』(金芳堂)
ERIC J. HALL, *Radiobiology for the Radiologist* (Lippincott Company)

科目名	担当者名	配当学科	単位
疾病と画像 (前期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各臓器の主な疾患について理解するとともにその疾患の主なレントゲン所見を知ることが目的とする。また各疾患に最も必要な検査法は何かをも理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 頭頸部
- ② 胸部（心臓、血管系を含む）
- ③ 消化器系（肝、胆道系を含む）
- ④ 泌尿生殖器
- ⑤ 骨軟部組織
- ⑥ 小児放射線
- ⑦ 救急放射線医学
- ⑧ Interventional Radiology

これらの臓器のうち代表的疾患の単純写真、CT、超音波、MRI、血管撮影、核医学の画像を理解し、疾患を最もよく描出するための技術を学ぶ。

履修上の留意点

スライドおよびOHPを用いる。

成績評価の方法

出席と授業時間内テストの結果による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線治療効果 (後期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各臓器の悪性腫瘍のstage分類、TMN分類を決める前の検査としてのCT、MRIの有用性とその所見を理解することを第一とし、これらの異常所見の描出するための技術的方法の修得を目標とする。放射線治療後の経過観察のための検査法の選択と画像診断の意義について検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 頭頸部および顔面（副鼻腔を含む）
- ② 肺
- ③ 腹部臓器
- ④ 男性性器（前立腺、睪丸）
- ⑤ 女性性器（子宮、卵巣、付属器）
- ⑥ 乳房
- ⑦ 骨軟部組織
- ⑧ 骨髄・リンパ節

成績評価の方法

授業時間内テストの結果による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像医学研究	作山 攜子・氏家 盛通 にしお せいじ	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各種の画像診断の技術は日々発展し続けている。各画像診断法の基礎的研究と臨床への応用と発展に対応できる知識を身につけるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本語による文献による討論、さらに欧米の文献による知識を得ることも心がける。自分が選んだ論文を発表すること、また指定した論文のこともあり得る。

成績評価の方法

授業時間内テストの成績によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像医学特別実験 (前期)	作山 攜子	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

現在すでに利用されている診断法でもさらに新しい撮像法が実行されている。例えばヘリカルCTは一般的なものであり、3Dイメージ、マルチスライスCTは日常の検査法である。したがって適切な診断を行うための適切な撮法と条件の設定は診療放射線技師の判断に負うところが多い。そのために十分な医学的知識と実践力を養うための実験を行う。

成績評価の方法

出席率・授業時間内テストにより評価

科目名	担当者名	配当学科	単 位
線量計測工学 (前期)	小山正希	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

照射線量、吸収線量、等価線量を決めるための測定ではまず各線量概念を明確にすることが必要である。次にこれらの線量概念を実測するための測定装置について、現時点での対応とその問題点について明らかにしこれら問題点を解決するための方針について考える。国際勧告で提示される線量概念とその同定法に関する指針に準拠し、かつ在来の測定法に必ずしもとらわれずに計測系を構成することを考えてゆく。又、同一条件下で異なる検出系、例えば電離箱型と半導体検出器との測定結果を比較することで測定対象をより明らかにするなどの手法を考えてみる。

成績評価の方法

中間テストによる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線検出器工学 (後期)	小山正希	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

主として比較的新しい形式の検出器の内容を紹介し、計測系全体を見渡して特定のものを選択する場合の参考となるようにしたい。

成績評価の方法

授業時間内テストによる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線計測工学研究	小山 正希・青木 清 佐藤 昌憲・杉田 徹	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

- ・ Radiation Research
- ・ Physics in Medicine & Biology
- ・ Medical Physics
- ・ Nuclear Instruments and Methods
- ・ British Journal of Radiology

等の関連外国雑誌から主として医療に係わる、或は関連のある論文を主題にして放射線計測についての新しい知見と在来技術との関係などについて議論する。

成績評価の方法

授業時間内テストによる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線計測工学特別実験 (前期)	小山 正希	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

半導体放射線検出器による制動 X 線のエネルギー分布測定など、放射線線束、被放射場の特性及び線量計測システムに関する実験を行う。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況などにより評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線感光化学 (後 期)	やまもと ゆうすけ 山 本 裕 右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線の感光材料としてはフィルムが最も一般的であり広く使用されているが、本講義においては、医療分野でフィルムと組み合わせて使用される増感紙、および放射線に対する新しい感光材料として近年使用されている輝尽発光体について、放射線と物質の相互作用に注目して解説する。増感紙については、まずラジオルミネセンスについて触れ、発光機構を説明すると共に、種々の増感紙材料の化学および発光特性について解説する。また、輝尽発光体については、輝尽発光の発光機構について説明し、種々の輝尽発光体材料の化学および発光特性について解説する。

成績評価の方法

試験およびレポート。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線化学特論 (前 期)	やまもと ゆうすけ 山 本 裕 右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

本講義においては、固体の放射線化学のうち、特に、放射線と固体との相互作用を利用した放射線線量測定に関係する領域について解説する。まず、イオン結晶、共有結晶、ガラスについて放射線の固体への効果を概観し、固体に残される放射線効果と格子欠陥の関係、空孔と捕獲中心などに触れながら、放射線のエネルギーがいかんして固体中に蓄積されるか、また、蓄積されたエネルギーをいかんして開放するかを解説する。さらに、以上の事を基礎として、熱ルミネセンス、輝尽発光、エキシ電子放出現象についても言及する。

成績評価の方法

試験およびレポート。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用放射線化学研究	<small>やまもと</small> 山本 <small>ゆうすけ</small> 裕右・ <small>はらだ</small> 原田 <small>かずまさ</small> 和正	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

Journal of Luminescence, Journal of Physics, Physica status solidi, Journal of Applied Physics などの洋雑誌および専門書から、固体線量計、特に TLD および輝尽発光体に関する最近の代表的な研究論文、総説などを講読し、この分野における最新の研究状況に触れると共に、種々の研究法の詳細、および得られたデータの解釈についての理解を深める。

成績評価の方法

平常点。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用放射線化学特別実験 (前期)	<small>やま</small> 山 <small>もと</small> 本 <small>ゆう</small> 裕 <small>すけ</small> 右	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

熱ルミネセンス発光体 (TLD)、輝尽発光体 (FCR プレート) および増感紙の基本原理、基本特性および使用上の注意点等を理解するための実験を行う。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線リスク評価学 (後 期)	いち もり とし ひろ 一 守 俊 寛	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

人の感覚器官である目、耳、鼻、舌、皮膚は生物組織で構成された代表的なセンサであるといえる。センサを必要とする分野は産業界にかぎらず広範囲にわたっており今後益々重要度を増してくると考えられる。本講義では各種センサ素子の物理機構・特性に焦点をあて、それを利用したセンシング技術について理解を深めることを主目的としている。特に、対象に対する理解から新しい発想への発展を大切にする「考える」を実行すべく一部ゼミ形式をとり入れる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 観測とは(感覚する・測定する)
- 2) センサの分類・物理・基礎特性
- 3) 半導体センサ
- 4) 磁気センサ
- 5) 光ファイバセンサ
- 6) 超音波・マイクロ波センサ
- 7) 温度センサ
- 8) 化学センサとバイオセンサ
- 9) 歪みゲージ
- 10) クオーツで測る
- 12) 光でものを測る
- 13) 長さを、流れを、温度を、磁気を測る
- 14) 直接測定とリモートセンシング
- 15) センサの未来像

成績評価の方法

課題レポートで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
最新放射線治療技術 (前 期)	く ぼ た すずむ 久 保 田 進	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線治療の歴史、効果、副作用、種々のガンの治療法を講義する。

成績評価の方法

試験を行う。(持込み可)

教 科 書

久保田進『放射線治療ハンドブック』(ERC 出版) 18,000円

参 考 書 等

<http://www2.justnet.ne.jp/~19500204>

そ の 他

ホームページには参考になる情報があります、参考にして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診 療 機 器 工 学 研 究	なかきた つねお かしお えいじ 中 北 倫 男 ・ 榎 尾 英 次	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

下記のような内外の学会誌、専門誌、技術誌所載の論文、記事を講読し、診断、治療機器の現状と課題について展望をもつ。

- ・ American Journal of Roentgenology
- ・ Radiology
- ・ British Journal of Radiology
- ・ Medical Physics
- ・ INNERVISION
- ・ 新医療
- ・ 医用機器メーカー技術誌

成績評価の方法

論文の講読状況による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診 療 機 器 工 学 特 別 実 験 (前 期)	なかきた つねお 中 北 倫 男	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

診療機器・システムの基本回路を中心に、ハードまたはソフトによる模擬実験を行い、基本的特性について理解を深める。

成績評価の方法

実験への取り組み状況とレポートによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
診療機器システム基礎工学 (後期)	なかきたつねお 中北倫男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

診療機器・システムの最近の動向および運用、評価などについて、解説し、診療機器への理解を深める。

成績評価の方法

筆記試験、レポート、受講態度などによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
診療機器材料・デバイス工学 (前期)	なかきたつねお 中北倫男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

診療機器に関わる主要材料、デバイスの物性と諸特性について論じ、診療機器に関する理解を深める。

成績評価の方法

筆記試験、レポート、受講態度などによる。

仏教科（一夜間開講一）

仏教科（一夜間開講）	専門教育科目
	他学部履修科目
	他学部履修科目
	仏教学部開設科目

1. 專門教育科目

仏 教 科

1. 専門教育科目

基	礎	仏	教	学	〈石井公成〉	309			
坐				禪	〈角田泰隆・志部憲一〉	309			
宗	学	研	究	〈角田泰隆〉	310				
禪	学	研	究	〈休講〉					
仏	典	研	究	I	〈木村誠司〉	310			
仏	典	研	究	II	〈石井公成〉	311			
仏	典	研	究	III	〈袴谷憲昭〉	311			
仏	教	語	解	説	〈池田道浩〉	312			
中	国	禪	宗	史	〈須山長治〉	312			
日	本	禪	宗	史	〈角田泰隆〉	313			
イ	ン	ド	仏	教	史	〈池田道浩〉	313		
中	国	仏	教	史	〈大西龍峯〉	314			
日	本	仏	教	史	〈袴谷憲昭〉	314			
禪	籍	講	読	読	〈志部憲一〉	315			
仏	典	講	読	読	〈大西龍峯〉	315			
仏	教	伝	道	道	〈角田泰隆〉	316			
中	国	古	典	語	〈須山長治〉	316			
書				道	〈野村宙弘〉	317			
仏	教	と	文	化	〈木村誠司〉	317			
仏	教	と	現	代	〈峰岸孝哉〉	318			
外	国	語	仏	書	演習	〈木村誠司〉	318		
イ	ン	ド	・	チ	ベ	ット	仏教演習	〈木村誠司〉	319
中	国	仏	教	演	習	〈休講〉			
仏	教	思	想	演	習	〈袴谷憲昭〉	319		
仏	教	文	学	演	習	〈石井公成〉	320		
宗	学	演	習	習	〈角田泰隆〉	320			
日	用	經	典	概	説	〈晴山俊英〉	321		
宗	教	哲	学	学	〈紺野馨〉	321			
キ	リ	ス	ト	教	概	説	〈紺野馨〉	322	
仏	教	特	講	I	〈荒井裕明〉	322			
仏	教	特	講	II	〈三橋正〉	323			
宗	学	特	講	I	〈熊本英人〉	323			
宗	学	特	講	II	〈晴山俊英〉	324			

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 仏 教 学	いし 井 公 成 石 井 公 成	短 仏 1 必	4

講義のねらい

この授業は、仏教科に進学した第1年次生に対して、仏教と仏教学の基礎知識を身につけてもらうことを目的としている。つまり、仏教の基本的な教義と歴史を学ぶとともに、関心をもった分野を自分で学んでゆくための知識と方法、そして深く考えつつ追及してゆく態度を身につけることが目的である。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の伝記と思想から出発し、インド・中国・朝鮮・日本・チベットその他の諸国・諸地域に展開してゆく仏教史の流れ、研究動向の変化、参考文献の性質やその利用法などについて講義する。講義に当たっては、縁起の思想の変化に重点を置き、禅宗に関しては仏教史における道元禅師及び瑩山禅師の思想の意義を明らかにする。

履修上の留意点

頻繁に質問し、その応答を通じて講義を進めてゆくため、積極的に参加することが望まれる。

成績評価の方法

学年末の試験によるが、質疑に積極的に参加した者については考慮する。

教科書

教科書は用いず、コピーを配布する。

参考書等

参考文献はきわめて多いため、一覧を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 禅	つの 角 田 泰 隆・志 部 憲 一 角 田 泰 隆・志 部 憲 一	短 仏 1 必	4

講義のねらい

短大仏教科は「仏教とは何か」という基本的な研究の場であるとともに、曹洞宗宗侶の養成機関でもあり、曹洞宗教義の重要な実践としての坐禅の実修を必修科目としている。将来僧侶となることを希望する学生にとっては、宗門の重要な修行である坐禅の意義とその実践方法を学ぶ科目であり、一般学生にとっても坐禅という修行のほんとうの意義を知りそれを実際に体験できる科目として重要な意義をもっている。

講義の内容・授業スケジュール

この科目は、専ら坐禅を実修する。よって、教場は坐禅堂（禅研究館4階）である。坐禅を実際に修行し、曹洞宗の両祖の坐禅に関する教えを学びながら、坐禅の意義や作法を習得していただきたい。

実修時間の前半は只管打坐、後半は坐禅に関する文献の提唱をする。提唱には指定の講本を用いるので、各自購入して持参すること。筆記用具は不用。

履修上の留意点

坐禅は修練ではない。仏行である。従って服装・態度・動作等の厳粛・整齊であることが望まれる。

成績評価の方法

科目の性格上、評価方法は出席状況に重きをおくが、それに加えて服装・態度・動作・坐相等総合的な評価をするので、充分自覚して授業に臨んでいただきたい。原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、単位を認定しない。

教科書

『坐禅－講本－』（更生社）2,200円

参考書等

なし。

その他

身体上の不自由がある者は、予め申し出て指示を受けること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗学研究	つのだ たいりゅう 角田 泰隆	短仏1・2選必	4

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の基本的な教義について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストにより曹洞宗の両祖（道元禪師・曇山禪師）の伝記をたどりながら、その基本的な教義にも触れてゆく。著作も断片的に講読してゆきたい。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績と、夏季休業中の課題レポートによって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

授業において紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典研究 I	きむら せいじ 木村 誠司	短仏1・2選必	4

講義のねらい

インド仏教の基本文献に触れる。資料の扱い方・先行業績の参照の仕方等を指導し、学生が、自分で研究を進められるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は、般若経・法華経等の経典類、中論や俱舍論といった論書類を扱う。

成績評価の方法

平常点と年度末の試験によって行う。

教科書・
参考書等

コピーで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典研究Ⅱ	いし い こう せい 石 井 公 成	短仏1・2選必	4

講義のねらい

漢訳の原始仏教経典を講読する。漢訳経典は、早い時期に翻訳されているため、現存するパリー語などのテキストより古い内容を伝えていることも多く、資料として貴重である。パリー語テキストやその日本語訳なども適宜参照しつつ、初期の素朴な仏教のあり方を検討してゆきたい。語法・用例を徹底的に調べつつ厳密に読むために、パーソナル・コンピュータ(PC)を用いた研究法を体得できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教漢文の訓練もかねるため、初めは漢文の基礎を説明しながら進めてゆき、平易な経典から読む。秋からは注釈の読み方なども指導する。授業は主にコンピュータ教場を利用して実際にPCを使いながら進めてゆき、インターネット上のデータの探し方や活用方法などについても紹介する。

履修上の留意点

仏教漢文が中心となる。必ず漢文の力がつくよう指導するが、自分から取り組もうとする姿勢が必要とされる。日本語入力の仕方やインターネット入門などを指導する時間はないため、それらについては、各自で身につけておくこと。柔軟で複雑な検索方法などについては、わかりやすく説明するが、自宅で練習することが求められるため、進んでそうした練習に取り組む意欲のある学生でないと、授業についていけないだろう。1年間がんばれば、必ずPCを活用した研究ができるようにするので、努力を期待したい。

成績評価の方法

年度末試験によって判定するが、授業中に熱心に取り組んでいた者については、平常点を加算する。

教科書

コピーを配布する。読む経典については、希望があれば考慮する。

参考書等

読む経典に応じて教場で一覧を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典研究Ⅲ	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	短仏1・2選必	4

講義のねらい

この授業は、日本における仏教思想の展開を検討していくために必要な仏教思想を叙した文献を取り上げ、それを素材に、仏教思想とはなにかを具体的に考えていく、演習形式で進められるクラスである。本年度は、南都六宗の一つである法相宗の思想を理解すべく、良遍の『法相二巻抄』を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

上述のごとく、演習形式の講読であり、最初から順次に読み進めていく。

履修上の留意点

常に出席して積極的に講読に参加すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。

教科書

『鎌倉旧仏教』(日本思想大系15、岩波書店)。126-158頁所収の、鎌田茂雄校注本をテキストとする。自分で入手できない人のためには、学年初めにコピーを用意する。

参考書等

横山紘一著『唯識とは何か』(春秋社)、袴谷憲昭著『唯識の解釈学』(大蔵出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 語 解 説	いけ だ みち ひろ 池 田 道 浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

本講義は多くの仏教語に触れ、その言葉によって表現される仏教教理を理解することを目的とする。基礎的な仏教の術語を理解した後、その言葉の背景に存在するさまざまな思想的問題を考察していく。一つの語句が多様に理解され、その意味が変容していったことにぜひ関心をもってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、教科書によって多くの仏教語の基本的な意味を理解し、その後、必要に応じて多くのテキストを参照し、仏教思想の基礎的な概念を考察する。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験あるいはレポートによって評価する。

教 科 書

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 禪 宗 史	す やま ちよう じ 須 山 長 治	短仏1・2選	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を解読しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅は時代とともにどういう問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪竈頌古』（禅の語録シリーズ）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	つのだたいりゅう 角田泰隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は、日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史－日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教史	いけだみちひろ 池田道浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）
平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教史	大西龍峯	短仏1・2選	4

講義のねらい

インドに生まれた仏教が、風俗文化の異なる中国でどのように輸入移植されたのか、またそこにはどんな問題が発生したのかといった点について学んでいくことにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

個々のテーマにしたがって、できるだけ原典資料を読みながら、考察を進めていくことにする。

成績評価の方法

平常の出席受講姿勢を重視します。

教科書

テキスト、資料等は、授業で配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	袴谷憲昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

この授業は、日本において、インド伝来で中央アジアや中国や朝鮮を經由して将来された外来思想としての仏教が、いかに展開し定着したかを、通史的に辿っていく一方で、仏教と一括されるものの中に生じた全く異質な相対立する二つの流れの相違を明確に押えていこうとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、以上の目的を実現するために、通史的な講義と諸文献の講読を並行して進めていくことになるが、できれば、後者により大きなウエイトを置きたいと思っている。

履修上の留意点

参加人数の大小に大きく左右される面があるので、確定的なことは言えないが、できれば、演習形式の講読の割合を多くしたいと考えている。参加者はその点を念頭に意欲をもって授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

上述の状況いかんによる。

教科書

講義は、末本文美上『日本仏教史－思想史としてのアプローチ－』（新潮文庫）560円をテキストとし、講読は、適宜指示する文献のコピーによる。

参考書等

袴谷憲昭『法然と明恵－日本仏教思想史序説－』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税

その他

授業方法は、上述したごとくであるが、講読文献のコピーは再発行しないので、できるだけ継続して参加してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読	し へ けん いち 志 部 憲 一	短 仏 1・2 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

『正法眼蔵随聞記』をテキストとして使用する。この本は曹洞宗開祖の道元禪師が中国より帰朝して後、京都深草の興聖寺において門下の人々に示した言葉を収録したもの。内容は仏道修行の用心・秘訣を示したもので、和文で書かれており比較的読みやすい。また様々なテーマが取り上げられている。弟子の懐弊が聞くに随い書き留めたもので、道元禪師の生の声を聞くことができ、初めて禅を学ぶ者には好資料である。講義の形式はテキストを読みながら禪者の考え方や修行の心構えを解説する形で行なう。尚テキストは講義開始時にコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 典 講 読	おお にし りゅう ぼう 大 西 龍 峯	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

仏教は長い歴史をもち、伝承も複雑多岐にわたることから、その教えを示す仏典も多様かつ膨大なものがあります。
本講座では、仏典として今日伝承されるものの概要を示し、かつ実際にそれらの仏典の一部に触れることを目的としております。

講義の内容・
授業スケジュール

できるだけ仏典に関する知識を広げてもらうために、特定の文献をひとつ選んで通読するのではなく、むしろ傾向の異なるさまざまな文献から教材となりそうなものを取りあげて講読してみようと思います。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

随時配布します。

参 考 書 等

随時指示します。

専 門
(仏 教 科)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 伝 道	つの だ たい りゅう 角 田 泰 隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教は、これを学ばなくては説くことはできないが、学んで説くことがなければその存在意義を失う。道元禅師は「弘法救生」（弘法を広め、苦悩する多くの人々を救う）の思いを常に深く心に願われていたというが、曹洞宗宗侶もやはり同様の誓願を持たなければならないであろう。そこで必要なのが伝道・教化ということである。この科目では、この伝道・教化の理念と実践について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の伝道において、一般の人々にわかりやすく説き広めるということは容易なことではない。この科目では、まず釈尊の生涯をたどりながら、仏教伝道の基本的あり方について考え、さらに現代の宗門寺院における中心的活動である葬儀と法事（年回忌法要）の意義について考察する。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 古 典 語	す やま ちょう じ 須 山 長 治	短仏1・2選	4

講義のねらい

昨年度に引き続き、『論語』を読む。中国の古典で最も有名なものは、何と言っても孔子とその弟子の言行録『論語』である。中国思想史としても、この書を中心として儒家の思想は展開する。本年度も『論語』を精読することによって、孔子を中心とした当時の人々の考え・思いそしてあり方を読み取っていききたい。

講義の内容・
授業スケジュール

『論語』二十卷は、それぞれ断片的な短文の集りである。まずはその一文一文をきちんと訓読できるようにする。その上で口語訳を試み、そこで語られる内容を細かに分析し、2500年前の“現在”を浮き彫りにする。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述と訓読・口語訳。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

金谷 治訳注『論語』（岩波文庫）等。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道	の 野 村 宙 弘 むら おき ひろ	短仏1・2選	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨、硯、筆、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。
(正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教 科 書

王羲之『蘭亭序』（清雅堂）360円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 文 化	き 木 村 誠 司 むら せい じ	短仏1・2選	4

講義のねらい

日本文化における仏教の影響を多方面から考察する。

成績評価の方法

年度末の試験によって行う。

教 科 書 ・
参 考 書 等

コピーで配布する。

専 門 (仏 教 科)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 現 代	みね ぎし こう さい 峰 岸 孝 哉	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教はインドで成立し、中国を経て六世紀には日本にも伝来し、その影響は今日に及んでいる。この間仏教はそれぞれの民族・国の歴史・社会・文化と交流し、様々な特色ある宗教文化を現出してきたわけである。日本仏教もそうしたものの一つであろう。

それだけに、仏教と歴史・社会を深く考えることは、単に仏教ばかりではなく社会の立場からも、重要な関心事でなければならないだろう。

ここに「仏教と現代」と題する本講の目的を次のように考えたい。つまり本講の題目からは、今日の「実態としての仏教」の意にも解せるし、また理念的に「現代仏教としての今日の条件」を考えることも理解できよう。そこで今年、仏教は日本人のくらしの中の宗教として、大きな影響を及ぼしてきたことの当然の責任として、宗教的・社会的責任を負うものとする。

仏教は、これまで原則として出家教団であり、このためか社会性に欠けるとともに指摘されてきた。しかし今日ほど宗教教団の果たす宗教的・社会的役割に対するきびしい評価が求められている時代もないのではなからうか。

以上のような問題意識から考えるとき、「仏教と人権」という視点は今日の仏教を考える上で重要なテーマの一つと思われる。今年これをめぐって日本仏教の性格を考える。

講義の内容・授業スケジュール

明治から今日の日本仏教に限定し、特定教団の差別事象を中心に、仏教と差別についてまず学習する。今日における「人権」とは何か。そしてテキストを中心に学習する。

履修上の留意点

他人の考えではなく、自分の頭で考えることの大切さを自覚して欲しい。

成績評価の方法

レポート提出による評価

教科書

曹洞宗宗務庁編『差別語を考えるガイドブック』（解放出版社）1,854円

参考書等

講義の進行に合わせてその都度提示する。

その他

必要に応じてコピーも参考にする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 国 語 仏 書 演 習	き むら せい じ 木 村 誠 司	短仏1・2選	4

講義の内容・授業スケジュール

原始仏教から日本仏教に至る様々な系統の文献の英訳を読む。英文法の復習となるよう配慮するが、努力して調べる習慣をつけることを希望する。読む文献については、要望があれば考慮する。

成績評価の方法

平常点を中心とする。

教科書

テキストは資料をコピーする。

専門(仏教科)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド・チベット仏教演習	木 村 誠 司	短仏1・2選	4

講義のねらい

インド・チベット仏教の代表的原典を、ていねいに読む。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、演習形式で行う。時間中は、自由に発言し、疑問に思ったことは、何でも質問して欲しい。本年度は、『俱舍論』を取り上げる。この書によって、仏教の本質が明らかになるはずである。

成績評価の方法

平常点と年度末の試験によって行う。

教科書・
参考書等

コピーで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教思想演習	袴 谷 憲 昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教思想の展開において、一乗と三乗との対立は重大な問題であるが、それは我が国においても同様である。本年度は、その問題の解明の一助とすべく、最澄の『法華秀句』を取り上げて講読する。

講義の内容・
授業スケジュール

講読に当っては、最初から順次読み進めていくのではなく、適宜問題に応じて、必要な箇所を予め指定しておいて、各自に講読してもらうという形を取りたい。

履修上の留意点

常に参加して積極的に講読に参加すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験かレポートによる。

教科書

日本大藏経、第77巻、31-154頁所収のものを教科書として用いるが、用意できない人のためには、必要な箇所をコピーする。

参考書等

常盤大定『仏性の研究』（国書刊行会復利版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 文 学 演 習	いし 井 公 成 石 井 公 成	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であって文学・音楽・美術・医学・建築その他の領域にまたがっており、それぞれの国の文化に大きな影響を与えている。本講座では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・論書・戒律などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。漢文・古文の文献を主とするが、現代日本語訳や英訳を用いる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

男女の愛情・無常・自殺・夢その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法

期末試験とレポートによるが、討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教 科 書

使用せず、コピーを配布する。

参 考 書 等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 演 習	つの だ たい りょう 角 田 泰 隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の宗旨に関わる学問研究を演習形式で行うものである。本年は、道元禅師の著『正法眼蔵』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

講義の形式で行うが、学生による予習の成果を発表してもらいながら問答形式で授業を進め、テキストを読解してゆく。

履修上の留意点

事前の予習が必要である。予習においては、自ら辞書等にあたり、一々の文字言句を正確に解釈し、現代語訳を行ってもらおう。出版されている種々の現代語訳はなるべく用いず、自ら解釈することを目指してほしい。

成績評価の方法

演習科目であるので、授業への出席、および授業での研究成果の発表によって評価する。よって欠席の多い学生や、所定の研究成果の発表を行わなかった学生には単位を認定しない。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

授業において紹介する。

専門(仏教科)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 用 経 典 概 説	はれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	短 仏 1 ・ 2 選	4

講義のねらい

経典全般について、ならびに現在曹洞宗で日常的に使用されている経典について、その基礎知識を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

膨大な経典類の分類を簡単に講じた後、曹洞宗において日常用いられている経典・宗典の幾つかを取り上げ、その成り立ちと意味内容について概説をする。場合によっては他宗派の聖典にも触れていきたい。

履修上の留意点

適宜演習形式を取り入れるので、その旨、了承されたい。

成績評価の方法

出席の状況と期末試験による評価を考えているが、演習を担当した学生には、さらに平常点を加えて評価する。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 哲 学	こん の かおる 紺 野 馨	短 仏 1 ・ 2 選	4

講義のねらい

現代世界における宗教の意味を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は「理性と信仰」の関係を考える。これには哲学だけではなく、科学思想史、宗教史、宗教学などの成果を視野に入れる。後期は「宗教と倫理」の関係を中心に考える。この世の悪や不幸をどう理解するかがテーマである。

履修上の留意点

なるべく受講生諸君にも身近な事柄を糸口として講義するが、受講生諸君にも積極的な「参加」の意欲をもって出席してほしい。

成績評価の方法

前期後期ともレポートによって評価する。出席も重視する。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書等は教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
キ リ ス ト 教 概 説	紺 野 馨 <small>こん の かおる</small>	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

キリスト教の教義等のみならず、キリスト教ヨーロッパの精神史を紹介する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は聖書を中心に、キリスト教の成立を主題とする。後期はキリスト教史を中心に、歴史的
形成物としてのキリスト教を考える。

成績評価の方法

定期試験を行なう。出席も重視する。

教 科 書

教室で指示する。

参 考 書 等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 I	荒 井 裕 明 <small>あらい ひろあき</small>	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

『成実論』を中心として、仏教の様々な教理について勉強します。基本的な仏教用語の理解を深
めながら、仏教内外の諸派の学説の相違に関しても言及したいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

『成実論』は漢訳（『大正新脩大藏経』32卷所収）のみが現存するので、これを基本的なテキス
トにするが、その国訳を必要に応じて利用する。

履修上の留意点

積極的に発言して講義に参加して欲しい。

成績評価の方法

講義の出席状況と定期試験によって評価する。

教 科 書

テキストはコピーして配布する。

参 考 書 等

『新国訳大藏経、成実論 I・II』、大藏出版等。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 II	みつはしただし 三 橋 正	短仏1・2選	4

講義のねらい

日本人は、ある時は神を拝み、ある時は仏を拝み、曆に基づく迷信に左右され、「仏」となって死んでいく。外国の人々から見ると実に不可解に見えるが、この中に一定の法則が見出される。本講座では一年間の講義を通じて、日本人と宗教の関わりについての様々な側面を、歴史的に解明していく。

講義の内容・授業スケジュール

先ず、日本人の在来信仰（神祇信仰）について分析し、それが仏教の伝来によって如何に変化したか、そして両者の間に如何なる使い分け（棲み分け）ができたかを考察していく。おおむね、前期は神祇信仰や神話など神道関係を中心に、後期は仏教の日本的展開を中心に論じていく予定である。また、江戸時代以前の曆についても解説し、そこから生じた様々な禁忌（タブー）が今に残っていることも指摘したい。

履修上の留意点

講義の内容が多岐にわたるので、受講生は真面目に出席し、一回ないし数回毎にまとめをしていくことが望まれる。

成績評価の方法

講義内容全般についての論述式テストを授業の最後に行ない、これを主に評価する。

教科書

授業内に指示する。

参考書等

授業内に指示する

その他

講義が中心となるが、受講生の積極的な参加を期待したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 特 講 I	くまもとえい 熊 本 英 人	短仏1・2選	4

講義のねらい

主に曹洞宗の寺院徒弟を対象として、曹洞宗寺院の諸行事法要の意味と意義の理解のための講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

曹洞宗寺院の主な法要の回向文の解説を中心に講義を進める。あわせて、1988（昭和63）年の曹洞宗行持軌範の改訂の意味についても触れたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

櫻井秀雄著『修訂曹洞宗回向文講義』（曹洞宗宗務庁刊）1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 特 講 II	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	短仏1・2選	4

講義のねらい

禅家における種々の儀軌と集団生活の規範の根本は、いわゆる清規に求められる。現代においては他宗と比較してその独自性が強調され勝ちであるが、宗門の清規が禅家古来の正統を色濃く継承している点を明らかにしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

戒律史上における清規と禅戒の特色を講じた後、『永平清規』を講読し宗門における僧堂生活の基礎を知るとともにその有効性について考えてみたい。講義はノートをとる方法を中心に進める。

履修上の留意点

自らの日常生活と照らし合わせ、出家と在家との現実的な境界線を模索してみたい。また、寺院徒弟ならば、今後予想される僧侶としての人生に、自分なりの意義付けを試みられたい。

成績評価の方法

出席の状況とレポートの提出による評価を考えている。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

2. 他学部履修科目

2. 他学部履修科目

〔第2部・フレックスBで開講される他学部履修科目〕

商学	総論	〈大吹勝男〉	329
社会思想史		〈阿部弘〉	330
国際経済論		〈徳永俊明〉	331
社会政策		〈休講〉		
価値格理論		〈荒木勝啓〉	332
国民所得論		〈吉野紀〉	333
銀行論		〈齊藤正〉	334
中小企業論		〈和田耕治〉	335
中国経済論		〈小杉修二〉	336
人口論		〈森岡仁〉	337
アメリカ経済論		〈休講〉		
ヨーロッパ経済論		〈休講〉		
貿易論		〈古沢紘造〉	338
会計監査論		〈休講〉		
管理会計論		〈休講〉		
法思想史		〈高橋洋城〉	339
日本法制史		〈休講〉		
西洋法制史		〈北野かほる〉	340
経済法		〈岡田外司博〉	341
国際関係論		〈首藤素子〉	341
地方自治法		〈富井幸雄〉	342
倒産処理法		〈奥野善彦〉	343
アメリカ経営学		〈宮城徹〉	344
経営財務論		〈休講〉		
経営組織論		〈長瀬勝彦〉	345
経営技術論		〈休講〉		
公益企業論		〈園田哲男〉	346
管理会計論		〈猿山義広〉	347
会計監査論		〈休講〉		
日本経済論		〈羽鳥茂〉	348

[フレックスAで開講される他学部履修科目]

国民所得論	〈吉野紀〉	(214)
日本経済史	〈橋野知子〉	(215)
中小企業論	〈和田耕治〉	(216)
社会政策	〈光岡博美〉	(217)
日本経済論	〈小林正人〉	(218)
アジア経済論	〈鄭章淵〉	(219)
中国経済論	〈休講〉		
アメリカ経済論	〈瀬戸岡紘〉	(220)
ロシア・東欧経済論	〈山縣弘志〉	(222)
商業政策	〈岩下弘〉	(223)
マーケティング	〈曾我信孝〉	(224)
労務管理論	〈堀龍二〉	(226)
財務会計論	〈小栗崇資〉	(227)
会計監査論	〈飯岡透〉	(228)
管理会計論	〈休講〉		
貿易論	〈古沢紘造〉	(229)
銀行法論	〈齊藤正〉	(230)
行政法各論	〈齊藤寿〉	(231)
比較憲法	〈休講〉		
親族法	〈竹中智香〉	(232)
相続法	〈竹中智香〉	(232)
西洋法制史	〈北野かほる〉	(233)
英経米済法	〈北野かほる〉	(234)
経済法	〈岡田外司博〉	(235)

科目名	担当者名	配当学科	単位
商学総論	おお ぐき かつ お 大 吹 勝 男	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります。そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実には困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論・電子商取引（eコマース）
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粋流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教科書

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社） | 5 『経済学論集』第22巻第4号 |
| 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号 | 6 『経済学論集』第26巻第1号 |
| 3 『経済学論集』第20巻第4号 | 7 『経済学論集』第27巻第1号 |
| 4 『経済学論集』第22巻第1号 | |

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 思 想 史	阿 部 弘 ^{ひろし}	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

- 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。レポートは7月・10月・12月・1月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。年4回のレポートを行うのは、講義形成のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受験生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。レポートの形式は、7月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからテーマを設定します。
- 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。
- 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」を実施しない関係で、それに付随した、「追試験」とか「再試験」は行いません。

そ の 他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようになるために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：☎179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204/☎03-3976-7984

研究室：第2研究棟5F No.2538/TEL03-3418-9360

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	徳永俊明	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えにはなりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈国民的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう一本の命綱として重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(3回予定)および学年末レポートで評価します。(追・再試験は行いません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でミクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやミクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてもよい。従って講義のかかなりの部分がそのための準備と練習に当てられると思っていただきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験あり。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 民 所 得 論	よしの 吉 野 紀	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解すること、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は原則として実施しない。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス(上)』第6版(多賀出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	さいとう 藤 正 齋 藤 正	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバル」な金融市場の実現を掲げ、98年4月にスタートした「日本版金融ビッグバン」の展開のなかで日本の金融制度が大きく変わろうとしている。大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている一方、バブル崩壊後の不況が長引き、不良債権処理が遅れるなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安が高まってきた。それは、特に地域金融機関において厳しく表れ、地域経済に深刻な影響を及ぼしている。

銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保證する金融システム、銀行の健全なあり方が強く求められている。

本講義では、銀行の基礎理論に関連づけながら戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 前期は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
 - ① まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面して諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
 - ② 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業専門金融機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
 - ③ 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1990年まで）、バブル崩壊以降（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- 2) 後期は銀行の基礎理論を中心に講義する。
 - ① 銀行経営の不振とは対照的に消費者金融会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いはどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - ② 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- 3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバンを様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

成績評価の方法

成績は、前期試験（またはレポート）と後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業はレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齋藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー 金融業』（大月書店）2001年
山田・野田編『現代日本の金融』（新日本出版社）1997年
日本銀行『新版 わが国の金融制度』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	わ だ こう じ 和 田 耕 治	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

平成8年度版「事業所統計」によると、わが国の第1次産業を除く約650万の事業所の内、中小事業所は98.9%を占めており、大企業所は0.7%に過ぎない。また、雇用者数についても、総雇用者、約5,435万人の内、中小事業所で雇用されているものは、80.4%、大企業所では19.6%となっている。このようにみていくと、中小企業はわが国経済において、大きな位置にあるといえる。本講義は、わが国経済で大きな地位を占めている中小企業の実態を踏まえつつ、今日までの中小企業研究の蓄積に基づいて、理論的水準を落とすことなく進めることとする。

講義の内容・
授業スケジュール

中小企業に関する実態や問題を理論的、歴史的に把握した上で、中小企業を構造的視点により考察する。また、近年、中小企業研究は非常に多面的な展開を示している現状を鑑み、最新の研究動向について、触れることとする。さらに、必要に応じて、視聴覚教材を用いることにより、受講者の問題意識を鮮明化させる。

成績評価の方法

期末試験とレポートによる評価とする。片方だけの提出は合格点にはならない。

教 科 書

三井逸友編著『現代中小企業の創業と革新』（仮題）（同友館） 近刊

参 考 書 等

中小企業庁編『平成13年度版中小企業白書』（大蔵省印刷局）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。
 現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみながるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。
 本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この3点で中国の長期的動態を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。
 前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。
 これにつづいて、中国経済の解明に取組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル(1949～57年)、(2)毛沢東モデル(1958～78年)、(3)鄧小平モデル(1978～)として、それぞれの特徴とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えているからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。
 教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。
 また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。
 (再試験あり)

教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』(龍溪書舎) 4,000円

その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 論	もり おか じん 森 岡 仁	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のためには緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

何れともあれ、この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況
再試験を実施する。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参考書等

大淵・水野・森岡・吉田訳『マルサス人口の原理』（中央大学出版部）1985年
大淵寛・黒田俊夫編『現代人口問題』（大明堂）1990年

その他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生態との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. 公正と貿易
 4. グローバリゼーションと貿易
 5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは評価の対象とはならないでしょう。

教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、その都度説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もし少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談に来て下さい。参考になる本など教えます（研究室第2研究館4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 思 想 史	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

西欧の様々な法思想を跡づけ再吟味する営みを通じて、近代法の環境の中で自明のものと考えられている思考のワクを相対化し、批判する視点を持つためのきっかけとしたい。こうした作業は、揺れ動く現代の法状況へ対峙してゆくのに必要であると思われる。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは大まかなアウトラインしか述べることができないが、重点をおくトピックおよび思想家として、以下を予定している。

- (前期) ヨーロッパ法思想の核となったギリシャの法思想（プラトン、アリストテレス）、キリスト教思想（アウグスティヌス）、中世自然法論（トマス・アクィナス）
- (後期) 前近代から近代への世界像の転換、近代法の基礎理論とも言える自然権論や社会契約思想（ホッブズ、ロック、ルソー）、これを批判的に受け継ぐドイツ啓蒙期の法思想（カント）、ドイツ観念論の法思想（ヘーゲル）

基本的には、時代を順に追い、代表的な思想家と思索を共にする形で述べていくことになるが、断片的な紹介ではなく、影響関係や重要な概念枠組の変遷などを重視し、明らかにできればと思う。また狭い意味での法学理論史の枠にとらわれず、各々の法思想を、その時代の人間観やコスモロジーの中に法理解を位置づけて検討し、そうした作業を通じて最終的には、近代という時代が獲得したものと忘却してしまったものについて考えてみたい。なお、時間の都合上、最大限順調に講義が進んだとしても、19世紀前半の法思想までをカバーするのが精一杯だと思う。19、20世紀以降の法思想ないし法学理論の諸潮流については、法哲学講義の一環として取り扱うつもりである。

成績評価の方法

定期的記述試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他に任意提出課題として、講義で紹介した思想家の著作を読んでレポートを提出してもらえば、一定範囲内で評価に加える。

教科書

ここでは、三島淑臣『法思想史』【新版】（青林書院）4,854円を挙げておくが、講義の補完、通常の学習には自分にあった概説書を選んでもらってかまわない。詳細については講義のはじめに紹介する。

その他

講義の概要、参考資料を必要に応じて配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 か ほ る	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

イギリスと法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 法	<small>おか</small> <small>だ</small> <small>と</small> <small>し</small> <small>ひろ</small> 岡 田 外 司 博	短 仏	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 際 関 係 論	<small>しゅ</small> <small>とう</small> <small>もと</small> <small>こ</small> 首 藤 素 子	短 仏	4

講義のねらい

現代の国際関係の理論と現状の課題について、知識と理解を深めることを目的とする。とくにアジア太平洋地域の開発と民主化、安全保障の問題について具体的な知識を深めつつ、国際関係研究の理論について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

次の各項目をほぼ2週の割合で進める予定。

1. 国際政治理論の展開（現実主義）
2. 国際政治理論の展開（現実主義批判の多様なアプローチ）
3. 冷戦後の国際政治理論
4. 冷戦後の安全保障研究
5. 冷戦後の紛争と国際システム
6. 経済のグローバル化と国際機関の機能
7. 開発理論の変遷
8. 開発金融の国際化、民営化と開発体制の形成
9. 人権保障の国際的制度化と人権 NGO の役割
10. 地球環境問題と環境外交の進展
11. グローバル化、国家、市民社会の関係と課題

成績評価の方法

出席と定期試験により評価する。

教 科 書

毎週使用するという意味の教科書は指定しない。授業ではテーマ毎に資料を配付し、参考文献を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い 井 幸 雄 富 井 幸 雄	短 仏	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに添って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とる予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教科書

南博方他『行政法(3) (第3版)』(有斐閣双書) 1,800円

参考書等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房)、『地方自治判例百選 (第2版)』(別冊ジュリスト)。なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法的大幅な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒 産 処 理 法	おくのよしのひこ彦	短 仏	4

講義のねらい

私が管財人として任務を遂行した更正会社日本リースの事件処理などを通じ、可能な限り実践的な視点から倒産処理法を学ぶこととする。

倒産処理手続は、通常、任意整理と法的整理に区分され、さらにその目的に従い、再建型と清算型に分けられる。

任意整理は、裁判所外で債務者と債権者間で私的に進められる整理手続で、再建型にも清算型にも利用され、法的整理手続の原型となっている。これに対し、法的整理手続は、再建型の類型に入るものとしては、会社更正、会社整理、並びに民事再生手続があり、清算型の類型に入るものとしては特別清算と破産がある。

この講義では、「倒産」に直面している人又は企業に対し、如何なる手続を選択することが債権者及び債務者にとって最も好ましいか、というようなことから始め、最高学府で倒産処理法を学んだ者として、当然身につけなければならない法的知識並びに法的技法を習得することにした。

履修上の留意点

真面目で誠実で、且つガッツのある学生に履修してもらいたい。

成績評価の方法

履修態度、レポート並びに試験（論文式）

教 科 書

追って指定

参 考 書 等

奥野善彦著『会社再建』（小学館）1,600円

そ の 他

前期－講義 後期－ゼミ

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやぎ 城 徹	短 仏	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必須科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて一般的に講義するが、主として、下記の授業計画の8つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

<2001年度『アメリカ経営学』授業計画>

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー） (8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー） (4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確認するために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書——組織の経済理論の応用——』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., *Die grenzenlose Unternehmung*, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., *Organisation. Eine ökonomische Perspektive*, Schäffer-Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	ながせ かつひこ 長瀬 勝彦	短 仏	4

講義のねらい

この講義で論じるのは、第1に企業組織がどのように構成されているのか、第2にそれが環境の中でどのように運動しているのか、第3に個人や小集団が組織とどのように関わっているのかである。

組織というものは形があるわけでもなければ色が付いているわけでもない、目に見えない存在である。それなのに私たちは、会社がどうだとか学校がどうしたとか当然のように会話を交わしているし、法律上も「法人」として人間並みの位置づけがされている部分もある。天然資源から自動車やコンピュータをつくったり、巨大ビルや橋を建築したりすることは個人では何百年かかってもできないが、組織はやってのける。企業組織の活動によって生活が豊かで便利になることは否定しようがない。しかし一方で企業組織は、自然環境を破壊して私たちの生活を脅かすという側面も併せ持っている。

また、人間は組織の中で高く評価されると嬉しく思うし、「会社人間」といわれるように組織と一体化する人もいる。一方で組織の側も構成員に対していろいろ便益を与えてくれるが、景気が悪くなると手のひらを返したようにみんなで嫌がらせをすることもある。ショックで病気になるったり自殺したりする人もいるほどである。こんなにも社会にも個人の心にも大きなプレゼンスを示す経営組織について、じっくり考えてみようではないか。

授業の展開としては、抽象的な理論や学説の紹介は程々に留め、現代の組織が直面している問題をなるべく多く取り上げて議論していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる予定の主な項目は以下の通りである。ただし授業の回数と項目番号は一致しない。

1. コーポレート・ガバナンス（企業は誰のものか）
2. 企業組織の階層（企業組織を横に切ってみる）
3. 企業組織の部門化（企業組織を縦に切ってみる）
4. 新規事業開発と組織内組織（企業組織の卵）
5. ラインとスタッフ（組織の中の2種類の仕事）
6. 国際化と組織（多国籍企業の組織はどんなものか）
7. 企業と外部環境（コンティンジェンシー理論の貢献と限界）
8. 組織文化と組織開発（企業によって社員のものの考え方が違う）
9. 組織と戦略（組織は戦略に従う？）
10. 企業の寿命と組織エコロジー（会社の寿命は30年？）
11. 組織のリストラクチャリング（企業の建て直し）
12. 新しい人事・処遇制度（出世と給料）
13. 情報化と組織（コンピュータが入って組織はどう変わったか）
14. 企業間関係（ネットワーク論）
15. 個人と組織（人はなぜ組織のために働くのか）
16. 組織的意思決定（経営学とは意思決定の学問である）
17. イノベーション（企業とはイノベーションをする存在である）
18. 組織均衡論と新しい組織論（サイモンはどこまで正しいか？）
19. 意思決定演習（ゲームで組織的意思決定の疑似体験）

通常の講義のほかに、適宜ビデオ教材を使ったりゲーム形式でおこなったりする（臨時の教場変更に注意）。講義時間内にレポートの作成と提出を求めることもある。また講義中に受講生の発言を求めることがあるが、高いレベルは求めていないので、素朴な意見を積極的に開陳して欲しい。

履修上の留意点

私は受講者のために「楽しく、分かりやすく、ためになる」講義をするように、いろいろと工夫をしているつもりである（それが100%成功しているとは言わないが）。それだけに、講義の妨げになる行為（私語や携帯電話など）に対しては厳罰をもって臨む。それが一度であっても成績が「不可」になることもあるので覚悟しておくこと。私語をするくらいなら講義に出席しない方が、単位取得に関してははるかに安全である（もちろん毎回まじめに参加することが最も好ましい）。また講義時間内にレポート作成を課するときは、理由の如何を問わず遅刻者の入室は認めないので注意すること。

成績評価の方法

定期試験の点数が主体となる。それにレポート点が加算される。

教科書

なし。

参考書等

長瀬勝彦著『意思決定のストラテジー』（中央経済社）

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	そのだてつお 園田哲男	短 仏	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規則に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規則と区別される意味における公益企業規則である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規則が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討（規制と競争）を行う。後期は、公益企業における持株会社の形成および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意志決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意志のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価においては、単元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しく評価を行うつもりである。

教科書・
参考書等

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行うつもりである。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	さる 猿 やま 山 よし 義 ひろ 広	短 仏	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思考を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 管理会計の体系
- II 管理会計における原価概念と利益概念
 - 1. 原価態様
 - 2. 全部原価計算と直接原価計算
 - 3. 分権管理のための原価概念と利益概念
- III 利益計画
 - 1. 利益計画の手続
 - 2. 損益分岐点分析と CVP 分析
 - 3. 短期利益計画のための価格分析
 - 4. 短期利益計画のための営業費分析
- IV 生産現場における原価管理活動の取組み
 - 1. 原価企画・原価改善・原価維持の概念
 - 2. TDK^株のケース
- V 組織構造の変革と管理会計
 - 1. マネジメントコントロール・システムとは何か
 - 2. 組織形態と責任会計の関係
 - 3. 事業部制会計について
 - 4. マイクロ・プロフィットセンター制
 - 5. 京セラのアメーバ経営、NEC 埼玉のラインカンパニー制のケース
 - 6. オムロン綾部工場、KOA^株の WSM のケース
- VI まとめ

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

レポートを重視します。

教 科 書

適宜プリントを配布します。

参 考 書 等

より体系的に勉強したいという人のためには、櫻井通晴著『管理会計』（同文館）。
計算問題については、日商簿記検定の「工業簿記」「原価計算」のテキスト。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	は どり 羽 鳥 茂	短 仏	4

講義のねらい

多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、「講義のねらい」にチャレンジします。

履修上の留意点

受講生としての一般常識を持っていることはいうまでもないですが、下記の参考文献を必要に応じて参照し、授業内容の理解を確かなものにするよう努力してください。

成績評価の方法

後期授業終了後、筆記試験で評価します。

教 科 書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会、1996年）3,200円

参 考 書 等

読みやすいと思われる順になっています。
 [A] 鶴光太郎『日本的市場経済システム』（講談社現代新書、1994年）
 [B] ジョン・マクミラン『経営戦略のゲーム理論』（伊藤、林田訳、有斐閣、1995年）
 [C] 中山幹夫『はじめてのゲーム理論』（有斐閣、1997年）
 数学はつぎの2冊が適当だと思います。
 [D] 高橋渉『現代解析学入門』（近代科学社、1990年）
 [E] 永谷裕昭『経済数学』（有斐閣、1998年）

そ の 他

数学が必要なときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。
 この科目は、再試験を実施しません。

3. 仏教学部開設科目

3. 仏教学部開設科目

パーリ語初級	〈片山一良〉	353
サンスクリット語初級	〈金沢篤〉	353
チベット語初級	〈松本史朗〉	354
仏教美術	〈松田誠一郎〉	354
詩偈	〈塩崎幸雄〉	355
原始仏教	〈片山一良〉	356
宗教史	〈長谷部八朗〉	356
インド仏教文化史	〈休講〉	
浄土学概論	〈休講〉	
真宗学概論	〈山崎龍明〉	357
真言学概論	〈休講〉	
日蓮教学概論	〈北川前肇〉	357

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
パ ー リ 語 初 級	かた やま いち ろう 片 山 一 良	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法全体について講義し、後半は、『小空経』(Cūḷa-suṅṅa-sutta)を直接に読みたいと思う。

履修上の留意点

習得に丁寧であることが望まれる。

成績評価の方法

レポート(夏期)および年度末テストによる。

教科書

コピーにて配布する。

参考書等

水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)

その他

随時、テープ等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
サンスクリット語初級	かな さわ あつし 金 沢 篤	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際的・基礎的な力を養う。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

平常点と期末・年度末の筆記試験。

教科書

J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』(春秋社)

参考書等

辻直四郎著『サンスクリット文法』(岩波書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
チベット語初級	まつもと しろう 松本史朗	短仏1・2選	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの（チベット人の著作）を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

4月18日から6月4日まで休講するので、補講期間に補講を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教美術	まつだ せい いちろう 松田誠一郎	短仏1・2選	4

講義のねらい

平安時代前期〔784～951〕から平安時代後期〔951～1185〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連史料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史の変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本的な美意識の問題にも論及する。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 第1回 ガイダンス
- 第2-3回 1. 神護寺の薬師如来像
- 第4回 2. 新薬師寺の薬師如来像
- 第5-6回 3. 神護寺・観心寺の密教彫塑
- 第7-8回 4. 広隆寺金堂・講堂の仏像
- 第9-10回 5. 東寺講堂の密教彫塑
- 第11-12回 6. 法華寺の十一面観音像
- 第13-15回 進度調整のための予備日

【後期】

- 第1回 7. 仁和寺の阿弥陀三尊像
- 第2回 8. 清涼寺の阿弥陀三尊像
- 第3-4回 9. 室生寺金堂の仏像
- 第5回 10. 上醍醐寺の薬師三尊像
- 第6回 11. 六波羅蜜寺の十一面観音像
- 第7-8回 12. 同聚院の不動明王像
- 第9-12回 13. 平等院鳳凰堂の仏像
- 第13-15回 進度調整のための予備日

履修上の留意点

仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。

成績評価の方法

前期末と後期末に筆記試験を実施し、その単純平均によって厳密に評価する。

教科書

水野敬三著『奈良・京都の古寺めぐり—仏像の見かた—』、1985年、岩波書店。

その他

毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
詩 偈	しお ぎき ゆき お 塩 崎 幸 雄	短仏1・2選	4

講義のねらい

初心者の関心の喚起を主眼とする。漢字のみで書き表されたものに対する拒絶症状を除去し、自らが漢字のみを用いて思想・感情を表現してみたいという意欲を起ささせることから始めた。中国文化に対する興味を喚び起こし、漢文・漢詩に習熟させることにより、漢字文化に対する畏敬の念を以て、自らの力で自らの思想・感情を漢詩を通して表現できるようにさせることを講義目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には受講者の学力をみてから決定したい。極度に学力が低下していると判断される場合は、旧字・旧仮名遣いの読み書き、辞書類の引き方等からの指導も考慮している。また、『史記』『韓非子』『戦国策』『孫子』『唐宋八家文』等から、興味を生じやすく、読解力を養う助けとなるものを選び、学力補充を図りたい。ついで名詩の鑑賞に移ってゆきたい。以上を踏まえた上で実際の作詩指導に入ることとなる。

仏教学部では年々宗門外の学生が増えつつあると聞いている。本講義では寺院執務における作詩能力の必要性に応えることは言うまでもないが、宗門外の学生においても作詩の喜びを分かち合ってゆけるようにしたい。

また、作詩は創作行為である。単に知識と経験によりそれが可能となるものではなく、文学的素養、詩的情操、古典的美意識が要求される。かかる教養を高めさせるためには、読むべき書籍の選択、入手法等についても指導すべきであろう。この点についても適宜講義を通してアドバイスを与えてゆきたい。

履修上の留意点

受講者の創作意欲と熱意との発揮を期待する。

成績評価の方法

各自の作品により評価したい。

教科書

特に定めない。

参考書等

野口寧斎『少年詩話』、三浦梅園『詩輶』、鈴木虎雄『支那詩論史』。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 始 仏 教	かた やま いち ろう 片 山 一 良	短仏1・2選	4

講義のねらい

原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は仏伝を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道（八正道）、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。

履修上の留意点

従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始経典を直接に読むことを勧めたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教 科 書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 史	は せ べ はち ろう 長 谷 部 八 朗	短仏1・2選	4

講義のねらい

本講義では、仏教を中心に日本宗教史の概説を行う予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

未定である。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教 科 書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参 考 書 等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
真宗学概論	やまざきりゅうみょう 山崎龍明	短仏1・2選	4

講義のねらい

親鸞（1173-1262）の信仰、思想構造の考究。

講義の内容・授業スケジュール

鎌倉時代の祖師方の根本意旨はどこにあったのか。特に親鸞思想と、後代真宗概論としてまとめられた要説を講義。

履修上の留意点

問いかけの姿勢で臨んでほしい。

成績評価の方法

レポートによる成績評価

教科書

前田専学、山崎龍明編『親鸞入門』（永田文昌堂刊）1,260円

参考書等

『教行信證』『歎異抄』（岩波文庫）

その他

講義形式を中心とするが、質問歓迎。必要に応じて討議も試みたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日蓮教学概論	きたがわぜんちよう 北川前肇	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教者としての日蓮（1222-82）が目指したものは、いったい何であったのであろうか。そのような関心のもとに、日蓮の61年の生涯をたどりながら、日蓮の思想を明らかにしたいと思う。その中でも、日蓮の代表的著作である『立正安国論』を講読することによって、その思想的特徴の一端を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

まずはじめに、日蓮の61年の生涯を年譜を基としてたどることによって、日蓮の行動の面を明らかにし、合わせて時代背景を究明したい。その後、日蓮の行動の出発点ともなる代表的著作『立正安国論』を具体的に講読することによって、『立正安国論』の構成はどのようなものであるのか、またその趣旨は何であるのかを著作をとおして確認したい。

履修上の留意点

鎌倉新仏教の祖師の一人である曹洞宗の道元禪師（1200-53）と同時代にあった日蓮が、どのような仏教者として生きることを目指していたのか、という関心のもとに受講していただければ幸いである。

成績評価の方法

通常の講義に対する出席状況を評価の基準に置き、前期・後期の2回のレポートによって、成績評価をつけたいと思う。

教科書

北川前肇編『原文対訳立正安国論』（大東出版社）1,800円

参考書等

宮崎英修編『日蓮辞典』（東京堂出版）3,200円

その他

この授業は講義形式を基本とし、教科書以外に必要な資料はコピーを配布する。なお、『立正安国論』の講読に移った場合には、受講生の方々に講読をお願いすることもある。なお、質問等については、メモでお渡しいただければありがたい。講義の中で、できるだけ答えられるように努力したいと思っている。

[x 屯]